

令和元年度業報告書

(長野エリア)

1. 法人本部 … P1～32
2. 親愛の里松川 … P33～46
3. ほっとハート親愛 … P47～59
4. 親愛の里夢工房 … P60～70
5. 親愛の里シンフォニー … P71～82
6. 親愛の里紙ふうせん … P83～100
7. 松川町地域活動支援センターあすなろ … P101～107
8. 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ … P108～114
9. コーポヘルメス … P115～132
10. 障がい者サポートセンター親愛 … P133～137
11. エコール親愛 … P138～146
12. 松川障がい者相談支援センター … P147～151
- 13.
14. 親愛の里そよかぜ
15. ハートランド森
16. クオーレ
17. ショブサポートフォルテ
18. ぱれっとハウス
19. 中村区障害者基幹相談支援センター
20. 熱田区障害者基幹相談支援センター
21. 南区障害者基幹相談支援センター
22. 運営改善委員会
23. 防災委員会
24. 親愛の里保育園

社会福祉法人親愛の里

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：社会福祉法人親愛の里

2. 概要

(1) 概況

平成 8 年 7 月に法人として認可され、平成 9 年 10 月の知的障害者更生施設(現在、障害者支援施設)親愛の里松川開所から 23 年目を迎えた。本年度も社会福祉法人制度改革の趣旨に基づき、①地域における公益的事業の実施、②事業運営の透明性の向上、③経営組織のガバナンスの強化、④財務規律の強化等を基本に取り組んだ。

A) 法人・施設等の組織体制

- a. 法人組織の運営については常務理事を専従とし、法人全体の運営を把握するとともに、業務執行理事を 2 名から 4 名体制とし経営の適正化に取り組んだ。
- b. 所長(管理者)1 名が、エリア・マネージャー昇格に併せ理事に就任し、現場と法人との情報共有の強化を図った。
- c. 所長(管理者)とサービス管理責任者等の兼務体制を見直し、一部の事業所を除き、それぞれ専任体制に改善した。

B) 福祉サービス

- a. 昨年度のいちばん星の整備に続き、にばん星を整備し、障がい特性に配慮した活動場所の充実に取り組んだ(親愛の里松川)。
- b. 親愛の里夢工房職員が障がい者サポートセンター親愛(行動援護事業)の職員と兼務することにより、重度の障がいのある人への個別支援体制の拡充を図った。
- c. 重度障害者支援加算対象者に対する研修受講を通じて、よりきめ細やかな支援スキルの向上と体制づくりに努めた。
- d. 2 年目を迎えた工賃倍増プロジェクトについては、課題は残るものの前年度に比べ大幅な増収を図ることができた。
- e. 親愛の里紙ふうせんの収支の改善と事業所全体の運営の見直しの視点から紙ふうせんスマイルを閉所した。整備に向けた事前のニーズのアセスメントや職員体制づくり等の検討が十分なされなかったことが主な要因であり、今後の事業の立ち上げ方に課題を残した。
- f. 法人として初めて、ジョブサポートフォルテが「第三者評価」を受審した。概ね評価も良く、職員からは受審までの取り組み過程や改善、その後の振り返りを通じて前向きな意見が多く出され、今後の他の事業所の受審のきっかけとなった。

C) 人材確保・定着

- a. 運営上の職員配置は概ね満たされているものの、一部事業所で新規職員の確保や退職者の補充等が十分できず慢性的な職員不足状態が続いた。
- b. キャリアパスの充実、ライフスタイルに応じた多様な働き方等の選択肢として「限定

正規職員制度」を整備した（令和２年度内導入）。

- c. 有資格者やスキルの高い職員等に対する福祉・介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）の取得に向けて検討した（令和２年度取得）。
- d. 人材育成・公益的事業部が、職員の労働環境の改善に向けて「職務上の配慮事項」等に関する職員アンケート等を実施した。
- e. 働き方改革関連法関係では、勤怠管理方法の検討、同一労働同一賃金について現状の確認・検討、有給休暇５日以上の取得等に取り組んだ（平均取得日数１０日）。

D) コンプライアンス

- a. 制裁処分者が厳重注意処分６名を含め１０名となった。人権意識、苦情・事故等への適正な対応、ハラスメント防止等に課題が残った。研修やOJT等により理念等の一層の浸透と人権意識の醸成に努める必要がある。

E) 新型コロナウイルス対応

- a. ２月以降、新型コロナウイルスの全国への感染拡大により、理事会、評議員会等の重要な会議が開催できず書面審議になった。また、先進施設等研修、運営協議会等については、延期となった。
- b. 緊急事態宣言のもと、県をまたぐ出張は原則中止すると共に、会議はWeb会議とした。また、法人、施設・事業所においても活動制限や事業所に応じた感染防止対策に取り組んだ。

F) 収支決算概要

- a. 今年度の決算については、事業活動資金収支差額が６５,３８９千円（当期資金収支差額３０,２４２千円）という結果となった。いずれも前年度の１７,２８５千円（同▲２９,６８４千円）と比べると２７８.３％増（同２０１.９％増）となり、昨年度の大幅な赤字を改善することができた。しかし、最終的な当期資金収支差額(利益)では、３０,２４２千円(利益率２.７％)であり、中長期にわたる健全な法人経営には、更なる収支の改善に向けた取り組みが必要となっている。
- b. 法人全体の収支では、事業活動収入が１,１３９,０９４千円に対し事業活動支出が１,０７３,７０５千円であった。紙ふうせんスマイルの閉所があったものの、障害者福祉サービス事業収入等が、１,０９７,８５８千円で前年度比５.４％の増加となった。保育園運営費補助金の増加と個別給付事業の報酬単価に対する各種加算の取得に向けた取り組み等が寄与した。
- c. 名古屋エリアにおいて、ジョブサポートフォルテのエレベーター更新については、外部団体からの補助金の手当ができず、全て自己負担で実施した。経営が厳しい名古屋エリアにあって予定外の支出となった。過去数年の名古屋エリアの赤字体制については、法人として具体的な取組が必要となっている。

3. 第３期５か年計画の２年目の評価 … 別紙１

(1) 課題等

- ① 人材確保・定着・育成制度の構築
 - A) 法人理念の周知、定着
 - B) キャリアパスとリンクした研修体系の整備（人材育成部）
 - C) コンプライアンス研修（人材育成部）
 - D) 雇用形態の拡大（限定正規職員制度の導入等）
 - E) 人事考課制度の見直し
 - F) 多様な人材の確保に向けた積極的な広報活動
- ② 福祉サービスの充実・整備
 - A) 土砂災害等の特別警戒区域内の事業所の移転改築（ほっとハート親愛等）
 - B) コーポヘルメスの統廃合（移転改築）
 - C) ユニット化による職住の分離（親愛の里松川）
 - D) 第三者評価の受審施設等の拡大
 - E) 名古屋エリアの経営改善に向けた具体的な対策
- ③ 経営継続資金の確保及び適正管理
 - A) 適正な会計報告
 - B) 月次計算書等の期限内提出
 - C) 事業所単位の経営分析と収支の改善のための具体的な取組の継続
 - D) 資金の効率的かつ安全な運用
 - E) 経営意識の醸成
- ④ 法人機能強化
 - A) 法人のビジョン等の明確化
 - B) 法人関係会議への出席率の向上
 - C) 各種研修等の開催
 - D) 公益的事業の充実

4. 主な施設整備又は廃止等

期日	内 容	備 考
令和元年 6 月 24 日	ジョブサポートフォルテ エレベーター更新 総額：11,880,000 円 施工：サイタ工業(株)中部支社	
令和元年 7 月 31 日	親愛の里紙ふうせん加工所閉所	親愛の里紙ふうせん
令和元年 9 月 30 日	生活介護事業所 紙ふうせんスマイル閉所	親愛の里紙ふうせん分場

5. 会議の開催状況

(1) 理事会

期 日	会議／出欠	議 案 等
令和元年 5 月 28 日(火)	第 119 回理事会	第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び決算について

	理事 6/8 名 監事 1/2 名	第 2 号議案 第 13 期理事、監事の選任について 第 3 号議案 役員及び評議員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定について 第 4 号議案 役員等旅費規程の改定について 第 5 号議案 親愛の里保育園就業規則及び給与規程の改定について 第 6 号議案 定時評議員会の開催について ほか (松川町中央公民館 学習室 1)
令和元年 6 月 5 日(水)	第 120 回理事会 理事 6/8 名 監事 1/2 名	第 1 号議案 第 13 期理事、監事の選任について 第 2 号議案 令和元年 6 月支給の賞与について ほか (松川町中央公民館 学習室 1)
令和元年 6 月 16 日(日)	第 121 回理事会 理事 8/8 名 監事 1/2 名	第 1 号議案 理事長の選任について 第 2 号議案 業務執行理事の選任について 第 3 号議案 常務理事の選任について 第 4 号議案 社会福祉法人親愛の里小委員会の委員の選任について ほか (松川町地域活動支援センター)
令和元年 7 月 4 日(木)	第 122 回理事会 理事 8/8 名 (TV 会議 1 名含む) 監事 2/2 名	第 1 号議案 業務執行理事の選任について(追加選任) 第 2 号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について 第 3 号議案 紙ふうせんスマイルの事業廃止について 第 4 号議案 理事長の報酬について 第 5 号議案 嘱託常勤理事の報酬について 第 6 号議案 評議員会の開催について (親愛の里松川／親愛の里そよかぜ (TV 会議))
令和元年 7 月 30 日(火)	第 123 回理事会 理事 7/8 名 監事 2/2 名	第 1 号議案 職員の人事について 第 2 号議案 職員からの降格希望申出の扱いについて (松川町中央公民館 学習室 3)
令和元年 10 月 29 日(火)	第 124 回理事会 理事 8/8 名 監事 2/2 名	第 1 号議案 ジョブサポートフォルテの定員変更について 第 2 号議案 社会福祉法人親愛の里第一次補正予算案について 第 3 号議案 社会福祉法人親愛の里小委員会運営細則の廃止について ・業務執行理事による前期業務報告 (松川町中央公民館 学習室 1)
令和 2 年 1 月 29 日(水) (決断があったとみなされた日)	第 125 回理事会 (書面審議) 理事 8/8 名 賛成 8 名	第 1 号議案 親愛の里紙ふうせんの「就労移行支援事業」の廃止について

	反対 0 名 監事 2/2 名 異議なし 2 名	
令和 2 年 3 月 10 日(火)	第 126 回理事会 理事 6/8 名 監事 1/2 名 ※理事長欠席のため出席理事全員の署名捺印	第 1 号議案 理事の辞任及び新理事の選任について 第 2 号議案 理事の職務権限規程(別表)の改定について 第 3 号議案 施設長等、重要な役割を担う職員の選任及び解職について 第 4 号議案 福祉・介護職員等特定処遇改善加算の取得について 第 5 号議案 給与規程の改定について 第 6 号議案 令和元年度第 2 次補正予算(案)について 第 7 号議案 令和 2 年度事業計画(案)について 第 8 号議案 令和 2 年度当初予算(案)について 第 9 号議案 第 69 回評議員会の議案について 第 10 号議案 新型コロナウイルス感染拡大防止において、出勤することが著しく困難であると認められる場合の休暇の取り扱いについて (松川町中央公民館 学習室 2)
令和 2 年 3 月 31 日(火) (決議があったとみなされた日)	第 127 回理事会 (書面審議) 理事 7/7 名 賛成 7 名 反対 0 名 ※特利 1 名 監事 2/2 名 異議なし 2 名	第 1 号議案 施設長等、重要な役割を担う職員の選任について ※新型コロナウイルス感染防止のため書面審議となる。

※特利：特別利害関係理事

(2) 評議員会

期 日	会 議	議案等
令和元年 6 月 16 日(日)	第 66 回評議員会 (定時評議員会) 出席 6/9 名 業務執行理事 3 名	第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び決算について 第 2 号議案 第 13 期理事、監事の選任について 第 3 号議案 役員及び評議員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定について 第 4 号議案 役員等旅費規程の改定について 第 5 号議案 親愛の里保育園就業規則及び給与規程の改定について (松川町中央公民館 学習室 1)
令和元年 7 月 17 日(水)	第 67 回評議員会	第 1 号議案 理事長報酬について

(決議があったとみなされた日)	(書面審議) 賛成 9 名 反対 0 名	第 2 号議案 社会福祉法人 親愛の里役員及び評議員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定について 第 3 号議案 嘱託常勤理事報酬について
令和元年 11 月 17 日(日)	第 68 回評議員会	第 1 号議案 ジョブサポートフォルテの定員変更について 第 2 号議案 社会福祉法人親愛の里第一次補正予算案について 第 3 号議案 社会福祉法人親愛の里小委員会運営細則の廃止について ・業務執行理事による前期業務報告 (松川町中央公民館 学習室 1)
令和 2 年 3 月 30 日(月) (決議があったとみなされた日)	第 69 回評議員会 (書面審議) 賛成 9 名 反対 0 名	議案第 1 号 令和元年度第 2 次補正予算(案)について 第 2 号議案 令和 2 年度事業計画(案)について 第 3 号議案 令和 2 年度当初予算(案)について 第 4 号議案 理事の辞任に伴う新しい理事の選任について ※新型コロナウイルス感染防止のため書面審議となる。

- (3) 評議員選任・解任委員会 … なし
- (4) 運営協議会 … なし (新型コロナウイルスのため)
- (5) 業務執行理事会 … 12 回
- (6) 経営会議 … 月例開催
- (7) 人事委員会 … 4 回
- (8) 運営・建設委員会(建設等委員会) … なし (年度途中で建設等委員会に変更)
- (9) 虐待防止委員会 … 8 回
- (10) エリア運営会議 … 月例開催

6. 規程等の整備、改定関係

- (1) 社会福祉法人親愛の里役員及び評議員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定(5/28 理事会、7/17 評議員会)
- (2) 役員等旅費規程の改定 (5/28 理事会)
- (3) 親愛の里保育園就業規則及び給与規程の改定 (5/28 理事会)
- (4) 理事長報酬 (7/4 理事会、7/17 評議員会)
- (5) 嘱託常勤理事報酬 (7/4 理事会、7/17 評議員会)
- (6) ジョブサポートフォルテの定員変更(10/29 理事会)
- (7) 社会福祉法人親愛の里小委員会運営細則の廃止(10/29 理事会、11/17 日評議員会)
- (8) 理事の職務権限規程 (別表) の改定(3/10 理事会)
- (9) 給与規程の改定(3/10 理事会)

7. 役員研修関係

- (1) 日時：令和 2 年 1 月 18 日(土)午後 3 時 30 分から

(2) 場所：寿司政(松川町)

(3) 出席者：理事 5 名、評議員 4 名 監事 0 名 計 9 名

(4) テーマ

① 社会福祉法人制度改革に伴う理事会、評議員会の運営の在り方について
～国の指導監査ガイドラインに基づく理事会・評議員会の運営実務～

② 施設等の改築等整備計画案について

✓ GH 在り方検討会報告～コーポヘルメスの統廃合について

✓ ほっとハート親愛の建て替えについて

③ 親愛の里紙ふうせんの就労移行支援事業の廃止について

④ 長野県による社会福祉法人の一般指導監査結果について

※ 先進施設視察研修は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止(次年度に実施)

8. 公益的事業

(1) 主幹施設：松川町地域活動支援センターあすなろ … 別紙 2

9. 職員配置(事務局)

(R2.3.31)

職名\雇用形態等	正規総合	嘱託職員	計	役職・国家資格等
業務執行理事	0	2	2	常務理事 1(社会福祉士) 財務担当理事 1(総務部長兼務)
事務局員	1	0	1	事務員 1(総務部兼務)
合 計	1	2	3	

【業務執行理事の担当分野】

① 宮下(常務理事) … 法人経営全般、リスクマネジメント

② 牧野 … 財務管理

③ 青木 … 人材育成

④ 大澤 … 支援の充実

10. 職員数及び退職者の状況(R2.3.31)

(1) 職員数：247 名

① 正規職員 108 名、嘱託・パート職員：127 名 計 235 名

② 役員(非常勤)：3 名、評議員(非常員) 9 名 計 12 名

(2) 退職等（H29～令和元年）

雇用形態\年度		平成 29 年度 (人・%)		平成 30 年度 (人・%)		令和元年度 (人・%)		退職者 総数(3 年)
退職者数	正規職員	8	7.4%	8	7.3%	14	13.0%	30
	嘱託・パート職員	12	10.9%	18	15.7%	22	17.3%	52
	合 計	20	9.2%	26	11.6%	36	15.3%	82

※1 嘱託職員は、パート職員に算入している。

※2 人数には、非常勤役員、評議員等は含まれていない。

(3) 正規職員退職

- ① 長野エリア 4 人（親愛の里松川 2）
- ② 名古屋エリア 4 人（ジョブサポートフォルテ 2）
- ③ 刈谷エリア 6 人

※1 結婚、転居、職場の人間関係等による退職（親愛の里保育園）

※2 入職後 3 年前後の職員目立つ。

(4) 嘱託・パート職員退職

- ① 長野エリア 16 人（親愛の里松川 4、コーポヘルメス 4、親愛の里夢工房 3、エコール親愛 3 ほか）
- ② 名古屋エリア 4 人
- ③ 刈谷エリア 2 人

※1 長野エリアは、第 2 定年(65 歳)等、年齢による退職が半数以上となっている。

※3 人間関係や精神面で退職するケースも複数あり。

(5) 産前産後休暇・育児休業取得者 9 人

※ 代替職員の確保に課題あり

【対応策】

- ① 現在、離職者防止のため人材育成・公益的事業部が中心となり、個別に相談を受けているほか、アンケート調査、定着に向けて各種研修制度の見直しを実施中。
- ② ライフステージに応じた働き方の一環として限定正規職員制度の導入（R2 年度内）
- ③ 大手人材広告企業の活用、学校訪問、親愛ツアー等の実施、各種面接会への参加
- ④ HP のリニューアル及びスマートフォン対応の HP に変更
- ⑤ 職員等からの紹介制度
- ⑥ グループホームの統廃合により効率的な職員配置
 - 運営上、正規職員の配置が多くなってきている。今後のパート職員の確保についても懸念される状況から、兼務職位の配置、統廃合による効率的な配置等を検討中。

※ 給与の問題で退職する人は少ないと思われる。

11. 人事、制裁処分関係

(1) 4/1 新エリア・マネージャー 1 名（昇格）

- (2) 9/1 願いによる降格（エリア・マネージャーから所長） 1名
- (3) コンプライアンス関係（人事委員会／虐待防止委員会関係）
 - ① ハラスメント：2件
 - パワーハラスメント：1件
 - セクシャルハラスメント：1件
 - ② 内部通報：1件
 - ③ 虐待：0件
- (4) 制裁処分等について
 - ① 9/1 付降格人事：2名（苦情対応、願いによる降格）
 - ② 9/1 付減給処分：1名（降格処分となった所長の任命責任）
 - ③ 戒告処分：1名（コンプライアンス違反）
 - ④ 厳重注意：6名（苦情対応、ハラスメント、コンプライアンス違反等）
- (5) 国家資格取得（資格取得補助制度の活用）
 - ① 社会福祉士 1名
 - ② 介護福祉士 1名

12. 重要性の高い所轄庁への届出や承認事項

- (1) 親愛の里松川
 - ① 重度障害者支援加算取得（7月～15→28名）
- (2) コーポヘルメス
 - ① 看護職員配置加算取得（6月～）
 - ② 重度障害者支援加算（10月～新規8名）
- (3) 親愛の里紙ふうせん
 - ① 紙ふうせんスマイル廃止(9/30)
 - 定員変更：就労継続支援B型事業34名、就労移行支援事業6名（40名）
- (4) 親愛の里夢工房
 - ① 重度障害者支援加算取得（7月～6名）
 - ② 多機能型事業所から生活介護事業所に変更（8月～）
 - ③ 人員配置体制加算Ⅲ（2.5：1）取得（3月～）
 - ④ 重度障害者支援加算に関する届出（3月～新規4名）
 - ※ 障がい者サポートセンター親愛（行動援護事業）との兼務発令（11月～）
- (5) エコール親愛
 - ① 福祉専門職配置加算Ⅲ取得（5月～）
- (6) ぱれっとハウス
 - ① 人員配置体制加算Ⅰ（4：1）取得（12月～）
- (7) ジョブサポートフォルテ
 - ① 自立訓練（生活訓練）事業の廃止（11/30）

→ 定員変更：就労継続支援 B 型事業 40 名、就労移行支援事業 10 名（50 名）

② 第三者評価受審（6 月）（株）中部評価センター

13. 所轄庁（県、市町村）による一般指導監査、実地指導等

- (1) 7/10(水) 親愛の里保育園（県・市）
- (2) 9/11(水) エコール親愛（県）
- (3) 11/8(金) 親愛の里夢工房（県）
- (4) 11/13(水) 親愛の里松川（県）
- (5) 11/29(金) 法人（県）
- (6) 2/26(水) ほっとハート親愛 喬木村さくらの園（県）
- (7) その他

改善報告済み

① 10/23(水) 厚生年金保険・全国健康保険協会管掌健康保険被保険者の資格及び報酬等の調査

- ・ 調査担当者：飯田年金事務所 厚生年金適用調査課 1 名
- ・ 法人の顧問社会保険労務士同席
- ・ 指摘事項：なし

14. 主な改修工事、設備整備及び公用車の整備等

(1) 改修工事、設備整備等

(円)

事業名	事業費総額	補助団体等	概要等	備考
ジョブサポートフォルテ エレベーター改修工事	11,880,000	—	老朽化エレベーター の更新工事	【施工業者】（株）サイタ工業 令和元年 6 月 24 日完了
コーボ宮坂 ブロック塀改修工事	1,188,000	長野県 (891,000)	建物西側ブロック塀 改修	【施工業者】 林材木店 令和元年 7 月施工
親愛の里保育園 築山修繕工事	2,999,700	—	築山全面改修	【施工業者】 スズキ教材(株) 令和元年 9 月 28 日完了
親愛の里松川 にばん星床改修工事	979,000	—	シロアリ駆除・畳替 え	【施工業者】 鈴木工務店 令和 2 年 1 月 31 日完了
4 事業	17,046,700	891,000		

(2) 公用車等の整備等

(円)

車種等	事業費総額	補助団体等	備考
スズキ	740,000	—	配置先：親愛の里夢工房

ワゴン R			納車：R 元.6.1
ホンダ ステップワゴンスパーク (7 人乗り)	600,000	—	配置先：親愛の里夢工房 納車：R 元.10.1 (本体：335,400、修理費名義変更費用等)
トヨタ ノア ステーションワゴン(8 人乗り)	2,923,800	—	配置先：親愛の里紙ふうせん 納車：令和 2 年 1 月 22 日(リース契約 5 年)
合 計	4,263,800	—	

15. 添付資料

- (1) 5 か年計画評価表（平成 30 年度～令和 4 年度） … 別紙 1
- (2) 公益的事業の実施状況 … 別紙 2
- (3) 障がい福祉サービス施設・事業所等一覧 … 別紙 3
- (4) 体系別福祉サービス数及び定員等一覧 … 別紙 4
- (5) 法人、施設・事業所運営図 … 別紙 5
- (6) 法人の沿革、理念、職員の使命、人事ポリシー、職員倫理綱領 … 別紙 6

以上

《5か年計画(平成30年度～令和4年度)》

1 人材確保、定着、育成制度の構築

項 目	取組内容、年度等	評価
・確保：人材確保の窓口の多様化と多様な人材の確保	・HPの改善、多様な就職斡旋機関の活用（ハローワーク、マイナビ、職業安定協会、県社協等）、学校訪問、職員紹介等（H30～） ・採用者に対するアンケート調査（H30～） ・限定正規職員制度の整備、導入（R2年度内）	C+
・定着、育成：自分の成長を感じ、働き易い、健全な職場	・法人研修センターの設置・運営（H30～）… 人材育成部による各種研修の整理・統合 ・キャリアパスとリンクした研修制度への改善（R元～） ・資格手当等職員処遇の改善（H29～） ・福祉・介護職員等特定処遇改善加算の取得（R2～） ・国家資格取得への支援制度の改善（H30～）… 学費等貸付制度等 ・人事考課制度の改善（人事考課表の見直し）（R元～進行中） ・ライフスタイルに合わせた多様な働き方の制度化（限定正規職員制度：R2年度内導入） ・男性育児休業の取得率アップ（R元～）… 達成率の設定 ・有給休暇の取得率アップ 50%→60%（R元～） ・適切な労働時間の管理と業務の見直しによる超過勤務時間の削減（R元～）… 削減目標の設定 ・職員表彰制度の検討（R2～）… 5年、20年表彰制度等の検討 ・離職率の推移：正規職員7.3%→13%（保育士の離職目立つ）、パート職員：157%→17.3% 全体：11.6%→15.3% ・働き方改革への対応（R元）… 同一労働同一賃金実態調査及び改善	C+
・その他必要な事項		B-

2 コンプライアンス意識の醸成 … 人材育成部

3 福祉サービスの充実、整備

【評価】A：目標以上 B：ほぼ目標達成 C：達成していない

項 目	取組内容、年度等	評価
・中・長期計画等の作成	・財務の裏付けによる整備計画等	C
・日中活動系事業所の整備	・高木村さくらの園（H30）、にばら星開所（R元）、ほっとハート親愛改修計画等（～R4）	C+
・グループホームの統合、改修	・ユニット化等の改修（～R4） … コーポヘルメス、コーポ原町、コーポ宮坂等計画案作成	C+
・事業拡大の検討	・人材の確保の下での新規事業計画	C
・既存事業所の継続の可否の検討	・人材の確保状況を踏まえた事業の見直し（R元～） ・親愛の星紙ふうせん加工所開所（R元年7月末）、紙ふうせんスマイル開所（R元年9月末）	C
・その他必要な事項	・各古鷹エリアの経営改善に向けた組織づくりの検討	C

4 経営継続資金の確保及び適正管理

【評価】A：目標以上 B：ほぼ目標達成 C：達成していない

項 目	取組内容、年度等	評価
・適正な内部留保の確保	・計画的な内部留保計画作成	C
・適正、効率的な資金運用	・資金運用規程による効率的な資金運用（H30～）	B
・中長期設備投資計画管理	・施設等の建て替えと資金手当計画の作成	C
・経営診断の実施	・TKC会計システム導入（H30～）及び（独法）福祉医療機構の経営診断の受診の検討（R2～）	C+
・その他必要な事項		

5 法人機能強化

【評価】A：目標以上 B：ほぼ目標達成 C：達成していない

項 目	取組内容、年度等	評価
・経営組織のガバナンス	・理事（会）、評議員（会）、監事等の責任、役割の明確化、出席率のアップへの取組（80％へ）（R元～）	C+
・公益的事業の充実	・まつかわ子ども福祉教室、各種セミナー開催等（H30～）、法人後見制度の検討（R2～） ・あおぞら教室（R元年年度未開校）	B-
・事業運営の透明性の向上	・HPの充実と情報開示（H30～）	B
・財務規律の強化	・速やかな月次報告、内部牽制の強化、資金移動等の内規等の整備（R元～）	C
・第三者評価の受審	・ジョブサポートフォワード受審（R元）	B
・当事者参加による法人経営	・運営協議会の設置等（H30～）	B
・その他必要な事項		

※ 太文字と斜字：令和元年度関係事項

公益的事業
令和元年度あおぞら教室実施状況一覧

通算回数	実施日 (曜)	内 容	場 所	当事者	講師等	スタッフ	ボランティア	合計	備考
第253回	4月20日 (土)	お花見ランチ、群読	馬見塚公園 (駒ヶ根市)	19	0	6	0	25	
第254回	5月25日 (土)	カラオケ大会	JOYJOY (飯田市)	22	0	9	0	31	
第255回	6月22日 (土)	あおぞら映画祭	松川町中央公民館	10	0	6	0	16	
第256回	7月27日 (土)	ふれあい祭り (流しそうめん)	飯島町地域活動支援センター やすらぎ	23	0	7	6	36	やすらぎ共催
第257回	8月24日 (土)	お菓子作り (ちぎりパン他)	ふれあい工房	12	0	6	0	18	
第258回	9月28日 (土)	焼肉大会	松川青年の家	13	0	4	0	17	
第259回	10月26日 (土)	ハロウィンパーティー	松川町地域活動支援センター あすなろ	11	0	6	0	17	
第260回	11月16日 (土)	食べ物カードで献立ゲーム	松川町地域活動支援センター あすなろ	10	1	3	0	14	講師：松川町保健師
第261回	12月21日 (土)	クリスマス会	松川町中央公民館	21	0	8	0	29	
第262回	1月25日 (土)	体操	コスモス園 (飯島町)	9	0	4	0	13	
第263回	2月29日 (土)	料理教室 (タイカレー他)	ふれあい工房	*コロナウイルスの為中止					
第264回	3月28日 (土)	あおぞら教室 閉校式	松川町中央公民館	*コロナウイルスの為延期					
計		実施10事業		150	1	59	6	216	

○実施状況

例年通り、月1回 (原則第4土曜日) に実施した。法人内のグループホームや地域活動支援センター、サポートセンター・親愛、エコー親愛の利用者を中心に参加があった。
あおぞら教室は今年度で終了となったが、3月に予定していた閉校式がコロナウイルスの感染防止のため延期となっている。

令和元年度
あおぞら教室決算報告書

収入金額	160,644 円
支出金額	160,644 円
差引残額	0 円

《収入》

単位：円

項 目	金 額	備 考
親愛の里補助金	92,144	公益的事業（本部）
参加費	68,500	
合 計	160,644	

《支出》

単位：円

項 目	金 額	備 考
4月：お花見ランチ、群読	21,682	弁当代、飲み物等
5月：カラオケ大会	18,740	カラオケ代、飲み物等
6月：あおぞら映画祭	3,365	レンタル料、飲み物等
7月：ふれあい祭り（流しソーメン）	33,015	材料費、消耗品等
8月：お菓子作り（ちぎりパン）	4,956	材料費等
9月：焼肉大会	13,000	材料費、会場使用料等
10月：ハロウィンパーティー	9,521	材料費等等
11月：食べ物カードで献立ゲーム	1,693	飲み物等
12月：クリスマス会	54,672	材料費等
1月：体操	0	
2月：料理教室（タイカレー）	0	コロナウイルスのため中止
3月：あおぞら教室閉校式	0	コロナウイルスのため延期
合 計	160,644	

公益的事業
令和元年度まつかわこども福祉教室“あいむ”事業報告書

社会福祉法人 親愛の里

期 日	事 業 名	内 容 等	参加者				備 考
			児童	Vr.等	スタッフ	計	
5/19(日)	・開校式 ・町の探検隊！	・今年の児童、スタッフ等の顔合わせ ・私たちの住んでいる町の道や建物を車いすに乗ったり、押したりしながら探検する。マップに気づいた箇所を書き込み発表した。	11	0	7	18	於 松川町社会福祉協議会
7/21(日)	・デイキャンプ 『夏の外ごはん～絶品カレーを作ろう～』	・悪天候のため、川遊びは中止となりレクリエーションを行った。カレーとピザをみんなで作って食べた。	11	0	10	21	於 老人福祉センター
10/20(日)	・松川町ふれあい広場参加	・地域共生社会に向けた町のイベントへの参加を通じて、地域の理解や課題、支え合い等を体験する。 ・松川町のイベントで焼きそば、フランクフルトを調理して販売する。 ・みんなで協力してお客さんにおいしく食べてもらう。	10	0	6	16	於 名子原体育館
11/23(土)	・ボランティア体験ツアー(東京デイズニールランド)	・TDL の障がいがあっても楽しめる工夫や接客、サービスを体験する。 ・車いす利用者等とグループで行動し、車イス操作体験や交通機関を利用する上でのパーキングやトイレ等になされている配慮、工夫等を理解する。 ・当事者の視点に立った道案内を体験する。	14	4	8	26	於 東京デイズニールランド
1/26(日)	・もちつき大会 ・障がい者スポーツ体験	・お餅つきを通して、地域の方との交流をする。 ・フライングディスクを体験する。	12	2	6	20	於 松川町社会福祉協議会

3/8(日)	・障がい者スポーツ「ボッチャ」体験 ・閉校式	・コロナウイルスのため中止 ・参加児童には 1 年のまとめを提出してもらい、修了証を送付した。	0	0	0	0
	合計		58	6	37	101

主管事業所：松川町地域活動支援センター あすなろ

○実施状況

- ・今年度は 16 名の登録があり、全 6 回の事業を企画した。3 月の閉校式は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

○課題等

スタッフが不足しており、法人内でも検討が必要である。また、地域のボランティアの協力が得られるように呼びかけが必要である。

令和元年度
まつかわこども福祉教室決算報告書

収入金額	686,225 円
収入金額	492,521 円
差引残額	193,704 円

《収入》

単位：円

項 目	金 額	備 考
I 補助金収入	285,000	
親愛の里	150,000	
松川町社会福祉協議会	130,000	
ボランティア連絡協議会	5,000	グループ助成金
II 参加費	124,400	
年間負担金	16,000	@1,000×16人
7月行事負担金	5,000	@500×10人
11月行事負担金	101,200	大人：7,700×4人 中人：6,800×1人 小人：5,300×12人
1月行事負担金	2,200	@200×11人
III 雑収入	95,351	
ふれあい広場	95,350	模擬店収入(焼きそば、フランクフルト)
利息	1	
IV 前期繰越金	181,474	
合 計	686,225	

《支出》

単位：円

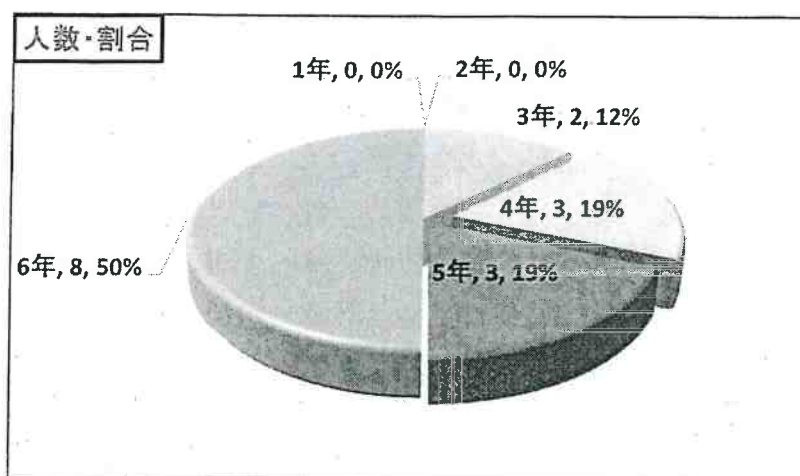
項 目	金 額	備 考
5月：開校式、町の探検隊	4,308	保険代、雑費他
7月：デイキャンプ	11,458	保険代、食材費、雑費他
10月：松川町ふれあい広場	46,283	材料費
11月：ボランティア体験ツアー	409,928	保険代、旅行会社依頼料、チケット代他
1月：餅つき交流会	11,052	保険代、もち米、もち加工代金等
3月：閉校式、ボッチャ体験⇒中止	4,452	修了証作成費他
雑費	5,040	スタッフ会議費
合 計	492,521	

令和元年度まつかわこども福祉教室“あいむ”
参加児童・生徒数及びスタッフの状況

【児童、生徒等】

(人)

区分	小学生							小計	中学生			小計	高校生			小計	合計
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年			1年	2年	3年		1年	2年	3年		
人数	0	0	2	3	3	8	16		0	0	0	0	0	0	0	0	16

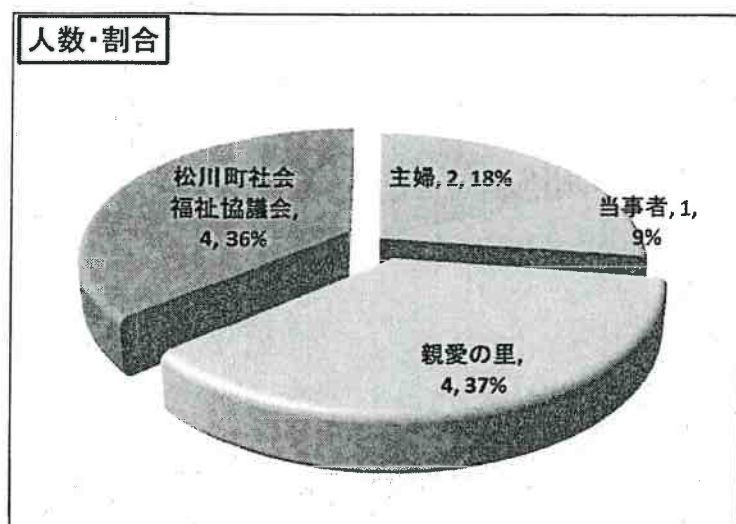


※ 対象児童：小学校3年生～中学3年生

【スタッフ】

(人)

区分	主婦	当事者	親愛の里	松川町社会福祉協議会	合計
人数	2	1	4	4	11



※1 当事者：障がいのあるスタッフ

社会福祉法人 親愛の里 障がい福祉サービス施設・事業所一覧

令和 2 年 3 月 31 日

《長野支援事業所》

※ 居住系サービス

種 別 等	名 称	事業及び定員等	役割・説明
障害者支援施設	親愛の里松川 (松川町)	定員：40 名 / ショートステイ：4 名 施設入所支援：40 名 生活介護事業：40 名	H9.10.1 開所 H21.10.1 新体系移行 3 障がい対象 重度障がい者支援 / 高齢知的障がい者 支援 / 地域生活移行支援 / 在宅支援等 H29.6 定員削減(50→40 名)
	コーポヘルメス	定員：38 名 (内サテライト：2 名) / ショートステイ：1 名	住まいの場の提供
共同生活援助事業所	コーポヘルメス (松川町)	7 名	H13.10.1 開所
	コーポ原町 (高森町)	6 名	H19.5.1 開所
	コーポ宮坂 (松川町) + サテライト...コーポ松上	7 名 (+サテライト 2 名)	H20.4.1 開所 (サテライト：H29.2)
	コーポ宮田 (宮田村)	4 名	H24.4.1 開所
	コーポ宗源原 (松川町)	7 名	H25.7.1 開所
	コーポ新井 (松川町)	5 名 (+ショートステイ 1 名)	H29.5.1 開所

※ 日中活動系サービス

多機能型事業所	ほっとハート親愛 (松川町)	定員：30 名 生活介護事業 20 名 就労継続支援 B 型事業 10 名 (分場：蕎木村さくらの園)	H13.10.1 開所 日中活動の場の提供 H30.4.1 就労継続支援 B 型事業開始
---------	----------------	--	--

就労継続支援 B 型事業所	親愛の里シンフォニー (宮田村)	定員：20 名	平成 13.4.1 開所 日中活動の場の提供
就労継続支援 B 型事業所	親愛の里紙ふうせん (高森町)	定員：30 名	H16.10.1 開所 日中活動の場の提供
生活介護事業所	親愛の里夢工房 (宮田村)	定員：20 名	H25.10.1 開所 日中活動の場の提供
地域活動支援センター	松川町地域活動支援センター あすなろ (松川町)	Ⅲ型 (機能強化型)	H22.4.1 松川町委託事業 日中活動の場の提供 R 元.4.1 機能強化型
地域活動支援センター	飯島町障がい者地域活動支援センター やすらぎ (飯島町)	Ⅲ型	H26.4.1 飯島町指定管理事業 日中活動の場の提供

※ 障害児通所支援(児童福祉法)

放課後等デイサービス	エコール親愛 (松川町)	定員：10 名	H23.5.1 開所 発達障がい児等の放課後支援等
------------	--------------	---------	------------------------------

※ 訪問系サービス

居宅介護事業所	障がい者サポートセンター親愛 (松川町)	行動援護事業	H21.8.1 開所
---------	----------------------	--------	------------

※ 特定相談支援事業

相談支援事業所	松川障がい者相談支援センター (松川町)	特定相談支援・障害児相談支援事業	H24.12.8 指定
---------	----------------------	------------------	-------------

《名古屋支援事業所》

※ 居住系サービス

種 別 等	名 称	事業及び定員等	役割・説明
共同生活援助事業所	ぱれっとハウス	定員：14名	住まいの場の提供
	ぱれっとハウス（中村区）	6名	H17.7.1 開所
	アウエエテ（中村区） コーポ本陣（中村区）	6名 2名	H17.11.1 開所 H26.8.1 開所

※ 日中活動系サービス

多機能型事業所	ジョブサポートフォルテ（中村区）	定員：50名 就労移行支援事業 10名 就労継続支援B型事業 40名 就労定着支援事業	H17.10.1 開所 日中活動の場の提供 H30.4.1 ワークショップ虹と移転 統合 H30.12.1 就労定着支援事業開始
地域活動支援センター	親愛の里そよかぜ（中村区）	I 型	H15.10.1 開所 日中活動の場の提供
地域活動支援センター	ハートランド森（熱田区）	I 型	H18.10.1 経営移管 日中活動の場の提供
地域活動支援センター	クオーレ（南区）	I 型	H26.4.1 開所 日中活動の場の提供

※ 一般相談支援事業

相談支援事業	中村区障害者基幹相談支援センター（中村区）	一般／特定／障害児相談支援事業	H15.10.1 開所 H26.4 月変更（コンソーシアム事業）
--------	-----------------------	-----------------	-------------------------------------

相談支援事業	熱田区障害者基幹相談支援センター（熱田区）	一般／特定／障害児相談支援事業	H18.10.1 開所 H26.4 月変更（コンソーシアム事業）
相談支援事業	南区障害者基幹相談支援センター（南区）	一般／特定／障害児相談支援事業	H26.4.1 開所（コンソーシアム事業）

《刈谷支援事業所》

種 別 等	名 称	事業及び定員等	役割・説明
保育所	親愛の里保育園（刈谷市） 一時保育事業 病児・病後児保育事業 子育て支援センター	定員：135 名 定員：10 名 定員：4 名 —	H22.10.1 開所（経営移管） H26.4.1 一時保育事業開所 H26.8.1 移転開所（定員 90→120 名） 病児・病後児保育、子育て 支援センター開所

《公益的事業等》

事 業 名 等	名 称	概 要	備 考
福祉等体験事業	まつかわ子ども福祉教室“あいむ” （松川町）	①高齢者や障がいのある人、外国の人等とのふれあいを通じて、思いやりの心を育てる。 ②様々な活動を通じて、私たちの生活する地域について学ぶ。	H7.4 開始（松川町社会福祉協議会、運営ボランティア等と協働で開催）
学習・啓発事業	・オープン学習会 （松川町、名古屋市等）	①講演会の開催 ②各種学習会の開催	
自殺対策・精神福祉相談窓口事業	自殺対策・精神福祉相談窓口事業	・受託：松川障がい者相談支援センター	松川町事業 H29 年度～
—	宮田村地域活動支援センター	・施設長業務（非常勤）及び相談業務の受託	

※ あおぞら教室：平成7年5月～令和元年3月まで開催 … 在宅障がい者の生涯学習の場の提供／※ 親愛の里福祉大会：開催なし

令和元年度体系別福祉サービス数及び定員等一覧

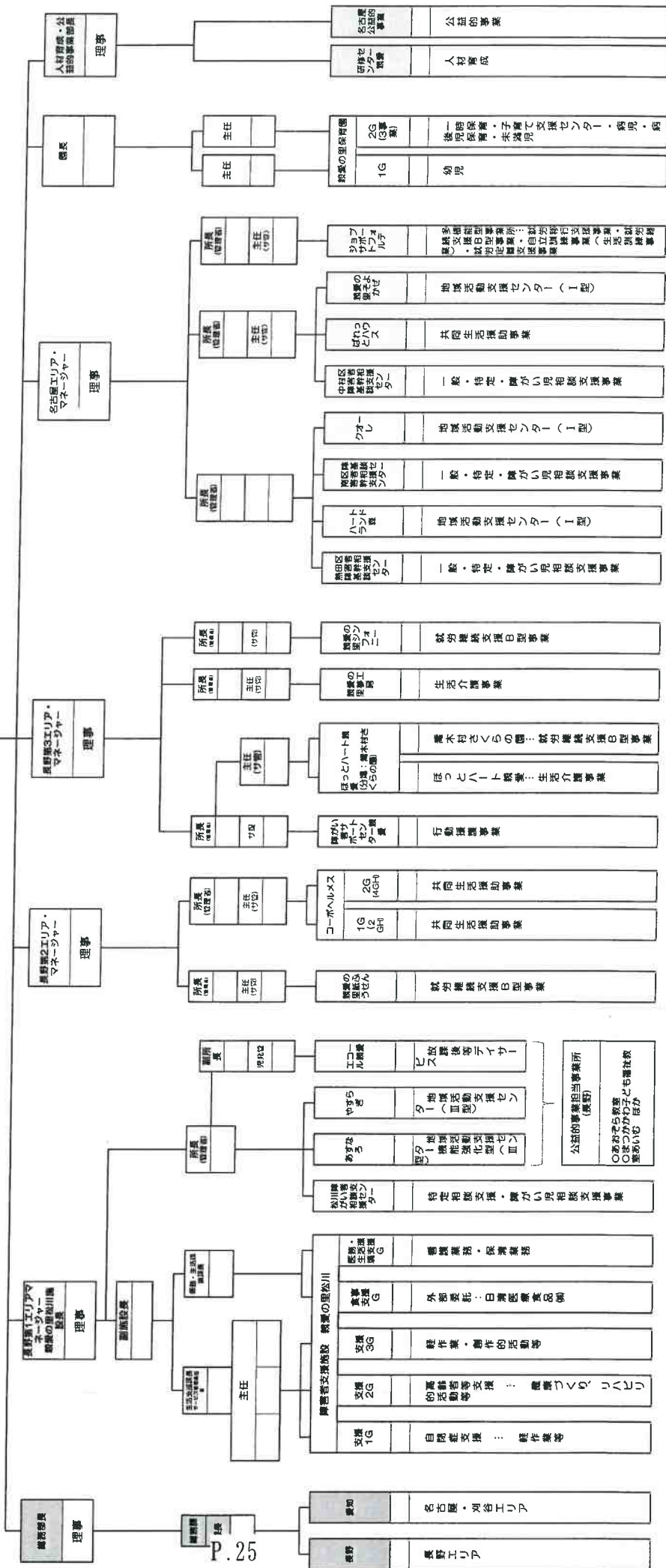
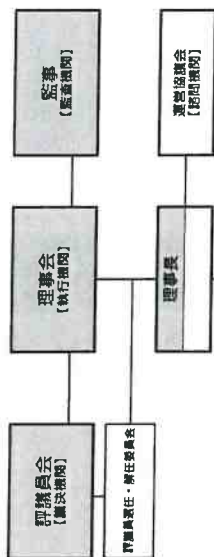
令和2年3月31日

区分	福祉サービス	長野支援 事業所	定員 等	名古屋支 援事業所	定員等	刈谷支援 事業所	定員	合 計	
								サービス数	定員
居住系 サービス	障害者支援施設 (施設入所支援)	1	40					1	40
	共同生活援助事業 (グループホーム6+サテライト2)	6	38	3	14			9	52
	ショートステイ	2	5					2	5
	(小 計)	9	83	3	14	0	0	12	97
日中活動系 サービス	生活介護事業	2	40					2	40
	就労継続支援B型事業	3	60	1	40			4	100
	就労移行支援事業			1	10			1	10
	生活訓練事業							0	0
	就労定着支援事業			1	0			1	0
	地域活動支援センター (Ⅰ型)			3	60			3	60
	地域活動支援センター (Ⅲ型、機能強化型1含む)	2	20					2	20
	(小 計)	7	120	6	110	0	0	13	230
訪問系 サービス	居宅介護事業 (行動援護事業)	1	15					1	15
	(小 計)	1	15	0	0	0	0	1	15
障害児 通所支援	放課後等デイサービス	1	10					1	10
	タイムケア	1	0					1	0
	(小 計)	2	10	0	0	0	0	2	10
相談 支援事業	障害者基幹相談支援センター			3	0			3	0
	特定相談支援センター	1	0					1	0
	(小 計)	1	0	3	0	0	0	4	0
保育所 等	保育所					1	135	1	135
	一時保育事業					1	10	1	10
	病児・病後児保育					1	4	1	4
	子育て支援センター					1	10	1	10
	(小 計)	0	0	0	0	4	159	4	159
合 計		20	228	12	124	4	159	36	511

※ 公益の事業(法人)：まつかわこども福祉教室、あおぞら教室ほか

令和元年度社会福祉法人 親愛の里
法人、施設・事業所運営図

令和2年3月31日



法人の沿革

《運営の経過及び主な施設整備の状況》

期 日	内 容
平成 7 年 5 月	在宅障害児・者の生涯学習の場として、下伊那郡松川町で「おおぞら教室」を開始する。(毎月開催)
平成 8 年 4 月 1 日	自主運営：在宅障害者への援助・支援試行(1 年間)
平成 8 年 7 月 1 日	社会福祉法人 親愛の里設立認可
平成 9 年 6 月 30 日	知的障害者更生施設 親愛の里松川竣工
平成 9 年 10 月 1 日	下伊那郡松川町に知的障害者更生施設 親愛の里松川開所 (定員 30 名 ショートステイ 4 名)
平成 10 年 4 月 1 日	社会福祉法人 親愛の里倫理綱領制定
平成 12 年 10 月 1 日	知的障害者更生施設 親愛の里松川増設 (定員 50 名)
平成 12 年 10 月 1 日	自動車総連・器和産業労働組合より、親愛の里松川に車両寄贈 ハイエース 10 人乗り)
平成 13 年 4 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者小規模作業所 ワークショップ虹開所 (定員 15 名)
平成 13 年 4 月 1 日	上伊那郡宮田村に障害者等共同作業所 宮田村福祉作業所開所 (宮田村委託事業)
平成 13 年 10 月 1 日	下伊那郡松川町に知的障害者デイサービス事業 松川町障害者デイサービスセ ンター親愛開所 (定員 8 名) (松川町委託事業)
平成 13 年 10 月 1 日	下伊那郡松川町に知的障害者地域援助事業(グループホーム) コーポ ヘルメス 開所 (定員 7 名)
平成 14 年 10 月 5 日	松川町障害者デイサービスセンター親愛及びコーポ ヘルメス開所 1 周年記念式 典開催
平成 15 年 4 月 1 日	措置制度から支援費制度への変更に伴い、指定施設事業者及び指定居宅支援事業 者の指定を受ける。
平成 15 年 4 月 1 日	措置費制度から支援費制度への変更に伴い、コーポ ヘルメスの定員変更(6 名)
平成 15 年 10 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活支援センター 親愛の里そよかぜ開所
平成 15 年 11 月 1 日	おおぞら教室が通算 100 回となる。
平成 16 年 10 月 1 日	下伊那郡高森町に精神障害者通所授産施設 親愛の里紙ふうせん開所(定員 20 名)
平成 16 年 10 月 1 日	強復行動障害特別支援加算事業開始(親愛の里松川)
平成 16 年 10 月 31 日	おおぞら教室 100 回記念事業開催 中国大賞河津技術団及び JIZO 太鼓公演
平成 16 年 3 月 31 日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：リフト付ハイエース(10 人乗り)
平成 17 年 7 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者小規模作業所 ショブサポート f(フォルテ)開所 (定員 15 名)

平成 17 年 7 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活援助事業(グループホーム) ぱれっとハウ ス開所 (定員 5 名)
平成 17 年 11 月 1 日	名古屋市中村区に精神障害者地域生活援助事業(グループホーム) アウェイテ開 所 (定員 4 名)
平成 17 年 12 月 1 日	松川町内に自活訓練用家屋(3DK)を 1 棟雇用
平成 18 年 4 月 1 日	障害者自立支援法施行
平成 18 年 6 月 14 日	宮田村に次世代育成支援事業として、宮田村つどいの広場を開所 (宮田村委託事業)
平成 18 年 10 月 1 日	松川町障害者デイサービスセンター親愛が経過的デイサービスとして継続運営
平成 18 年 10 月 1 日	名古屋市中村区家族会経営の、精神障害者小規模作業所 ハートランド森の経営 委託に伴い、新たに松川区に同作業所を設置
平成 18 年 10 月 1 日	精神障害者地域生活支援センター 親愛の里そよかぜが、中村・中川障害者地域 生活支援センター(指定相談支援事業)及び精神障害者地域活動支援センター 親 愛の里そよかぜ(Ⅰ型)として継続運営
平成 18 年 10 月 1 日	精神障害者小規模作業所 ショブサポート f(フォルテ)及びワークショップ虹が、 多機能型事業所 ショブサポートフォルテとして継続運営 (定員：就労移行支援 6 名/就労継続支援(B 型) 18 名/自立訓練(生活訓練) 6 名) 主たる事業所：ショブサポート フォルテ 従たる事業所：ワークショップ虹
平成 18 年 10 月 1 日	グループホーム ぱれっとハウス及びアウェイテが、共同生活援助・共同生活介 護事業所 ぱれっとハウスとして事業運営 (共同住居：ぱれっとハウス・アウェイテ)
平成 18 年 10 月 1 日	熱田・酒障害者地域生活支援センター(指定相談事業)を開始
平成 19 年 4 月 1 日	経過的デイサービス 松川町障害者デイサービスセンター親愛が多機能型事業所 ぱれっとハート親愛として継続運営(定員：生活介護 6 名/自立訓練(生活訓練) 14 名)
平成 19 年 4 月 1 日	グループホーム コーポヘルメスが共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ ヘルメスとして事業継続
平成 19 年 4 月 1 日	精神障害者小規模作業所 ハートランド森が、作業所型地域活動支援センター ハ ートランド森(Ⅱ型)として事業継続
平成 19 年 4 月 1 日	障害者等共同作業所 宮田村福祉作業所が、地域活動支援センター(Ⅲ型)として継 続運営
平成 19 年 5 月 1 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ原町を高森町下市田に開所 (定員 3 名)
平成 19 年 11 月 13 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ原町改修工事竣工(12 月から定員 3 名・6 名に変更)
平成 20 年 1 月 31 日	多機能型事業所 ぱれっとハート親愛増設工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業：基盤整備事業 18,596,340 円 (特例交付金：18,000,000 円)
平成 20 年 1 月 31 日	コーポ宮坂及び障がい者サポートセンター親愛整備事業竣工 障害者自立支援対策特別対策事業：基盤整備事業 25,230,500 円 (県単補助金：5,000,000 円 特例交付金：4,500,000 円 日本財団助成金： 6,100,000 円)
平成 21 年 3 月 31 日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川：セレナ(8 人乗り)
平成 20 年 4 月 1 日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ宮坂を松川町元大島に開所 (定員 7 名)

平成20年4月1日	地域活動支援センター 宮田村福祉作業所(Ⅲ型)が自立訓練(生活訓練)事業所に移行し、名称が親愛の里シンフォニーとなる
平成20年7月19日	親愛の里松川設立10周年記念式典及び記念映画上映会を松川町中央公民館にて開催 映画: 紙子・その魂〜天使のピアノ〜
平成20年7月19日	法人のマスコミキャラクター「親愛ちゃん」制定
平成21年2月27日	親愛の里松川新居住棟(自立訓練棟)竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(建盤整備事業) 37,485,000 円 (特別交付金: 18,000,000 円) 定員: 7 名 建築面積: 225.66 m ² (床面積: 216.13 m ²) 構造: 木造平屋造
平成21年2月27日	親愛の里紙ふうせん増築工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(建盤整備事業) 17,430,000 円 (特別交付金: 17,430,000 円) 増築面積: 78.96 m ² 構造: 鉄骨平屋造
平成21年2月27日	親愛の里シンフォニー改修工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(建盤整備事業) 19,282,500 円 (特別交付金: 18,000,000 円) 内容: 喫茶店、台所、トイレ、外壁、作業室等の改修
平成21年2月27日	コーポヘルメス改修工事竣工 障害者自立支援対策特別対策事業(建盤整備事業) 1,800,000 円 (特別交付金: 1,800,000 円) 内容: 浴室の改修ほか
平成21年4月1日	精神障害者通所療育施設 親愛の里紙ふうせんが多機能型事業所に移行すると共に、多機能型事業所 ほっとハート親愛との事業統合を行い、新たに多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん(定員24名)として継続運営 (主たる事業所 親愛の里紙ふうせん 定員: 就労継続支援事業6名/就労継続支援(B型)18名/従たる事業所 ほっとハート親愛 定員: 自立訓練(生活訓練)10名/生活介護10名)
平成21年5月24日	親愛の里「輝いて生きよう」制定 作詞: 加藤 孝正(理事長) 作・編曲: 小寺 富士雄 うた: 宋岡 小百合 スミス紀美代
平成21年8月1日	下伊那郡松川町のコーポ宮坂内に行動支援事業所 障がい者サポートセンター 親愛を併設開所
平成21年10月1日	多機能型事業所 親愛の里紙ふうせんが、多機能型事業所 親愛の里紙ふうせんと同ほっとハート親愛とに分かれ継続運営 多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん 定員24名(就労継続支援事業6名/就労継続支援(B型)18名) 多機能型事業所 ほっとハート親愛 定員20名(自立訓練(生活訓練)10名/生活介護10名)
平成21年10月1日	上伊那郡宮田村に親愛の里シンフォニーの従たる事業所として親愛の里夢工房を開所し、併せて自立訓練(生活訓練)事業所 親愛の里シンフォニーを多機能型事業所 親愛の里シンフォニー(定員20名)として継続運営
平成21年10月1日	知的障害者更生施設 親愛の里松川が新体系へ移行し、障害者支援施設 親愛の里松川として継続運営(生活介護事業50名)
平成22年7月19日	親愛の里書庫制定 作詞: 関 羽子(職員) 作曲: 小山 富弘 うた: 利用者、職員有志 振付: 太鼓: 戸田 達男
平成22年9月30日	親愛の里松川スプリングラウンジ設置工事 工事費総額: 33,390,000 円 … 松田・南信株式会社 飯田支店 設計監理費: 997,500 円 … 鈴木建築設計事務所 (社会福祉施設等耐震化等特別対策事業補助金 25,042,000 円)

基本理念: 人権の保障と幸福を共にする

平成22年10月1日	愛知県刈谷市に親愛の里保育園を開所(定員90名) (宗教法人 大徳寺経堂の庭松保育園を当法人に経営移管)
平成23年3月27日	親愛の里保育園歌「希望に燃えて」制定 作詞: 加藤 孝正 作曲: ピアノ: 水村 さおり
平成23年3月31日	24時間テレビチャリティー委員会による車両整備 親愛の里松川: リフト付エブリ(4人乗り)
平成23年4月1日	松川町南大柏田地内の自立訓練用家屋(3DK)を、ほっとハート親愛の活動場所に変更
平成23年4月1日	宮田村地域活動支援センターの施設長業務を宮田村から受託
平成23年5月1日	児童デイサービス エコール親愛を松川町に開所(定員10名)
平成24年3月1日	松川町宗源原自治会内に、親愛の里松川利用者向け自立訓練用家屋(8LDK)1棟を借用
平成24年3月31日	コーポ宮田改修工事 工事総額: 8,988,000 円(補助金: 4,490,000 円(長野県)) 施工業者: 石田建設株式会社 設計管理: 鈴木建築設計事務所 親愛の里松川厨房増築・改修工事 工事総額: 13,020,000 円(配分金: 5,000,000 円(長野県共同募金)) 施工業者: 株式会社 林材木店 設計管理: 鈴木建築設計事務所
平成24年3月31日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里松川: ステップワゴン(8人乗り) 親愛の里シンフォニー: ミニキャブ(2人乗り) 名古屋支援事業所: キャラバン(6人乗り)
平成24年5月1日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ宮田を上伊那郡宮田村に開所(定員4名)
平成24年9月21日	障害者就労支援センター親愛竣工 施工業者: 沢木建築 工事総額: 23,625,000 円 補助金: 7,500,000 円(名古屋市)
平成24年10月1日	障害者就労支援センター 障害者就労支援センター 親愛を名古屋市中村区に開所
平成24年12月8日	相談支援事業所 松川障がい者相談支援センターを松川町元大島に開所 (特定相談支援・障害児相談支援)
平成24年12月21日	中村・中川障害者地域生活支援センター(指定相談支援事業)及び精神障害者地域活動支援センター 親愛の里そよべ(1型)が中村区鶴岡通へ移転、障害者就労支援センター親愛と併せて、名古屋支援事業所本部を開所。
平成25年3月28日	日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里紙ふうせん: セレブ(8人乗り) ほっとハート親愛: キャラバン(車いす対応車(8人乗り))
平成25年3月31日	共同生活援助・共同生活介護事業所 コーポ宗源原竣工(定員7名) 施工業者: 林材木店株式会社 設計管理: 鈴木建築設計事務所 工事総額: 14,154,000 円 補助金: 5,000,000 円(長野県)
平成25年4月1日	児童デイサービス エコール親愛が児童福祉法の放課後等デイサービスに変更

基本理念: 人権の保障と幸福を共にする

平成25年7月22日	親愛の里設立発起人会から車両の寄贈 親愛の里松川 ハイエース (10人乗り)
平成25年8月1日	多機能型事業所 親愛の里シンフォニー定員変更(就労継続支援B型12名、自立訓練(生活訓練)8名、合計20名)
平成25年10月1日	多機能型事業所 ぽっとハート親愛が自立訓練(生活訓練)を廃止し、生活介護事業所として継続運営(定員20名)
平成25年10月1日	多機能型事業所 親愛の里シンフォニーが就労継続支援B型事業所として継続運営(定員20名)
平成25年10月1日	多機能型事業所 親愛の里夢工房を開設。生活介護事業14名、自立訓練(生活訓練)6名、定員20名
平成26年4月1日	飯屋町地域活動支援センターやすらぎ開所(指定管理)
平成26年4月1日	中村区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋身体障害者福祉連合会と共同事業体による)
平成26年4月1日	熱田区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋身体障害者福祉連合会と共同事業体による)
平成26年4月1日	南区障害者基幹相談支援センター開所 (名古屋市リハビリテーションセンター、(株)ニコニコハウスとコンソーシアムによる)
平成26年4月1日	名古屋南区に地域活動支援センタークオース(1型)開所
平成26年4月1日	親愛の里保育園一時保育事業開始 定員10名
平成26年8月1日	親愛の里保育園が寺岡町から熊野町に移転改築開所 定員90名から120名に変更 一時保育事業 定員10名 病児・病後児保育事業 定員4名 子育て支援センター
平成26年9月5日	共同住居 ぱれっとハウス(共同生活援助)が中村区小鶴町へ移転、定員を4名に変更。併せて、共同住居 コーポ本陣を開設(定員2名)
平成27年3月17日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里シンフォニー:ステップワゴン(8人乗り)4WD
平成27年4月1日	松川町地域活動支援センターあすなろ開(業務委託)
平成27年4月1日	親愛の里保育園定員変更 120名から135名に変更
平成27年4月1日	共同生活援助事業所 コーポヘルメス定員変更 31名から30名に変更
平成27年4月1日	法人独自の公益事業開始 障がい者生涯学習 あおぞら教室 まつかりこども福祉教室“あいむ”

平成27年6月1日	熱田区障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センター ハートランド森が熱田区横田に移転する。
平成28年2月17日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 親愛の里紙ふうせん:ステップワゴン(8人乗り)2WD
平成28年6月1日	親愛の里紙ふうせんの加工所(分場)を高森町に開所
平成28年12月18日	法人設立20周年記念式典等開催 ～地域とともに20年、未来に向けて思いをつなぐ～ 於 松川町中央公民館
平成28年12月22日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 クオース:ホンダN-BOX(4人乗り)
平成29年2月23日	共同生活援助事業 コーポヘルメス コーポ宮坂のサテライト型を松川町に開所 1名
平成29年3月31日	共同生活援助事業所 コーポ新井竣工(定員5名、ショートステイ1名) 施工業者:林材木店株式会社 設計監理:株式会社 鈴木建築設計事務所 本体工事総額:53,892,000円(建築面積:215.71㎡、延べ床面積:195.85㎡) 国庫補助金:24,221,000円
平成29年4月1日	松川町から自殺対策事業を受託
平成29年5月1日	共同生活援助事業所 コーポ新井を松川町元大島に開所 (定員5名・ショートステイ1名) 入居対象者:重症心身障がい者
平成29年6月1日	障害者支援施設 親愛の里松川定員削減 ● 施設入所支援 50名→40名 ● 生活介護事業 50名→40名
平成29年6月13日	長野県共同募金会配分金による車両整備 ぽっとハート親愛:ステップワゴン 4WD 車イス仕様(7人乗り)
平成29年10月15日	初代理事長故加藤孝正氏追悼会開催 於 松川町中央公民館 えみりあホール
平成29年10月20日	親愛の里松川屋根補修工事 施工業者:信州建築株式会社 工事総額:3,985,200円(補修面積3,285.6㎡)
平成29年11月30日	親愛の里松川フェンス設置工事 施工業者:生田木材技術株式会社 工事総額:1,344,000円(建築面積2,009.83㎡、延べ床面積2,001.33㎡) 県費補助金:1,008,000円
平成29年12月15日	親愛の里松川自立訓練棟増改築工事 施工業者:林材木店株式会社 設計監理:株式会社 鈴木建築設計事務所 工事総額:30,024,000円(建築面積65.52㎡、延べ床面積65.03㎡)
平成30年3月28日	公益財団法人 日本財団福祉車両助成による車両整備 エコール親愛:セレナスステップタイプ 4WD(8人乗り)
平成30年3月30日	コーポヘルメス(コーポヘルメス、コーポ原町、コーポ宗源町)消防設備整備工事 施工業者:新井電気工事(株) 工事総額:8,748,000円

多機能型事業所ジョブサポート・ワークショッップ虹を統合移転 (移転後定員 移行 10 名 継続 B 型 39 名 自立訓練 (生活訓練) 6 名) 施工業者: 株式会社 インテリアすき 設計監理: 企業組合 建築環境システム 本体工事総額: 34,020,000 円(建物延べ床面積: 662.99 m ²)	平成 30 年 3 月 31 日
障害者就労支援センター (名古屋市中村区) の受託期間満了	平成 30 年 3 月 31 日
ほっとハート親愛の分譲として就労継続支援 B 型事業 高木村さくらの園を高 木村に開所 定員 10 名 (高木村指定管理事業所) (ほっとハート親愛は、生活介護事業との多機能型事業所となる) ジョブサポート・ワークショッップ虹が移転・統合する (定員 55 名) ・就労移行支援事業 10 名 ・就労継続支援 B 型事業 39 名 ・自立訓練 (生活訓練) 事業 6 名	平成 30 年 4 月 1 日
親愛の里紙ふうせんの分譲として生活介護事業 紙ふうせんスマイルを飯田市 に開所 定員 10 名	平成 30 年 7 月 1 日
親愛の里松川利用者の活動先として いちばん星を松川町に整備 定員 10 名 (利用対象: 自閉症等) 本体工事総額: 11,800,000 円 (建物延べ床面積: 66.24 m ²) ジョブサポート・ワークショッップ エレベーター更新 総額: 11,880,000 円 施工: サイタ工業 (株) 中部支社	平成 31 年 2 月 28 日
親愛の里紙ふうせん加工所開所 (親愛の里紙ふうせん分譲)	令和元年 7 月 31 日
生活介護事業所 紙ふうせんスマイル開所 (親愛の里紙ふうせん分譲)	令和元年 9 月 30 日

基本理念

人権の保障と幸福を共に創る

しあわせ

社会福祉法人 親愛の里は、社会福祉法及び創設された障害者自立支援法の理念に従い、法人の理念を定め実践する。

職員の使命

1. 私たちは、人として尊ぶ。
2. 私たちは、私たち自身の人間性の向上に努め、健康で豊かな生活を創る。
3. 私たちは、利用者が地域等において、その人らしい生活を送ることができるよう支援する。
4. 私たちは、地域の社会資源として、地域とともに歩む。
5. 私たちは、福祉の未来を創る。

職員の使命の内容

- 1 私たちは、人として尊ぶ。
 - (1) 利用者の自己選択と自己決定を最大限に尊重します。
 - (2) 親子・兄弟等の「きずな」を大切にします。
- 2 私たちは、私たち自身の人間性の向上に努め、健康で豊かな生活を創る。
 - (1) 研修・研究等を通じ絶えず研鑽を積みみます。
 - (2) 心身ともに健康で豊かな生活を創ります。

8 私たちは、利用者が地域等において、その人らしい生活を送ることができるよう支援する。

- (1) 利用者の生活の安心・安全を保障します。
- (2) 利用者が地域等において可能な限り自立(自律)した暮らしができるよう支援します。

4 私たちは、地域の社会資源として、地域とともに歩む。

- (1) 福祉臨床の考え方のもと、サテライト方式により、いつでも、どこでも必要なサービスを提供することをめざします。
- (2) 関係機関、他の法人・団体、個人等とネットワークを創り、地域の住民が豊かな

6 私たちは、福祉の未来を創る。

- (1) 進取の精神の下、この地域に合った福祉を創ります。
- (2) 利用者、家族、そして地域から学び、必要な福祉サービスを創ります。

人事ポリシー

社会福祉法人 親愛の里は、法人の理念の下に、法人が求めている職員及び組織風土を明示するとともに、職員育成及び人事考課制度等について以下のとおり定め実践する。

1. 職員像

- (1) 人権意識の下に利用者のしあわせを共に見出すことのできる人
- (2) 創造力と問題意識を持ちそれを行動に移せる人
- (3) 地域に向かって利用者の自立(自律)支援ができる人
- (4) 倫理観を持ち、法人の倫理綱領を遵守できる人
- (5) 自己研鑽ができる人
- (6) 笑顔とあいざつが自然にできる人

2. 組織風土

- (1) 人権意識を基本とした言動のある組織風土
- (2) お互いに認め合い、チームワークの良い組織風土
- (3) 進取の気風を大切に、お互いに研鑽を積み、職員が育つ組織風土
- (4) 地域福祉の視点に立つことのできる組織風土
- (5) 利用者の輝きが私たちの輝きと感じられる組織風土

3. 職員育成

- (1) 法人は、理念に沿った職員を育成するために、別に定める職員研修・助成要綱により研修等を行う。
- (2) 法人は、職員の育成を目的に、別に定める公正かつ適切な人事考課制度を導入する。

4. 安全衛生

- (1) 法人は、職員の疾病等の予防及び業務上の事故の防止に努める。
- (2) 法人は、心身ともに安心・安全な職場環境づくりに努める。

5. 職員の福利厚生

- (1) 法人は、働きやすい職場づくりに努める。
- (2) 法人は、豊かでそして安心してできる福利厚生の充実に努める。

私たちは、採用時に社会福祉法人親愛の里の職員としてその設立の精神を重んじ、障害者の処遇に心を払い、誠実に職務を遂行し、連取の雰囲気を忘れることなく福祉臨床の実践と研究に邁進し、豊かな施設福祉を創り上げることが誓った。

しかし、福祉施設では人権擁護に留意してもなお、その組織機構、建物構造、職員などから、人権侵害が行われ得ることが指摘されている。

日本国憲法には、世界の人権思想や歴史的な潮流を反映して基本的人権がうたわれており、近年では自由権や社会権に加え新しい人権の概念をも包含されるようになってきた。また、国民の人権や権利擁護への関心も近ごろとみに高まってきている。

障害福祉の分野に働く私たちが人権感覚をさらに豊かにしていくことは、地域社会と相互に密接な関係を持ちながら社会福祉事業を運営、発展させていくという法人設立の理念からも大切なことと考えられる。

私たちは、障害者の権利を特権として意味付ける考えとは一線を画し、施設として起こりがちとされる閉鎖的な姿勢、独善的な方針や支配的な援助、非科学的な態度などを排除することを確信する。

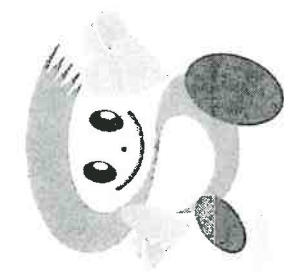
また、障害者は、障害について正しい理解を求める権利と必要な支援を受ける権利を持つことを改めて認識する。

全ての人は、人としての尊厳を有し、何人もそれが侵害されたり、軽んじられることのない施設福祉の実現に向けて、私たちは不断の努力を続ける必要がある。

ここに倫理綱領を定めて、私たちの規範とする。

1. 私たちは、管理的な立場からの行き過ぎた安全配慮や危険防止策で、利用者の自由を束縛しません。
2. 私たちは、性別を配慮して介護を行ないます。また、人の目のあるところで排泄などの介助をしません。食事、着衣など日常生活は、社会的常識を踏まえた援助をします。
3. 私たちは、いついかなる場合でも、肉体的な苦痛を処罰として与えません。また、無視、侮蔑、嘲笑、蔑称、放言などの精神的苦痛を与える言動をしません。
4. 私たちは、福祉臨床の立場から事例検討を重視し、強制的、画一的で安易な処置や対応を避け、個人の可能性や主体性を保障したサービスを提供します。
5. 私たちは、絶えず研鑽を積み、援助が学問的理論的な評価に耐え得るようにします。
6. 私たちは、安寧で豊かな生活を追及することからQOLの向上に努めます。
7. 私たち自身も、健康で豊かな充実した人生を共に創ります。

《マスコミキャラクター》



私の名前は「親愛ちゃん」です。
2つのハートは、私とあなたの心を表し、
顔と体は親愛のイニシャル「S」で形作られ、
前進しようとする姿は、自立への願いと希望
を表しています。

(平成21年7月19日制定)

《親愛の里の歌》

親愛の里 輝いて生きよう

作詞：加藤 孝正（初代理事長）

作・編曲：小寺 富士雄 うた：末岡 小百合 スミス紀美代

1. 国に名だたる 南アルプス
青く色なす 親愛の里
親の思いを あの峰に見て
幸せ灯す 住みかあり
2. 西に開けき 松川の里
恵を分かち 天竜の流れ
君の涙を 大地にかえし
親愛やどす 住みかあり
3. はるげき尾張の 沃野につづく
歴史連なる 美濃の山々
君の希望は 峠を越えて
喜び合える 住みかあり
4. あおぞらのもと 清らかに
友の中で 友とであい
自立の道を 共に進まん
夢を育てる 住みかあり

5. 大地に生まれ 大地に立つて
地域と共に 地域に暮らし
親の人々の 愛をはぐくみ
共に福祉を 創らん

親愛の里「輝いて生きよう」の制作にあたり

このたびの作詞は、突然に思いつき事とったものではない。長野・松川の地に私を深く惹き止めていただいたハンディをもつ子の親の熱い心の大きな支えがあり、松川の地に社会福祉法人親愛の里の設立、そのあと平成9年10月に松川町生田の地に親愛の里松川の最初の重慶・重慶障害者の施設が開設できたのも、その親の皆様の力の結集に負うところが大である。しるべき親の想いは世界の東西を隔たないが、こうした熱い心が結集せられに多くの人々の心と支えのもとハンディがあっても友の中で、地域と共に自立への道を進んでほしいと願うものである。

平成21年6月
理事長 加藤 孝正

(平成21年5月24日制定)
基本理念：人権の保障と地域社会に貢献

親愛の里音頭

作詞：関 潤子(職員) 作曲：小山 雷弘 太鼓：戸田 澄雄(職員) 振付：戸田 澄雄(職員)

- 1 朝の光を鼻に受けて 心のままに踏み出そう
ぐるり周りを見渡せば 仲間が笑っている
親愛音頭 みんなで踊る 歌って踊れば
ハッと笑顔の 花が咲く
- 2 スカッと晴れた青い空 あの雲は雲子みだいだな
緑を渡るそよ風を 胸一杯に吸いこんで
親愛音頭 みんなで踊る 歌って踊れば
ハッと笑顔の 花が咲く
- 3 仕事の手止め一休み あなたもコーヒーイがです
ほんわり湯気の向こう側 仲間の顔が笑っている
親愛音頭 みんなで踊る 歌って踊れば
ハッと笑顔の 花が咲く
- 4 あなたはとっても力持ち 元気な君も光ってる
みんなそれぞれ違うから 仲間と一緒に生きて行く
親愛音頭 みんなで踊る 歌って踊れば
ハッと笑顔の 花が咲く

(平成22年7月19日制定)

親愛の里保育園歌 希望に燃えて

作詞：加藤 孝正(初代理事長) 作曲：水村 さおり

1. 父さん 母さん 真ん中に
明るい 毎日 わたしたち
みんな 元気で 朗らかに
楽しい 園へ うれしいな
ラーン ラーン ラン ラン ラン
親愛の里保育園
2. みんなで 楽しく 輪になって
仲良し 毎日 わたしたち
お話 お歌 かけっこに
興味 いっぱい 楽しいな
ターン ターン タン タン タン
親愛の里保育園
3. 希望 むけて 元気よく
心も 体も わたしたち
希望に 燃えて すくすくと
みんな 大きく 愉快だな
ズーンズーンズンズンズン
親愛の里保育園

(平成23年3月27日制定)

歌本提供：人権の広場と希望を共に作る

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：障害者支援施設 親愛の里松川

(1)事業区分及び定員・現員数

施設入所支援：定員 40 名／生活介護：定員 40 名／短期入所：定員 4 名

2. 概要等

(1)運営の概要

ご利用者に安心・安全な生活を提供するため、新棟女性エリアに常時見守り職員を配置するとともに記録用防犯カメラを活用してきた。これにより原因不明の怪我が減少し、利用者の行動や所在の把握ができるようになった。また、「施設のあり方検討委員会」において今後の施設のあり方を検討してきた。そのなかでハード面の具体的なイメージを膨らませるため他施設を見学し、今後の方向性について話を進めることができた。

日中活動では活動の充実を図るため、各グループ活動場所として「ねこねこ倉庫」「工房ぴあ」「いちばん星」の活用その他、自閉症者が余暇の場所として過ごすための「にばん星」の整備を行ってきた。生活の場と日中活動の場を分けることでメリハリのある生活を提供することができるようになってきた。

(2)課題と対応等

①安心安全の確保

(対応)・あり方検討委員会で施設のあり方を検討していく。

- ・記録用防犯カメラの有効活用
- ・見守り体制の強化

②日中活動（生活介護）の充実

(対応)・「ねこねこ倉庫」「工房ぴあ」「いちばん星」等を活用しての活動の実施

- ・個々の持っている力を発揮できるような活動提供

3. 重点目標・5 年計画及び評価

※重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
(1) 人権に配慮した、安心と安全な生活を提供する。	・記録用防犯カメラを有効活用することで事故の経緯や原因を把握することができ、対応策を検討することができた。 ・見守り職員を配置したことでご利用者の所在や怪我をした際の状況を把握できるようになり、予防につなげることができた。 建物の構造上、見守りが難しいため、ご利用者の居室や職員配置をさらに見直していく必要がある。	C
(2) 日中活動の充実を図り、地域ご利用者の受入れ体制をつくる。	・ほしGに所属している自閉症ご利用者の活動場所として、松川町内に建設した「いちばん星作業所」での活動が定着してきた。	B

	又、余暇時間を過ごす場所として、新たにいちばん星作業所に隣接している民家を借り、「にばん星」として整備を進め、12月より活用を開始している。ゆめGはねこねこ倉庫を活用し、様々な自立課題を提供することで個々のアセスメントを行ってきた。今後はご利用者一人ひとりの持っている力に着目して個々に合った活動を提供していきたい。かめGは工房びあでの創作活動が定着してきており、落ち着いた環境の中で集中して活動に取り組むことができている。また、ご利用者の作品を松川町公民館えみりあにて展示し、地域の方に見ていただいている。	
(3) 人材の確保・育成を図る。	・人材育成として新人教育係を配置し、新人職員に対して定期的に業務の振り返りや面談を行いながら育成を行うことができた。今後は新人職員だけでなく、異動職員や中途採用職員のフォローも行っていく必要がある。 ・研修に出た職員からの復命研修を行うなどし、職員の育成、支援の質の向上に取り組んだ。	C
(4) 地域生活移行に向けた支援を強化する。	・相談支援専門員と連携を図り、ご利用者のニーズに沿って他事業所やGH等の見学、体験を行った。体験を通じて他事業所の利用やGHでの地域生活移行につなげることができた。	B

※第3期5カ年計画（H30年度～R4年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
生活場面と日中活動場面の分離（メリハリのある生活の提供） ➤ 施設外での活動の場の確保（旧生東保育園に変わる耐震性のある施設）	・重点目標（2）と同様	B
生活介護の充実 ➤ 利用者が一人ひとり主体となれる活動の提供 ➤ 地域ご利用者（高齢の地域住民も含む）の受入れ	・重点目標（2）と同様	C
地域生活移行の促進 ➤ 自閉症のある利用者のグループホームの法人への新設要請	・法人運営会議等でニーズをあげているが、特に進捗なし	C
ショートステイ受け入れの促進（受入れの為に整備）	・緊急時の受入れも含め、積極的に受入れを行ってきた。 ・強度行動障害者の受入れに関しては、特性に配慮した住環境の整備と職員の人員配置が整っていないため、ニーズには答えることができなかった。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	40	40	39	40	40	39	39	39	40	40	39	39

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規	パート	計	国家資格等
施設長	1		1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
サービス管理責任者	1		1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員 (生活補助員)	18	16 (3)	34 (3)	精神保健福祉士 1 介護福祉士 5
看護職員	2	1	3	看護師 2 准看 1
栄養士	1		1	管理栄養士 1
事務員	1	1	2	
合 計	24	18 (13.6)	42 (37.6)	

5. その他（添付資料）

- (1) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙
- (2) 職員研修参加状況 … 別紙
- (3) 苦情等の状況 … 別紙
- (4) 体制状況等一覧 … 別紙
- (5) 利用者数実績表 … 別紙

(1) ボランティア・実習生の受入れ

内 容 (回数)	備考	内 容 (回数)	備考
小倉さん・橋場さんレクボラ(15)	元職員・職員	短大生ボラ (2)	豊南短期
赤十字奉仕団 (5)	環境整備ボラ	施設実習 (短大生)	県短期大等 (4)
カンタービレ shiori	合唱ボラ	中学生ボラ (2)	
生田木材技建	修繕ボラ	大澤さん環境整備ボラ (2)	保護者
松川中学校 1 年福祉交流会		サンスポート駒ヶ根	

(2) 研修、会議等 (回数)

研修・会議名	研修・会議名
新入社員研修 (法人内・外含む)	代表者会
明星学園療育研究会 (2)	代表者会<総会含む> (4)
法人内研修 (等級別研修・コンプライアンス・虐待防止等)	南信支部施設長会
法人外施設研修	労務関係会議
障がい者虐待防止研修	地域福祉連絡会
サービス管理責任者基礎研修 (2)	全国施設長会議
サービス管理責任者ファシリテーター研修 (1)	知障協食事支援部会 (2)
相談従事者初任者講義<演習含む> (3)	地域支援部会
京都ライフサポート協会視察	施設支援部会
感染症・食中毒対策研修	日中活動支援部会
飯伊地区権利擁護研修	支援スタッフ部会
福祉施設栄養士研修会 (栄養士研修含む) (2)	知的障害福祉大会
強度行動障がい支援者養成基礎研修 (2)	南信支部職員交流研修会
行動援護従事者研修 (10)	松川町福祉を考える集会
虐待防止権利擁護研修	くらし部会 (2)
コミュニケーション研修	知障協保健部会 (2)
処遇改善加算等改定説明会	信州未来塾
施設長現任研修	集団指導
	樋口理事長を講師にしての研修

(3) 保護者、地域の行事等 入力済

内 容	備考	内 容	備考
生木祭	販売	保護者環境整備(協会・交流会)	2 回開催

新井の祇園まつり	販売	ご利用者旅行（名古屋）	ご利用者 13 名・保護者 11 名
生東地区夏祭り		ご利用者旅行（山梨）	ご利用者 12 名・保護者 5 名
キクスイ芋植え・芋ほり	（敷地内畑提供）	ご利用者旅行（蓼科）	ご利用者 11 名・保護者 2 名
SO（飯田女子短）	3 回参加	愛和病院より寄付	
どんど焼き	中山 4 区	全日本プロレス	招待
飯伊障がい者スポーツ大会		飯田合庁販売	2 回
松風祭		豆まき	（上大島より鬼来所）
ふれあい広場	販売		

令和元年度苦情受付一覧表

別紙2

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応 処	第三者 委員会
1	令和元年5月4日	保護者	2 サービス内容 (質・量)	1	3	帰省の際、ご利用者Kさんの左腕につかまれたような跡があり、謝罪。保護者より「こういったことが頻くとも悲しい。いくら謝られても、痛いのは本人だ。原因がわかり次第、具体策をたてほしい」	・リスク対策委員会、施設のあり方検討委員会にて、KYさんのいる新棟の見守り支援の配置を検討（別紙）。6月より実施。	無
2	令和1年9月30日	保護者	2 サービス内容 (質・量)	1	3	連絡帳に記載あり（平成31年度で落としてしまったという案件）。帰省時、着て帰った洋服が他ご利用者のものだった。衣類の管理について再発防止に取り組んでほしい。	・リスク対策委員会でも対策をたてる。①洗濯物だたむ際の記名の2度チェック。②帰省時の着替えセットの用意。③帰省送り出しマニュアルの見直し。④送り出しチェック表の変更。	無
3	令和元年6月2日	保護者	2 4 サービス内容 (質・量) 施設運営	1	3	居室扉の小窓が壊れている。小窓を開けておく必要があれば修理をお願いしたい。	・各グループ会議にて、居室他修繕箇所のチェック。支援のために意図的な意味がなければ、直ちに修理する。7月に修理済み。	無
4	令和元年9月18日	保護者	1 2 サービス内容 (職員との接遇) (質・量)	1	2 3	帰省の迎えに来た際、自立棟内でKさんが便失禁により下半身裸でいた。職員2名が対応していたが、強引にKさんを入浴支援に誘導しようとしていた。皮膚が弱い子でもあり、皮膚が傷ついてしまう。息子の特性を理解していない対応で、普段からあのような支援なのか悲しくなった。	・対応した職員との面談。事実確認。「普段はあのような支援はしていない。迎えに来てきれいに帰ってもらわなければならない」と思った。今、思えば、清拭でもよかったと思つて。・次の帰省時、該当職員より保護者より保護者に直接謝罪。併せて、後日、サビ管より保護者に謝罪した際、「直接該当職員と話せて、謝罪もあり、話の内容も理解できた。息子の支援も安心して任せられると思った。これからもうしくお願ひします」と言葉をいただく。	無
5	令和元年9月8日	保護者	2 4 サービス内容 (質・量) 施設運営	1	1	疑問です。事務室の窓に目隠しが貼られ、ますます見えない事務室になってしまっている。事務の仕事に影響があるようであれば部屋を変えたらどうか。来客に気が付けないのでは。	・目隠しの理由として、情報漏えいになるご利用者への視覚刺激の軽減が目的であったが、確かに外部の方が来た時に気が付きづらい面もあるため、目隠しは外します（視覚刺激になるご利用者への支援は引き続き検討）。	
6	令和元年9月9日	保護者	4 施設運営	1	1	①施設の外回りのフェンスをもう少し高くしたほうが良いのでは。 ②駐車場や門扉入り口に立っているご利用者がいて、危険。	①現在、このフェンスで対応できており、これ以上フェンスを高くすることは考えておりません。 ②車を見たりすることが好きなご利用者もあり、現状、敷地内であれば自由にすごしていただいております。ご理解の上、ご協力お願いします。	
7	令和元年9月	保護者	4 施設運営	1	1	職員の皆さんの名前がわかりません。施設内の時だけで結構ですので、各れをつけていただけたらありがたい。	ご利用者によっては、名れが気になってしまつてしまうご利用者もあり、支援につけることは難しい為、職員の顔の写真を掲示することを検討している。	

8	令和元年10月2日	保護者	7	その他	1	4	保護者会行事で黒岩理事長との座談会・懇親会で感じる ことがありました。職員の方々は制度に合わせた施設運 営で、毎日大変かとも存じますが、職員をなみ関係する 皆さんが、前庭建立された「石碑の意義・趣」を再認識 してほしい（いただきたい）と思って（願って）いま す。 記録用防犯カメラを活用し、怪我を負った際など原因追 及に使用してほしい。	各グループ会議にて全職員に周知し、改めてこの親善の里 松川ができた経緯を確認し、保護者の想いを職員で共有し ている。	
9	令和2年2月	保護者	1	事業所運営	1	3		①県へ通報する怪我だけに限定せず、リスク対策委員会に て必要と判断した事案に関して主任以上が映像を確認す る。 ②モニターについて、常時画面を点けておくことも検討し ていく。順番として、夜間の時間帯に見れることも検討。 この2点を保護者にお伝えし、承諾をいただく。	無
※苦情の種類									
		1 サービス内容(職員の接遇)	...	2件	※苦情のしべ		1 要望(本人の意向、意見、主張など)	...	件
		2 サービス内容(質・量)	...	5件			2 請求(法的責任に基づく権利の主張など)	...	件
		3 事故、被害、損害	...	件			3 責任追及しべ(契約不履行に伴う責任追及など)	...	件
		4 事業所運営	...	4件			4 その他	...	件
		5 契約内容	...	件					
		6 建物の構造	...	件					
		7 その他	...	1件					
						※苦情の発生原因			
						1 説明・情報不足		...	3件
						2 職員の態度・言動		...	1件
						3 サービス内容		...	5件
						4 その他		...	1件
						実績総数		9件	
						苦情受付		9件	

親愛の里松川ご利用者の状況（令和2年3月31日現在）

1 年齢別構成

(名)

性別／年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計	平均年齢
男 性	0	2	4	5	2	5	1	0	1	5	25	43
女 性	0	0	2	3	2	2	0	2	0	3	14	45
計	0	2	6	8	4	2	1	2	1	8	39	44
割 合	0%	20.5%		30.8%		7.7%		7.7%		33.3%	100%	

2 障害の程度

(名)

性別／程度	軽度（3級,B2）	中度（2級,B1）	重度（1級,A1,A2）	計	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
男 性	0	2	23	25	0	0	1	3	21
女 性	0	2	12	14	0	0	0	2	12
計	0	4	35	39	0	0	1	5	33
割 合	0.0%	10.3%	89.7%	100%	0.0%	0.0%	2.6%	12.8%	84.6%

3 地域別利用状況

(名)

飯田市・下伊那郡 33.3%				伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡 33.3%						
飯田市	松川町	高森町	平谷村	伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町	宮田村	中川村	飯島町
6	4	2	1	3	3	3	1	1	1	1

そ の 他 33.4%						
長野市	松本市	諏訪市	茅野市	木祖村	上松町	東村山市
1	6	1	2	1	1	1

4 利用前の状況

（重複記載有り）

(名) 合計

福祉施設		病 院		学 校		在 宅 等		合計
入所施設	8	精神病院	7	養護学校	15	在宅	8	
授産施設等	2	その他の病院	1	その他学校	0	その他	0	
精神障害者施設	5							
合計	15		8		15		8	
割 合	38%	割 合	21%	割 合	38%	割 合	21%	118%

きほんりねん：じんけんのほしょうとしあわせをともにつくる
基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

生活介護・施設入所支援、療養介護用

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

* 着色セル全てに入力してください。

事業区分	生活介護	事業所名	親愛の里松川
------	------	------	--------

平成30年度(前々年度)		令和元年度(前年度)														計 B (4～3 月)	A×B
		延べ利用者数(人) (各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を記載し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力)															
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
															0	0	
															0	0	
	23	20	24	22	23	22	23	22	23	23	23	23	21	23	271	1,084	
	252	199	256	220	225	219	202	197	190	200	188	185	197	141	115	2,279	
	641	579	644	616	642	612	666	663	635	667	636	687	687	651	759	11,395	
	916	798	924	858	890	853	891	883	847	847	847	895	907	813	897	47,526	
																C	
																D	
	23	20	23	22	23	22	23	22	23	22	23	23	23	21	23	270	
	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	F	
開所日数(日)																	
定員(人)																	

10,200

E(区分5・6の人数)

7,921

G(区分6の人数)

* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
* 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
* 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障障発第0403004号) ③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
* 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

平均障害支援区分(D/C)	5.7 (小数点第2位四捨五入)
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E/C)	97 % (小数点第1位四捨五入)
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G/C)	76 % (小数点第1位四捨五入)
1日当たりの平均利用者数(C/F)	38.8 人 (小数点第2位以下切上)
常勤換算後の従業者人数	31.6 人 (小数点第2位以下切捨)
サービス提供職員配置	1.3 : 1

夜勤職員(施設入所支援のみ)	3 人
----------------	-----

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					地域区分 1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 ②⑦, その他	
生活介護	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. Ⅰ型(1.7:1) 2. Ⅱ型(2:1) 3. Ⅲ型(2.5:1) 4. Ⅳ型(3:1) 5. Ⅴ型(3.5:1) 6. Ⅵ型(4:1) 7. Ⅶ型(4.5:1) 8. Ⅷ型(5:1) 9. Ⅷ型(5.5:1) 10. X型(6:1)	施設区分	①なし 2. 小規模多機能	
				定員超過	①なし 2. あり	
				職員欠如	①なし 2. あり	
				サービス管理責任者欠如	①なし 2. あり	
				開所時間短縮	①なし 2. あり	
				開所時間短縮区分 (※6)	①なし 2. あり	
				短時間利用短縮	1. 4時間未満 2. 4時間以上8時間未満	
				大規模事業所	①あり 2. あり	
				医師配置	①なし 5. 定員81人以上	
				人員配置体制	①なし 2. あり	
				福祉専門職員配置等	1. なし 3. Ⅱ ④⑤ 5. Ⅰ	
				常勤看護職員等配置	1. なし ③④ 3. Ⅱ	
				視覚・聴覚等支援体制	①あり 2. あり	
				重度障害者支援体制	①あり 2. あり	
				リハビリテーション加算	①あり 2. あり	
				食事提供体制	①あり 2. あり	
				延床支援体制	①あり 2. あり	
				送迎体制	①あり 3. Ⅰ 4. Ⅱ	
				送迎体制(重度)	①なし 2. あり	
				就労移行支援体制	①なし 2. あり	
生活介護				就労移行支援体制(就労定着者数)	就労定着者数 ()	
				福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ②あり	
				福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	①あり 2. あり	
				福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	1. なし ②あり	
				キャリアパス区分 (※3)	Ⅲ (キャリアパス要件(Ⅰ又はⅡ)及び職場環境等要件のいずれも満たす) Ⅳ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) Ⅴ (キャリアパス要件を満たさない) Ⅵ (職場環境等要件を満たさない) Ⅶ (キャリアパス要件(Ⅰ及びⅡ)及び職場環境等要件のいずれも満たす) ⑧ (キャリアパス要件(Ⅰ及びⅡ及びⅢ)及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
				福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分 (※4)	1. Ⅰ 2. Ⅱ	
				主たる事業所サービス種類1 (※7)	サービス種類コード (32)	
				指定管理者制度適用区分	①非該当 2. 該当	
				共生型サービス対象区分	①非該当 2. 該当	
				サービス管理責任者配置等 (※8)	①あり 2. あり	
				地域生活支援拠点等	①非該当 2. 該当	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	施設区分	その他該当する体制等	適用開始日
短期入所					施設区分	1. 福祉型 2. 医療型 3. 福祉型 (強化)	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					職員欠如	1. なし 2. あり	
					大規模減算	1. なし 2. あり	
					常勤看護職員等配置	1. なし 2. あり	
					重度障害者支援加算 (強度行動障害)	1. なし 2. あり	
					単独型加算	1. なし 2. あり	
					医療連携体制加算 (V)	1. なし 2. あり	
					栄養士配置	1. なし 2. あり	
					食事提供体制	1. なし 2. あり	
					送迎体制	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
施設入所支援			1. 40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上		キャリアパス区分 (※3)	1. Ⅲ (キャリアパス要件 (Ⅰ又はⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. Ⅳ (キャリアパス要件 (Ⅰ又はⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. Ⅳ (職場環境等要件を満たさない) 4. Ⅳ (職場環境等要件を満たさない) 5. Ⅱ (キャリアパス要件 (Ⅰ及びⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. Ⅱ (キャリアパス要件 (Ⅰ及びⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分 (※4)	1. Ⅰ 2. Ⅱ	
					主たる事業所サービスマン種類 1 (※7)	サービスマン種類コード (32)	
					主たる事業所施設区分 (※8)	1. 介護サービスマン型 2. 外勤サービスマン型 3. 日中サービスマン型	
					指定管理型介護施設区分	1. 非該当 2. 該当	
					共生型サービスマン対象区分	1. 非該当 2. 該当	
					福祉専門職員配置等 (※9)	1. なし 2. Ⅰ 3. Ⅱ	
					地域生活支援拠点等	1. 非該当 2. 該当	
					定員超過	1. なし 2. あり	
					職員欠如	1. なし 2. あり	
					栄養士配置減算対象	1. なし 2. あり	
					夜間職員配置体制	1. なし 2. あり	
					重度障害者支援Ⅰ体制	1. なし 2. あり	
					重度障害者支援Ⅱ体制 (重症)	1. なし 2. あり	
					重度障害者支援Ⅲ体制	1. なし 2. あり	
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり	
					夜間看護体制	1. なし 2. あり	
					地域生活移行個別支援	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	1. なし 2. あり	

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
					1. Ⅲ (キャリアパス要件 (Ⅰ又はⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. Ⅴ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. Ⅳ (キャリアパス要件を満たさない) 4. Ⅳ (職場環境等要件を満たさない) 5. Ⅱ (キャリアパス要件 (Ⅰ及びⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. Ⅱ (キャリアパス要件 (Ⅰ及びⅡ) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					キャリアパス区分 (※3)	
					指定管理者制度適用区分	
					地域生活支援拠点等	
					1. 該当 2. 該当	
					1. 該当 2. 該当	

※1 多機能型事業所または複数の単位でサービス提供している事業所については、一体的な管理による複数サービス種類の利用定員の合計数を利用定員とした場合の報酬を算定することとなるため、「定員区分」には利用定員の合計数を設定する。

ただし、以下の加算については、サービス種類または単位毎の利用定員に応じた報酬を算定する。
 生活介護…人員配置体制加算、常勤看護職員等配置加算、就労移行支援体制加算
 施設入所支援…夜勤職員配置体制加算
 自立訓練(機能訓練・生活訓練)…就労移行支援体制加算
 就労継続支援A型…重度者支援体制加算、就労移行支援体制加算、賃金向上達成指導員配置加算、就労移行支援体制加算
 就労継続支援B型…重度者支援体制加算、目標工賃達成指導員配置加算、就労移行支援体制加算

その場合、「多機能型等定員区分(加算)」には、以下の内容を設定する。
 生活介護、施設入所支援、自立訓練(機能訓練・生活訓練)…各サービス種類の単位毎の利用定員。
 就労継続支援A型、就労継続支援B型…各サービス種類の利用定員。

なお、「定員区分」と「多機能型等定員区分(加算)」が同一の場合、「多機能型等定員区分(加算)」は設定しない。

※2 「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。

※3 「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2. あり」の場合に設定する。

※4 「福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分」欄は、福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象が「2. あり」の場合に設定する。

※5 18歳以上の障害児施設入所者への対応として、児童福祉法に基づき指定基準を満たすことをもって、障害者総合支援法に基づき指定基準を満たしているものとみなす特例措置の対象を設定する。

※6 「開所時間減算区分」欄は、開所時間減算が「2. あり」の場合に設定する。

※7 「主たる事業所サービス種類」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、福祉・介護職員処遇改善特別加算対象または福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象が「2. あり」であり、障害者支援施設における日中活動系生活援助、指定宿泊型自立訓練事業所において行った場合は「34: 宿泊型自立訓練」、単独型事業所において行った場合は「22: 生活介護」を設定する。

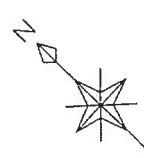
※8 「共生型サービス対象区分」欄が「2. 該当」の場合に設定する。

※9 「主たる事業所施設区分」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、福祉・介護職員処遇改善特別加算対象または福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象が「2. あり」であり、共同生活援助事業所にて短期入所を実施する場合、「1: 介護サービス包括型」、「2: 外部サービス利用型」または「3. 日中サービス支援型」を設定する。

※10 就労移行支援及び就労移行支援(養成)について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から2年を経過しない既存事業所の場合、「08: 無し(経過措置対象)」を設定する。
 就労継続支援A型について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から1年を経過しない既存事業所の場合、「08: 無し(経過措置対象)」を設定する。
 就労継続支援B型について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から1年を経過しない既存事業所の場合、「08: 無し(経過措置対象)」を設定する。

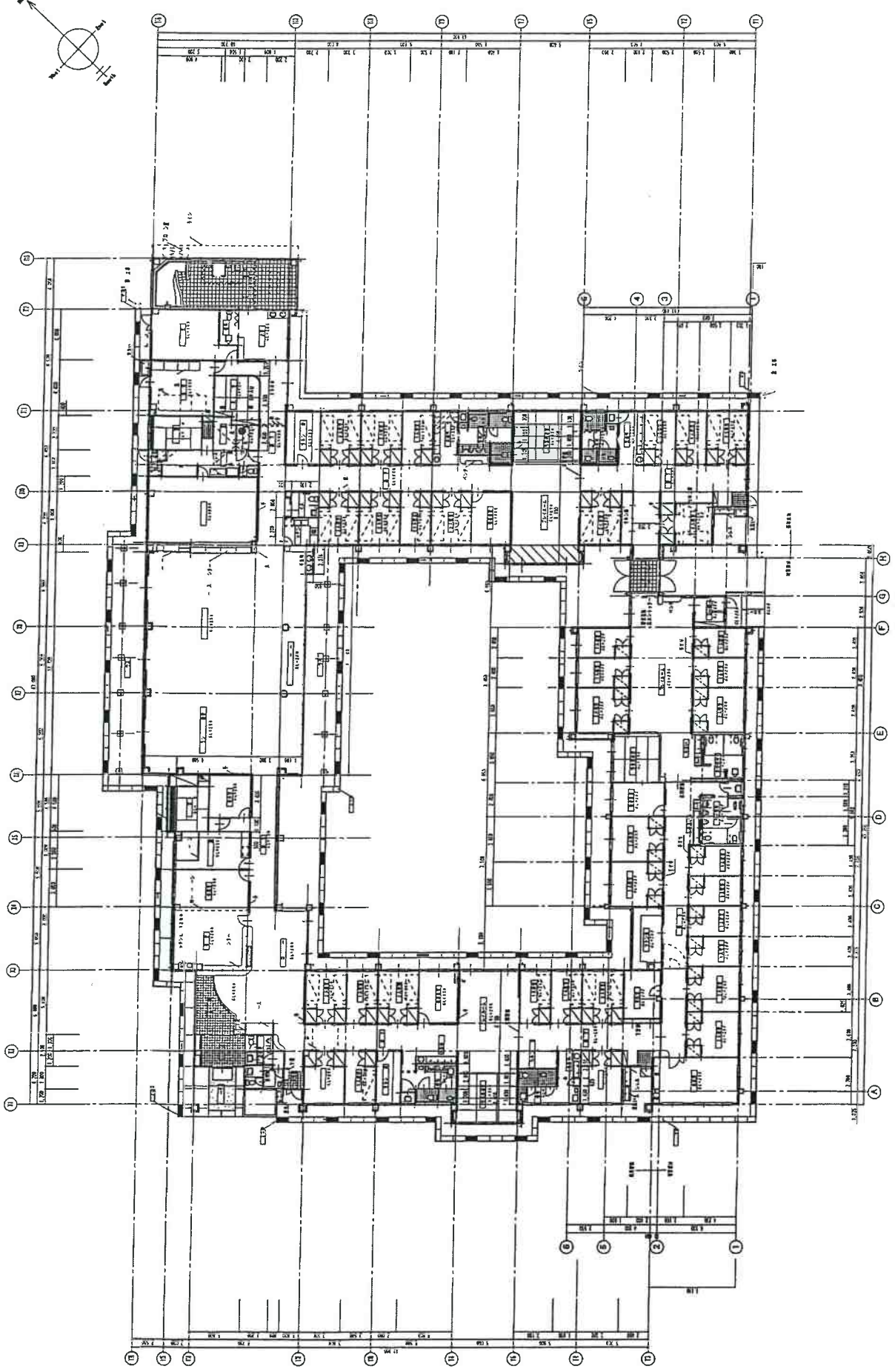
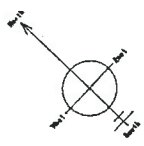
※11 「大規模住居」欄の「2. 定員8人以上」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「外部サービス利用型」の場合に限る。また、「4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に限る。

※12 「重度障害者支援職員配置」欄は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に設定する。



平面图 1/100

年月日	9.7 星期一 晴 3 级新追加
-----	------------------



建築士 111111

鈴木建設事務所

建築設計事務所
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

建築士 111111

令和1年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 ほっとハート親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者数

ほっとハート親愛：生活介護事業：定員 20 名 契約者数 34 名

喬木村さくらの園：就労継続 B 型事業：定員 10 名 契約者数 9 名

2. 概要

(1) 運営の概況

＜ほっとハート親愛＞

- ①平成 30 年には、複数のご利用者が亡くなられたことで利用者数が低下したが、令和元年度は新規ご利用者の受け入れや個別の利用調整を行ったことで、大幅な利用率減には至らなかった。
- ②平成 31 年 4 月に大幅な人事異動があり、新規採用職員 3 名を迎えたことから、上半期はご利用者の活動の幅に制限が生じた。下半期には徐々に軌道に乗り始め、支援の充実を図ることができた。
- ③令和元年 2 月より、新型コロナウイルスが流行し始めたことで、感染拡大防止の視点でご利用者受け入れの調整を行った。

＜喬木村さくらの園＞

- ① ほっとハートとの一体的運営をスタートさせ、2 年目となった。運営が軌道に乗りつつある中、養護学校実習生の積極的な受け入れや、自主生産品の開発に力を入れた。令和元年度中には契約者数を 3 名増やすことができ、平均利用者数も増加傾向にある。
- ② 多機能型事業所としての定員増による報酬単価の減額で、事業所全体の収入減が見込まれていたが、加算の取得、利用者増などの成果により、昨年度までと大きく変わらない経営状態となっている。
- ③ 2 月に実地指導を受けた。事業所の形態があまり例を見ないケースであるため、重要事項説明書の記載について工夫する旨など、指摘を受けた。また書類の不備や請求間違いの指摘から、システム上の課題も明確となり、年度中に改善した。

(2) 課題と対応等

- ① ほっとハートではご利用者の増加及び重度化、多様な障がい特性やライフスタイルの変化等に伴い、居場所の確保が課題となっている。また施設自体も老朽化しており、必要な改築を計画的に行う必要がある。改築については、建設委員会を設置し協議中。
- ② 喬木村さくらの園は事業所が狭く、今後の利用者増を見越しての移転も視野に、喬木村との話し合いを継続してきた。結果、令和 2 年度事業として、厨房と 2 階部分の改装が予定されている。今後定員 20 名の就労継続 B 型事業所として独立して運

営できることで、両事業所の経営の安定化を目指していく。

3. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規職員	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(0.4)		1(0.4)	社会福祉士 1
サービス管理責任者	1 (1)		1 (1)	精神保健福祉士 1
生活支援員等	5(4.5) 内さくら 1	10(7.4) 内さくら 1.1	15(11.9)	保育士 3
看護職員	1(1)		1(1)	准看護師 1
合 計	8(6.9)	6(7.4)	12(14.3)	

4. 安全防災対策

- (1) 防災訓練 6 月：地震想定（避難訓練、防災頭巾の被り方練習、水害について DVD 学習）
- (2) 防災訓練 10 月：火災想定（避難訓練、防災頭巾の被り方練習、災害に向けた準備品検討）
- (3) 防災訓練 3 月：地震火災想定（避難訓練、地震が起きた時に行うことの検討）

5. 公益的取り組みの状況

<ほっとハート>

- (1) 松川町図書館 中川村図書館の掲示板飾りつけ：毎月季節ごとのテーマに沿った貼り絵作品を制作している。この作品を図書館の掲示板に展示させていただいているが、作品展示と併せ掲示板全体を飾り付けることで、来館者の目を楽しませる空間づくりを目指している。
- (2) 災害発生時における福祉避難所の設置運営を行う事業所として、平成 28 年度より松川町と協定を締結している。

<喬木村さくらの園>

- (3) さくらの園では喬木村社協デイサービスセンターのシート交換ボランティア、産業廃棄物のリサイクル活動に、ご利用者の活動の一環として取り組んでいる。
事業所としては喬木村見守りネットワーク事業への登録、小学生のエコキャップ運動窓口としての活動を通して、地域とのつながりを大切にしている。

6. 主な施設整備等

改修、固定資産物品 …… なし

7. 添付資料

- (1) 利用実績 …… 別紙 1
- (2) さくらの園ご利用者工賃実績表 …… 別紙 2
- (3) 重点目標及び5か年計画の評価及び達成状況 …… 別紙 3
- (4) H30.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 …… 別紙 4

- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ、職員研修状況 … 別紙 5
- (6) 苦情等の状況 … 別紙 6

1. 重点目標及び評価
(1) ぽっとハート

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① 地域の中で「重度障がい者の社会参加の場」としての役割を担い、グループワークやご利用者全員の生活の中での役割分担を大切にした支援に取り組む。	・掃除や挨拶など、ご利用者全員が集団活動の中で役割を担えるよう支援している。役割分担により、個々が「ぽっとハート」という集団への帰属感を感じていただけたことを願っている。 ・スポーツ、音楽、創作などの日中活動の場面には、グループワークの手法を取り入れている。グループワークを重ねることで、一人ひとりの個性が明確になり、意外な一面や能力が発揮される場面が増えている。 ・役割分担やグループワークを通し、集団の中で認められている実感を持つことで初めて、安心して自分を表現することができると考え支援を継続している。	B
② 個別支援計画に基づき、ご利用者の希望や一人ひとりの障がい特性に合わせて支援を提供する。 また個別支援計画策定会議等を通じて個人のケースや具体的な支援方法の共有を図る。	・「ご利用者一人ひとりの人生、生活の中で、ぽっとハートが担う役割は何か」について面談を通して明確にしながら、個別支援計画につなげている。 ・通所者全員の振り返りを毎日のミーティングで行い、情報の共有と記録の積み重ねを行っている。ケース会議にスーパーバイザーが同席し、専門的かつ客観的な視点からのアドバイスを得ている。 ・ケース記録の記入、保存、回覧の方法などを工夫することで、職員間で共通の支援が継続してできるよう努めている。	B
③ 人材育成を実施する	・職員の計画的な資格取得、職場内研修を実施している。	B
④ 防災システム、個人の緊急連絡カードの整備や備蓄食料の見直しを行う。	・緊急連絡カードの内容、使用方法の見直しを行い、年一度の更新が定着している。 ・備蓄食料については養護学校の事例を参考に、1食分を整えている。今後法人全体の災害時協力体制を検討する中で、備蓄食料の量については検討する必要がある。	B
⑤ 相談支援事業所や関係機関との連携を強化し、サービスの質の向上に努める。	・個々のご利用者支援の中でぽっとハートが担うべき役割を意識しながら、相談支援専門員を中心に複数の法人・事業所との連携を深めることができている。個々のご利用者支援の中でぽっとハートが担うべき役割を意識しながら、相談支援専門員を中心に複数の法人・事業所との連携を深めることができている。	B

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

(2)さくらの園

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
①パンを柱とした自主生産品の製造及び販路の拡大。工賃アップを図る。	・パン講習会への参加により、品質の向上を図った。また、菓子パンに加え食パンの販売を行い、収入をアップすることができた。販路を増やすことはできなかったが、販売回数を増やしている。	B
②高木村内の農産物などを使った生産品を開発する。	・高木村産のくるみと全粒粉を使ったパン、イチゴを練りこんだクリームチーズを挟んだパンを作ることができた。また、パンに使用する卵は村内産のものを使用した。	B
③相談支援事業所や関係機関との連携を強化しながら、ご利用者増を目指す	・見学や体験を受け入れ、少しずつ増えてきている。	B
④個別支援計画に基づき、ご利用者の希望や一人ひとりの障がい特性に合わせて支援を提供する。	・今ある作業の中で本人の希望を聞きながら、参加していただいた。 ・個別支援計画を職員で共有し、支援を行うことができた。	B
⑤ 職員の人材育成を実施する。	・計画的に研修に参加することができている。	B
⑥防災システム、個人の緊急連絡カードの整備や備蓄食料の見直しを行う。	・個人の緊急連絡カードを作ることができた。 ・備蓄食料、水を確保することができた。	B

P.51

2. 5 か年計画（H30 年度～H34 年度）の進捗状況

(1)ほっとハート

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① 施設の老朽化に伴い必要な改築を目指す。重度化、高齢化等に伴う冷暖房設備等の改善、個人のスペースを大切にできるような環境を整える。	・改築に向け、保護者の理解を求めた。 ・令和3年度の施設等整備補助金事業への申請を目指し、土地の選定など行っている。	C
②午後の活動を充実させ、希望者には内職などの作業を提供できるように工夫する。	・午前中の活動をグループに分けたり、午後に作業や運動の活動を取り入れるなど、活動の充実を図ることができた。	B
③職員の資格取得を進めることで、支援の質を上げ、加算取得につなげる。	・重度障がい者支援加算を取得。取得のために必要な資格の取得を進めている。	B

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る
しみず

④ボランティアを積極的に依頼することで、活動の充実を図ると共に地域とのつながりを強める。	・有償ボランティアシステムを作ること、多くの方々にボランティアとして関わっていただくことができ、ご利用者の活動の幅を広げることができた。 ・月1回の図書館展示板飾りつかけを継続して行っている。	B
⑤公益的事業に取り組むことで、地域社会に貢献する。		B
⑦ 防災システムの構築。地域の福祉避難所としての役割を、町と共に検討する。	・非常食や避難場所の見直しなど、具体的な場面を想像しながらの防災計画見直しを行った。オクシ ンジャーの活用なども、始めている。町との検討には至らなかった。	C

(2)さくらの園

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① パンを柱とした自主製品の製造及び販路の拡大、工賃アップを図る。	・菓子パンの販売に加えて、食パンの販売を行い、収入を増やすことができた。販路の拡大をするこ とができなかったもので、販路を増やしていくことを考えていく必要がある。 ・パン以外にも自主製品の開発を行っていく必要がある。	B
② 高木村内の農産物などを使った生産品を開発する	・村内産の農産物を使った製品をいくつか作ることができ、今後も増やす予定。 ・村内産の農産物が使用してあることを、効果的に宣伝する必要がある。	B
③ご利用者の増員を進め、定員20名の就労継続B型事業所としてほっとハートと運営を切り離すことで、両事業所の経営安定化を図る。	・少しずつ利用者を増やすことができている。さらにニーズを受け止めることで、安定的な経営を目 指したい。	C
③ 公益的事業に取り組むことで、地域社会に貢献する。	・エコキャップ活動を継続している。 ・村内の「見守り隊」として活動している。 ・社協のシーズ交換のボランティアを行う予定であったが、コロナウィルスの関係で中止となった。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

生活介護・施設入所支援、療養介護用

*** 着色セル全てに入力してください。**

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	生活介護	事業所名	ほっとハート親愛
------	------	------	----------

令和元年度(前年度)																	
障害支援区分 A	延べ利用者数(人)																
	(各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力)																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計B (4~3月)	A×B
2																0	0
3	23	24	24	24	23	24	28	23	22	26	24	24	21	21	21	281	843
4	72	73	76	55	54	55	59	58	54	81	68	65	58	67	75	749	2,996
5	114	121	128	149	136	148	154	131	126	114	113	114	95	97	101	1,478	7,390
6	119	114	128	136	133	139	146	133	131	173	158	151	153	136	185	1,774	10,644
計	328	332	356	364	346	366	387	345	333	394	363	354	327	321	382	4,282	21,873
開所日数(日)	19	19	20	21	20	20	22	20	19	22	20	21	20	18	21	244	F
定員(人)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
月平均利用者数(人)	17	17	18	17	17	18	18	17	18	18	20	17	16	18	18		
超過減算非該当利用者数(人)																	
過去3ヶ月間延利用者数				1,016	1,052	1,066	1,076	1,099	1,098	1,065	1,072	1,090	1,111	1,044	1,002		
過去3ヶ月間受入可能者数				1,450	1,500	1,525	1,525	1,550	1,550	1,525	1,525	1,525	1,575	1,525	1,475		
定員超過判定(減算月)																	
* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。 * 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。 * 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障障発第0403004号)③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。 * 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。																	

平均障害支援区分(D/C)	5.1	(小数点第2位四捨五入)
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E/C)	76%	(小数点第1位四捨五入)
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G/C)	41%	(小数点第1位四捨五入)
1日当たりの平均利用者数(C/F)	17.6	(小数点第2位以下切捨)
常勤換算後の従業者人数	10.8	(小数点第2位以下切捨)
サービス提供職員配置	1.7	:
		1

移動職員(施設入所支援のみ)

人

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

* 着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分

就労継続B型

事業所名

ほっとハート親愛(高木村さくらの園)

令和 1年度(前年度)

平成 30 年度(前々年度)

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

延べ利用者数 (人)

103

98

111

131

125

134

145

124

137

144

127

141

136

140

168

延べ利用者数

1,652

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

238

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

0

延べ利用者数

<

R元年 さくらの園工賃収入内訳

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
バン	49,440	46,809	50,730	54,188	33,940	26,760	43,942	24,416	47,050	49,294	41,376	5,420	473,365
ボキボキ	9,200	37,350	23,300	7,200	6,100	39,700	20,200	19,550	17,600	21,500	24,540	13,100	239,340
販売(種配選)			2,020	5,610	2,470	4,420		740	3,610	2,730	1,340	2,530	0
アルミ缶	15,552	17,568	8,423	16,200	18,921	9,406	9,581	13,266	8,844	17,688	11,718	5,460	152,627
体育館掃除	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	48,000
(株)マツザワ	57,996	5,184	1,944	70,718	20,833	9,712	7,681	29,370	56,390	21,450	21,243	27,688	330,209
(株)天恵	11,564	3,537	5,827	7,663	8,477	8,208	8,338	7,440	2,496	14,231	16,030	9,460	103,271
(株)木下水引		7,554	23,803	12,856	21,522	25,575	11,000	22,835	15,380	10,646	8,433	32,604	192,208
JA				27,796			20,000						47,796
ユニプリント							3,600						3,600
エージェンシー							56,300						56,300
喬木村役場作業					18,016		11,200				17,112		46,328
植作業								8,664					8,664
第一小学校				2,049				2,049			4,098		8,196
経産収入合計	147,752	122,002	120,047	208,280	134,279	127,781	196,582	135,200	154,490	140,149	151,080	97,732	1,735,374
バン原料費		11,355	12,797	3,488	21,131	11,871	10,611	17,688	15,200	19,525	6,682	2,603	132,951
ボキボキ原料費	9,014	21,650	13,559	4,128	3,078	20,378	2,235	14,509	4,948	18,617	4,950	1,200	118,266
資材(バン)		1,000		1,480				1,770	891		18,150	0	23,291
資材(ボキボキ)											2,213	11,883	14,096
経費計	9,014	34,005	26,356	9,096	24,209	32,249	12,846	33,967	21,039	38,142	31,995	15,686	288,604
差引合計	138,738	87,997	93,691	199,184	110,070	95,532	183,736	101,233	133,451	102,007	119,085	82,046	1,446,770

自主合計 865,332
自主経費計 288,604
差引 576,728
月一人当たり 6070.821

受託合計 870,042
受託経費 0
差引 870,042
月一人当たり 9158.337

2. 利用者工賃

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	平均	合計
就労日数	21	19	20	22	18	19	21	20	20	19	18	21	20	238
就労総日数	131	133	133	145	124	136	144	122	139	136	140	168	138	1,651
就労時間	425.83	482.55	493.26	568.63	517.12	552.97	550.67	462.50	501.68	535.23	543.42	673.67	525.63	6,308
総支給額	90,430	64,936	74,148	82,775	77,584	82,962	82,616	72,387.00	75,262.00	80,297.00	81,527.00	101,063.00	80,499	965,987
ポーター総支給額						183,252						297,531	240,392	480,783
平均	212	135	150	146	150	150	150	150	150	150	150	150	154	
全体 時給														
月額	12,919	9,277	9,269	10,347	9,698	10,370	10,327	9,048	9,408	10,037	10,191	11,229	10,177	
ポーター平均						22,906						24,194	23,550	
最高額工賃	17,211	10,138	11,823	12,810	11,327	40,993	12,364	12,264	11,389	11,461	10,690	43,733		
支払人数	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95
年平均工賃														15,229

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					地域区分 1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 8. その他	
生活介護	20名	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2:1) 3. III型(2.5:1) 4. IV型(3:1) 5. V型(3.5:1) 6. VI型(4:1) 7. VII型(4.5:1) 8. VIII型(5:1) 9. IX型(5.5:1) 10. X型(6:1)	施設区分	1. 一般 2. 小規模多機能
					定員超過	1. なし 2. あり
					職員欠如	1. なし 2. あり
					サービス管理責任者欠如	1. なし 2. あり
					開所時間減算	1. なし 2. あり
					開所時間減算区分 (※6)	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満
					短時間利用減算	1. なし 2. あり
					大規模事業所	1. なし 5. 定員81人以上
					医師配置	1. なし 2. あり
					人員配置体制	1. なし 2. あり
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II (4) III 5. I
					活動支援職員等配置	1. なし 2. I 3. II
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					重度障害者支援体制	1. なし 2. あり
					リハビリテーション加算	1. なし 2. あり
					食事提供体制	1. なし 2. あり
					延長支援体制	1. なし 2. あり
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II
					送迎体制 (運搬)	1. なし 2. あり
					就労移行支援体制	1. なし 2. あり
就労継続支援B型	10名	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(7.5:1) 2. II型(10:1)	就労移行支援体制 (就労定着者数)	就労定着者数 ()
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分 (※3)	1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分 (※4)	1. I 2. II
					主たる事業所サービス種類 1 (※7)	サービス種類コード ()
					指定管理者制度適用区分	1. 非該当 2. 該当
					共生型サービス対象区分	1. 非該当 2. 該当
					サービス管理責任者配置等 (※8)	1. なし 2. あり
					地域生活支援拠点等	1. 非該当 2. 該当
					平均工賃月額区分 (※10)	1. 平均工賃月額が4万5千円未満 2. 平均工賃月額が3万円以上4万5千円未満 3. 平均工賃月額が2万5千円以上3万円未満 4. 平均工賃月額が2万円以上2万5千円未満 5. 平均工賃月額が1万円以上2万円未満 6. 平均工賃月額が5千円以上1万円未満 7. 平均工賃月額が5千円未満 8. なし (経過措置対象)
					定員超過	1. なし 2. あり
					職員欠如	1. なし 2. あり
					サービス管理責任者欠如	1. なし 2. あり
					福祉専門職員配置等	1. なし 3. II (4) III 5. I
					視覚・聴覚等支援体制	1. なし 2. あり
					重度者支援体制	1. なし 2. I 3. II
					就労移行支援体制	1. なし 2. あり
					就労移行支援体制 (就労定着者数)	就労定着者数 ()
					目標工賃達成指導員配置	1. なし 2. あり
					送迎体制	1. なし 3. I 4. II
					食事提供体制	1. なし 2. あり
					社会生活支援	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし 2. あり
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	1. なし 2. あり
					キャリアパス区分 (※3)	1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分 (※4)	1. I 2. II
					主たる事業所サービス種類 1 (※7)	サービス種類コード ()
					指定管理者制度適用区分	1. 非該当 2. 該当
					地域生活支援拠点等	1. 非該当 2. 該当

1. 視察、実習等の受け入れ状況

期日	団体名・内容等	延べ人数
4月	親愛ツアー	3
5月	親愛ツアー	3
6月	飯田養護学校体験実習 法人内視察研修 高木中学校福祉体験	25
7月	飯田養護学校体験実習 高木中学校福祉体験 竜峡中学校福祉体験 飯田東中学校福祉体験	18
8月	理事長巡回訪問 実習生施設見学 利用希望者見学	3
9月	職員採用実習 実習生施設見学 利用希望者見学 利用希望者体験	8
10月	親愛ツアー	5
11月	親愛ツアー 職員実習（法人研修） 飯田養護学校体験実習 飯田養護学校体験実習打ち合わせ 利用希望者体験	28

別紙5

12月	伊那養護学校体験実習 ご利用者支援観察（GH職員） 職員実習（法人研修）	14
1月	ご利用者支援観察（GH職員） 職員実習（法人研修）	6
2月	なし	0
3月	なし	0

2. ボランティア受け入れ状況

期日	団体名	内容	延べ人数
毎月1回	丸山氏・浦野氏	紙すき	20
毎月1回	高野氏	手芸	11
毎月	鈴木氏	カレンダー原案制作	12
4か月に1回	サンスポート駒ヶ根	出張スポーツ	3
7月・12月	ハーモ32	ハーモニカコンサート	20
8月	加瀬氏	納涼会調理	1
12月	小林氏	クリスマス会マジックショー	1
2月	平栗氏・常盤氏	茶道教室	2

3. 職員研修参加状況

期日	研修名	延べ人数
5月	リハビリテーション研修	4
6月	くらし部会 法人事業所見学 食品衛生講習会	5
7月	くらし部会 権利擁護に関する研修会 法人等級研修 強度行動障害養成研修（基礎） 口腔ケア講習会 事例検討会	18
8月	集団指導 強度行動障害養成研修（基礎）	3
9月	合同部会研修会 強度行動障害養成研修（実践） 感染症研修 事例検討会	24
10月	くらし部会 苦情対応システム研修会 行動援護従事者養成研修 食品衛生講習会	6

11月	新任職員研修 くらし部会 法人等級研修	9
12月	事例検討会 法人等級研修 福祉の仕事 地区相談会 パン教室（全18回） サービス管理責任者養成研修	12
1月	くらし部会 法人等級研修 感染症学習会 精神障がい者地域移行推進研修会	20
2月	法人等級研修 くらし部会 虐待防止、法人理念研修 新任職員研修 事例検討会	15

令和1年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員立会い
1	令和2年3月3日	地域住民→ぼつとハート	その他 (送迎車の運転について)	その他 (改めてほしい)	その他 (送迎車の運転をあまり遅く捉えられた為)	夕方送迎の帰路、送迎車の前方を走っていた運転手が送迎車に対し、あおり運転と感じ「こういう業界(福祉)のする運転ではないのではないか」と指摘を受けた。 状況：前方を走る車の速度に合わせるような形で運転し、車間距離は妥当であったと認識している。時速は60キロ前後と記憶している。	前方を走る運転手に対し、送迎運転手がその場で謝罪。法人名と自身の名を伝える。相手方の名前、連絡先を尋ねたが教えていただけなかった。 今回の苦情を受け、送迎車の運転ルールについて、職員間で情報を共有した。	無
2	令和1年7月31日	相談支援専門員→さくら園	サービスの内容 (質・量)	要望	説明・情報不足	利用者にに対する支援の共有に課題がある。変わったことがあった時の連絡がない。共通した認識で対応できているか、事実を調査してほしい。今後変更されたことがあれば小さなことでも報告してほしい。	職員と面談し、利用者に対する支援を再確認。ケース会議を行い情報共有する。 ご利用者の様子については、こまめに連絡を入れ、他所や相談支援専門員とも情報を共有する。 当面は、相談支援専門員に週1回様子を伝える。 以上のことを伝え、今後とも支援を共有していくことになる。	無

- ※苦情の種類
- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
 - 2 サービス内容(質・量) ... 1件
 - 3 事故、被害、損害 ... 0件
 - 4 事業所運営 ... 0件
 - 5 契約内容 ... 0件
 - 6 建物の構造 ... 0件
 - 7 その他 ... 1件
- ※苦情のレベル
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 1件
 - 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
 - 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
 - 4 その他 ... 1件
- ※苦情の発生原因
- 1 説明・情報不足 ... 1件
 - 2 職員の態度・言動 ... 0件
 - 3 サービス内容 ... 0件
 - 4 その他 ... 1件

実績総数	2件
苦情受付	2件

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 親愛の里夢工房（～R1.7）

事業区分及び定員・契約者(登録者)数

生活介護事業：定員 14 名 契約者数 20 名

生活訓練事業：定員 6 名 契約者数 2 名

種別・名称：生活介護事業所 親愛の里夢工房（R1.8～）

事業区分及び定員・契約者(登録者)数

定員 20 名 契約者数 22 名

2. 概要

(1) 運営の概要

①令和元年度は、より安心したサービスを提供できるよう事業内容等の一部を調整した。

- ・職員の長時間残業の常態化を受け、サービス提供時間を改めて明確化させ送迎時間を見直した。

- ・看護職員が実質不在、職員の人数不足の為、安全上の問題から入浴サービスを当面休止した。

医療的ケアの必要のご利用者は利用を断り他事業所等を紹介した。

- ・ご利用者の個別支援をより丁寧・安全なものにする為、生活訓練から生活介護への移行を行い、サービスを一本化した。令和元年5月現在、生活訓練事業には3人のご利用者が登録していて、内1人は5月をもって就労継続支援B型に移行。2人に関しては8月より生活介護に移行した。これに伴い、生活介護事業の定員を20名とした。

その他、個々に応じて、障害支援区分の見直し・重度障害者支援加算の取得を行った。

- ・これまでご利用者の性質や人数に対して、必要な職員配置ができない状況が続いていた為、令和元年度は4人の職員採用(常勤パート1名・非常勤パート2名・非常勤看護師1名)を行った。

②年度開始当初は少ない職員体制に加え、人事異動に伴う体制の変化があり、従来の活動を提供することが難しかった。上記の通り職員人数を確保することで支援体制を整えることができ、下半期は新規ご利用者1名の受け入れを行うことができた。その他、前期はお断りしていた実習生の受け入れを積極的に行った。実習希望者が多く、改めて夢工房に対する地域のニーズの高さを感じた。

③行動特性上マンツーマン支援が必要なご利用者への対応が課題となった。行動援護事業所サポートセンター親愛と協力し、夢工房の行動援護従事者が対応する形で、ご利用者2名のサービス提供を開始した。

(2) 課題と対応策等

① 令和元年度は、ご利用者減に加え、職員人数の確保による人件費の支出増があり、当初予算より大幅な収入減となった。反面、職員人数が整ったことでご利用者支援の充実を図ることができ、サービス向上に繋がった。今後は個別の支援区分の見直し・支援加算の取得の他、職員とご利用

者の人数のバランスを見ながら、新規ご利用者の受け入れを進めていきたい。活動スペースの手狭さが大きな課題である為、重度身障者の受け入れには課題があるが、前向きにニーズを受け止めていきたい。

- ② 3月にご利用者1名の所在不明事故が発生した。事業所としてはこれを重く受け止め、職員間で再発防止策を話し合い、「所在不明事故対応マニュアル」の整備を行っている。
- ③ 行動特性上マンツーマン支援が必要で、事業所内に入ることができないご利用者の支援が長年の課題となっている。今後は宮田村や他事業所等と連携して受け皿の拡大、支援上の問題の解決等に努めたい。

3. 職員配置状況

(R2.3.31現在)

職種\雇用形態等	正規総合	パート	計	国家資格等
施設長(管理者)	1(0.4)		1(0.4)	社会福祉士1
サービス管理責任者	1		1	介護福祉士1
生活支援員	2(1.7)	6(4.4)	8(6.1)	社会福祉士2 保育士1
看護職員		1(0.7)	1(0.7)	看護師1
合 計	4(3.1)	7(5.1)	11(8.2)	

4. 安全防災対策

- (1) 防災訓練 9月：地震想定(避難訓練)
- (2) 防災訓練 3月：火災想定(避難訓練、防災頭巾の被り方練習、災害に向けたビデオ学習)

5. 公益的取り組みの状況…なし

6. 主な施設整備等

- (1) 改修等…なし
- (2) 固定資産物品…なし

7. その他(添付資料…別紙)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 別紙1
- (2) 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 別紙2
- (3) 利用者数等実績一覧表 別紙3
- (4) 工賃支給状況 別紙4
- (5) 実習、見学、視察等の受け入れ状況 別紙5
- (6) 職員研修等参加状況 別紙5
- (7) 苦情・事故等の状況 別紙6-1 6-2

1. 重点目標及び評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① 個別支援計画に基づいた支援の実施。	アセスメント・モニタリングを丁寧に行い、ご利用者の障がい特性やニーズに沿った支援計画を作成。全職員が共通の支援ができるよう、定期的にケース会議等を行い、支援計画や基本情報の読み直し・意見交換を行い情報共有に努めた。	B
② 各種活動を通じ、生活の質の向上や仲間・地域の方との交流、連携を目指す。	郡主催のスポーツ大会、宮田村内のイベントや伊那養護学校文化祭でのバザー出店、地域での大道芸公演、銀行や図書館でのアート作品展など、ご利用者が地域で活躍できる機会を提供した。今年度は初めて地域住民のボランティアを招き、ダンスの講師をお願いした。地域の方を囲んで楽しそうに取り組み姿が見られた。	B
③ 相談支援事業所や関係機関とのネットワークを生かした支援を実施すると共に地域に関われた事業所を目指す。	圏域の相談支援専門員や伊那・木曽養護学校との情報交換を密に行い、下半期に1名の新規ご利用者の受け入れができた。 大きな人事異動のあった年ということもあり、支援体制の整備を優先し、所長・サービスマン責任者共に圏域の自立支援協議会への参加がほとんどできなかったが、来年度は分野ごと職員で担当を割り振るなど積極的な参加を心がけたい。	C
④ 人材育成を推進し、職員全体のレベルアップ・支援の質の向上を目指す。	支援体制の整備を優先していた為、全職員の外部研修等の参加を促すことが難しかった。反面、毎日の支援後にご利用者の様子やヒヤリハットなどを話し合う時間を設けたことで、個々の支援を考える時間を増やすことができ各職員から忌憚ない意見が飛び交い例年に比べ支援の質の向上に繋がっていると感じた。	B

2. 5 か年計画（H30 年度～令和 4 年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
① 人材育成の推進：OJT、研修等を通じて職員のレベルアップを図る。	例年、個別支援計画に基づいた個別支援の充実と職員の役割分担と連携を目標に取り組んだ経過があったが、令和元年度は大きな体制変更に伴い、支援体制の整備を優先した。上半期は新規職員 4 人を採用し、改めてチームとしての働き方を意識して事業所運営を行った。全職員参加型の会議の開催、各職員の役割分担の確認、緊急時の対応整備など、個々の人材育成ではなく、事業所としての根幹を改めた年度となった。	C
② 事業所の活動スペース拡張：ご利用者増に伴い、個室を増設、拡張する。	(行政との協議により、現状では施設の拡張は難しいとの回答がある。) R1 年度は、事業所内が手狭でご利用者同士の課題行動が多かったことを受け、ご利用者の過ごす場所・作業スペースの確保に向け、宮田村に相談し空き家を探していただいた。会議を通し、マンツーマン支援が必要な特定のご利用者の休憩場所が必要と判断したが、立地や環境などの条件が整わず、空き家(分室)を借りることは断念した。村に相談した所、村民会館 2 階の置室を貸していただけたこととなり、特定のご利用者の休憩場所として利用している。	B
③ 公益的事業に取り組むことで、地域社会に貢献する。	事業所単独での公益的事業の実施はしていない。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	地域区分	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 (2) 9. その他		
生活介護	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2.1:1) 3. III型(3.1:1) 4. IV型(3.5:1) 5. V型(4.1:1) 6. VI型(4.5:1) 7. VII型(5.1:1) 8. VIII型(5.5:1) 9. IX型(6.1:1) 10. X型(6.1:1)	施設区分	1. 一般 2. 小規模多機能 (1) なし 2. あり	
					定員超過	(1) なし 2. あり	
					職員欠如	(1) なし 2. あり	
					サービス管理責任者欠如	(1) なし 2. あり	
					開所時間減算	(1) なし 2. あり	
					開所時間減算区分 (※6)	(1) なし 2. あり	
					短時間利用減算	1. 4時間未満 2. 4時間以上6時間未満 (1) なし 2. あり	
					大規模事業所	(1) なし 5. 定員81人以上 (1) なし 2. あり	
					医師配置	(1) なし 2. あり	
					人員配置体制	1. なし (2) あり	
					福祉専門職員配置等	1. なし (3) II 4. III 5. I (1) なし 2. I 3. II	
					常勤看護職員等配置	(1) なし 2. あり	
					視覚・聴覚等支援体制	(1) なし 2. あり	
					重度障害者支援体制	(1) なし 2. あり	
					リハビリテーション加算	(1) なし 2. あり	
生活介護	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2.1:1) 3. III型(3.1:1) 4. IV型(3.5:1) 5. V型(4.1:1) 6. VI型(4.5:1) 7. VII型(5.1:1) 8. VIII型(5.5:1) 9. IX型(6.1:1) 10. X型(6.1:1)	食事提供体制	(1) なし 2. あり	
					延長支援体制	(1) なし 2. あり	
					送迎体制	(1) なし 2. あり	
					送迎体制 (重度)	1. なし (3) I 4. II (1) なし 2. あり	
					就労移行支援体制	(1) なし 2. あり	
					就労移行支援体制 (就労定着者数)	(1) なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	(1) なし 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし (2) あり (1) なし 2. あり	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	(1) なし 2. あり	
					キャリアパス区分 (※3)	III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) V (職場環境等要件を満たさない) VI (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) VII (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分 (※4)	1. I 2. II	
					主たる事業所サービス提供区分 (※7)	サービス提供コード ()	
					指定管理者制度適用区分	(1) 非該当 2. 該当	
					共生型サービス対象区分	(1) 非該当 2. 該当	
					サービス管理責任者配置等 (※8)	1. なし 2. あり (1) 非該当 2. 該当	

生活介護・施設入所支援、療養介護用

* 着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	生活介護	事業所名	親愛の里夢工房													
令和元年度																
障害支援区分 A	延べ利用者数(人) (各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を精算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力)												計 B (4～3 月)	A×B		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
								4	8	12	6	11	10	7	6	64 128
								5	8	14	15	16	22	13	16	109 327
								167	135	157	148	144	135	138	162	1,186 4,744
								71	109	125	114	115	110	105	101	850 4,250
								44	46	51	49	48	46	44	47	375 2,250
	計	0	0	0	0	0	0	291	306	359	332	334	323	307	332	2,584 11,699
	開所日数(日)							18	19	23	21	20	19	18	21	159 F
	定員 (人)							20	20	20	20	20	20	20	20	
	月平均利用者数 (人)							16	16	16	16	17	17	17	16	
	超過減算非該当利用者数 (人)															
	過去3ヶ月間延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	291	597	956	997	1,025	989	964	
過去3ヶ月間受入可能者数	0	0	0	0	0	0	0	450	925	1,500	1,575	1,600	1,500	1,425		
定員超過判定 (減算月)																
* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置)による生活介護の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。																
* 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。																
* 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障障発第0403004号)③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。																
* 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。																
平均障害支援区分(D/C)																
4.5 (小数点第2位四捨五入)																
区分5・6の者の割合(平均区分5.0未満の場合)(E/C)																
47 % (小数点第1位四捨五入)																
区分6の者の割合(平均区分5.0以上の場合)(G/C)																
15 % (小数点第1位四捨五入)																
1日当たりの平均利用者数(C/F)																
16.3 人 (小数点第2位以下切上)																
常勤換算後の従業員数																
7.2 人 (小数点第2位以下切捨)																
サービス提供職員配置																
2.3 : 1																

夜勤職員(施設入所支援のみ)

人

夜勤職員(施設入所支援のみ)
人

●収入●

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受託事業	合庁掃除	5,408		9,256		9,904		11,142		10,482			13,178	59,370
	プラム掃除	8,000	8,000	8,000	8,000	10,000	6,000	8,000	10,000	8,000	8,000	8,000	8,000	98,000
	月刊かみいな配布	1,312	1,312	1,312	1,344	1,328	1,328	1,328	2,158	1,328	1,328	1,328	1,328	16,734
	公民館文書回収	11,976	11,976	11,976	13,776	17,220	10,332	17,220	13,776	13,776	13,776	13,776	13,776	163,356
	広報配達	1,781	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	23,429
	リサイクル	4,428	5,572		3,784	7,776	3,326	2,365		2,101			4,191	33,543
	チラシ折り		300	5,000	4,980	5,000	4,980			4,970				25,230
	穴あけ作業	300												300
	日本ハムギフト					43,338					49,264			92,602
	梱包材													0
	その他													0
受託収入計…①		33,205	29,128	37,512	33,852	96,534	27,934	42,023	27,902	42,625	74,336	25,072	42,441	512,564
自主生産事業	夢工房	820	1,000	600	3,200	1,650	600	1,800	3,200	5,400	9,650			27,920
	シヨップ													0
	なごみ家													0
	そば蔵													0
	プラムの里	700	3,400											4,100
	その他										30,000			30,000
	カレンダー販売										69,100			69,100
自主収入計…②		1,520	4,400	600	3,200	11,300	600	45,650	5,700	5,400	108,750	0	0	187,120
仕入/仕入								8,500						8,500
仕入収入計…③		0	0	0	0	0	0	8,500	0	0	0	0	0	8,500
実収入合計(①+②+③)		34,725	33,528	38,112	37,052	107,834	28,534	96,173	33,602	48,025	183,086	25,072	42,441	708,184
前月残額		12	10	9	8	8	10	9	12	9	10	9	10	116
預金利息														0
運転資金・材料代(前月からの繰越)		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	180,000
収入合計(①～③+その他)…Ⅰ		49,737	48,538	53,121	52,060	122,842	43,544	111,182	48,614	63,034	198,096	40,081	57,451	888,300

●支出●

自主	作業材料費	0	1,638	0	540	4,536	14,705	17,598	4,002	5,318	45,577	8,480	15,529	117,923
	消耗品費						864	1,485	2,882				0	5,231
自主支出計…④		0	1,638	0	540	4,536	15,569	19,083	6,884	5,318	45,577	8,480	15,529	123,154
仕入/仕入		0	0	0	0	0	0	6,912	0	0	0	0	3,500	10,412
仕入支出計…⑤		0	0	0	0	0	0	6,912	0	0	0	0	3,500	10,412
実支出合計(④+⑤)		0	1,638	0	540	4,536	15,569	25,995	6,884	5,318	45,577	8,480	19,029	133,566
翌月材料代		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	180,000
支出合計(④～⑤+その他)…Ⅱ		15,000	16,638	15,000	15,540	19,536	30,569	40,995	21,884	20,318	60,577	23,480	34,029	313,566

●差引●

差引合計(Ⅰ-Ⅱ)	34,737	31,900	38,121	36,520	103,306	12,975	70,187	26,730	42,716	137,519	16,601	23,422	574,734
-----------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	---------

○工賃支給状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就労日数	20	19	20	22	18	19	21	20	20	19	18	21	237
支給額(合計)	36,828	31,893	38,113	36,513	103,298	12,963	70,179	26,715	42,710	67,508	56,593	53,411	576,724
支給額(平均)	1,754	1,595	1,906	1,826	5,165	648	3,342	1,272	2,034	3,215	2,695	2,543	2,335
支給額(最高)	3,348	2,977	3,727	4,148	11,996	1,079	9,710	3,241	5,628	8,054	7,503	5,791	
支払い人数	21	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	247

支給額△70,000円 支給額+30,000円
支給額+40,000円

1. 令和元年度 実習・視察等受け入れ状況

11月	11日～15日・18日：木曽養護学校高等部2年生実習	1名
	25日・26日：伊那養護学校高等部2年生実習	1名
12月	5日・6日：法人内研修 一等級研修(3年未満) 親愛の里松川職員実習	1名
	19日：伊那養護学校2年担任事業所見学	1名
1月	8日・9日：法人内研修 一等級研修(3年未満) 親愛の里松川職員実習	1名
	27日～31日：伊那養護学校高等部2年生実習	1名
2月	辰野町就労支援センター紹介ご利用者見学	1名

2. 令和元年度 職員研修等参加状況

5月	28日：法人内研修 リハビリテーションに関する研修	2名
7月	4日：法人内研修 一等級研修(2年以下)	1名
	11日：法人内研修 一等級研修(3年以上)	1名
	25日：法人内研修 二・三等級研修	2名
	31日：法人内研修 自閉症について	2名
8月	22日・23日：長野県知障協 強度行動障害養成基礎研修	1名
9月	3日・4日：長野県知障協 強度行動障害養成基礎研修	1名
	12日：飯伊圏域くらし部会	2名
	25日：法人内研修 事例検討会	5名
	26日：法人内研修 二・三等級研修	2名
10月	10日：長野県知障協 リスクマネジメント研修	1名
	24日：法人内研修 苦情対応システム研修会	1名
11月	5日：法人内研修 新人研修会	3名
	12日：法人内研修 一等級研修(3年以上)	1名
	28日：法人内研修 二・三等級研修	2名
12月	2日：一等級研修(2年以下) さくらの園事業所実習	1名
	12日：法人内研修 事例検討会	5名
	26日：法人内研修 同一労働同一賃金説明会	2名
1月	9日：事業所内研修 感染症研修	9名
	23日：法人内研修 二・三等級研修	2名
	24日：法人内研修 一等級研修(2年以下)	1名
	29日：長野県知的障がい福祉協会 日中活動支援部会	2名
	31日：長野県社会福祉協議会 福祉の仕事地区相談会	1名
2月	18日：法人内研修 一等級研修(3年以上)	1名
	19日：法人内研修 新人研修会	3名
	20日：法人内研修 事例検討会	4名

3. ボランティア受け入れ状況

7月	2日：フラダンス	八亀さん(宮田村在住)
10月	20日：プラム祭り 大道芸公演	講師：田口さん
1月	8日：西保育園 大道芸公演	講師：田口さん

令和元年度苦情受付一覧表

別紙6-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 員立会い
1	令和1年6月14日	保護者	サービスの内容(質・量)について	要望		・朝の迎えに遅れたことが謝罪がなかった ・工賃袋を持たせても連絡帳に受領済みのサインがない ・衣類や弁当箱等の忘れ物が多い。 ・6月より事業所都合で送迎時間が変わった。戻してほしいが、変わった理由をしっかりと教えてほしい	・朝の迎えに遅れたことについて謝罪。 遅れた原因は当番表の書き忘れミス。確実に気付くようアラーム設定や朝礼での確認を徹底。 ・送迎時間変更については、営業時間設定に合わせ、ご利用者受け入れ時間を変更したことによる。5月に常務理事事による家庭訪問で理解を求めたが、再度の苦情となった。7月のケア会議にて所長・サビ管より説明し、納得をいただく。	無
※苦情の種類								
1	サービス内容(職員の接遇)	… 0件	※苦情のレベル	1	要望(本人の意向、意見、主張など)	… 1件		
2	サービスの内容(質・量)	… 1件		2	請求(法的責任に基づく権利の主張など)	… 0件		
3	事故、被害、損害	… 0件		3	責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)	… 0件		
4	事業所運営	… 0件		4	その他	… 1件		
5	契約内容	… 0件						
6	建物の構造	… 0件						
7	その他	… 0件						
※苦情の発生原因								
1	説明・情報不足	… 0件					実績総数	1件
2	職員の態度・言動	… 0件						
3	サービスの内容	… 1件					苦情受付	1件
4	その他	… 0件						

令和元年度事故受付一覧表

別紙6-2

No.	期 日	対象人物	事故分類	発生場所	内 容	対 応 処
1	令和1年6月19日	SSさん	その他 (乗車中の飛び出し)	送迎車内	送迎中信号にて停車中、ノア後部座席左側に座っていたご利用者がヘルトを外し降車。幸い降車場所が歩道側だった為怪我はなく、座り込むご利用者に再乗車を促す。	ご家族に連絡し状況報告。同車両(ノア)のチャイルドロックの徹底。
2	令和1年6月27日	KYさん	服薬ミス	敷地外 (宮田村公民館)	ご利用者Kさんは通所毎午後3時にリスパリドンを服薬する。その日の担当職員から手渡すことで、自分で服薬できる。この日は担当職員が忘れてしまいKさんの退所後に気付く。ご家族に報告して、自宅にて服薬していた。	昼食後の服薬チェック表に新たにサエチック体制を整えた。
3	令和1年8月5日	KYさん	所在不明	敷地外 (なごみ家)	なごみ家成人式にて大道芸の公演を控えていて、迎え時緊張された表情。予行練習は緊張しながらもしっかりできたが、緊張が強く、職員がお茶を取りに離れた僅かな時間に飛び出してしまう。職員二人手分けになり村内を探し、20分後に中学校の電話ボックスで見つかった。表情が硬く「入院したい、夢工房にはもう来ない」と話すが、徐々に落ち着いた様子後に皆で写真撮影ができた。初めての場所での講演で緊張していた様子。	緊張される場面と想定できただけ、不穏時どのような行動が起きてもお互にできるよ、職員が側を離れないように気をつける。必要時は他職員に電話連絡を入れるなどの対応をする。
4	令和1年12月13日	KMさん 職員	他傷行為	活動ルーム	昼食後職員と雑談を見て笑顔で過ごしていたが、急に職員の左手薬指に噛みつく。かなり強い力で噛みつき、職員が声を上げたがなかなか離れなかった。はっきりした原因は不明。	このご利用者は他傷行為に及ぶ場面が頻繁にある。前兆もつかめておらず、噛みつきは回避しきれない場合がある。今後は不意の行動に対する心構えを持つこと、会議を通してご利用者への心情理解を深めることが必要。
5	令和2年3月3日	SAさん	所在不明 発作による病院への救急搬送	敷地外 (宮田村公民館)	朝9時40分、送迎車から降りた後に事業所内に入らず屋外で過ごしていた。職員が棟内から様子を伺っている中で、施設から離れ歩き出した為、すぐに後を追う。ところが見失ってしまい複数職員での捜索を開始した。12時過ぎても見つからなかった為、ご家族に連絡をすると、宮田村民会館にて発作で倒れ既に病院に救急搬送されていたことが判明した。(経緯が続いた為入院。3月10日肺炎となり3月24日現在治療・入院中)	【原因】職員の欠席(8人中2人欠席)・朝のご利用者受け入れ時間で職員が手薄状態で、ご本人が寂しさを感じて注目してほしい気持ちから外に歩き出されたことが考えられる。所在不明となった際、これまでのご本人の行動パターンから職員全員が「自分で戻ってくる」と判断してしまっただけ、またでんかん発作がH28.3早朝自宅であつた以降は起きていない為、日中にはまず発作が起きないと考えていた。行方不明時の捜索・連絡のルールもはっきりしておらず、職員の経験から判断した為大きな事故につながってしまった。 【対策】所在不明時10分捜索して見つからない場合は所長に連絡。SAさんの病状回復後、来所時に棟内に入ることができるまで職員が傍らに付き添う。SAさんの日々の状態についてご家族と密に連絡を取り合えるよう検討する。支援上での配慮事項や危険性・事故への対応について個別支援計画に明記しご家族と確認する。

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：就労継続支援 B 型 親愛の里シンフォニー

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 定員 20 名 契約者数 30 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 令和元年度の利用率は 107.8%となり、平成 30 年度の利用率 105.7%を若干上回る数値となった。12 か月間 100%を上回る数値を維持することが出来、令和元年度の重点目標であった『利用率 98%をキープする』を達成することが出来た。これは新規の利用者を増やしたことと通所日数を増やした方がいることが要因と考える。ただし、数値的には前年度より若干上回る結果とはなっているが、入院や長期に休んだ利用者等通所日数が減少した方も前年度より多かった。
- ② 令和元年度の就労収支は、実収入が前年度より 460,000 円弱上回っている。また、実支出は前年度と変わらない額であったため、工賃支払総額も同じく 400,000 円以上の上昇している。自主製品・仕入れ収入は前年度と大きく変わっていないが、喫茶・受託作業・施設外就労収入は上がっている。特に施設外就労については、前年度参加される利用者の通勤率が安定していなかったが、前年度休んでいた方の復帰と全体的に安定した出勤率を保てたので収入が増えたと考えられる。ただし、景気に伴う会社側の方針が変化してきており、受け入れ人数や日数を増やすことは難しくなっている。工賃支払総額が前年度より上がっているため、工賃支払人数が若干増えても平均月額工賃は前年度 10,745 円よりアップし、令和元年度は平均工賃 12,320 円となり、重点目標としていた『工賃アップ 12,000 円を目指す』を達成することができた。
- ③ 入院や長期に休む方が前年度に比べ多かった。また、利用日数が週 1~2 日に方も複数人いること及び個人の作業パフォーマンスに大きな差があるため作業を安定的に動かすことが難しい状況である。利用者の安定とやりがいを保ちながら、どう工賃を上げていくか今後も大きな課題となってくる。

(2) 課題と対応策等 … (1)を受け、次年度に向けて主な課題を箇条書き

① 工賃の維持

・今年度末から新型コロナウイルスによる社会全体の景気悪化がみられている。そのため、今後現在行っている作業全体にある程度の制限または作業の停止に陥る可能性も考えられる。社会の動向を見据えながら、できることを進めていき、なるべく今年度並みの工賃を維持していきたい。

② 利用者の安定した就労リズムを保ち、通所率の維持と作業効率の安定を図る

- ・個人の特性や作業効率等を見据え、職員全員が共通した理解を持ち、適切な支援が出来るよう情報の共有を密に図り、利用者の変化、支援内容と目的の確認を細かく行っていく。
- ・不調等利用者の変化を早期に発見し、相談や個人の就労プログラムの調整や見直しを行い、状態の安定を図る。また利用者自身が自分の役割と働く意義を理解しモチベーションが維持されるよう努めていく。

3. 利用実績

事業名	就労継続B				定員		20						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	20	22	20	19	21	20	21	19	18	21	240
延べ利用者数	462	416	446	476	382	417	466	423	436	406	390	452	5172
利用率(%)	115.5	109.5	111.5	108.2	95.5	109.7	111.0	105.8	103.8	106.8	103.3	107.6	107.8
3ヶ月平均(%)	110.2	111.1	112.2	109.7	105.1	104.5	105.4	108.8	106.8	105.5	106.3	107.6	107.8

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長(管理者)	(1)				1	介護福祉士 1
サービス管理責任者	(1)				1	
職業指導員		1				
生活支援員			5		5	
事務員		(1)			(1)	
合 計	1	1(1)	5		7(1)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 避難訓練の実施

日時	内容
令和 1 年 9 月 12 日	火災想定避難訓練
令和 2 年 3 月 26 日	地震及び火災想定避難訓練

6. 公益的取り組みの状況

(1)

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 … なし

(2) 固定資産物品 … 10 万円以上のもの

(円)

物 品 名 等	規格等	数	単 価	総 額	備 考
---------	-----	---	-----	-----	-----

			円		(補助団体：)
--	--	--	---	--	----------

8. その他(添付資料)

- (1) 令和元年就労収支資料 … 別紙 1
- (2) 重点目標及び5か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 2
- (3) 介護給付費等の算定に係る体制等の状況
(様式第5号(別紙1)…介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表) … 別紙 3
- (4) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 4
- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 5
- (6) 職員研修参加状況 … 別紙 6
- (7) 令和元年度苦情受付一覧表 … 別紙 7
- (8) 平面図 … 別紙 8

R1年度 親愛の里シンフォニー 就労収支資料

●収入●

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受託事業	看聴大掃除			27,283		30,200		30,188		30,848			7,272	125,791
	牛乳パック													0
	月刊かみいな配布	3,205	3,205	3,205	3,205	3,205	3,205	3,205	5,255	3,605	3,605	3,205	3,205	41,310
	リング検査									4,078				4,078
	バネ検査	28,110	28,550	28,620	29,800	26,110	21,820	26,630	24,720	26,350	21,380	25,140	22,340	309,570
	トナーリサイクル	25,614	28,484	19,371	33,758	26,299	47,722	29,031	23,073	28,968	30,150	19,404	24,574	336,448
	広報仕分・配達	29,854	33,456	36,080	26,240	35,752	29,192	39,032	28,536	28,536	25,912	32,144	44,936	389,670
	すこ福清掃	17,100	15,744	11,808	15,744	15,744	15,744	15,744	15,744	15,744	15,744	15,744	15,744	186,348
	村民会館掃除	10,560	10,560	7,920	10,560	10,560	5,280	7,920	7,920	7,920	10,560	7,920	7,920	105,600
	役場・老福草取り													0
	肴物ほどき		4,500				6,300				20,400	3,200	2,600	37,000
	こぼれどめ			2,000	1,500		3,500	3,500						10,500
	ワッシャー入れ													0
	化粧箱づくり		12,130		15,124	12,130		5,761		24,401	6,177			75,723
	宮田アルマイト	5,424	6,363	14,420	11,264	8,025	360							45,856
	その他										1,000		6,241	7,241
受託収入計…①		119,867	142,992	150,707	147,195	168,025	133,123	161,011	105,248	170,450	134,928	106,757	134,832	1,675,135
自主生産事業	シンフォニー	1,500		5,850	15,800	1,650	4,250	4,600	2,200	12,450	1,050	8,000	7,250	64,600
	てづくりや													0
	役場													0
	社協・すこ福			1,050										1,050
	やすらぎ	4,050												4,050
	市役所販売	1,100	400	1,400	800		450			550	2,500	2,400	650	10,250
	名刺・チラシ・写真等印刷	450	7,950	5,400	1,500	1,650	1,950	1,200		2,400	3,450	1,500		27,450
	バザー・イベント販売	13,300	3,650			10,576		21,300	4,800	10,600		6,500		70,726
	カタログ販売									15,850				15,850
	その他		460											460
自主収入計…②		20,400	12,460	13,700	18,100	13,876	6,650	27,100	7,000	41,850	7,000	18,400	7,900	194,436
喫茶	通常営業	130,240	136,870	155,960	187,350	133,500	205,090	181,260	185,700	152,890	139,340	143,060	149,250	1,900,510
	バザー・出前	64,100	73,650	32,950	53,300	52,986	19,300	153,700	54,650	23,800	32,500	29,300	3,600	593,836
	喫茶店イベント					160,510				144,550				305,060
喫茶収入計…③		194,340	210,520	188,910	240,650	346,996	224,390	334,960	240,350	321,240	171,840	172,360	152,850	2,799,406
仕入	仕入	22,540	49,270	26,380	34,060	37,750	26,380	34,060	30,070	34,060	18,700	30,070	37,900	381,240
仕入収入計…④		22,540	49,270	26,380	34,060	37,750	26,380	34,060	30,070	34,060	18,700	30,070	37,900	381,240
	施設外就労	26,180	12,320	37,730	40,040	36,960	123,360	47,740	32,340	46,200	29,260	41,580	41,003	514,713
施設外就労収入計…⑤		26,180	12,320	37,730	40,040	36,960	123,360	47,740	32,340	46,200	29,260	41,580	41,003	514,713
実収入合計(①+②+③+④+⑤)		383,327	427,562	417,427	480,045	603,607	513,903	604,871	415,008	613,800	361,728	369,167	374,485	5,564,930
前月残額		16	14	16	15	12	14	15	13	12	15	15	13	170
預金利息														0
運転資金・材料代(前月からの繰越)		85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,020,000
収入合計(①～⑤+その他)…Ⅰ		468,343	512,576	502,443	565,060	688,619	598,917	689,886	500,021	698,812	446,743	454,182	459,498	6,585,100

●支出●

自主	作業材料費	5,730	8,399	450	2,862	16,162	0	9,489	1,540	11,676	4,070	6,306	1,100	67,784
	消耗品費	0	540	0	8,410	0	0	330	0	0	1,043	516	550	11,389
自主支出計…⑥		5,730	8,939	450	11,272	16,162	0	9,819	1,540	11,676	5,113	6,822	1,650	79,173
喫茶	喫茶仕入	72,312	65,921	86,153	90,506	115,610	75,867	105,513	81,290	121,324	81,965	67,524	51,577	1,015,562
	消耗品費	5,137	11,016	5,253	2,434	19,093	3,492	25,445	5,490	8,822	6,782	7,287	5,908	106,159
喫茶支出計…⑦		77,449	76,937	91,406	92,940	134,703	79,359	130,958	86,780	130,146	88,747	74,811	57,485	1,121,721
仕入	仕入	18,942	18,942	37,884	37,884	18,942	18,942	37,884	37,884	18,942	18,942	37,884	18,942	322,014
仕入支出計…⑧		18,942	18,942	37,884	37,884	18,942	18,942	37,884	37,884	18,942	18,942	37,884	18,942	322,014
実支出合計(⑥+⑦+⑧)		102,121	104,818	129,740	142,096	169,807	98,301	178,661	126,204	160,764	112,802	119,517	78,077	1,522,908
翌月材料代		85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,020,000
支出合計(⑥～⑧+その他)…Ⅱ		187,121	189,818	214,740	227,096	254,807	183,301	263,661	211,204	245,764	197,802	204,517	163,077	2,542,908

●差引●

差引合計(Ⅰ-Ⅱ)	281,222	322,758	287,703	337,964	433,812	415,616	426,225	288,817	453,048	248,941	249,665	296,421	4,042,192
-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------

○工賃支給状況 ※令和元年度目標工賃 11,500円/月 (平成30年度平均工賃実績 10,745円/月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就労日数	20	19	20	22	20	19	21	20	21	19	18	21	240
支給額(合計)	281,206	322,746	287,685	337,950	433,803	426,380	421,919	302,666	456,117	248,973	249,650	296,410	4,065,505
支給額(平均)	10,043	11,527	10,274	12,070	17,352	15,228	15,069	11,210	17,543	8,585	8,916	10,978	12,320
支給額(最高)	22,093	22,662	23,309	22,861	29,855	46,463	29,206	23,538	30,487	16,973	19,055	22,082	
支払い人数	28	28	28	28	25	28	28	27	26	29	28	27	330

2. 重点目標及び評価
(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
工賃アップ 12000円を目指す	前年度に比べ、喫茶は100,000円程、受託作業は170,000円程、施設外就労は150,000円程の収入増加。自主製品と仕入れは前年度とあまり変わりはなく、実収入合計金額は460,000円の増加が見られた。前年度に引き続き、新規の利用者を増やし、工賃支払い人数も若干増えたが、実支出合計が前年度とほぼ変わらない額であったため、一人あたりの平均工賃が前年度に比べて1,500円程増額し、重点目標であった『平均工賃12,000円』を達成できた。受託作業は新しい作業が不定期ではあるが増えたことと、行政役務の時給額を上げたこと。施設外就労は前年度より、利用者一人の安定した通勤が保てたことと、前年度休んでいた方が復帰したことが大きな要因としてあげられる。喫茶は、年度末に行われるはずであった喫茶イベントが新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となってしまう、そのイベントで見込んでいた収益がなくなってしまったので想定していた増収には至らなかった。今年度末から拡大した新型コロナウイルスによる社会経済の低迷が予測できないので次年度の工賃額や委託等の作業の先の見通しが立たない状態である。	A
障がいの特性や利用者のニーズに合った就労支援を行い、自信を持って働き、本人の可能性を拓げたいけるよう支援する	事業所内では個人の目標や支援内容に確認を行っていきながら、若干職員によって支援に差異はあるものの支援の統一を図り、一人一人に合った就労プログラムや作業内容の検討を行ってきた。しかし、生活面でのリズムの乱れや不摂生などが重なり、入院や長期に休む利用者が前年度に比べ多かった。そのため、なかなかプログラムや作業の定着と継続がなされず、モチベーションにつなげにくい場面もあった。今後はより相談支援専門員や生活面の支援者、医療機関等と情報共有を行い、安定した通所を図り、本人に合った働き方の提案と調整を行っていきたいと考える。	C
地域と共にあり、地域や社会に貢献できる事業所を目指す	販売回数は前年度より減少しているが、喫茶事業の『出張喫茶販売』は前年度に比べさらに声をかけられることが増えており、行政や関係機関の会議やイベント等で安定した依頼が継続している。喫茶店の認知度が上がり、地域や関係機関等様々な方が利用したり、喫茶イベントを開催すれば、多くのお客様が来店され、来客数も収入も前年度に比べ増加しており、地域の中の一つのイベントとして徐々に認知度が上がっているように感じる。	B
利用率98%以上をキープする	新規の利用者を増やしたこと、通所日数を増やした利用者もいたため、前年度平均利用率105.7%を若干上回る、平均利用率107.8%を達成することが出来た。一人一人の利用率も98%に達し、目標とする数値に到達することができた。しかし、数値には反映されなかったが、入院や長期の休みを取る利用者が前年度より多かった。次年度は一人一人が安定した通所がキープできるよう支援を見直していく。	A

(2) 5 か年計画 (H30 年度～H34 年度) の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
平均工賃 2 万円以上を目指す	今年度も新規利用者や利用日数を増やしたため、支払い人数が増加したが、前年度と比べ、就労収入がアップし就労支出が変わらなかったため、平均工賃額が前年度より 1,500 円ほど増額している。令和元年度の重点目標であった「工賃アップ 12,000 円を目指す」を達成した結果となった。しかし、利用者によっては利用日数が少ない方や収入に繋がる作業パフォーマンスを望めない方などが多く、安定的な収入や作業の動向が難しい。また、今年度末からの新型コロナウイルス感染拡大のため、今後も社会経済も先行きが見えない状態である。社会の動向を見据えながら、できることを進めていく。	B
移転や改装等を視野に、喫茶事業の充実を図る	喫茶事業の収入も誘客数も年々増加している。年度末に新型コロナウイルスの感染防止のため春の喫茶イベントを中止し、年 2 回の喫茶イベントの開催となった。夏・冬 2 回の喫茶イベントは昨年を上回る収入と集客数であった。より多くの集客を望むのであれば、店舗の拡大が必要ではあるが、それよりも大きな課題として喫茶業務に従事できる利用者が少なく、現状でも作業が進まない場面も出てきている。当面は喫茶業務に従事している利用者のスキルアップと利用従事者の増員を進めていくことが重要と考える。	C
ニーズを掘り起こし、他事業への拡大を検討	親愛の里シンフォニーの在り方として『居場所』や『通所リズムや体力、自信を取り戻す場』としての事業所を目指したことにより、それを目的にして利用している方々が増えている。今のところ、このスタンスでの事業がニーズとして高い印象を受ける。また、作業内容で利用者が利用を希望してくることもある。当面は B 型としてのサービスの更なる向上を図りながら、ニーズの掘り起こしをしていく。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

提供サービス	定員数	定員制限	多機能型等 定員区分（※1）	人員配置区分 （※2）	その他該当する体制等	運用計画
就労継続支援A型		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	平均労働時間区分（※3）	1. 1日の平均労働時間が7時間以上 2. 1日の平均労働時間が5時間以上7時間未満 3. 1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 4. 1日の平均労働時間が4時間以上5時間未満 5. 1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 6. 1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 7. 1日の平均労働時間が2時間未満 8. なし（経過措置対象）	定員超過 職員欠如 サービス管理責任者欠如 福祉専門職員配置等 ケア・聴覚等支援体制 黒澤等支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制（就労定着支援） 資金向上支援指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 就労継続型利用者負担減免 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象
就労継続支援B型		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	平均労働時間区分（※3）	1. 1日の平均労働時間が7時間以上 2. 1日の平均労働時間が5時間以上7時間未満 3. 1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 4. 1日の平均労働時間が4時間以上5時間未満 5. 1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 6. 1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 7. 1日の平均労働時間が2時間未満 8. なし（経過措置対象）	定員超過 職員欠如 サービス管理責任者欠如 福祉専門職員配置等 ケア・聴覚等支援体制 黒澤等支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制（就労定着支援） 資金向上支援指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 就労継続型利用者負担減免 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象
就労移行支援B型		1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	平均労働時間区分（※3）	1. 1日の平均労働時間が7時間以上 2. 1日の平均労働時間が5時間以上7時間未満 3. 1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 4. 1日の平均労働時間が4時間以上5時間未満 5. 1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 6. 1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 7. 1日の平均労働時間が2時間未満 8. なし（経過措置対象）	定員超過 職員欠如 サービス管理責任者欠如 福祉専門職員配置等 ケア・聴覚等支援体制 黒澤等支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制（就労定着支援） 資金向上支援指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 就労継続型利用者負担減免 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象

生活介護・施設入所支援、療養介護以外用

* 着色セル全てに入力してください。

利用者数実績確認表(前年度の平均値)

事業区分	就労継続支援B型	事業所名	親愛の里シンフォニー	令和元年度(前年度)												*「延べ利用者数」 各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された日数を換算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力		
				平成30年度(前々年度)														
延べ利用者数 (人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 A (4～3月)		
	403	415	455	462	416	446	476	382	417	466	423	436	406	390	452			
	19	19	22	28	26	31	28	19	26	29	27	30	30	26	21			
(就労B型のみ) Aのうち、障害基礎年金1級受給延利用者数(人)	15	23	19	14	13	23	28	27	24	25	32	27	27	24	26	計 B (4～3月)		
Aのうち、施設外就労延べ利用者数 (人)	19	19	21	20	19	20	22	20	19	21	20	21	19	18	21	321		
開所日数(日)	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	計 C (4～3月)		
	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	290		
月平均利用者数 (人)	21	22	22	23	22	22	22	19	22	22	21	21	21	22	22	計 D (4～3月)		
超過減算非該当利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240		
過去3ヶ月間延利用者数	1,216												1,226	1,196	1,241	1,179	1,154	
過去3ヶ月間受入可能者数	1,475												1,500	1,525	1,500	1,550	1,500	1,450
定員超過判定 (減算月)																		

(就労B型のみ) 障害者基礎年金1級受給者である利用者の延利用者数割合 F [B/(A-E)]	6.5%
---	------

* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。

* 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。

* 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障発第0403004号)③災害等やむを得ない理由による入所者

④就労継続支援B型利用のためのアセスメント(就労移行支援のみ)について各月の延べ数を記入してください。

* 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

1日当たりの平均利用者数(A/D)

21.6人(小数点第2位以下切上)

実習、視察、ボランティアの受け入れ状況 (H31.4.1～R2.3.31)

期 日	氏名・機関名等	人 数	内 容
4月12日(金)	こころの医療センター駒ヶ根研修医 3名	3名	見学
5月21日(火)・22日(水)	長野県看護大学 4年生	2名	精神看護実習
5月23日(木)	カフェコーデ (伊那市)	1名	コーヒー講座
5月31日(金)	吉澤さん、小出さん	2名	喫茶調理
6月4日(火)～6日(木)	木曾養護学校高等部 2年生	1名	現場実習
6月18日(火)・19日(水)	長野県看護大学 4年生	2名	精神看護実習
6月24日(月)	駒ヶ根市社会福祉協議会・PSW	2名	見学
6月28日(金)	法人新任職員	9名	法人内見学
7月16日(火)	伊那養護学校保護者会	38名	見学
7月18日(木)	カフェコーデ (伊那市)	1名	コーヒー講座
7月23日(火)・24日(水)	長野県看護大学 4年生	4名	精神看護実習
8月2日(金)	上伊那教育七団体連絡会	5名	見学
8月22日(木)	産学官連携インターンシップ豊南短期大学	1名	実習
8月23日(金)	宮田村サービス事業所連絡会	15名	見学
9月13日(金)	箕輪町ふれんどわーく	23名	見学
10月8日(火)・9日(水)	長野県看護大学 3年生	3名	精神看護実習
10月10日(木)	こころの医療センター駒ヶ根研修医	3名	見学
10月10日(木)	カフェコーデ (伊那市)	1名	コーヒー講座
11月11日(月)～22日(金)	伊那養護学校高等部 1年生	2名	現場実習
11月14日(木)・15日(金)	採用実習	1名	実習
11月21日(木)	こころの医療センター駒ヶ根家族会	12名	見学
11月25日(月)・26日(火)	法人内 一等級(3年未満)研修	1名	実習
12月11日(火)・12日(水)	長野県看護大学 3年生	3名	実習
11月16日(金)	こころの医療センター駒ヶ根研修医	2名	見学
12月11日(火)・12日(水)	長野県看護大学 3年生	3名	精神看護実習
1月16日(木)	こころの医療センター駒ヶ根研修医	3名	見学
2月13日(木)	カフェコーデ (伊那市)	1名	コーヒー講座

職員研修参加状況 (H31.4.1~R2.3.31)

期 日	研修名	開催地	出席者
4月25日(木)	知障協代表者会議	塩尻市	伊藤
5月28日(火)	法人内研修 リハビリテーション研修	松川町	宮澤、飯島
5月31日(木)	工賃向上セミナー(Ⅰ)	塩尻市	伊藤
7月11日(木)	法人内研修 一等級(3年以上)研修	飯島町	佐藤
7月17日(水)・18日(木)	強度行動障害支援者養成基礎研修	長野市	飯島
8月21日(水)	集団指導	松本市	伊藤
9月25日(水)	法人内研修 事例検討会	飯島町	全職員
10月3日(木)	知障協 第1回日中活動支援部会	宮田村	伊藤
10月29日(火)・30日(水)	関東地区知的障がい関係施設種別代表者会	栃木県	伊藤
11月12日(火)	法人内研修 一等級(3年以上)研修	飯島町	佐藤、望月
11月26日(火)	法人内研修 一等級(3年以上)研修	飯島町	佐藤、望月
12月12日(木)	法人内研修 事例検討会	飯島町	全職員
12月19日(木)	障がい者虐待防止・権利擁護研修	飯島町	伊藤
12月20日(金)	知障協代表者会議	塩尻市	伊藤
1月9日(木)	法人内研修 感染症予防研修	宮田村	全職員
1月24日(金)	自立支援協議会就業支援部会	伊那市	伊藤、太田
1月29日(水)	知障協 第2回日中活動支援部会	駒ヶ根市	伊藤

令和元年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	令和1年6月26日	ご本人	1	サービス内容 (職員の接遇)	要望	2	6月24日に市民会館図書館掃除機掛けをしていた本人が、掃除機のコンセントの抜き差しに關して、階段に行っているやり方とは異なる場面で職員に声をかけてくる。職員が確認すると、泣きながら「S職員に言われた。他の職員とやり方違うことを言えなかった。」と泣きながら訴える。翌日詳しく話を聞くと「S職員が掃除のやり方を指示する際、見下ろす形で強く言うてくるから怖い。S職員だけ他職員と掃除のやり方が違うので統一してほしい」との要望がある。	ご本人には、要望のあった内容を当事者に伝え、態度を改めてもらうこと。職員間で再度掃除のやり方を確認する。ミーティングや職員会議で他の職員と一緒に何らか手順や注意点の確認を行う。	無
2	令和1年11月5日	ご家族	2	サービス内容 (質・量)	要望	2	10月30日に利用者の排せつの失敗がある。その場は現場職員が対応したが、11月5日の送迎の際にご家族から「着替えたとの報告があったのにズボンと下着が濡れていた。服を確認したが、下着が朝はいていたもののままであった。下着は濡れたもので、その上からズボンをはかされていた。このような状態のまま放り置かれたかと思うとショックだった」との話がある。「介助をする際きちんと見てほしい」との要望であった。	送迎職員がその場で謝罪。また、翌日サビ管がご家族に謝罪と今後の対応（①着替えの際は必ず最後まで確認する。②本人の排せつ誘導を時間を決めこまめに行うこと）を伝える。 その後、エリアマネージャーへもご家族から訴えがある。内容は今回の件と夢工房についての話であり、エリアマネージャーが対応。 事業所では、職員会議の際に、再度原因と対策を全職員で確認し、周知する。	無

※苦情の種類

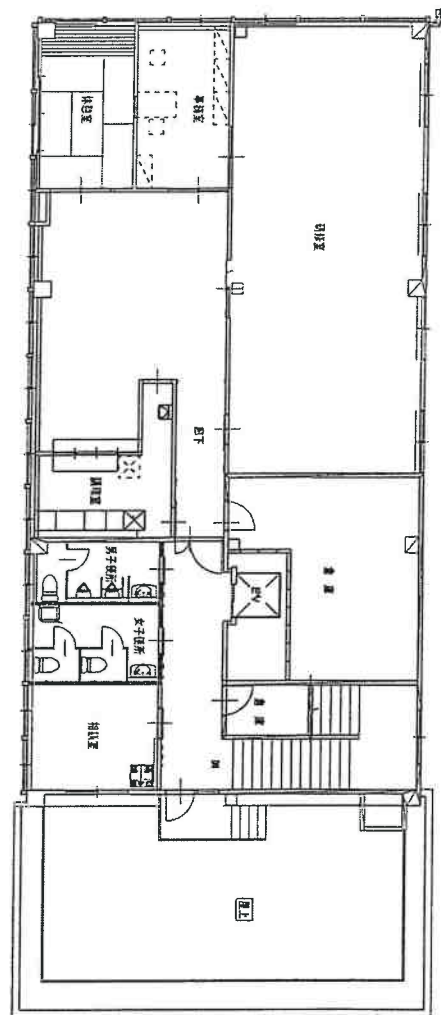
- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 2件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- ※苦情のレベル
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 2件
- 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

※苦情の発生原因

- 1 説明・情報不足 ... 0件
- 2 職員の態度・言動 ... 1件
- 3 サービス内容 ... 1件
- 4 その他 ... 0件

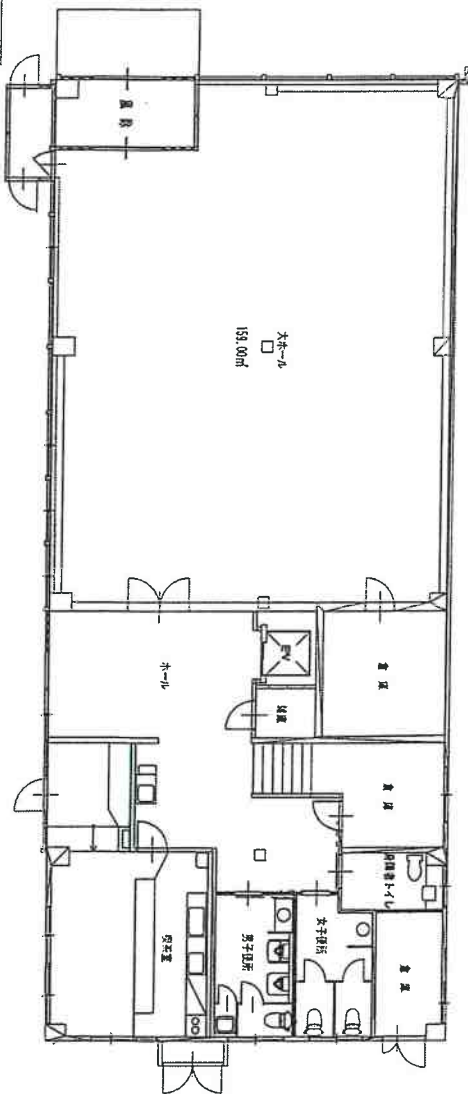
実績総数	2件
苦情受付	2件

2階平面図



2階床面積 231.56㎡

改修後 1階平面図



1階床面積 282.73㎡

延べ床面積 514.29㎡

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 親愛の里紙ふうせん

(1) 事業区分及び定員 合計：40 名

- ① 就労移行支援事業：定員 6 名（3 月末事業廃止）
- ② 就労継続支援 B 型事業：定員 24 名（10 月～定員 34 名）
- ③ 生活介護事業：定員 10 名（9 月末事業廃止）

2. 概要

(1) 運営の概要

第 3 期 5 か年計画及び重点目標・重点事業を経営改善やサービスの質の向上を目的に大幅に変更して事業を実施。新規利用者の確保が課題であったが、継続的な利用者の増加が見込めない為、生活介護事業と就労移行支援事業を廃止し、地域ニーズの高い就労継続支援 B 型事業を来年度より定員 40 名で運営をする。

また、事業所の運営方針や事業の方向性、サービス内容や支援の在り方等についても改めて検討し、ご利用者主体の丁寧な支援の提供や農福連携の推進が図れる作業種目へ改善を行った。特に支援の質の向上については、事業所全体の課題として重点的に人材育成（ご利用者理解の推進や支援者の連携強化等）に取り組み、来年度への課題を整理した。

(2) 課題と対応策等

- ①虐待・不適切な対応を防止し、ご利用者理解を深め丁寧な個別支援を実施する。
 - ・ストレングスアセスメントの実施。
 - ・日々の支援を振り返り、課題や悩み等を共有し、相談・連携の出来る職場づくりを行う。
- ②支援の見える化・支援ツールの作成：ご利用者一人ひとりに合わせた就労・生活支援を実施し、支援者共通の質の高い支援を提供する。
 - ・各作業部門における年間スケジュールの作成と進捗管理を行う。
 - ・作業手順・ご利用者の支援内容等を整理し、支援ツールを作成する。
- ③支援者の連携強化・チーム支援・リスクマネジメントの強化
 - ・支援者間の情報共有や報連相の徹底。
 - ・復命研修や参加型の研修を実施し、事業所の課題を支援者全体で検討する。
- ④農福連携の推進：多くのご利用者が携わり、自信とやりがいの持てる仕事を提供する。
 - ・地域・企業との共同事業を推進する。主要事業：市田柿・薬草（ヤクモ草・ボウフウ）・ハネギ・大根。
 - ・ご利用者の障がい特性やストレングスが活かされる作業の創出、作業環境の整備。

3. 利用実績

<就労移行> ※3月末事業廃止

事業名	就労移行			定員	6								
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	21	21	21	20	22	21	20	20	20	20	247
延べ利用者数	52	49	52	37	32	38	35	38	33	9	19	14	408
利用率	41.3%	40.8%	41.3%	29.4%	25.4%	31.7%	26.5%	30.2%	27.5%	7.5%	15.8%	11.7%	27%
3ヶ月平均	33.7%	37.7%	41.1%	37.2%	32.0%	28.8%	27.9%	29.4%	28.1%	21.7%	16.9%	11.7%	29%

<就労継続B型> ※10月～34名定員へ変更

事業名	就労継続B型			定員	24	10月～	34						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	21	21	21	20	22	21	20	20	20	20	247
延べ利用者数	494	465	489	563	509	494	592	642	601	600	588	607	6,644
利用率	98.0%	96.9%	97.0%	111.7%	101.0%	102.9%	79.1%	89.9%	88.4%	88.2%	86.5%	89.3%	94%
3ヶ月平均	98.0%	97.8%	97.3%	101.9%	103.2%	105.2%	94.4%	90.7%	85.8%	88.8%	87.7%	88.0%	95%

<生活介護> ※9月末事業廃止

事業名	生活介護			定員	10	9月末廃止							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	21	21	21	20							124
延べ利用者数	96	88	84	93	82	86							529
利用率	45.7%	44.0%	40.0%	44.3%	39.0%	43.0%							43%
3ヶ月平均	43.3%	54.8%	43.2%	42.8%	41.1%	42.1%							45%

<多機能全体>

事業名	多機能全体			定員	40								
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	21	21	21	20	22	21	20	20	20	20	247
延べ利用者数	642	602	625	693	623	618	627	680	634	609	607	621	7,581
利用率	76.4%	75.3%	74.4%	82.5%	74.2%	77.3%	71.3%	81.0%	79.3%	76.1%	75.9%	77.6%	77%
3ヶ月平均	74.6%	75.4%	75.4%	77.4%	77.0%	78.0%	74.2%	76.5%	77.2%	78.8%	77.1%	76.5%	77%

4. 職員配置状況 (R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規職員	パート職員	計	国家資格等
管理者	1		1	社会福祉士
サービス管理責任者	1		1	ジョブコーチ
就労支援員		1	1	
生活支援員		2(1.6)	2(1.6)	
職業指導員		4(2.6)	4(2.6)	
目標工賃達成指導員	1		1	
送迎職員		3(1.1)	3(1.1)	
調理員		1(0.5)	1(0.5)	
事務員	1		1	
合 計	4	11(6.8)	15(10.8)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) 水害想定での避難訓練 (9 月 10 日)
- (2) 地震想定での避難訓練 (3 月 27 日)

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 高森町やすらぎ荘様 環境整備 (5 月)
- (2) JR 山吹駅、下平駅周辺のゴミ拾い (3 月)
- (3) 日本財団チャリティー自販機の設置：公益財団法人 日本財団への寄付金：71,630 円

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等・固定資産物品
なし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価・進捗状況 … 別紙 1
- (2) 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2.3
- (3) 利用者数実績表 … 別紙 4.5.6
- (4) 工賃支給状況 … 別紙 7.8
- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況・研修参加状況 … 別紙 9
- (6) 苦情の状況 … 別紙 10
- (7) 平面図 … 別紙 11.12

＜重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価、進捗状況＞

(1) 重点目標及び評価

	目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
就労移行支援事業	一般就労の実績 3 名以上	利用者 2 名の移行状況については、一般就労 1 名、就労継続支援 A 型 1 名となった。年度を通じて新規利用や就労継続支援 B 型からの移行者数が増えず、一般就労の実績が得られなかった。平均利用率は 27% であった。	C
	利用者の確保で継続的な運営体制をつくる	新規利用者の継続的な確保が困難であることから令和元年度 3 月末で事業を廃止し、令和 2 年度より就労継続支援 B 型の定員を 40 名で運営する。	C
	利用者の就職先を開拓するために専門員を配置し企業との結びつきを強める	施設外での就労経験の場が増えたことにより、実際に働くイメージを持ちながら作業に取り組めた点は良かったが、就職先の開拓には繋がらなかった。	C
	継続して働く力を身に付ける就労支援を行う	企業見学や履歴書作成、求人票の検索等に関わる学習や支援を個別に実施。見学や実習後のフィードバックを丁寧にを行いながら次のステップに進めるようご本人の意向に沿った支援を重視した。	B
就労継続支援 B 型	利用者作業工賃の引き上げ (目標月額 25,000 円)	令和元年度の平均工賃は 15,325 円であり、昨年度に比べ約 2,000 円の引き上げとなった。農作業を中心に作業種目を見直し、利益率の高い新規作業を取り入れた事が工賃増に繋がった。来年度も利用者数の増加に応じた新規作業の開拓や柿加工、受託生産を中心とした安定的な作業提供が課題となる。	C
	農福連携を重視した作業にシフトチェンジする	野菜等の種目を限定し、自主生産・自主販売から受託生産に切り替え、企業等と連携して新規作業をスタートした。企業等との連携により工賃アップや安定した収入を得ることが出来た。	B
	施設外就労参加者を 10 名にする	年間 81 回の施設外就労を実施し、1 回につき平均 10.4 名のご利用者が作業に取り組むことが出来た。新規作業を取り入れたことで参加者の幅が広がり、利用者数が増加した。	B
生活介護	1 日の平均利用者を 6 名確保する 活動プログラムの定例化を行う お便りの発行	令和元年度 9 月末で生活介護事業を廃止。4 月～9 月までの平均利用率は 43% であり、新規利用者の確保が課題であった。	C
三事業共通	利用者主体の個別支援計画の作成 と支援の実施	作業に関わる支援が中心であり、個別支援計画に基づいた丁寧な支援が実施出来ていないことが課題。職員の資質向上を年間課題として、ご利用者理解の推進や職員間の連携強化、研修等を取り入れながら支援者の意識統一を進めてきた。来年度以降も事業計画に取り入れ実践していく。	C
	利用者の確保	就労移行支援・生活介護は新規利用者の増加が見込めず、両事業共に事業の廃止を決定した。就労継続支援 B 型については、新規利用者数が 9 名と増加傾向にあり、地域のニーズが高いことから、来年度より就労継続支援 B 型を定員 40 名で運営する。	C

(2) 第3期5か年計画（H30年度～令和3年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
就労移行支援事業から、一般企業などへの就労実績毎年3名以上	令和元年度3月末で就労移行支援事業を廃止。	C
作業内容を統廃合し、工賃アップが図れる作業を作る	農福連携を主に多数あった作業を整理し、企業等と連携して作付け計画や販売ルートを設定することが出来た。平均工賃は15,325円。（昨年度比＋約2,000円）	B
生活介護事業を単独型事業所に移行する	令和元年度9月末で生活介護事業を廃止。	C
惣菜事業を見直し、新たな事業化を検討	農福連携を中心とした作業種目に変更する為、惣菜事業を廃止。	C
令和6年度の事業活動収入増（マイナス5,800千円からプラス8,500千円へ）	新規利用者の増加が見込めない、就労移行支援事業と生活介護事業を廃止。地域ニーズの高い就労継続支援B型(40名定員)に来年度より事業方針を変更し、経営改善を目指す。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					地域区分 1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 8. 八級地 9. 九級地 10. その他	
生活介護	10	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2.5:1) 3. III型(3.5:1) 4. IV型(4.5:1) 5. V型(5.5:1) 6. VI型(6.5:1) 7. VII型(7.5:1) 8. VIII型(8.5:1) 9. IX型(9.5:1) 10. X型(10:1)	施設区分 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 開所時間減算 開所時間減算区分(※5) 短時間利用減算 大規模事業所 医師配置 人員配置体制 福祉専門職員配置等 常勤看護職員等配置 視覚・聴覚等支援体制 重度障害者支援体制 リハビリテーション加算 食事提供体制 延長支援体制 送迎体制 送迎体制(重度) 就労移行支援体制 就労移行支援体制(就労定着者数) 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 共生型サービス対象区分 サービス管理責任者配置等(※7) 地域生活支援拠点等 施設区分 就労定着率区分(※9) 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 看護期間超過 福祉専門職員配置等 就労支援関係研修了 視覚・聴覚等支援体制 精神障害者通院支援施設 食事提供体制 移行準備支援体制(I) 送迎体制 社会生活支援 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 地域生活支援拠点等 平均工賃月額区分(※9) 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 福祉専門職員配置等 視覚・聴覚等支援体制 重度者支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制(就労定着者数) 目標工賃達成指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 地域生活支援拠点等	H31.4.1
就労移行支援	6	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2.5:1) 3. III型(3.5:1) 4. IV型(4.5:1) 5. V型(5.5:1) 6. VI型(6.5:1) 7. VII型(7.5:1) 8. VIII型(8.5:1) 9. IX型(9.5:1) 10. X型(10:1)	施設区分 就労定着率区分(※9) 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 看護期間超過 福祉専門職員配置等 就労支援関係研修了 視覚・聴覚等支援体制 精神障害者通院支援施設 食事提供体制 移行準備支援体制(I) 送迎体制 社会生活支援 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 地域生活支援拠点等 平均工賃月額区分(※9) 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 福祉専門職員配置等 視覚・聴覚等支援体制 重度者支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制(就労定着者数) 目標工賃達成指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 地域生活支援拠点等	H31.4.1
就労継続支援B型	24	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(1.7:1) 2. II型(2.5:1) 3. III型(3.5:1) 4. IV型(4.5:1) 5. V型(5.5:1) 6. VI型(6.5:1) 7. VII型(7.5:1) 8. VIII型(8.5:1) 9. IX型(9.5:1) 10. X型(10:1)	施設区分 就労定着率区分(※9) 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 福祉専門職員配置等 視覚・聴覚等支援体制 重度者支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制(就労定着者数) 目標工賃達成指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 地域生活支援拠点等 平均工賃月額区分(※9) 定員超過 職員欠知 サービス管理責任者欠知 福祉専門職員配置等 視覚・聴覚等支援体制 重度者支援体制 就労移行支援体制 就労移行支援体制(就労定着者数) 目標工賃達成指導員配置 送迎体制 食事提供体制 社会生活支援 福祉・介護職員処遇改善加算対象 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 キャリアパス区分(※3) 主たる事業所サービス種類1(※6) 指定管理者制度適用区分 地域生活支援拠点等	H31.4.1

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表 R1.10～R2.3

別紙3

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					地域区分 1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 8. その他	
就労移行支援	6	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下			施設区分 1. 一般型 2. 資格取得型 就労定着率区分 (※9) 1. 就職後6月以上定着率が5割以上 2. 就職後6月以上定着率が4割以上5割未満 3. 就職後6月以上定着率が3割以上4割未満 4. 就職後6月以上定着率が2割以上3割未満 5. 就職後6月以上定着率が1割以上2割未満 6. 就職後6月以上定着率が0割以上1割未満 7. 就職後6月以上定着率が0 8. なし (経過措置対象) 定員超過 1. なし 2. あり 職員欠如 1. なし 2. あり サービス管理責任者欠如 1. なし 2. あり 標準期間超過 1. なし 2. あり 福祉専門職員配置等 1. なし 3. II 4. III 5. I 就労支援関係所移修了 1. なし 2. あり 視覚・聴覚等支援体制 1. なし 2. あり 精神障害者退院支援施設 1. なし 2. 宿直体制 3. 夜勤体制 食事提供体制 1. なし 2. あり 移行準備支援体制 (I) 1. なし 2. あり 送迎体制 1. なし 3. I 4. II 社会生活支援 1. なし 2. あり 福祉・介護職員処遇改善加算対象 1. なし 2. あり 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 1. なし 2. あり キャリアパス区分 (※3) 1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 7. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 8. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 主たる事業所サービス種類1 (※4) サービス種類コード () 指定管理者制度適用区分 1. 非該当 2. 該当 地域生活支援拠点等 1. 非該当 2. 該当	H31.4.1
就労継続支援B型	34	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. 21人以上40人以下 2. 41人以上60人以下 3. 61人以上80人以下 4. 81人以上 5. 20人以下	1. I型(7.5:1) 2. II型(10:1)	平均工賃月額区分 (※9) 1. 平均工賃月額が4万5千円以上 2. 平均工賃月額が3万5千円以上4万5千円未満 3. 平均工賃月額が2万5千円以上3万5千円未満 4. 平均工賃月額が2万円以上2万5千円未満 5. 平均工賃月額が1万円以上2万円未満 6. 平均工賃月額が5千円以上1万円未満 7. 平均工賃月額が5千円未満 8. なし (経過措置対象) 定員超過 1. なし 2. あり 職員欠如 1. なし 2. あり サービス管理責任者欠如 1. なし 2. あり 福祉専門職員配置等 1. なし 3. II 4. III 5. I 視覚・聴覚等支援体制 1. なし 2. あり 重度者支援体制 1. なし 2. I 3. II 就労移行支援体制 1. なし 2. あり 就労移行支援体制 (就労定着率) 就労定着率区分 () 目標工賃達成指導員配置 1. なし 2. あり 送迎体制 1. なし 3. I 4. II 食事提供体制 1. なし 2. あり 社会生活支援 1. なし 2. あり 福祉・介護職員処遇改善加算対象 1. なし 2. あり 福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 1. なし 2. あり キャリアパス区分 (※3) 1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 7. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 8. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 主たる事業所サービス種類1 (※4) サービス種類コード () 指定管理者制度適用区分 1. 非該当 2. 該当 地域生活支援拠点等 1. 非該当 2. 該当	

利用者数実績表 就労移行支援事業

別紙 4

事業区分	就労移行	事業所名	親戚の里親ふうせん
------	------	------	-----------

平成30年度			平成31年度												*「延べ利用者数」として 各月欄へは、月ごとの 日数を掲載し、当該月		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
延べ利用者数（人）			38	34	40	52	49	52	37	32	38	35	38	33	9	19	14
(就労B型のみ) Aのうち、障害基礎年金1 級受給延利用者数(人)																	408
Aのうち、施設外就労 延べ利用者数（人）																	0
開所日数(日)																	0
定員（人）			20	20	21	21	20	21	22	21	20	22	21	20	20	20	248
月平均利用者数（人）			6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
超過減算非該当利用者 数(人)			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	1	1
過去3ヶ月間延利用者数																	
過去3ヶ月間受入可能者数																	
定員超過判定（減算月）																	

* 延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項(経過措置による生活介護)の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
 * 算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
 * 超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者(平成18年4月3日付け障発第0403004号)③災害等やむを得ない理由による入所者
 * ④就労継続支援B型利用のためのアセスメント(就労移行支援のみ)について各月の延べ数を記入してください。
 * 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

(就労B型のみ) 障害者基礎年金 1級受給者であ る利用者の延利 用者数割合 F [B/(A-E)]	0.0%
---	------

(就労B型のみ) 障害基礎年金の受給資格のない 20歳未満の利用者延人数 E * Aの内数	
(4月から3月) (人)	

* 「延べ利用者数」
各月欄へは、月ごとに1人の利用者につき、本体報酬が算定された
日数を積算し、当該月の利用者全員についてのその総和を入力

1日当たりの平均利用者数(A/D)	1.7 人 (小数点第2位以下切上)
-------------------	--------------------

事業区分	就労継続給付B型	事業所名	親愛の里紙ふうせん
------	----------	------	-----------

[illegible]

延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。

超過減算非該当利用者は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年4月3日付け障発第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者
 * ④就労継続支援B型利用のためのアセスメント（就労移行支援のみ）について各月の延べ数を記入してください。
 * 定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

1日当たりの平均利用者数(A/D)	26.8 人 (小数点第2位以下切上)
-------------------	---------------------

(就労日数のみ) 障害基礎年金の受給資格のない
20歳未満の利用者延人数 E * Aの内数
(4月から3月)(人)

(就労B型のみ)
障害者基礎年金
1級受給者であ
る利用者の延利
用者数割合 F
[B/(A-E)]

＊延べ利用者数については障害者自立支援法附則第22条第1項（経過措置による生活介護）の利用者、障害支援区分の認定がない自立訓練等の利用者を除いてください。
 ＊算定期間の実績には、入所等した日を含み、退所等した日は含みません。
 ＊超過減算非該当利用者数は延べ利用者数のうち、①市町村による措置者②地域移行困難者又は離職者（平成18年4月3日付け障障登第0403004号）③災害等やむを得ない理由による入所者について各月の延べ数を記入してください。
 ＊定員超過判定で○が表示された場合、過去3ヶ月間の利用実績による定員超過減算となります。

夜勤職員(施設入所支援のみ)

＜令和元年度＞就労収支及び工賃（就労継続支援B型・就労移行事業）

別紙 7

【収入】

項目/月	31.4月	元.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	合 計	
自主生産	農業	53,456	197,764	73,520	112,820	269,250	37,220	24,390	39,805	104,630	136,757	46,515	7,877	1,104,004
	加工	82,871	122,581	70,689	62,181	48,370	32,603	40,723	87,047	63,872	47,481	45,521	63,244	767,183
	P C関係	40	300		140	40		1,000						1,520
	干し柿										2,153,936			2,153,936
	姫りんご						109,648							109,648
	惣菜	18,970												18,970
	計	155,337	320,645	144,209	175,141	317,660	69,823	175,761	126,852	168,502	184,238	2,245,972	71,121	4,155,261
受託作業	ジャム加工	27,360	42,560	5,760	7,040	6,720								89,440
	かぼちゃカット							2,425						2,425
	ケーアイフーズ	103,529	24,091	46,690	64,094	21,986	19,200	20,971	15,312	20,416	20,416			356,705
	木下水引餅	34,838	43,518	58,542	44,920	67,570	85,853	52,984	120,759	36,782	11,738	52,571	68,292	678,367
	しなの工業㈱	3,781	420	834	1,753	2,912	2,493	1,261	2,610	2,997	859	2,577	2,545	25,042
	ユニプリント㈱	22,050	22,000	12,000		26,900	10,500	14,000		6,700	2,125	14,966	4,499	135,740
	GOKOシール	6,300	3,150	8,400	4,550	1,400	1,400	4,200	4,900	6,300	700	1,400	6,650	49,350
	JADM		75,000		113,800			55,000						243,800
	社の市							4,416					2,892	7,308
	中原農園(干し芋)				5,000			16,035	76,141	51,435	61,505	24,556		234,722
	高森町花・封入		50,000							10,000				60,000
	養命酒						410,400							410,400
	木下商事									42,208	19,200			61,408
	共栄ダンボール									1,800	9,600	600		12,000
計	197,858	260,739	132,226	236,157	132,488	529,846	148,416	166,507	149,336	141,281	161,819	110,034	2,366,707	
仕入	米	7,500	7,500	16,340	8,750	16,640	15,000	8,750	8,640	15,120	9,890			114,130
	ロンドロール		7,680				3,840	11,520			7,680		3,840	34,560
	お煎餅									30,770				30,770
	計	7,500	15,180	16,340	8,750	16,640	18,840	20,270	8,640	45,890	17,570	0	3,840	179,460
施設外	ローソン		5,000				5,000							10,000
	七久里農園トマト			94,210	217,410	126,576								438,196
	七久里農園ねぎ						47,080							47,080
	ぶらう(柿)							348,671						348,671
	高野 柿							118,800						118,800
	新井宅			10,000										10,000
	高森町封入				65,000									65,000
らんぶ						5,000			10,000				15,000	
計	0	5,000	104,210	282,410	126,576	5,000	52,080	467,471	10,000	0	0	0	1,052,747	
実習	GOKOとまと	53,460	53,692	47,272	57,520	56,695	46,949	41,942	35,672	37,589	53,572	44,851	62,975	592,189
	弥生	51,555	11,420	70,500	29,530	23,945	28,280	17,755	20,070	20,070	22,570	27,365	4,710	327,770
	計	105,015	65,112	117,772	87,050	80,640	75,229	59,697	55,742	57,659	76,142	72,216	67,685	919,959
収入合計		465,710	666,676	514,757	789,508	674,004	698,738	456,224	825,212	431,387	419,231	2,480,007	252,680	8,674,134

【経費】①

項目/月	31.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	合 計	
農 業	工賃	174,147	145,581	165,946	96,750	86,499	65,400	47,541	75,600	104,373	42,075	69,726	55,575	1,129,213
	材料・資材他	59,285	30,540	45,938	155,348	81,152	29,079		94,848	1,580	9,140	79,127	50,511	636,548
	水道代	2,025	1,779	1,779	2,333	1,655	2,832							12,403
	リバーサイド電気	3,995	3,586	1,684	1,684	1,684	1,684	1,684	1,716	1,716	1,716	1,716	1,716	24,581
														0
計	239,452	181,486	215,347	256,115	170,990	98,995	49,225	172,164	107,669	52,931	150,569	107,802		1,802,745
養命酒	工賃						45,450	7,200	15,276	37,875	18,450	59,100	130,050	313,401
	材料・資材他						13,761	110,000					8,708	132,469
														0
計	0	0	0	0	0	59,211	117,200	15,276	37,875	18,450	59,100	138,758		445,870
柿加工	工賃	0				2,649	21,201	64,500	126,294	124,950	38,025	390,778		768,397
	材料・資材他	76,359		63,260			91,854	92,915	194,081	355,289	20,439			894,197
														0
	計	76,359	0	63,260	0	2,649	113,055	157,415	320,375	480,239	58,464	390,778	0	1,703,131
短りんご	工賃			10,674	8,325		13,299	87,840						120,138
	材料・資材他							8,411		22,000				30,411
											1,000			1,000
	計	0	0	10,674	8,325	0	13,299	96,251	0	22,000	0	1,000	0	151,549
加工	工賃	45,675	23,004	12,600	5,073	4,446	16,554	6,324	9,471	28,779	9,171	12,252	7,773	181,122
	材料・資材他	23,631	78	1,182	98			3,390	1,016	197,383	8,038	2,494		237,310
	電気代	28,447	30,250	28,548	27,285			0						114,530
	水道代	5,970	3,234	2,843	4,264			0						16,311
	ガス代	10,822	6,458	4,903	2,873			0						25,056
	保管料		14,814				6,745		141,834		18,660			182,053
	計	114,545	77,838	50,076	39,593	4,446	23,299	9,714	152,321	226,162	17,209	33,406	7,773	756,382
	工賃	172,950	179,249	126,466	201,321	125,768	119,446	124,816	166,507	149,336	141,278	161,819	110,034	1,778,990
受託	材料・資材他							0						0
	作業委託				27,796			23,600						51,396
	計	172,950	179,249	126,466	229,117	125,768	119,446	148,416	166,507	149,336	141,278	161,819	110,034	1,830,386
施設外	工賃 ロソン		2,646					5,000						7,646
	〃 七久里			74,740	167,510	102,255		47,080						391,585
	〃 新井宅			8,000										8,000
	〃 高森町				49,626									49,626
	〃 らんぶ						3,892			10,000				13,892
	〃 高野柿								118,800					118,800
	〃 ぶらう								340,007					340,007
	作業委託							8,664	8,664					17,328
	計	0	2,646	82,740	217,136	102,255	3,892	60,744	467,471	10,000	0	0	0	946,884

【経費】②

項目/月	31.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	合 計
実 習	工賃 GOKO	53,460	53,692	47,272	57,520	56,695	46,949	41,942	35,672	37,589	53,572	44,851	592,189
	弥生	47,555	11,420	70,500	29,530	23,945	28,280	17,755	17,755	20,070	22,570	27,365	321,455
	計	101,015	65,112	117,772	87,050	80,640	75,229	59,697	53,427	57,659	76,142	72,216	913,644
仕 入	米		70,000					70,000	70,000				210,000
	ロンドロール			15,785			15,785			15,785			47,355
	他			300			300	300	27,228				28,128
R 2 補 加 工	計	0	70,000	16,085	0	0	15,785	70,300	70,300	43,013	0	0	285,483
	工賃									85,350	39,150	10,725	135,225
	材料・資材他									26,962	56,680		83,642
R 2 機	計	0	0	0	0	0	0	0	0	112,312	95,830	10,725	218,867
	工賃									10,125			10,125
	材料・資材他												0
共 通	計	0	0	0	0	0	0	0	0	10,125	0	0	10,125
	工賃												0
	材料・資材他												0
電 気 代	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気代	18,428	16,844	13,937	17,081	24,873	20,275						111,438
	ガソリン代	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000						60,000
ガ ソ リ ン 代	その他	3,314											3,314
	計	31,742	26,844	23,937	27,081	34,873	30,275	0	0	0	0	0	174,752

10月分から一歳で負担する。

項目/月	31.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	合 計
ま と め	工賃	493,787	415,592	516,198	615,655	402,257	360,471	458,662	914,046	512,972	420,616	806,841	6,300,739
	材料・資材他	159,275	30,618	110,380	155,446	81,152	134,694	214,716	289,945	576,252	64,579	217,303	2,172,581
	仕入	0	70,000	16,085	0	0	15,785	70,300	70,300	43,013	0		285,483
電 気 代	電気代	50,870	50,680	44,169	46,050	26,557	21,959	1,684	1,716	1,716	1,716	1,716	250,549
	水道代	7,995	5,013	4,622	6,597	1,655	2,832						28,714
	ガス代	10,822	6,458	4,903	2,873								25,056
ガ ソ リ ン 代	ガソリン代	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000						60,000
	その他	0	14,814	0	27,796	0	6,745	32,264	150,498	0	0	19,660	251,777
	計	732,749	603,175	706,357	864,417	521,621	552,486	777,626	1,426,505	1,133,953	382,194	832,402	8,769,819
差引計	-267,039	63,501	-191,600	-74,909	152,383	146,252	-321,402	-601,293	-702,566	37,037	1,647,605	16,346	-95,685

【利用者工賃】

項目/月	31.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月	3月	平 均
就労日数	21	20	21	21	21	20	22	21	19	20	20	20	21
就労総日数	533	513	552	542	538	532	628	680	595	603	607	621	579
就労時間	2,183.18	1,868.16	2,266.48	2,166.34	2,104.27	2,054.75	2,326.57	2,755.62	2,392.05	2,376.88	2,363.66	2,323.66	2,265
総支給額	499,177	415,592	516,198	615,654	402,257	360,471	449,998	905,382	512,972	420,616	807,258	381,842	6,287,417
平 均 工 賃	全体 時給	229	222	228	284	191	175	193	214	177	342	164	229
	月額	13,491	11,544	13,951	16,201	10,872	10,299	11,250	20,120	11,930	9,559	17,939	12,970
	移行 時給	201	166	120	205	100	154	259	204	176	141	94	164
B 型	月額	11,342	9,644	8,035	13,271	6,139	10,260	8,883	19,335	12,776	6,115	11,600	10,224
	B型 時給	231	228	238	289	197	177	196	333	215	177	349	233
	月額	13,681	11,717	14,473	16,364	11,142	10,302	11,375	20,156	11,888	9,640	18,083	13,115
最高額工賃	61,291	60,372	52,216	66,842	60,811	52,502	45,637	66,615	44,468	57,242	63,901	67,785	58,307
支払い人数(移行・B型)	37	36	37	38	37	35	40	45	43	44	45	45	40

＜令和元年度＞ 就労収支及び工賃（生活介護事業）

別紙 8

1、収支明細

項目/月	31.4月	R2.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30.1月	2月	3月	合 計
関島企画	14,893	6,804	6,577	9,299	6,048	6,275							49,896
木下水引		14,820	13,380	18,333	22,076	15,023							83,632
作業内容													0
													0
													0
													0
													0
													0
収入合計	14,893	21,624	19,957	27,632	28,124	21,298	0	0	0	0	0	0	133,528
工 賃	14,893	21,624	19,957	27,632	28,124	21,298							133,528
作業委託料													0
													0
													0
経費計	14,893	21,624	19,957	27,632	28,124	21,298	0	0	0	0	0	0	133,528
差引計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2、利用者工賃

項目/月	31.4月	R2.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29.1月	2月	3月	平 均
総支給額	14,893	21,624	19,957	27,632	28,124	21,298							22,255
平均工賃	1,655	2,403	2,217	3,454	3,516	3,043							2,714
支払人数	9	9	9	8	8	7							8

＜令和元年度 実習、ボランティア等の受け入れ状況＞

期日	機関名	内容
精神看護学実習		
5/21～5/30	飯田女子短期大学	精神看護学実習：4名
6/25～7/5	飯田女子短期大学	精神看護学実習：5名
10/7～10/18	飯田女子短期大学	精神看護学実習：4名
養護学校 現場実習・校外学習		
6/11～6/15	飯田養護学校高等部	現場実習：3年1名
6/18～6/22	飯田養護学校高等部	現場実習：2年1名
6/25.27	飯田養護学校中学部	校外実習：2年5名
8/27～9/6	伊那養護学校高等部	現場実習：2年1名
11/5～11/9	飯田養護学校高等部	現場実習：3年1名
11/12～11/15	飯田養護学校高等部	みなしアセスメント：2年1名
11/27～12/1	飯田養護学校高等部	準アセスメント実習：1年2名
12/3～12/5	飯田養護学校高等部	準アセスメント実習：1年2名
1/23～1/24	伊那養護学校高等部	現場実習：2年1名
2/5～2/7	伊那養護学校高等部	現場実習：2年1名
1/30～1/31	飯田養護学校高等部	現場実習：3年1名
体験学習（職場体験）		
7/9～11	飯田市立飯田東中学校	福祉体験学習：3年1名
8/20～8/22	飯田市立飯田西中学校	福祉体験学習：3年1名
ボランティア受け入れ		
5/11・7/5・8/8 10/3・11/28・1/17	高森町 H様	作業支援、ご利用者支援

＜令和元年度 研修参加状況＞

期日	研修名・内容	主催
法人・事業所内研修		
4/26・7/2・8/30 9/27・2/19	虐待防止研修：講義・セルフチェック、グループワーク等	事業所
5/31	障害者総合支援法概要まとめ	事業所
12/25	感染症対策研修	事業所
月に1回	定例学習会	事業所
週に1回	ケース会議：ご利用者支援に関する検討	事業所
随時	復命研修：外部研修を受講した職員による復命	事業所
7/31・9/25・12/12 2/20	事例検討会	法人
5/28	リハビリテーション研修	法人
7/11・11/12 11/26・2/2	1等級研修・現場実習	法人
7/25・9/26・11/28 1/23・2/27	2,3等級研修	法人
月に1回	4等級研修	法人
外部研修		
8/31・9/1	発達・知的障がい者支援職員対象SSTファーストレベル研修	地域生活支援ネットワーク ケアサポート
10/24	令和元年度苦情対応システム研修会	長野県福祉サービス適正化 委員会
11/15	社会福祉施設等における感染症・食中毒等の発生及びまん延防止等に係る研修会	飯田保健福祉事務所
12/4	権利擁護推進セミナー	長野県社会福祉協議会
12/19	令和元年度障害福祉サービス事業所等の管理者向け障がい者虐待防止・権利擁護研修	長野県健康福祉部障がい支 援課
1/15・16・24 2/14・18	長野県相談支援従事者現任研修	長野県相談支援専門員協会

別紙 11



▲ 財力壁を承す

Dr. J. M. Moore - 10/11/11

一、以實地調查為示。

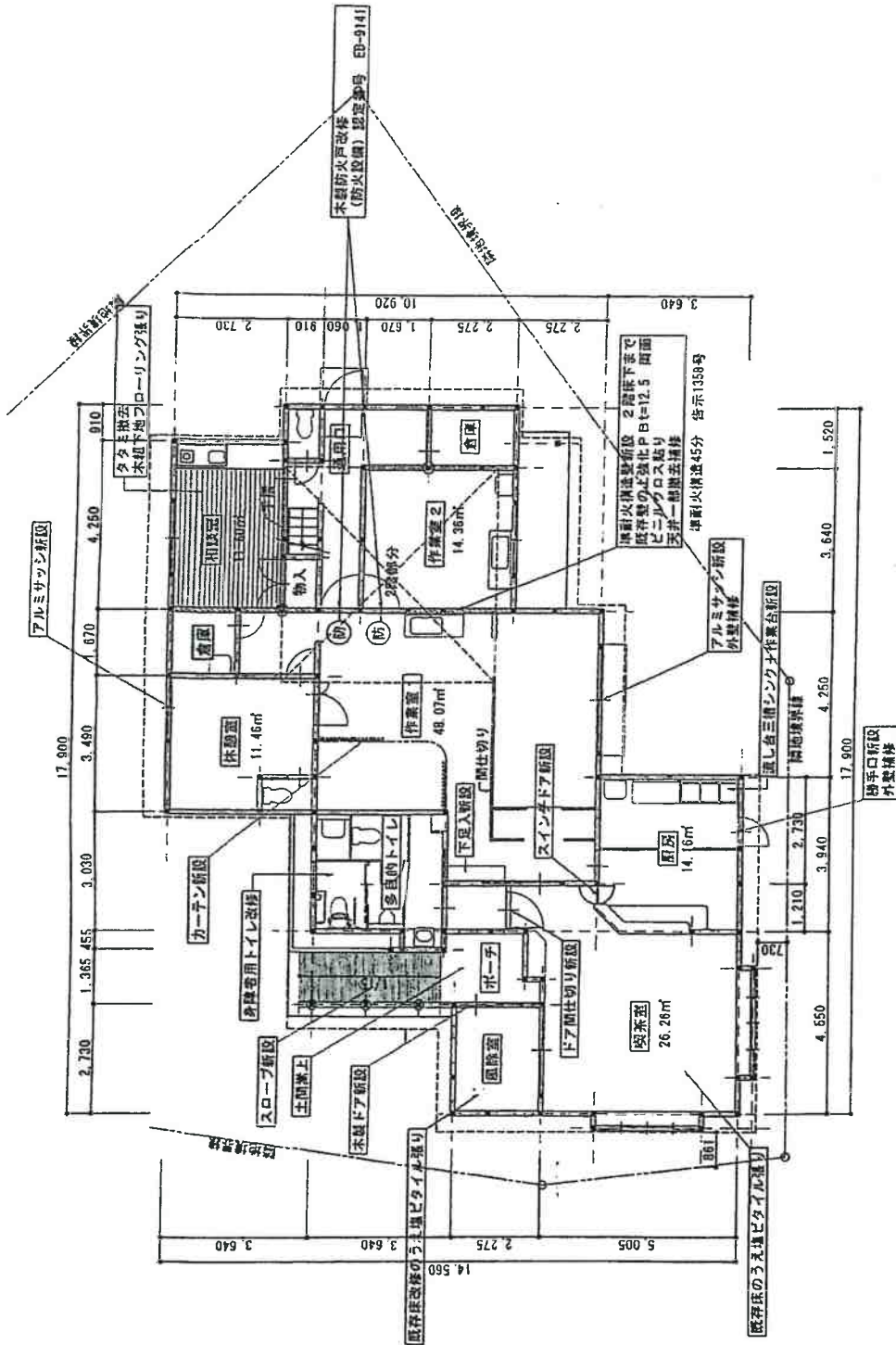
商務印書館

「工場の裏」

5

1

A-9



工 事 名		図 面 名		図 面 尺	
邸家の屋上廻廊がい階段サービス改修工事		改修後 1階 平面図		3	
図 考		図 面 尺		1/100	
1級建築士事務所登録(下伊)第12011号 1級建築士登録 第17977号 塩沢 廣		図 面 尺		1/100	
長野県飯田市大玉路2-21 TEL0265-22-6501 FAX0265-24-9974		図 面 尺		1/100	

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：松川町業務委託事業 松川町地域活動支援センターあすなろ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援センターⅢ型 定員 10 名・登録者 42 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 新型コロナウイルス感染防止期間を除いては、1 日平均 10 名以上の利用があった。新規の問い合わせは退院後の日中活動の場として、また余暇活動で利用したい希望者が多く、15 名の見学がありうち 5 名が新規登録につながった。
- ② 福祉サービスの事業所見学や生産活動、学習会などを実施し、次のステップへの支援を行った。今年度は 2 名が就労系事業所へ移行した。
- ③ 今年度より機能強化型事業Ⅲ型の補助金交付、地域生活支援給付費の算定が決定し、収入面においても安定した運営ができた。

(2) 課題と対応策等

① 利用率の安定と支援の質の向上

平均利用者数は 10 名以上であるが、プログラムへの参加率の低下や一人当たりの滞在時間が減少している。魅力的なプログラムの企画や継続性のある関わりが持てるような支援内容を検討し、支援の質を向上させる。

② 安定した経営の継続

地域活動支援センターは利用時間により報酬単価が異なるため、4 時間以上の滞在につながるような工夫を行う。グループ活動やボランティアの活用、事業所見学等を取り入れていく。また、地域生活支援事業において給付費支給の体制が整っていない町村に対して働きかけを行う。

③ 人材育成

障がい種別、利用目的も様々な方が利用されているため、幅広い利用者に対応できるように職員のスキルアップを目指す。法人内外の研修へ参加する。また、併設する特定相談支援事業所と連携し、相談支援を強化していく。

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	21	18	21	21	20	19	19	20	19	19	19	21
延べ利用者数	245	210	230	242	211	200	202	221	223	199	180	197
登録者数	39	40	40	41	41	42	43	44	44	44	45	42
日平均利用者	11.7	11.7	11	11.5	10.6	10.5	10.6	11.1	11.7	10.5	9.5	9.4

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規職員 専従	正規職員 兼務	パート 専従	パート 兼務	計	国家資格等
施設長（管理者）		1			1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員	1		1		2	社会福祉士 1、介護福祉士
合 計	1	1	1		3	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 10月9日 防災訓練（火災） 避難訓練、消火訓練

6. 公益的取り組みの状況

(1) 法人公益的事業あおぞら教室 年 10 回（毎月第 4 土曜日）

(2) まつかわ子ども福祉教室あいむ 年 5 回

7. 主な施設整備等

特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 3 期 5 か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況及び職員研修参加状況 … 別紙 2

(3) 苦情等一覧 … 別紙 3

(4) 平面図 … 別紙 4

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域活動支援事業の啓発活動	今年度は利用に向けた見学者は15名おり、5名が契約した。医療機関からの問い合わせが多く、退院後の日中活動の場としてのニーズが高いことが分かった。また、今年度もウエルカムデー（施設開放日）を実施し、リサイクルバザーを企画した。利用者のご家族が来所する良いきっかけとなった。	B
利用者ニーズに向けての支援強化と人材育成	あすなろでは『相談場所』『仕事へのステップ』へのニーズが高く、利用者それぞれの希望に沿って支援を行った。相談場所としては個別にまたはグループワークを用いながら支援を行った。また、仕事へのステップとしては作業活動の提供や事業所の見学等を取り入れている。今年度は就労継続支援B型事業所へ2名移行した。	B
松川町の障がい者福祉の充実	保健師や相談支援専門員と連携をしながら、面談や訪問などによる支援を行った。今年度登録者の5名のうち3名が松川町以外であり、町外の行政や関係機関とも連携を取ることが増えている。	B
法人の公益的事業の充実	継続事業として、まつかわこども福祉教室あいむ(松川町社協合同)の実施をしている。今年度は16名の児童が活動した。あおぞら教室は毎月実施し、法人事業所ご利用者中心に生涯学習の場として多様な活動を提供したが、今年度で終了となる。	B

(2) 第3期5か年計画（H30年度～R4年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域に関わられた事業活動の展開	H30年度よりウエルカムデー（施設開放日）の開催やホームページでの情報発信を行っている。また、自主製品づくりに力を入れ、行事での販売や施設へ訪問販売に行く機会を作った。今後は松川町や他事業所とも連携をしながら地域への普及啓発活動等を行っていく。	B
松川町の利用者ニーズの掘り起こしとつなぎ支援	平成30年度より利用者満足度調査を実施している。調査結果をもとに利用者のニーズに沿ったプログラムを企画しているが参加率が伸びず、個別支援を希望する利用者が増えている。職員だけでなく、ボランティアの活用や利用者同士助け合えるピアサポートの仲間づくりを取り組んでいく必要がある。	B
地域活動支援センターⅢ型事業の定着	R1年度より、機能強化事業Ⅲ型の申請及び地域生活支援給付費の請求が可能となり、安定した運営ができるようになった。10名の利用者数も定着しており、当事者や関係機関への認知度は高	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない		
--	--	-------------

(3) コメント

重点目標および5か年計画の内容は、地域活動支援センターの意義とも密接に関連している。これから求められる地域活動支援センターとして定着していくうえでも、行政（とくに松川町保健福祉課）や松川町社会福祉協議会、民生委員をはじめとする地域の方々と連携しながら、障がいを持つ人にとっての活動拠点、次の段階へのステップの場としてより確かな存在としていきたい。

ボランティア、実習受け入れ状況

期 日	団体名	内容	延べ人数
年 4 回	松川町保健師	講話(心と体の付き合い方)	1 名
4 月、9 月	宮下さん(個人)	将棋	1 名

視察・見学受け入れ状況

期 日	団体名	内容	人数
4 月 15 日	T 氏、伊那福祉事務所職員	事業所見学	2 名
4 月 18 日	下伊那日赤病院 相談員	事業所見学	1 名
5 月 23 日	中川村村議会、厚生文教委員会委員	事業所視察	6 名
6 月 22 日	Y 氏	事業所見学	1 名
6 月 25 日	T 氏、ほっとすまいる職員	事業所見学	2 名
6 月 29 日	宮下町長、松川町役場保健福祉課米山課長他	町長と語る会	19 名
8 月 8 日	M 氏、飯田病院 相談員	事業所見学	2 名
8 月 17 日	S 氏、松川町保健師	事業所見学	2 名
10 月 3 日	M 氏、豊丘村福祉係	事業所見学	2 名
11 月 9 日	K 氏	事業所見学	1 名
11 月 14 日	T 氏、松川町保健師	事業所見学	2 名
1 月 7 日	K 氏	事業所見学	1 名
1 月 16 日	M 氏、松川町保健師	事業所見学	2 名
1 月 17 日	S 氏、Y 氏、ほっとすまいる職員	事業所見学	3 名
2 月 15 日	M 氏	事業所見学	1 名
3 月 16 日	O 氏、下伊那日赤病院 相談員	事業所見学	2 名

職員研修

期 日	研修名	参加者
毎月	事例検討会(法人主催)	全員
隔月	自立支援協議会 精神チーム	高坂
8 月～1 月	「元気センター(仮称)」検討会他	
6 月、9 月	知障協 信州未来塾チーム支援力向上セミナー	高坂
9 月 10 日	知障協 精神科領域実践セミナー	久保田
11 月 9 日	信州大学 大しごと一く	藤澤、高坂

令和元年度苦情受付一覧表

別紙3

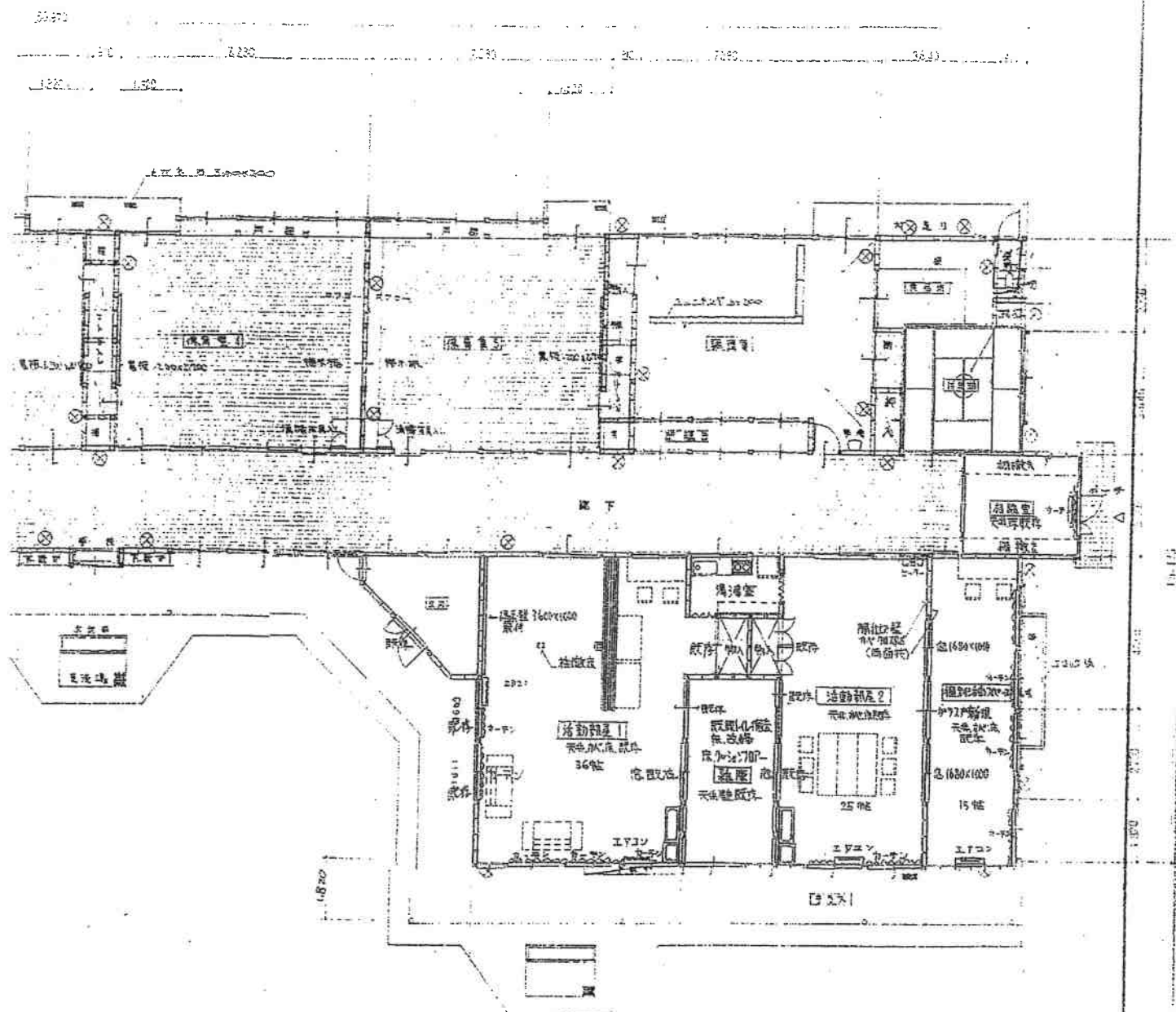
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三希望 員立会い
1	令和2年3月30日	利用者Kさん	1 職員の対応	1	2	事業所の利用時に職員から説明があったが、その内容が分かっていないことを強い口調で言われた。もう利用をしたくない。 最初の苦情を法人総務課が受けたため、その後管理者が電話、手紙等で状況の確認を行うが拒否をされている状況である。松川町保健福祉課に状況を説明し、必要に応じて本人への対応をお願いしている。		無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 1件 ※苦情のレベル 1 要望(本人の意向、意見、主張など) … 1件
 2 サービス内容(質・量) … 0件 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
 3 事故、被害、損害 … 0件 3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
 4 事業所運営 … 0件 4 その他 … 0件
 5 契約内容 … 0件
 6 建物の構造 … 0件
 7 その他 … 0件

- ※苦情の発生原因 1 説明・情報不足 … 0件
 2 職員の態度・言動 … 1件
 3 サービス内容 … 0件
 4 その他 … 0件

実績総数	1件
苦情受付	1件



単位 M²

建築面積 1019.52

床面積 665.34

敷地面積 1940.97

二階 1019.52

平面図

1/100

全図

1/100

1/100

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：飯島町指定管理事業 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援センターⅢ型 定員 10 名・登録者 33 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 1 日あたり 9.6 名の利用があり、前年度より約 1 名増加した。飯島町保健師からの紹介を中心に見学者も増え、今年度は 5 名の新規登録者があった。
- ② 地域への啓発活動として、ウエルカムデー（施設開放日）を行った。当日は約 80 名を超える来所者がある。また、開催にあたり広報誌にやすらぎの取り組みを掲載し、新聞やケーブルテレビの取材もあり、地域住民にやすらぎを知ってもらう機会となった。
- ③ 飯島町の相談窓口として、法人の相談支援専門員がやすらぎ内で相談日を月 1 回設置し、当事者やご家族、支援者等の相談を行った。

(2) 課題と対応策等

① ステップアップの場としての機能充実

今年度は就労系事業所に通っていたが辞めてやすらぎに通うことになった方が複数人いた。また、移行者もいなかったため次のステップに向けての意欲喚起や働きかけを意識したプログラムや支援を行う。

② 安定した経営

現在の職員体制による運営を行うには指定管理料のみでは厳しい状況が続いている。引き続き上伊那圏域の地域生活支援事業の見直し等を要望していく。

③ 人材育成

精神障がいや発達障がいなど関わり方が難しい方が増えており、職員一人ひとりの力量形成のためにも事例検討や研修会への参加が必要である。職員 2 名体制であるため、計画的な研修を組んでいく。

3. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	21	19	20	22	21	19	20	20	20	19	18	21
延べ利用者数	175	139	186	212	200	179	200	199	181	192	189	253
登録者数	31	29	32	32	32	32	32	31	31	31	31	33
日平均利用者	8.3	7.3	9.3	9.6	9.5	9.4	10	9.9	9.1	10.1	10.5	12

4. 職員配置状況

(H30.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規 専従	正規 兼務	パート 専従	パート 兼務	計	国家資格等
施設長（管理者）		1			1	社会福祉士・精神保健福祉士 1
生活支援員	1		1		2	
合 計	1	1	1		3	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 3月17日 防災訓練（火災・地震、通報・消火訓練）

6. 公益的取り組みの状況

(1) 法人公益的事業あおぞら教室への参加

7. 主な施設整備等

なし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第3期5か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況及び職員研修参加状況 … 別紙2

(3) 平面図 … 別紙

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
利用者確保に向けたニーズ把握の強化	継続的な取り組みとして、毎月1回の飯島町健康福祉課地域福祉係、保健師などと障がいを持つ人の情報を共有し、必要に応じた支援を行っている。また、家族の集いを年1回開催し、ニーズの聞き取り交流の機会としている。今年度は保健師やひきこもりサポーターと連携しながら見学者を受け入れた。5名の新規登録者があり、前年度より平均利用者数が1名増えた。	B
就労等次のステップに向けた支援とネットワークの構築	今年度は就労系事業所に通っていたが退所や一時中断をしてやすらぎに通う方、やすらぎ内で作業等の活動を続けたい希望者が多く、就労系事業所等への移行者はいなかった。今後は、ステップに向けた働きかけや事業所の見学等を取り入れながら、個々の目標に向けて支援を行う。	C
飯島町介護予防拠点施設「コスモス園」の維持管理及び利用者との交流促進	登録している10団体が活用しやすく管理、運営を行った。(新規登録1団体、脱退1団体) また、今年度はウエルカムデー(施設開放日)に利用団体を招いたステージ発表を行い、やすらぎだけでなく地域住民との交流する機会を作った。	B

(2) 第3期5か年計画(H30年度～R4年度)の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
行政機関と連携した地域ニーズへの働きかけの強化	継続して利用が中断しているご利用者に対して訪問や電話等による支援、プログラムを同封した手紙を定期的に発送している。また、保健師やひきこもりサポーター等が面談場所としてやすらぎを活用し、利用の促しやニーズをプログラムに反映できるように連携を行った。H30年度より利用満足度調査を実施し、結果をもとにプログラムの企画を行っている。	B
イベント開催や町内の行事等を活用した地域福祉の啓発活動	今年度にウエルカムデー(施設開放日)を開催した。町の広報誌に情報を掲載し、当日の様子を新聞やケーブルテレビで放送することで、地域住民に知ってもらえる機会となった。また、町内行事の健康福祉大会やふれあい広場は自主製品等の販売を通してやすらぎをPRできる良い機会となっているため、継続して参加をしていく。	B
利用者の希望する生活に向けた支援の強化	月1回の相談支援専門員による相談日を行い、個別ケースへの対応を行っている。また、職員の方量形成としてはケース検討会の実施や法人内外の研修に参加し支援の強化を図った。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る
しあわせ

重点目標と5か年計画の内容は、地域活動支援センターそのものの意義とも深い関係にある。行政（飯島町健康福祉課）とのかかわりが深く、細かい情報がやりとりできるメリットがある。これまで以上に行政をはじめとして地域の各福祉事業所やボランティア、住民の方々と手を携えながら、とくに障がいを持つ人にとっての活動拠点としてより確かな存在としていきたい。

ボランティア受け入れ状況

期日	団体名	内容	延べ人数
4月	個人：小林氏、木本氏、古田氏、坂井氏、武田氏 町地域福祉係、保健師	製品作り、運動、音楽療法、調理など	13名
5月	個人：木本氏、野村氏、古田氏 町地域福祉係、保健師	運動、調理、音楽療法	9名
6月	個人：武田氏、古田氏、小林氏、木本氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、製品作り、運動	10名
7月	個人：小林氏、古田氏、木本氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動	13名
8月	個人：木本氏、小林氏、望月氏、古田氏 町地域福祉係、保健師	運動、調理、音楽療法	8名
9月	個人：小林氏、古田氏、木本氏、望月氏 町地域福祉係、保健師、	製品作り、音楽療法、運動、調理	13名
10月	個人：小林氏、古田氏、木本氏 町地域福祉係、保健師、サンスポート、すみれ会	旅行付添い、製品作り、調理、音楽療法、運動、舞蹈	15名
11月	個人：小林氏、古田氏、木本氏 女性情報ネットワーク、町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、製品作り、抹茶の会など	20名
12月	個人：木本氏、小林氏、扇島氏、古田氏、望月氏 町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、製品作りなど	16名
1月	個人：木本氏、古田氏、小林氏、坂井氏、平野氏、野村氏、下平氏 糸ぐるま、すみれ会、ハーモニカ同好会、町地域福祉係、保健師	調理、音楽療法、運動、ウエルカムデーなど	37名
2月	個人：小林氏、木本氏、古田氏、小林か氏 町地域福祉係、保健師、サンスポート	調理、音楽療法、運動、製品作り、ハンドマッサージ	13名
3月	個人：小林氏、木本氏	製品作り、運動	2名

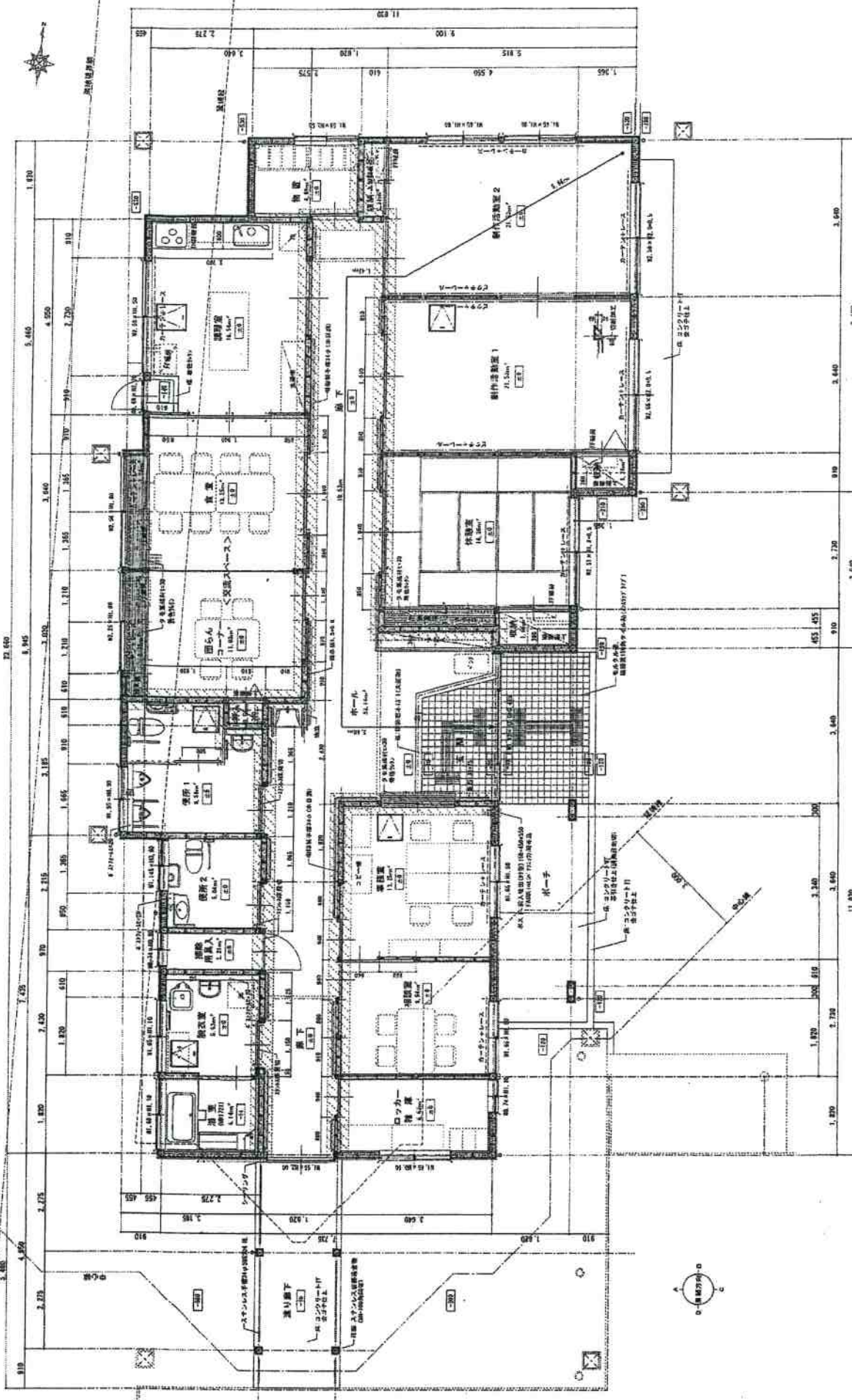
視察・見学受け入れ状況

期日	団体名	内容	人数
5月28日	駒ヶ根看護大学 学生	施設見学	6名
6月3日～ 14日	伊那養護学校 高等部2年生	現場実習	1名
6月20日	H氏母親	施設見学	1名
7月1日	S氏、飯島町保健師	施設見学	2名

7月24日	F氏、飯島町社協職員	施設見学	2名
9月20日	伊那保健福祉事務所 福祉課	施設見学	4名
10月11日	M氏、母親	施設見学	2名
10月21日	K氏	施設見学	1名
12月6日	飯島中学校 1年生、教員	交流学習会	5名
1月9日	Y氏、母親、飯島町保健師	施設見学	3名

職員研修

期 日	研修名	参加者
毎月	事例検討会（法人主催）	全職員
7月29日	知障協 精神科領域実践セミナー	富永
9月20日	知障協 精神科領域実践セミナー	下澤
10月24日	令和元年度苦情対応システム研修会	下澤
12月10日	感染症研修（保健師）	全職員



防火上必要な防壁切替：木下地、換気口こうろード等には5(小)以下
 (若し55号 5分速耐火構造)

※型枠のおよそのある部分の寸法は、防火構造とする。

※歩行距離(歩道幅)：3.84+0.51+1.41+5.66=11.0
 21.49m ≧ 50.00m ≧ 0.0m

※歩行距離(歩道幅)：3.84+0.51+1.41+5.66=11.0
 21.49m ≧ 50.00m ≧ 0.0m

※歩行距離(歩道幅)：3.84+0.51+1.41+5.66=11.0
 21.49m ≧ 50.00m ≧ 0.0m

図面番号 A-07	日付 2017/10	図名 平面図	図面内容 中成25年度 地区介護・福祉型施設整備事業 高齢者福祉センター 一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百	所在地 東京都	設計者 小林建築設計事務所	設計者 TEL 03-55-5599 FAX 03-55-5599 〒168-0040 東京都文京区 1-6-8 040号	設計者 TEL 03-55-5599 FAX 03-55-5599 〒168-0040 東京都文京区 1-6-8 040号	設計者 TEL 03-55-5599 FAX 03-55-5599 〒168-0040 東京都文京区 1-6-8 040号
--------------	---------------	-----------	--	------------	------------------	--	--	--

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：共同生活援助事業 コーポヘルメス

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 共同生活援助事業 定員 36 名 サテライト 2 名 計 38 名
契約者 34 名 サテライト 2 名 計 36 名

2. 概要

(1) 運営の概要

コーポヘルメスは、業務形態からホームスタッフの確保が難しく慢性的な人員不足となっている。また、拠点も6ホームとなり各ホームの人員体制についてもばらつきがあった。加えて建物の老朽化や利用者の高齢化の問題もあり、今後のホームの在り方に関して検討委員会を立ち上げ、ホーム運営の今後の在り方を検討した。利用者の安心できる生活、職員の体制や建て替えの方向付けなどできる限り具体的に、また期間を設けて計画を実施した。詳細はあり方検討の資料を参照。

現在、契約者は 34 名となっており、空床のホームがある。欠員補充が計画性をもって進められない面も反省点であるが、ホームの建替えを実施する方向の中で拠点の集約や定員の減員を計画していることから、欠員補充を行わずに統廃合に向けた準備を進めることとした。

利用者（一部保護者）への満足度調査を実施し、その結果についても今後のホームの在り方検討に盛り込んだ。利用者に対しての情報提供の在り方や意見要望など課題をもらった。また、独り暮らしを希望したいとの意見が全体の 3 割程度ありことがわかり、独り暮らしに対する支援も検討していきたい。

人材育成部との連動により人材育成重点事業所として職員の研修体制や運営体制など検討してきた。事業所内研修は数回程度しかできずに、課題が残っているが、運営体制についてはホームの在り方検討に盛り込んだり、年度末には業務マニュアルをホーム毎に整備するなど、職員がホームスタッフなどと兼務するなど厳しい体制の中進めてきた。

(2) 課題と対応策等

- ① ホームの老朽化：
検討委員会の立ち上げて、令和 2 年度より具体的に進めていく
- ② 利用者の高齢化：
介護保険施設への移行を含め、相談支援や行政等と連携をとる
- ③ スタッフ確保の課題の改善：
ホームの拠点集約や働き方の見直しを行っていく

3. 利用実績

* 令和元年度 利用者数等実績一覧表 別紙3

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)		1	社会福祉士 1
サービス管理責任者 支援員兼任（1）	2		2	介護福祉士・社会福祉士
生活支援員	9	4	13	教員 1 介護福祉士 4 社会福祉士 1 看護師 1 准看護師 1
ホームスタッフ		15	15	
ナイトスタッフ 支援員兼任	6	17	23	
看護師 支援員兼任（2）	1	2	3	
合 計	19	38	57	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) 連絡網整備
- (2) 災害時備蓄品配備
- (3) 土砂災害に関する避難確保計画（ヘルメス、宮坂）を作成（行政に提出）

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 毎月あおぞら教室ご利用者、支援員参加

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

事業名等	事業費総額	内補助金等	備考（竣工月）
コーポ宮坂ブロック塀改修工事	1,188,000 円	891,000 円	7 月

(2) 固定資産物品

物 品 名 等	規格等	数	単 価	総 額	備 考
特になし					

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況… 別紙1
- (2) H31.3介護給付費等の算定に係る体制等の状況… 別紙2
- (3) 利用者数等実績一覧表… 別紙3
- (4) 職員研修参加状況… 別紙4
- (5) 苦情等の状況… 別紙5
- (6) 今後のグループホームの在り方(あり方検討委員会まとめ)… 別紙6
- (7) コーポヘルメスご利用者サービス満足度調査… 別紙7

2. 重点目標及び評価（別紙1）

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
利用者の目的にあった暮らしへの支援	個々の暮らしを基本に、地域への参加や希望する活動を提供した。 ショートステイ（新井）を実施し、地域生活のニーズの受け入れの充実を図っている。	A
地域との関係づくり（奉仕活動、防災協力含む）	サテライト型グループホームにおいて一人暮らしに向けた支援を行っている。 各自治会の地域事業や災害訓練等の参加は継続している。地域に貢献できる事業所としての具体的な取り組みができておらず、課題は残っている。	B
人材確保と育成、権利擁護の風土化した組織	支援員がホームスタッフ業務に合えて入る体制づくりによって、ホームスタッフとの連携を図り、ご利用者の生活支援の充実を図ることができるよう対応している 虐待防止研修をホーム内で実施したり、法人理念について今一度理解を進めることにより、組織に属する職員として意識をもってもらう	B
災害発生時の対応も強化と設備整備	災害時の備蓄品の配備を行い、今後はさらに保管方法や情報共有の充実が必要。 土砂災害警戒区域に立地しているホームについては避難確保計画を作成	B
既存ホームの老朽化への対応の検討	ホームの在り方検討を実施し、令和3年度末までに拠点を統合し建替えを実施予定	A

(2) 5か年計画（平成30年度～令和4年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
グループホームの再編成と展開の検討、実施	新しく、一人暮らしを希望しているご利用者を迎え環境整備を行い、一人暮らしへの希望を叶えるための支援を行っている。支援員の不足などでご利用者の訪問や相談等が密にできていない。	B
業務マニュアルの見直しと徹底	ホーム毎の業務マニュアルを令和元年度末までに作成した。 今後はそれを遂行するために周知徹底・実践を図っていく	B
利用者満足度調査と家族会の実施	6月から7月にかけて利用者満足度調査を実施した。障がいの特性により筆記が出来る方については保護者をお願いした。調査の中で実態把握がよりできやすくなったが、内容などは今後も検討が必要。家族会は開催できなかった。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分(※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等	適用開始日
各サービス共通					地域区分 1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 8. 〇、その他	
共同生活援助					施設区分 (1. 介護サービス包括型 2. 外部サービス利用型 3. 日中サービス支援型 (1. なし) 2. 定員8人以上 3. 定員21人以上 4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)	
					職員欠如 (1. なし) 2. あり	
					サービス管理責任者欠如 (1. なし) 2. あり	
					福祉専門職員配置等 1. なし 3. Ⅱ 4. Ⅲ (5. Ⅰ)	
					視覚・聴覚等支援体制 (1. なし) 2. あり	
					看護職員配置体制 1. なし (2. あり)	
					夜間支援等体制 1. なし (2. Ⅰ) 3. Ⅱ 4. Ⅲ 5. Ⅰ・Ⅱ 6. Ⅰ・Ⅲ 7. Ⅱ・Ⅲ 8. Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
					夜勤職員配置体制 (1. なし) 2. あり	
					重度障害者支援職員配置(※12) 1. なし (2. あり)	
					地域生活移行個別支援 (1. なし) 2. あり	
					精神障害者地域移行体制 (1. なし) 2. あり	
					強度行動障害等地域移行体制 (1. なし) 2. あり	
					医療連携体制加算(Ⅴ) (1. なし) 2. あり	
					通所者生活支援 (1. なし) 2. あり	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象 1. なし (2. あり)	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象 (1. なし) 2. あり	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象 1. なし (2. あり)	
					キャリアパス区分(※3) Ⅰ (キャリアパス要件(Ⅰ及びⅡ)及び職場環境等要件のいずれも満たす) Ⅱ (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) Ⅲ (キャリアパス要件を満たさない) Ⅳ (職場環境等要件を満たさない) Ⅴ (キャリアパス要件(Ⅰ及びⅡ)及び職場環境等要件のいずれも満たす) Ⅵ (キャリアパス要件(Ⅰ及びⅡ)及び職場環境等要件のいずれも満たす) (1. Ⅰ (2. Ⅱ)	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分(※4) (1. Ⅰ (2. Ⅱ)	
					指定管理者制度適用区分 (1. 非該当 2. 該当)	
相談支援					地域生活支援拠点等 (1. 非該当 2. 該当)	
					相談支援特定事業所 1. なし 2. Ⅲ 3. Ⅰ 4. Ⅱ 5. Ⅳ	
					行動障害支援体制 1. なし 2. あり	
					要介護度支援体制 1. なし 2. あり	
計画相談支援					精神障害者支援体制 1. なし 2. あり	
					地域生活支援拠点等 1. 非該当 2. 該当	

※1 多機能型事業所または複数の単位でサービス提供している事業所については、一体的な管理による複数サービス種類の利用定員の合計数を利用定員とした場合の報酬を算定することとなるため、「定員区分」には利用定員の合計数を設定する。

ただし、以下の加算については、サービス種類毎または単位毎の利用定員に応じた報酬を算定する。

生活介護…人員配置体制加算、常勤看護職員等配置加算、就労移行支援体制加算
施設入所支援…夜勤職員配置体制加算
自立訓練(機能訓練・生活訓練)…就労移行支援体制加算
就労継続支援A型…重度者支援体制加算、就労移行支援体制加算、資金向上達成指導員配置加算
就労継続支援B型…重度者支援体制加算、目標工賃達成指導員配置加算、就労移行支援体制加算

その場合、「多機能型等定員区分(加算)」には、以下の内容を設定する。

生活介護、施設入所支援、自立訓練(機能訓練・生活訓練)…各サービス種類の単位毎の利用定員。
就労継続支援A型、就労継続支援B型…各サービス種類の利用定員。

なお、「定員区分」と「多機能型等定員区分(加算)」が同一の場合、「多機能型等定員区分(加算)」は設定しない。

※2 「人員配置区分」欄には、報酬算定上の区分を設定する。

※3 「キャリアパス区分」欄は、福祉・介護職員処遇改善加算対象が「2. あり」の場合に設定する。

※4 「福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分」欄は、福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象が「2. あり」の場合に設定する。

※5 18歳以上の障害児施設入所者への対応として、児童福祉法に基づく指定基準を満たすことをもって、障害者総合支援法に基づく指定基準を満たしているものとみなす特例措置の対象を設定する。

※6 「開所時間減算区分」欄は、開所時間減算が「2. あり」の場合に設定する。

※7 「主たる事業所サービス種類1」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、福祉・介護職員処遇改善特別加算対象または福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象が「2. あり」であり、障害者支援施設における日中活動サービスの場合「32:施設入所支援」を設定する。短期入所については、指定共同生活援助事業所(外部サービス利用型指定共同生活援助及び日中サービス支援型指定共同生活援助を含む)において行った場合は「33:共同生活援助」、指定宿泊型自立訓練事業所において行った場合は「34:宿泊型自立訓練」、単独型事業所において行った場合は「22:生活介護」を設定する。

※8 「共生型サービス対象区分」欄が「2. 該当」の場合に設定する。

※9 「主たる事業所施設区分」欄には、福祉・介護職員処遇改善加算対象、福祉・介護職員処遇改善特別加算対象または福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象が「2. あり」であり、共同生活援助事業所にて短期入所を実施する場合、「1:介護サービス包括型」、「2:外部サービス利用型」または「3. 日中サービス支援型」を設定する。

※10 就労移行支援及び就労移行支援(養成)について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から2年を経過しない既存事業所の場合、「08:無し(経過措置対象)」を設定する。
就労継続支援A型について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から1年を経過しない既存事業所の場合、「08:無し(経過措置対象)」を設定する。
就労継続支援B型について、平成30年度報酬改定の基本報酬体系適用後の新規事業所及び指定を受けた日から1年を経過しない既存事業所の場合、「08:無し(経過措置対象)」を設定する。

※11 「大規模住居」欄の「2. 定員8人以上」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「外部サービス利用型」の場合に限る。また、「4. 定員21人以上(一体的な運営が行われている場合)」は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に限る。

※12 「重度障害者支援職員配置」欄は、施設区分が「介護サービス包括型」及び「日中サービス支援型」の場合に設定する。

入居者数等実績一覧表

入居者数等実績一覧表		実入居者												
ホーム名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
コーポヘルメス (松川町)	7	6.9	6.84	7	7	6.74	7	6	6	5.84	5.84	6	6	6.43
コーポ原町 (高森町)	6	6	5	5	4.74	3.77	4	5	5	5	5	4.69	4	4.77
コーポ宮田 (宮田村)	4	4	4	4	4	3.97	4	4	4	3.97	3.97	4	4	3.99
コーポ宗源原 (松川町)	7	7	6.94	7	7	6.94	7	7	7	6.97	6.9	7	7	6.98
コーポ新井 (松川町)	5	3.47	3.42	3.97	4.65	4.48	4.47	4.61	4.6	4.58	4.42	4.34	4.58	4.30
コーポ宮坂 (松川町)	7	5.87	6.74	7	7	6.65	6.8	6	6.47	6.81	6.55	7	7	6.66
サテライト住居 (松川:まづがみ)	2	1.87	1.74	2	2	1.87	1.93	2	1.87	1.94	1.94	1.97	2	1.93
計	38	35.11	34.68	35.97	36.39	34.42	35.2	34.61	34.94	35.11	34.62	35	34.58	35.05

職員研修

日にち	研修名	開催地	参加者
隔月 (5・7・9・10・11月)	自立支援協議会くらし部会 (身体・重心チーム)	飯田市	サビ管・支援員
4・6・9・12・2月	飯伊圏域GH世話人研修会	飯田市	サビ管・支援員・世話人
7・9・12・2月	精神科領域セミナー(知障害享協)	岡谷市	桜井
	支援技術向上研修	松川町	希望職員
7月2日～3日	主任・係長研修	東京	宮島
8月29日～30日	全国GH等研修	千葉県	サビ管2名・支援員1名
10月	強度行動障がい支援研修(基礎・実践)	松本市	那須野
10月30日	感染症研修	えみりあ	全職員
11月	行動援護従事者研修	塩尻市	岩村
12月12日	カード活用アドバイザー講座	名古屋	畔上
12月19日	虐待防止研修会(管理者向け)	飯島町	畔上
2月14日・17日	虐待防止研修会	えみりあ	全職員

令和元年度苦情受付一覧表

別紙5

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 有/無
1	令和1年5月6日	保護者	入居者に傷があった件 (状況確認と事故防止)	要望 請求		帰省の際、背中に傷を発見した。自分でつけたような傷とは思えない為、調査してほしい	帰省前に傷があったことを確認し、全身をチェックする表を導入し対応する。職員にも周知する。 暇になった原因は特定できなかったが、考えられる手段を提示させていただき、合わせて謝罪を行う。	無
2	令和2年3月6日	宮坂利用者	職員として不適切な言動の件	要望 請求		職員が洗米時炊飯器にいれた水（美味しく炊けるとの理由）を利用者さんが取ろうとし、そこで押し問答になり「お前は汚いから触るな」と言ったとの事」現場を目撃していた利用者さん（苦情申出者）が、それによりとても気分が悪くなったので改めて欲しいとの事。	3月5日該当職員に確認。ぎつぐつ言ってしまったとの事実を確認。本人の気持ち、周りの目を常に意識し職員として言動に十分注意してほしい事をお伝えする。 ・利用者対応に苦慮している結果、生じた事案であるので、対応方法がわからないうちに「業務日誌」に記載、電話での連絡、会談で議題にあげる事でフォローアップし、サビ管が定期的に巡回し、困り感や対応方法などを伝えていく事を確認	無

令和 2 年 1 月 14 日

今後のグループホームの在り方について

☐ 法人理念を「運営の支え」として基本に据える。

～人権の保障と幸福を共に創る～

☐ コーポヘルメスの役割・特徴を以下とする。

- ① 必要なマンパワーが確保され、安心してサービス提供ができる。
- ② 拠点を集約し効率の良い運営をする。
- ③ 地域の中で様々な機関と連携し、利用者の生活のデザインをする(入所と GH の違い)。
- ④ 利用者の持つ力を大切にする。
- ⑤ 高齢化への対応として、安心して暮らせる場の見通しを 60 歳から持ってもらう。
- ⑥ 利用者の一人暮らし、重度な方の地域生活を推進する。

☐ 次の方向性をもって事業の推進を図る。

1、マンパワーの確保、効率的な運営に向け GH の統廃合と新ホームの整備

- ・ GH を集約することで効率的や職員連携が図られるため町内を中心とした運営形態を基本としていく。
- ・ 新グループホームを松川町内に整備をすることとして、特にコーポ原町・コーポ宮田は統廃を進める。また、老朽化や災害対策として、コーポヘルメス・コーポ宮坂においても移転を検討する。各ホームの食事の提供方法を見直しを検討する。
現在の入居者は令和 3 年 3 月末までに本人及び家族の意向を確認し相談支援専門員と連携して養護老人ホーム又は別の GH 等への移行を行う。
- ・ 新グループホームの整備を令和 3 年度中として、GH の運営形態、建設費用、施設整備助成金等から施設運営概算額を算出して素案を作成する。

2、組織体制の見直し

- ・ 令和 2 年 4 月からコーポ宗源原とコーポ新井の 2 ホームを重度障害者利用のホームとして同一の組織体制として勤務表を 1 本化する。そのことにより、関わる職員が増えバックアップ体制の強化につながる(宗源原の 2 名体制も見直し)。
- ・ 一定期間において全スタッフの事業所間異動を実施する。特に世話人は相談ができない孤独感があることから、ホーム毎の違いや動きを理解して事業所内でのバックアップ、チーム体制をつくる。
- ・ 組織を作る上で最重要は、報告・連絡・相談のシステムづくりであるため、グループウェアやモバイル媒体(スマホ・タブレットなど)の活用により常に顔を合わせなくてもチーム支援が可能な体制を整備する。

- ・ GH 職員のみならず、法人内事業所でバックアップ体制がとれる仕組みを研究する。

3、人材育成と人材確保に向けた取り組み

- ・ 正規職員はグループホームの制度等を熟知できたり、利用者支援の見識を広げることができる研修が必要である（座学と見て聞いて確かめる）。
- ・ ホームスタッフ（ナイトスタッフ含む）は一人職場としての意識が強いため、OJT を通した実践的な研修機会とそれを補完する集合研修が必要。
- ・ 法人理念を据えて、親愛の里グループホームの特色をうち出していくことで、人材確保・育成・定着を図る。

4、運営面

- ・ ショートステイを積極的に受け入れていく。
- ・ コーポ原町に閉所とする移行期間中にショートステイを1室設ける。
- ・ 欠員の対応として、マニュアル及び希望者リスト作りを進めると共に、圏域内の相談支援事業所協力の下、調査と研究を実施してニーズ把握を行う。
- ・ 効率の良い運営のために人員配置の見直しを行う。

5、その他

① 休日の日中支援等

- ・ GH としては、まず個々の活動を後押しすることが第一と考え、地域資源やサービスの活用を考える（立ち位置は活動をコーディネートすること）

② 夜間の手薄な支援体制

- ・ 全ホーム1名体制による危機管理が不十分な課題を解決することを最優先
- ・ 有事の際はコーポ新井から応援に行ける体制構築に向けてコーポ新井に宿直者の配置を検討する。

③ 高齢化の対応

- ・ 年齢や既往などに配慮して、利用者に対し「移行プラン」を中期的に作成して介護保険施設、養護老人ホームへの入所検討を行う
- ・ 移行先においては、相談支援専門員との連携を図り情報を共有する
- ・ 利用者又は家族（保護者）にもホームの意向を理解いただける取り組みを実施

④ サテライト事業所

- ・ 入居から3年を目安に1人暮らし等への移行が可能なシステムを研究
- ・ 一人暮らしに移行したことをイメージして支援あり方やサービス等のアセスメントを強化する。
- ・ 既存のサービスでは解決できない課題に対し、システムを開発する
- ・ 新サービスとして、自立生活援助事業の検討（3年以内）

⑤ 重度な方の支援

- ・ 重い障がいがあっても地域生活が可能な支援や仕組みを研究する
- ・ 環境的な配慮を主眼に置いた取り組みをする（構造化・個別化）

1.あなたがグループホームを利用してどのくらいですか。		けんすう 件数	わりあい 割合
1	いない 1年以内	2	5.9
2	1年以上5年未満	14	41.2
3	5年以上10年未満	3	8.8
4	10年以上	11	32.4
5	むかいとう 無回答	4	11.8
ごうけい 合計		34	100.0

2.あなたは職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか。 しよくいんことばづか たいど ふくそう てきせつ おも		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	28	82.4
2	いいえ	3	8.8
3	どちらともいえない	3	8.8
4	むかいとう 無回答	0	0.0
ごうけい 合計		34	100.0

3.あなたが見られたり知られたくない、聞かれたくないこと（個人情報）に き ごしんじょうほう ついて職員は配慮してくれますか。 はいりょ		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	27	79.4
2	いいえ	3	8.8
3	どちらともいえない	3	8.8
4	むかいとう 無回答	1	2.9
ごうけい 合計		34	100.0

4.ホームの利用を始める際に、サービス内容や方法について、分かりやすい 説明がありましたか。		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	19	55.9
2	いいえ	8	23.5

3	どちらともいえない	5	14.7
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

5.職員はあなたの話に耳を傾けてくれますか。 はなし みみ かたむ		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	24	70.6
2	いいえ	2	5.9
3	どちらともいえない	6	17.6
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

6.職員は他の利用者さんと同じように分け隔てなくあなたに接してくれますか しよくいんほか りようしゃ おな わ へだ せつ		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	28	82.4
2	いいえ	0	0.0
3	どちらともいえない	5	14.7
4	むかいとう 無回答	1	2.9
ごうけい 合計		34	100.0

7.職員の対応にゆとりが感じられますか。(乱暴な言葉遣いはありませんか) しよくいんたいおう かん らんぼう ことばづか		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	23	67.6
2	いいえ	6	17.6
3	どちらともいえない	4	11.8
4	むかいとう 無回答	1	2.9
ごうけい 合計		34	100.0

8.不満や苦情など職員に相談できない場合は、職員以外の人（第三者委員など）にも相談できることを知っていますか。 ふまん くしょう しよくいんそうたん はあい しよくいんかい ひと だいさんしやいん そうだん し		けんすう 件数	わりあい 割合

1	はい	15	44.1
2	いいえ	13	38.2
3	どちらともいえない	4	11.8
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

9. サービスの計画をするときや見直しの時、あなたやあなたの家族の意見や ようぼう き 要望を聞いてくれますか。		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	20	58.8
2	いいえ	4	11.8
3	どちらともいえない	8	23.5
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

10. 時間をかければあなたが自力でできることなのに職員が代わりにやって しまうことはありますか。		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	9	26.5
2	いいえ	15	44.1
3	どちらともいえない	8	23.5
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

11. 職員は何かを決めたり選んだりするときに相談に乗ってくれますか。		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	27	79.4
2	いいえ	4	11.8
3	どちらともいえない	1	2.9
4	むかいとう 無回答	2	5.9

ごうけい 合計	34	100.0
------------	----	-------

12.グループホームの食事はおいしいですか ^{しよくじ}	けんすう 件数	わりあい 割合
1 はい	26	76.5
2 いいえ	3	8.8
3 どちらともいえない	2	5.9
4 むかいとう 無回答	3	8.8
ごうけい 合計	34	100.0

13.自室は過ごしやすい環境になっていますか（衛生面、設備など） ^{じしつ す かんきょう えいせいめん せつび}	けんすう 件数	わりあい 割合
1 はい	27	79.4
2 いいえ	2	5.9
3 どちらともいえない	3	8.8
4 むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計	34	100.0

14.共有スペースは過ごしやすい環境になっていますか（衛生面、設備等） ^{きょうゆう す かんきょう えいせいめん せつび どう}	けんすう 件数	わりあい 割合
1 はい	25	73.5
2 いいえ	6	17.6
3 どちらともいえない	0	0.0
4 むかいとう 無回答	3	8.8
ごうけい 合計	34	100.0

15.お風呂は安心して入れていますか、また満足していますか。 ^{ふろ あんしん はい まんぞく}	けんすう 件数	わりあい 割合
1 はい	28	82.4
2 いいえ	3	8.8

3	どちらともいえない	1	2.9
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

16.グループホームの中で必要な支援を十分受けていると感じていますか なか ひつよう しえん じゅうぶん かん		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい。	26	76.5
2	いいえ。	3	8.8
3	どちらともいえない	3	8.8
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

17.職員はあなたの気持ちや体調を気遣ってくれますか しょくいん きも たいちょうきづか		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	28	82.4
2	いいえ	2	5.9
3	どちらともいえない	2	5.9
4	むかいとう 無回答	2	5.9
ごうけい 合計		34	100.0

18.趣味ややりたいことを楽しめていますか しゅみ たの		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	20	58.8
2	いいえ	4	11.8
3	どちらともいえない	7	20.6
4	むかいとう 無回答	3	8.8
ごうけい 合計		34	100.0

19.他の利用者との交流や取り組みが十分に出来ていますか ほか りようしゃ ごうりゅうと く じゅうぶんでき		けんすう 件数	わりあい 割合
1	はい	20	58.8
2	いいえ	7	20.6

3	どちらともいえない	6	17.6
4	むかいとう 無回答	1	2.9
	ごうけい 合計	34	100.0

しょういん	かね	かんり	しえん	けんすう 件数	わりあい 割合
20.	職員はあなたがお金の管理ができるよう支援してくれていますか				
1	はい			26	76.5
2	いいえ			1	2.9
3	どちらともいえない			3	8.8
4	むかいとう 無回答			4	11.8
	ごうけい 合計			34	100.0

きぼう	おう	がいしゅつがいはく	けんすう 件数	わりあい 割合
21.	あなたの希望に応じて外出・外泊をすることができますか。			
1	はい		27	79.4
2	いいえ		4	11.8
3	どちらともいえない		2	5.9
4	むかいとう 無回答		1	2.9
	ごうけい 合計		34	100.0

しょうらい	で	せいかつ	きぼう	けんすう 件数	わりあい 割合
22.	将来グループホームを出て、アパートなどで生活を希望しますか				
1	はい			11	32.4
2	いいえ			17	50.0
3	どちらともいえない			4	11.8
4	むかいとう 無回答			2	5.9
	ごうけい 合計			34	100.0

こんご	ひ	つづ	しんあい	さと	りよう	きぼう	けんすう 件数	わりあい 割合
23.	今後も引き続き親愛の里のサービスの利用を希望しますか							
1	はい						30	88.2
2	いいえ						1	2.9
3	どちらともいえない						2	5.9
4	むかいとう 無回答						1	2.9
	ごうけい 合計						34	100.0

24	その他、グループホームからあなたに知らせて欲しい情報、もしくはあなたが知りた ^し いとおもっていることがあれば、記入してください。
	ヒルマ カツドウ ナイヨウ 昼間の活動での内容
	ダイ ジョセイ シエンイン キ 30代の女性の支援員に来てほしい
	オオアメ ジシン ミマ ヒナン オシ ホ 大雨や地震とかに見舞われたときどこに避難したらいいか教えて欲しい
	ゲンカン シンブン コトワ ハ ガミ ホ 玄関に「新聞お断り」と張り紙をして欲しい
	キンキュウヨウミズ ツカ ハンダ 緊急用の水を使ってご飯炊きをしてみてほしい
	ヒト ク ハジ マエ キボウ 独り暮らしを始める前、希望できるサービスがあるか
	おうちがいつできる
	ヒビ セイカツ ヨウス ミ 日々の生活の様子が見えにくい

25	あなたから見て、グループホームのよいところを記入してください。
	ト ショクジ ハン バランスの取れた食事・ご飯がおいしい
	セイカツ タノ グループホームで生活できてうれしい。とても楽しい。
	エアコン・テレビ・ベッド・クローゼットがある
	キョシツ 居室でくつろげる
	ヤサ リョウシャ 優しい利用者さんがいる
	アタタ シャカイ オナ カンキョウ テン 温かみのある社会と同じ環境にある点
	リョウリ ツク 料理ができないので作ってくれとこ
	ナニ ソウダン イッショ カンガ ウレ 何か相談すると一緒になって考えてくれるのが嬉しい
	ジュウ 自由がきく
	タス ア ナカヨ ステキ オモ みんなで助け合い仲良くできるところが素敵だと思う
	セイソウ ヤクワザンタン キョウリョク ステキ オモ 清掃とか役割分担をと協力するところが素敵だと思う
	エイガ ミ 映画が見れるようになった
	キョウシツ あおぞら教室にいった
	ヒトリヒトリ コシツ 一人一人の個室があつてそこではほっとできる。
	シュウマツキセイ ヘイジツ シエンイン ホカ リョウシャ ヒト ナカ セイカツ 週末は帰省している。平日は支援員や他の利用者さんなど人の中で生活できること

	ショウニンズウセイカツ メ イ トド カン 少人数の生活なので目が行き届くように感じる
	ジブン イエ カン ジカン シバ 自分の家のように感じる。時間に縛られない
	ジブン ヘヤ ヒロ 自分のお部屋が広い
	シンセツ スタッフが親切
	ショウニンズウズ ショクインメ トド 少人数で静かで、職員の目が届く
	フンイキ アンシン タノ ス アットホームな雰囲気です安心して楽しく過ごせる
	ショクインヤサ 職員が優しい

26 その他お気づきの点をご自由にお書きください。

	ジドウハンバイキ テカ モド 自動販売機を近くに返してほしい
	ホカ リョウシャ カッテ ヘヤ ハイ 他の利用者が勝手に部屋に入ってくる
	ショクインカ イヤ 職員が変わるのが嫌だ
	イルイ トキドキカ カタ ハイ キメイ ホ 衣類など時々他の方のものが入っている。記名をしっかりと欲したい
	アンシン ス イバショ ホ 安心して過ごせる居場所であって欲しい
	ベントウ お弁当がおいしくない
	タイチョウワル トキ ウツタ チュウイ ネガ 体調が悪い時に訴えられないので注意をお願いしたい
	タイサク ムシタイサク ムカデ対策（虫対策）をしてほしい
	シンブン ケンカ 新聞をきっかけに喧嘩をするのだけはやめてほしい

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：行動援護事業所 障がい者サポートセンター親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者数

- ① 行動援護事業：契約者数 15 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 4月の人事異動により男性職員の配置が減り、男性利用者の入浴支援、プール支援などのサービスが不可能となった。女性職員でも可能な、運動や外食の支援に切り替えたが、男性職員配属については保護者の強い要望がある。
- ② 2月19日よりコロナウイルス予防として、大型施設の利用や温泉、外食などの支援を取り止め、公園での散歩、ドライブスルー利用など人混みを避けた支援を行った。また3月の感染拡大を受け、法人の一本化やグループホームご利用者の利用調整を行った。
- ③ 生活介護事業所への定着支援を継続していたご利用者、グループホームショートステイへの定着支援を継続していたご利用者について、各施設への定着が見られたためサービスを終了することができた。
- ④ ①～③の動きにより、変化の大きい1年であったが、利用者のニーズの掘り起しなどの工夫で大きな減収にはつながらず、安定的な運営となった。

(2) 課題と対応策等

- ① 男性利用者のプール支援、入浴などのニーズを踏まえ、男性職員の配置を今後も求めていく。
- ② 現職員体制で可能な支援の幅を広げると同時に、潜在するニーズの掘り起しを行う。特に法人内グループホームとの連携により、様々なサービス提供の可能性が生まれると考えている。

3. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数(1年度)	81	62	60	58	62	55	75	78	76	76	77	69	829

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用時間	238.9	262.8	258.5	237.5	272.5	231.2	256.3	290.8	267.5	265.3	286.25	234.25	3101.57

4. 職員配置状況

(R1.3.31 現在)

職種\雇用形態等	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	計	国家資格等
施設長(管理者)		1(0.1)			1(0.1)	社会福祉士1
サービス提供責任者	1				1	社会福祉士1
サービス提供職員		2(1)	1(0.8)	1(0.2)	4(2)	社会福祉士1 介護福祉士1 訪問介護養成研修(ヘルパー2級)2
合 計	1	3(1.1)	1(0.8)	1(0.2)	6(3.1)	

5. 公益的取り組みの状況

なし

6. 主な施設整備等

(1) 改修等 … なし

(2) 固定資産物品 … なし

7. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第3期5か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) R 2.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙3

《重点目標及び評価》

(1) 重点目標の評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
「地域の中の社会関係・経験の蓄積」を重視し、ご利用者、ご家族の希望や個々の障がい特性に対応し、計画的で理解しやすい支援に努める	個別支援計画をもとに支援を行い、ケース会議を通して支援の振り返りを行ってきた。また、常に職員間で情報共有を行い、日々の変化にも対応しながら、協力しながら支援を行った。各種関係機関とも連携をしながら、ご本人が望む支援を一緒に考えてきた。	B
新規事業(移動支援・重度訪問介護・同行援護)を立ち上げ、多様なニーズの受け皿となる。	職員数の確保が難しくなり、新規事業を立ち上げることはできなかった。	C
人材の確保・育成に取り組み、支援技術の向上・業務体制改善・加算取得を図る。	法人内での有資格者も増えたが、異動による配置までには至らなかった。	B
赤字体制からの安定した経営に改善する。	ニーズの掘り起し、利用者の増加により、予想を上回る収益を上げることができた。	B
公益的事業への取組	公益的事業への取組みはできなかった。	C
※評価 A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない		

(2) 第3期5ヶ年計画(平成30年度～令和4年度)の評価

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
行動援護事業を柱にした在宅支援サービスの拡充	行動援護の事業については行うことができたが、それ以外の新しいサービスにつなげる検討などは行うことができなかった。人員の確保が必須となっている。	C
収支バランスの改善	定期的に利用される利用者が増加してきていて、改善されてきている。	B
公益的事業への取り組みによる地域貢献	取組むことができなかった。	C
※評価 A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない		

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	定員数	定員規模	多機能型等 定員区分 (※1)	人員配置区分 (※2)	その他該当する体制等		適用開始日
					地域区分	1. 一級地 2. 二級地 3. 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 20 その他	
各サービス共通					特定事業所	1. なし ② I 3. II 4. III 5. IV	
					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ② あり	
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	① なし 2. あり	
					福祉・介護職員等特定処遇改善加算対象	1. なし ② あり	
					キャリアパス区分 (※3)	1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たす) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) ⑥ I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)	
行動支援					福祉・介護職員等特定処遇改善加算区分 (※4)	③ I 2. II	
					地域生活支援拠点等	○ 非該当 2. 該当	

《職員研修参加状況》

(1) 職場外研修等参加状況

期 日	研 修 名 等	開 催 地	参 加 者
7月18日	集団指導	松本市	1名
8月30日	地域福祉コーディネーター総合研修	松本市	1名
9月19日	福祉士会学習会	飯田市	1名

(2) 法人内・職場内研修参加

期 日	研 修 名 等	参 加 者
5月28日	事例検討会	1名
7月11日	1等級研修	2名
7月25日	2.3等級研修	1名
9月10日	感染症研修	2名
9月26日	2.3等級研修	1名
11月12日	1等級研修	2名
11月26日	1等級研修	1名
11月28日	2.3等級研修	1名
1月23日	2.3等級研修	1名
2月20日	事例検討	1名

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：放課後等デイサービス事業 エコール親愛

(1) 事業区分及び定員・契約者（登録者）数

- ① 放課後等デイサービス事業 定員 10 名・契約者 35 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 平成30年の報酬改定から基本報酬が大幅に引き下げられ厳しい経営状況である。そのため利用率の向上と新規登録児童を増やすことを重点的に取り組む。学校や関係機関に広報活動を行い、6名の新規登録者があり当初予算より収益アップへ繋がる。
- ② 延べ人数は、2840人と昨年度より40人の減少。平均利用児童数は、10人と利用率100%を維持できている。長期休暇の利用ニーズは高い。また、今年度は1学期中に学校生活に適應ができた児童が多く、夏季休暇以降の利用率が向上している。
- ③ 活動では児童が松川町の自然の中で人や地域との繋がりを感じ、学校や家庭では体験できない活動提供する。地域の社会資源の活用や森林浴、散策、昆虫採取、デイキャンプ、野外炊飯などの活動を通して自分たちで決まりを守る、仲間と協力する、達成感、人との出会いを体験的に学べる機会とした。
- ④ エコールが児童にとって、学校の不満・ストレス・悩みを吐き出せる場所、学校へ行けないがエコールなら行けるなど、学校と家との「中間の居場所」として、「安心して、自分を出せる居場所」として位置づいている。
- ⑤ 地域からの役割として、不登校児（引きこもりも含む）3名の支援を行った。登校はできないが、エコールに継続して通所することで、不登校のきっかけや不安に応じた環境づくりの支援を行い、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうように学校と連携している。不登校は、多様な要因・背景により、結果として不登校状態になっている。不登校児が増える中、事業所の役割や支援の強化を今後検討する。
- ⑥ 新型コロナウイルスによる臨時休校に伴い、3月から緊急的な受け入れ対応を実施。これまでにない経験から事業所の受け入れ体制を大幅に変更し、保護者が仕事を休めない又は、自宅等で一人で過ごすことができない児童を優先的に受け入れた。

2. 課題と対応策等

① 新型コロナウイルス対策の徹底と休校への対応

- ・安定した子どもたちの居場所の提供（時間・職員体制・環境）

② 職員配置減による不安定な運営状況

令和元年度 職員人数 2 人減 （内訳： 40H×1 名 ・ 20H×2 名）

3. 利用実績

月	H31.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	25	23	25	26	24	23	23	23	24	23	23	21	283
利用児数	21	17	16	20	23	17	20	23	23	22	18	18	
延人数	241	197	191	259	270	214	246	234	260	252	258	223	2840
平均利用者数	9.6	8.5	7.6	10	11.2	9.3	10	9.7	10.8	11	11.2	10.6	10

4. 職員配置状況

(R01.03.31 現在)

職種\雇用形態等	正規	パート	計	国家資格等
施設長(管理者)	(1)		1	
サービス管理責任者	1		1	
児童指導員・指導員	1	5	6	保育士 1
事務員	(1)※		(1)※	
合 計	3	5	9	

※他サテライト兼務

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) 防災計画の見直し
- (2) 避難訓練・学習会の実施

日 時	内 容
年 3 回実施	避難訓練
随時	焼き芋やピザ作り等、火を使用する活動に併せて 防災学習会(児童向け)

6. 公益的取り組みの状況

- ・ボランティア横づな：3名・その兄弟1名・地域の子ども1名・職員1名

主な施設整備等

- (1) 改修等 … なし

- (2) 固定資産物品 … 10万円以上のもの

(円)

物 品 名 等	規格等	数	単 価	総 額	備 考
パソコン		1		116,640 円	事務パソコン

7. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) 自立支援給付費等の算定に係る体制等の状況

(様式第5号(別紙1)…介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表) … 別紙2

(3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙3

(4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況及び職員研修参加状況 … 別紙4

(5) 平面図 … 別紙5

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
放課後等デイサービスガイドラインに基づいた適切な運営	・毎月のスタッフ会議で利用状況や経営的な報告を行い、経営的な視点(利用料や加算等)についても学ぶ機会を作った。 ・定期的に子ども達の希望を聞き、希望を反映させた活動を提供し、安定した利用の実現に向け取り組み組んだ。 ・保護者会を開催し、保護者の要望等を事業運営に取り入れた。 ・放課後等ガイドラインの自己評価表をホームページにて公開。	B
新たな組織編製の構築と平成 32 年 4 月開所予定の「元気センター(仮称)」への準備	これまで元気センター(仮称)検討委員会や地域福祉連絡協議会で移転に向けた話し合いを進めてきたが、松川町町長の変更等もあり、再検討となると共に開所予定日が 2022 年に大幅な延期となる。 元気センターで松川町地域活動支援センターあすなろも一緒に営業が開始されることを見越し、両事業所間で職員の交代勤務を試験的に始めた。	—
児童のニーズや発達段階、障がい 性に応じたサービスの提供	ライフステージに別け、小学生の低学年と高学年の活動と中高生の活動と 3 つに別け活動を提供してきた。 ・小学生は、集団活動を通して自己を表現したり、他者と協調したり、リーダーシップを発揮したりするなど、集団活動の中で対人関係のスキルや社会性の学習をしてきた。また、順番で打ち合わせの司会や各活動でリーダーとなり、集団をまとめる経験などを積むことができた。 ・中高校生は、様々なスポーツ活動を通して、ストレスの発散や対人関係や社会性の学習。また、社会人マナー学習や P C 学習などの将来を見据えた活動支援を実施。 ・高校生については、希望者に職業体験を実施。果樹園での収穫体験を行う。	B
地域の社会支資源の活用や保護者、学校、関係機関等との連携の強化	・地域の社会支資源を利用し活動提供を行う中で、地域で生きる、地域の人たちと関わりながら活動提供の実施ができた。 ・職員が地域の情報を知り、地域と共に事業展開(活動展開)していけるように様々な機関と関わりを持ってきた。 ・コミュニケーションカフェご利用者の高齢者との交流事業を実施。 ・地域のボランティア活動に参加。子どもでも地域のために出来る事はあるはずという子ども達の想いを受け、料理ボランティアに参加。 ・各学校行事(文化祭見学・スポーツ大会応援・参観日)に参加し、学校での様子や授業内容を見学した。 ・必要に応じ、学校と支援会議を開催。また、連絡ノートや電話での情報交換を実施。	A

	・松川町福祉を考える集会では、子どもを取り巻く環境や支援について、地域の課題や今後の展望について話し合いを行う。	
--	---	--

(1) 第1期3か年計画(平成30年度～平成34年度)の基本方針

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
方針1：安心・安全、居心地のよい事業所の環境整備を進める ① 事業所の移築に向け、利用児童たちが安心して過ごせる環境の整備を進める。 ② 共生社会を実現するための環境整備を進める。	・老人福祉センターの耐震の課題と町として、地域共生社会の実現に向け、松川町地域福祉連絡協議会や元気センター(仮称)検討委員会で、地域共生社会の実現に向け検討を進めてきた。2020年春頃開所予定であったが、町長が変わり検討も一時中断、再検討となり開所時期が2022年以降へ延期となる。その為、急遽2020年春以降に仮施設への移転を行い、利用児童たちが安心して過ごせる環境の整備を進める。 ・不登校児の居場所作りとして、午前から受け入れを行っている。 ・地域共生社会の実現に向け、コミュニケーションカフェとの交流事業や社会福祉協議会との交流企画を実施。 ・地域のボランティア活動に参加。 ・不登校児や引きこもり児童の支援を本年度は3件実践。学校へ行けない子どもたちの安心できる居場所の提供、社会体験型の活動提供を実施し継続した利用がある。一定の成果を出していると評価している。本格的な事業展開に向け、今後関係機関との検討、調整を行う。	A
方針3：地域に関わられた信頼される事業所作り ① 福祉サービスの枠を超えた事業展開 ・不登校児の居場所作りや自然体験型の活動を通じた地域の教育力向上への支援。 ・世代間交流を含め、人と人が繋がる事業提供。	・不登校児の居場所作りとして、午前から受け入れを行っている。 ・地域共生社会の実現に向け、コミュニケーションカフェとの交流事業や社会福祉協議会との交流企画を実施。 ・地域のボランティア活動に参加。 ・不登校児や引きこもり児童の支援を本年度は3件実践。学校へ行けない子どもたちの安心できる居場所の提供、社会体験型の活動提供を実施し継続した利用がある。一定の成果を出していると評価している。本格的な事業展開に向け、今後関係機関との検討、調整を行う。	A
針4：定員の見直しを含めた新たな事業展開 この期間の利用実績を見ながら、定員の拡大、新たな事業展開など様々な方向性を検討を行い、必要に応じ事業を進める。	利用実勢に見合った職員配置を行ってきたが、利用児童の増加やニーズの多様化により、随時見直しを行う必要がある。女性児童の増加に伴い、女性職員の配置が今後の課題となる。	—

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表

提供サービス	特例による指定 の有無 (※1)	定員規模 (※2)	施設等区分	主たる障害種別	その他該当する体制等					適用開始日
各サービス共通					地域区分	11. 一級地 12. 二級地 13. 三級地 14. 四級地 15. 五級地 16. 六級地 17. 七級地 18. その他	2. 区分1の1	3. 区分1の2	4. 区分2の1	5. 区分2の2
放課後等デイ サービス	1. 重症心身障害児以外 2. 重症心身障害				障害児状態等区分	1. なし	2. あり			
					児童指導員等配置	1. なし	2. あり			
					定員超過	1. なし	2. あり			
					開所時間減算	1. なし	2. あり			
					開所時間減算区分 (※3)	1. 4時間未満	2. 4時間以上5時間未満			
					職員欠如	1. なし	2. あり			
					児童発達支援管理責任者欠如	1. なし	2. あり			
					自己評価結果等未公表減算	1. なし	2. あり			
					児童指導員等加配体制 (I)	1. なし	2. 専門職員 (理学療法士等)	3. 児童指導員等	4. その他従業者	
					児童指導員等加配体制 (II)	1. なし	2. 専門職員 (理学療法士等)	3. 児童指導員等	4. その他従業者	
					看護職員加配体制	1. なし	2. I 3. II 4. III			
					看護職員加配体制 (重症)	なし	2. I 3. II			
					福祉専門職員配置等	1. なし	3. II 4. III 5. I			H31.4.1
					特別支援体制	1. なし	2. あり			
					強度行動障害加算体制	1. なし	2. あり			
					送迎体制 (重症)	1. なし	2. あり			
					延長支援体制	1. なし	2. あり			
キャリアパス区分 (※6)					福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし	2. あり			
					福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	1. なし	2. あり			
					キャリアパス区分 (※6)	1. III (キャリアパス要件 (I又はII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 2. IV (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない) 3. IV (キャリアパス要件を満たさない) 4. IV (職場環境等要件を満たさない) 5. II (キャリアパス要件 (I及びII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 6. I (キャリアパス要件 (I及びII及びIII) 及び職場環境等要件のいずれも満たす)				
					指定管理者制度適用区分	1. 非該当	2. 該当			
					共生型サービス対象区分	1. 非該当	2. 該当			
					共生型サービス体制強化 (※6)	1. 非該当	2. I 3. II 4. III			
					地域生活支援拠点等	1. 非該当	2. 該当			

利用児童数等実績一覧表

(1) 契約児童：35名

(2) 学年別

	小学生						中学生			高校生・高等部			
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
男	1	2	2	1	2	2	3	0	0	6	3	3	25
女	1	0	1	0	1	1	5	0	1	0	0	0	10
計	2	2	3	1	3	3	8	0	1	6	3	3	35

(3) 地域別

	松川町	中川村	飯田市	喬木村	飯島町	計
合計	26	3	1	2	3	35

実習・ボランティアの受け入れ状況

日付	氏名・所属	内 容
8月～12月	飯田女子短期大学幼児教育科学生6名	実 習
不定期	個人：関 梢 （活動講師）	ボランティア

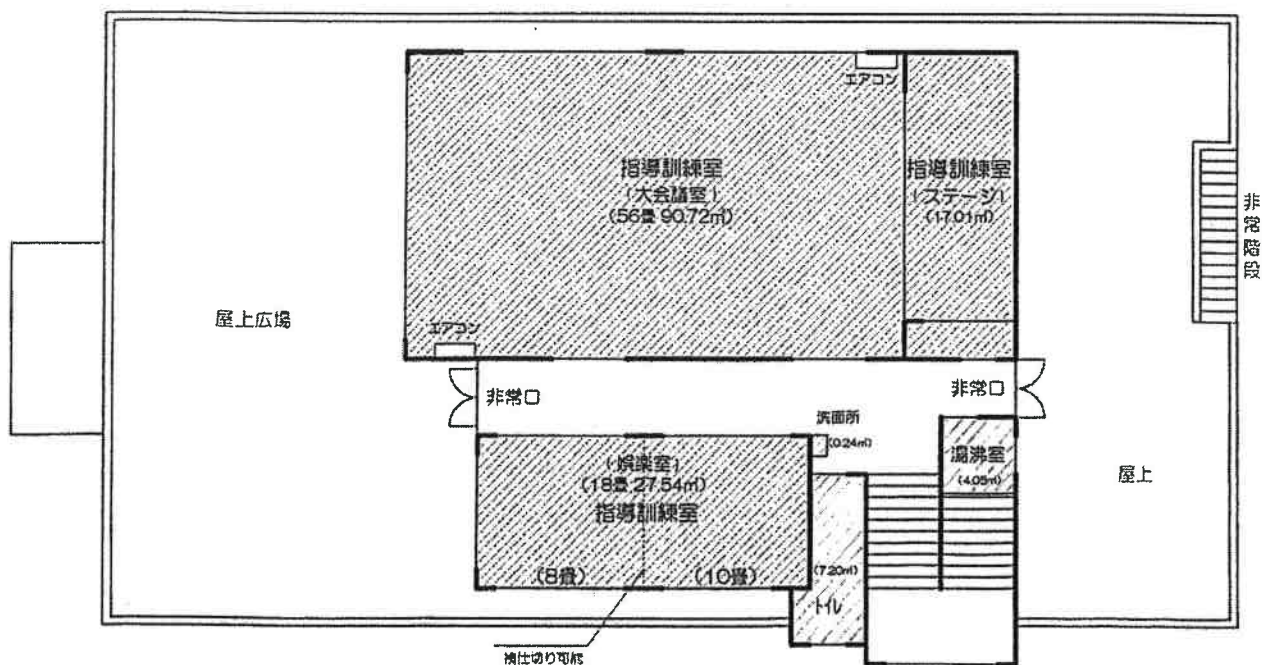
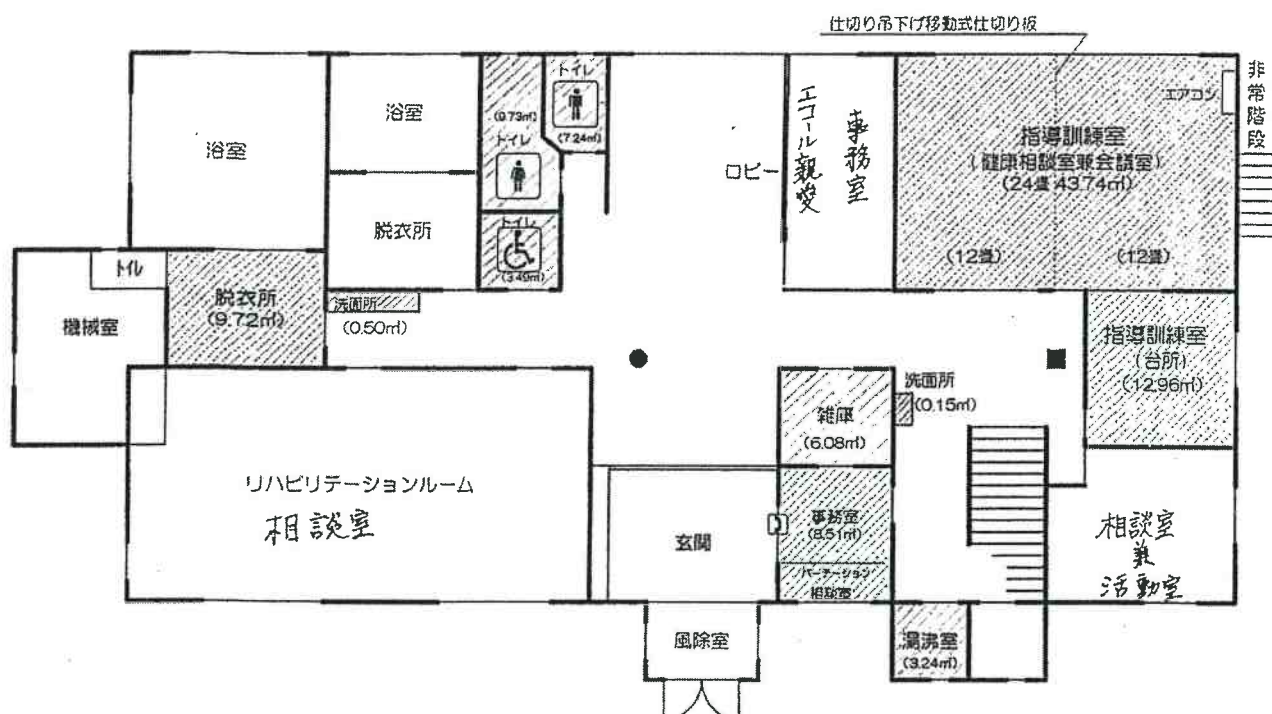
職員研修

研修名	研修名
新任職員研修	飯伊圏域自立支援協議会子ども部会
法人内研修 各等級別研修	障がい者の権利擁護研修
法人内研修 各種事例検討会	上伊那圏域自立支援協議会
法人内研修 虐待防止研修	子ども応援 プラットホーム
事業所 感染症研修	
法人内研修 コミュニケーション研修	
法人内研修 自閉症分野事例検討会	

松川町老人福祉センター(松川町元大島 5230-9)

昭和 50 年 4 月開設 鉄筋コンクリート造

敷地面積	2,792 m ²	・ゲートボール場(1 面)
建築面積	1F 351.54 m ²	・駐車場(23 台)
	2F 192.69 m ²	
計	544.23 m ²	



令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：特定相談支援事業所、障害児相談支援事業所 松川障がい者相談支援センター

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 特定相談支援事業： 契約者数 153 名
- ② 障害児相談支援事業： 契約者数 25 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 予定していた 2 名の兼務職員の配置がなくなり、また非常勤の職員が退職したため、新規契約者は法人内サービスの利用者のみ対応した。
- ② 福祉サービスの改定によりモニタリング期間の見直しがされ、契約者の約 3 割がモニタリングの頻度が増えた。しかし、多くの市町村が更新やモニタリングの集中を避けるため、更新月を誕生月に合わせたことにより月による負担はやや軽減された。
- ③ 自殺対策・精神保健福祉相談窓口事業(松川町受託事業)は延べ 34 名の相談があり、うち『こころの健康相談専用ダイヤル』での相談は 4 件であった。

(2) 課題と対応策等

- ① 相談支援専門員の確保
他事業所の職員が兼務で相談支援に携われる体制を整え、新規や困難ケースに対応できる職員体制を作る。
- ② 相談支援専門員のスキルアップ
困難ケースや自殺対策・精神福祉窓口等に対応できるよう、各種研修会やケース検討会等に参加し、各相談支援専門員のスキルアップを図っていく。

3. 利用実績

(1) 計画相談

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	合計
サービス等利用計画	特定	6	7	25	18	5	13	9	14	13	13	10	10	143	167
	障害児	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	19	24	
モニタリング	特定	9	16	15	18	11	18	12	7	32	13	12	16	179	204
	障害児	0	0	0	1	1	4	13	2	0	1	1	2	25	

(2)自殺対策・精神保健福祉相談窓口事業（松川町受託事業）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談者数	1	1	0	1	1	2(1)	1	1	1	1	2(1)	2(1)	14(3)
相談回数	4	1	0	2	1	3(1)	3	4	6	3	4(2)	3(1)	34(4)

※()の数字は専用ダイヤルでの相談件数

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	常勤 専従	常勤 兼務	非常勤 専従	非常勤 兼務	計	国家資格等
施設長（管理者）		1			1	社会福祉士
所長・相談支援専門員		1			1	社会福祉士・精神保健福祉士
相談支援専門員	1	1			2	社会福祉士 2・介護支援専門員
合 計	1	3			4	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容（松川町地域活動支援センターと合同）

(1) 10月9日 防災訓練（火災） 避難訓練、消防士による講話

6. 公益的取り組みの状況

(1) 法人公益的事業への参加

7. 主な施設整備等

(1) 改修等

なし

(2) 固定資産物品

なし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第3期5か年計画の評価及び達成状況 … 別紙1

(2) 職員研修参加状況 … 別紙2

2. 重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域の相談窓口としての機能充実を図る	行政や医療機関等からの基本相談は、地域活動支援センターと連携して対応を行った。その中で福祉サービスの利用を希望される方は計画相談として対応するが、相談支援専門員が不足しているため、法人外の事業所利用を希望する方はお断りをする状況であった。	B
相談者の希望に沿った包括的且つ継続的な支援の実施	定期モニタリングでは支援会議の開催を基本とし、各事業所での支援内容や本人の希望に沿った生活作りに向けた取組を行った。今年度は就職や地域移行、介護保険への移行等による契約終了者が9名いた。相談支援専門員やケアマネ、就業支援ワーカー等へ引継ぎを行い、サポート体制を整えた。	B
相談支援専門員の力量形成	圏域の自立支援協議会への参加や事業所内でのケース検討会、月1回の飯島町や松川町の保健師等とケース検討等は継続して行った。力量形成に向けて研修会へ参加をした。	B
こころの健康相談窓口の体制作り	松川町から自殺対策相談窓口の委託を受け、H29年度に開設し、H30年度からは専用ダイヤルによる相談窓口を毎週水曜日に設置し、今年度は4件の相談があった。担当職員の研修等は今年度開催がなかった。	C

(2) 第3期5か年計画（H30年度～R4年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
困難ケースへの対応強化	相談支援専門員の不足が継続しており、困難ケースや新規ケースへの対応を見合わせることがある。しかし、法人内の福祉サービス利用希望者や緊急的に調整が必要な方についてはスピーディーに対応し福祉サービスに繋がっている。今年度は県内での主任相談支援専門員研修の開催がなかった。	C
地域の実情に合わせた相談支援専門員の体制作り	今年度は特定事業所加算Ⅳを取得できた。しかし、職員の兼務体制を開始する予定であったが今年度は実施できず、相談支援専門員一人当たりの件数は増えている。R2年度は兼務職員の体制を整えていく。	B
こころの健康相談窓口の体制作り	H31年度に松川町自殺対策基本計画が策定完了された。今年度、松川町内での自殺者が2名いた。関係機関連絡会では相談体制と自死遺族への支援が課題に挙がっている。こころの健康相談専	B

しめわは

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

		用ダイヤルもまだ認知度が低く、今年度の4件もすべて町外の方であった。体制作りと併せて、必要な方への周知方法の検討が課題である。	
--	--	---	--

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

特になし。

職員研修

期 日	研修名	参加者
毎月	事例検討会（法人主催）	全職員
隔月	飯伊自立支援協議会 人材育成部会、専門員の会	藤澤、中原
6月13日	知障協 信州未来塾チーム支援向上セミナー	中原
6月29日	松川町宮下町長と語る会	全職員
6～8月	障がい者相談支援従事者初任者研修（全7日間）	高坂
8月～1月	「元気センター(仮称)」検討委員会他	藤澤
7月29日	知障協 精神科領域セミナー	下岡
7月31日	松川町自殺対策関係者連絡会	大澤EM、藤澤
8月30日	精神障がい者地域生活支援関係者研修会（自立支援協議会主催）	藤澤
9月19日	有限会社わが家視察研修	藤澤、中原
10月1、8日	精神障がい者の特性と支援方法を学び地域移行支援～地域生活支援を学ぶ研修	中原
12月16日	知障協 精神科領域セミナー	下岡
2月16日	地域共生社会後援会（松川町主催）	藤澤

令和元年度事業報告書

(名古屋エリア・刈谷エリア)

1. 法人本部
2. 親愛の里松川
3. ほっとハート親愛
4. 親愛の里夢工房
5. 親愛の里シンフォニー
6. 親愛の里紙ふうせん
7. 松川町地域活動支援センターあすなろ
8. 飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ
9. コーポヘルメス
10. 障がい者サポートセンター親愛
11. エコール親愛
12. 松川障がい者相談支援センター
13. 親愛の里そよかぜ … P1～11
14. ハートランド森 … P12～20
15. クオーレ … P21～29
16. ジョブサポートフォルテ … P30～40
17. ぱれっとハウス … P41～52
18. 中村区障害者基幹相談支援センター … P53～59
19. 熱田区障害者基幹相談支援センター … P60～68
20. 南区障害者基幹相談支援センター … P69～77
21. 運営改善委員会 … P78～79
22. 防災委員会 … P80
23. 親愛の里保育園 … P81～94

社会福祉法人親愛の里

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター 親愛の里そよかせ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員 20 名 契約者数 78 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 4月より談話室にて職員が利用者と過ごす時間を多く持つようにした。利用者からは「これまで利用者がそれぞれバラバラで過ごしていたけど、談話室に職員がいてくれたほうが良い」「安心できます」との声を聞くことができた。職員が入ることで、利用者間のコミュニケーションが生まれている。利用者との会話の中から汲み取った情報などを職員間で共有したりプログラムに組み込んだりし、更なる支援の充実に結び付けることができていると感じている。
- ② プログラムの地域公開や「そよフェス（そよかせふくしフェスタ）」をはじめとし地域との交流の機会をもち、事業所の周知や障害啓発に取り組んだ。大学生ボランティアや地域の企業とつながりの中でのプログラムを実施したり、そよかせマルシェ（バザー）を定期的を開催することで新たなつながりを作ることができた。利用者が店員や運営のスタッフとしてかかわるなど役割の提案にもつながった。

(2) 課題と対応策等

- ① 地域の拠点として事業所の周知をはかり、必要としている方に知ってもらえるように広報活動を継続して取り組む。また利用者や事業所の現状に合わせた取り組みとなるように、地活の役割を再確認しながら求められる地活の在り方を検討する。
- ② 利用する方の障がいも幅広くなってきている。限られた職員で対応していくためにも地活の目的を改めて確認し取り組み内容を検討すると同時に障がい特性や社会生活力を向上のための支援等学習する機会をもうけスキル向上を目指す必要がある。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	77	77	77	78	79	79	79	79	78	78	78	78
平均利用人数	12.5	13.1	12.4	11.2	11.2	11.0	11.4	12.5	12.1	12.1	13.5	11

・年齢（延べ人数）

	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	4	4	17	12	5	42
女	5	6	13	10	2	36
計	9	10	30	22	7	78

・居住区

	中村区	中川区	千種区	昭和区	西区	南区	北区	中区	緑区	港区
人数	44	13	1	1	2	1	2	2	2	5
	東区	清州市	春日井市	一宮市	大治町	合計				
人数	1	1	1	1	1	78				

4. 職員配置状況

（R2.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)					精神保健福祉士 1
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1			精神保健福祉士 1
合 計	1	2	1			

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

（1）9/11 避難訓練

地震を想定した避難訓練において、実際に押木田公園に行き
避難場所の確認をした。その後、水消火器での消火訓練を行った。

（2）2/5 防災意識を高めよう

談話室にてハザードマップを見ながら避難場所や浸水地域の確認をした。

（3）3/14 避難訓練

津波を想定した、そよかぜ建物内の垂直避難（3 階）をし、
実践はしていないが昇降機があることを口頭で説明した。

6. 公益的取り組みの状況

- （1）プログラムを地域の方にも開放しており、手話、書道教室などに地域の方々が参加している。
そよかぜのパンフレットや親愛ニュースなどを渡したり、利用者とのふれあいを通して障がい理解にもつながっている。

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等 : 記載事項 特になし
- (2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び評価 … 別紙 1
- (2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2
- (3) 職員研修参加状況 … 別紙 3
- (4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1
- (5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①見学から活動の意義など、担当職員が対応できるようマニュアルの作成 ②幅広い利用者に対応できる力をつけていく	①職員のミーティングにて手順や目的などを確認しあう機会をもち、記録に残した。来年度マニュアルの作成は継続して取り組む。 ②毎月 2 回地活の職員での話し合いや部全体での事例検討や会議の際にケースの共有をし、どのような社会生活力が求められているか、また具体的な声掛けなどの意見交換を行った。 地活合同のプログラムは定期的に開催することができた。利用支援を考えることは部内での取り組みにとまったらが職員間でのやり取りをサイボウズを活用することで抱え込まず共有しながら進めることができた。	B
地域における公益的な活動の推進 ①自然な形で地域と交流できる機会の促進 ②人が集う拠点と動機づくり ③精神障がい者の理解や啓発における情報発信	① そよかぜふくしフェスタ（年 2 回）を地域の企業、大学、ボランティアなどの協力を得て開催。利用者の方が運営に参加し、チラシの配布やステージ発表や作品展示を行った。またそよかぜマルシェを月 2 回開き、店員として利用者が関わった。事業所と交流できる場としての取り組みとして回を重ねる毎に客の増加があり、事業所を知ってもらえたと感じている。 ② プログラム（書道・手話・ヨガ教室など）を公開講座とし地域の参加が継続的にあった。大学生にハルーンアート講座の講師として来てもらうなどあらたな人とのつながりができた。3 階の研修室を開放し、地域の方の会合の際に活用してもらっている。 ③ イベント時をはじめとしてニュース親愛を配布した。また毎月プログラムの情報等をホームページに掲載した。イベントの際は名古屋市の協力を得て心の健康に関するパネル展示や心の健康啓発グッズをいただき配布を行った。来年度はより地域に向けての発信に力を入れていきたい。（HP 掲載、イベント時チラシの配布、実習生への呼びかけなど）	B
健全な運営と安定した経営の確立 ① 地域特性に応じた柔軟なプログラムの発案 ② 地活において誰もが過ごしやすい環境を考えていく	① そよかぜミーティングや年 1 回の利用者アンケートで出された利用者の希望をプログラムに反映し行った。 ② みんなの知恵の輪などのプログラムを通して、生活のしづらさやいろいろな人がいることを知り、生活力を高めていけるプログラムを実施した。また談話室に職員がなるべくいことで、利用者間のコミュニケーションが増加した。	B

しめは

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

(1) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域とのつながりを大切にする。当事者だけではなく家族、支援者、関係機関など多くの人たちが集い、学び、活動する場とし誰もが役割をもって主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	公開プログラムやイベント、学習会の開催、ボランティアの受け入れなどを継続実施することで、継続した地域とのつながりを持つことができた。地域福祉の拠点として、地活の役割を再確認しながら、障がいの啓発や当事者の活躍する機会づくりを検討していく必要がある。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(2) コメント

そよかぜふくしフェスタを年2回開催したり、そよかぜマルシェと題し果物販売を行ったりと地域啓発に力を入れた。地域に根付いたものを、さらに広めていくためには今以上に工夫が必要だ。学生ボランティアの受け入れにも力を入れ、福祉教育と世代間交流の場としてもそよかぜが担っていきたい。

実習・ボランティア等の受入状況

日程 および 日時	氏名 もしくは 人数	内 容
4/2、5、9、12、16、 19、23	磯野さん	利用者対応、プログラムの参加など
4/11	吉田先生、野津さん 唐木さん	ソフトバレーボール
4/26	磯野さん	利用者対応、プログラムの参加など
6/4、7、11、14、18	磯野さん	利用者対応、プログラムの参加など(6/15(土) そよフェスお菓子作りの手伝い)
6/25、28、7/2、5、 9、12、16	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
6/18	南山中学校男子部 3 年生 (4 名)	福祉体験実習の事前訪問
6/25	南山中学校男子部 3 年生 (3 名)	福祉体験実習(談話室・プログラム参加)
7/5	同朋大学実習生(1 名)	精神保健福祉士現場実習
7/16、17	保育・介護・ビジネス名古 屋専門学校(渡邊さん)	精神保健福祉士現場実習
7/19、23、30、8/2、 6、16	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
7/26	御田中学 2 名(夏ボラ)	利用者対応(談話室・プログラム参加)
8/9	御田中学 2 名(夏ボラ)	利用者対応(談話室・プログラム参加)
8/20、23、27、30、 9/3、6、10、13、17	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
8/27	中央看護学生(4 名)	そよかぜ内見学
8/28	中央看護学生(4 名)	そよかぜ内見学
8/29	中央看護学生(3 名)	そよかぜ内見学
9/13、14	中西さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
9/24、27、10/1、4、 8	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
10/1	名古屋市医師会看護 専門学校(4 名)	そよかぜ内見学
10/1、2	橘学園実習生(1 名)	利用者対応(談話室・プログラム参加)

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
10/3	名古屋市医師会看護 専門学校（4名）	そよかぜ内見学
10/5	日福大実習生(1名)	利用者対応（談話室）、よつ葉会参加
10/15	同朋大学 学生(20名)	そよかぜ内見学
10/16	同朋大実習生(1名)	利用者対応(談話室・プログラム参加)
10/23	名古屋市医師会看護 専門学校（4名）	そよかぜ内見学
10/25	名古屋市医師会看護 専門学校（3名）	そよかぜ内見学
10/18、29、11/1、5、 8、12、15、19	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
11/14	愛知淑徳大実習生(1名)	精神保健福祉士実習
12/24、27、1/7、14	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
1/17、24、28、2/4、 7、14、18、21	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
1/21～24、2/4～6、 12～14、18、19	名古屋市医師会看護 専門学校	建物見学
2/7	植田さん	利用者対応
2/14	AJU 自立の家(職員2名)	概要説明、建物見学
2/21、28	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
3/17、24、31	磯野さん	利用者対応(談話室・プログラム参加)
3/24、25	太田さん	採用実習

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/12	若葉学習会	親愛の里	海野
4/24	親愛の里学習会(障害者雇用)	親愛の里	海野
4/25	若葉学習会	親愛の里	海野
5/23	中村区地域支援課 事例検討会	中村地域支援課	海野、中野
5/24	若葉学習会	親愛の里	海野
5/31	地域活動支援センターⅠ型 交流会	ハートランド森	中野
6/6	若葉学習会	親愛の里	海野
6/26	親愛の里学習会(ホームロイヤー)	親愛の里	海野、中野
7/4	若葉学習会	親愛の里	海野
7/24	親愛の里学習会(ひきこもり)	親愛の里	海野、中野
7/25	若葉学習会	親愛の里	海野
8/20	若葉学習会	親愛の里	海野
8/28	親愛の里学習会(第三者評価)	親愛の里	海野、中野
8/29	若葉学習会	親愛の里	海野
9/4	中村区自立支援連絡協議会 事例検討	中村区自立支援 連絡協議会	中野
9/12	中村区地域支援課 事例検討会	中村地域支援課	海野、中野
9/13	若葉学習会	親愛の里	海野
9/24	若葉学習会	親愛の里	海野
9/25	親愛の里学習会(事例検討)	親愛の里	海野、中野
10/16	若葉学習会	親愛の里	海野
10/24	若葉学習会	親愛の里	海野
10/29	親愛の里学習会(コミュニケーション)	親愛の里	海野、中野
11/20	若葉学習会	親愛の里	海野
11/27	親愛の里学習会(触法障がい者)	親愛の里	海野、中野
12/5	若葉学習会	親愛の里	海野
12/11	若葉学習会	親愛の里	海野
12/25	親愛の里学習会(チームビルディング)	親愛の里	海野、中野

1/22	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	海野、中野
1/28	若葉学習会	親愛の里	海野
2/5	中村区地域支援課 事例検討会	中村地域支援課	海野、中野
2/21	地域活動支援センターⅠ型 交流会	ハートランド森	海野
2/26	若葉学習会	親愛の里	海野

令和元年度苦情受付一覧表

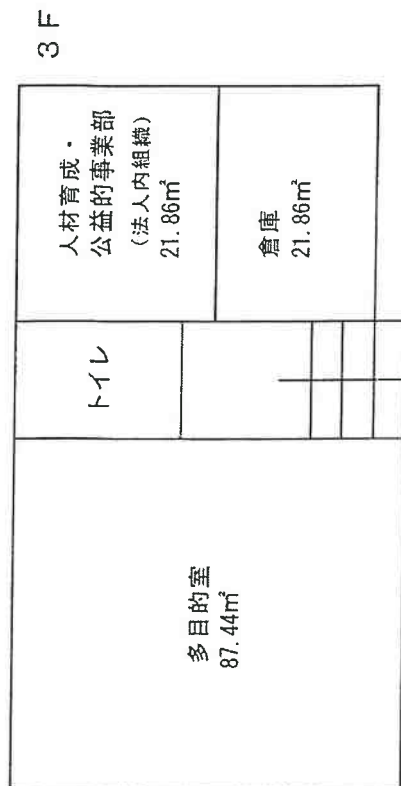
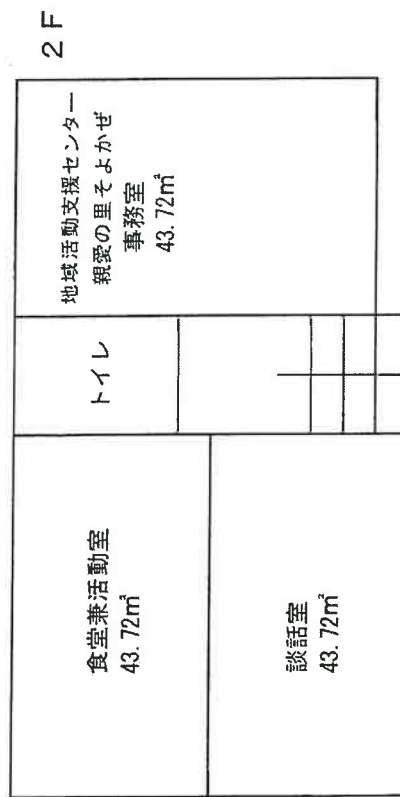
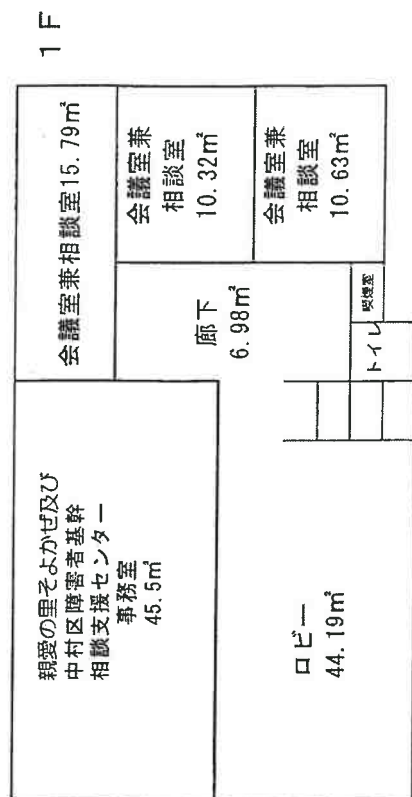
別紙 4-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者 委員立 会い
1	令和1年10月2日	プログラム講師	1 サービス内容(職員の接遇)	1	2	プログラム依頼日を複数回変更した対応について。 ①プログラム開始時間になっても準備ができていなかった。 ②プログラム時の職員の服装が、書道に適していなかった。職員としてプログラムに対する意識がない。	講師に依頼しているプログラムの固定の曜日を職員間で改めて共有を図った。 やむを得ず変更を依頼した場合は、変更をした記載をすることで度重なる変更とならないようにする。	無
2	令和1年12月24日	プログラム講師	1 サービス内容(職員の接遇)	1	2	①地域の方の要件を聞くことなく職員の思い違いで3階まで案内し、加えて物の販売においておつりを渡すまで時間を要してしまい憤慨させてしまった。 ②物販当日は、約銭は1階書庫に保管しておく。大きな額は2階金庫に保管しておくことを徹底した。	①「利用者と準備をする」ことに重点を置いた結果として準備がなされていないことを説明謝罪し、準備やプログラムの考え方を職員間で共有した。 ②書道に限らず、活動に際して服装を考えることを職員間で確認した。	無
3	令和2年1月25日	地域の方	1 サービス内容(職員の接遇)	1	2	①来訪者に対しどのような要件で来所したのかをきちんと聞くことが必要。 ②販売当日は、約銭は1階書庫に保管しておく。大きな額は2階金庫に保管しておくことを徹底した。	①来訪者に対しどのような要件で来所したのかをきちんと聞くことが必要。 ②販売当日は、約銭は1階書庫に保管しておく。大きな額は2階金庫に保管しておくことを徹底した。	無

※苦情の種類 1 サービス内容(職員の接遇) … 3件 要望(本人の意向、意見、主張など) … 3件
 2 サービス内容(質・量) … 0件 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
 3 事故、被害、損害 … 0件 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) … 0件
 4 事業所運営 … 0件 その他 … 0件
 5 契約内容 … 0件
 6 建物の構造 … 0件
 7 その他 … 0件

※苦情の発生原因 1 説明・情報不足 … 0件
 2 職員の態度・言動 … 3件
 3 サービス内容 … 0件
 4 その他 … 0件

実績総数	3件
苦情受付	0件



階段

2F 事務所
各プログラムなどは 3F 多目的室を使用

階段

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター ハートランド森

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員 20 名 契約者数名 49 名

2. 概要

(1) 運営の概要

① 令和元年度の月平均利用者数は 12.8 人であった。男性利用者が多く、年齢は 50 代以上が一番多い。男女合わせて 40 代以上が約 8 割を占めている。65 歳以上が 4 名おり、高齢化が進んでいる。また、新規登録者の内数名は面談目的での来所をしており、人と関わりたいが、うまくかかわることができない、辛いと感じている方が増えている。

② プログラム活動としては、利用者が主体的に関わることを意識しながら取り組んだ。利用者発案企画や今後のハートランド森について話し合うなどのプログラムを積極的に行った。利用者の要望の中から「タブレットを触ってみよう!」「いろいろな楽器を触ってみよう♪」を新たに取り入れた。

(2) 課題と対応策等

① 以前から頻繁に通っている利用者の数名に環境の変化があり、また新たに登録をした方も数名いるため、従来のプログラムのいくつかは参加者が減っている。利用者がハートランド森に求めるものが変化しているように思われる。今後、利用者個々の話をきき、プログラムだけではなく地域活動支援センターとしてどのような支援ができるのか考えていく必要がある。

② ミーティング等における利用者の意見や要望を取り入れながらプログラムを行い、おおむね好評を得ている。しかし、H31 年度内には人気投票を行う事が出来ず、来所していない利用者の意見や要望を聞く機会が少なかった。次年度は人気投票を行い、来所できていない利用者の要望も取り上げて行けるようにしたい。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	45	45	45	46	46	46	47	48	48	48	49	49
平均利用人数	13.3	13.0	11.9	11.9	12.5	12.5	12.4	12.4	13.0	13.7	14.4	11.8

・年齢（延べ人数）

	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
男	0	1	2	5	6	4	5	12	35
女	0	0	1	1	1	3	2	6	14
計	0	1	3	6	7	7	7	18	49

・居住区

	熱田区	中村区	南区	中川区	港区	天白区	合計
人数	32	3	6	3	4	1	49

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)				1(1)	社会福祉士 1
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1(0.5)		3(2.5)	精神保健福祉士 1 社会福祉士 1 看護師 1
合 計	1(1)	2	1(0.5)		4(3.5)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- ・9/13…火災を伴う地震が起こったことを想定し、避難訓練を行う。

熱田消防署から水消火器を借りて消火訓練を行う。その後、施設の備蓄食を確認し、入れ替えのためその備蓄食を食べながら、各家庭の備蓄について意見交換を行った。

- ・3/4…火災を伴う地震が起こったことを想定し、避難訓練を行う。

熱田消防署から水消火器を借りて消火訓練を行う。その後、地震が起きた際の避難の仕方について意見交換を行い、指定避難場所の小学校まで歩いて道順や場所の確認をする。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 熱田区役所、イオン千年店、イオン熱田店での物品販売

「あった〇（まる）」として、毎月第1火曜にイオン千年店での物品販売、7/12、8/9 に熱田区役所での物品販売、8/29 にイオン熱田店にて物品販売を行う。

(2) 地域のイベントへの出店

毎年4月の「ライトハウス福祉まつり」にてバザーの出店、10月の「教会バザー」にてバザー出店（長野県からの果物、小池商品、焼き菓子等の販売）を行う。

7/30「あつたつながるフェア」、10/25「みんなでのばそう！健康寿命」、2/15「エンジョ

イフェア」にて「あった〇（まる）」として物品販売を行う。

(3) 親愛の里学習会の実施

第 4 水曜日に福祉事業所職員向けの学習会（親愛の里学習会）実施。他事業所と顔合わせの機会ともなり、ネットワークを構築することが出来た。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び評価 … 別紙 1

(2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙 3

(4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1

(5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実： ① 見学から活動の意義など、担当職員が対応できるようなマニュアルの作成 ・どの職員でもマニュアルを見ることができ説明が出来るようにする ・作成することで手続き等については業務を簡素化でき、事務時間の軽減を図る ② 幅広い利用者に対応できる力をつける ・障がい特性にとどまらず、生きていく力についても学習していく機会を持つ ・合同プログラムを通し、利用者支援を考える(抱え込まない体制作り)	・前年度よりの引きつぎ書を使用しながら、わかりにくい部分については書き加えたり、新たに手順書を作成した。(目玉商品の発注、親愛の里学習会の手順書等) ・小池商品の発注や配達、見学から契約までの手順など以前からいる職員がほぼ一人で進めていたため、ほかの職員が代わりに行うことができなかった。異動してきた職員に効率的に仕事の手順を伝えられるよう工夫が必要。 ・第4水曜日に福祉事業所職員向けの学習会(親愛の里学習会)実施。他事業所と顔合わせの機会ともなり、ネットワークを構築する機会になった。 ・外部研修に参加。 ・それぞれの地活においての仕事や問題に多くの時間が費やされたため、3地活で協力して行う合同プログラムがあまりできなかった。	C
地域における公益的な活動の推進： ① 自然な形で地域と交流できる機会の促進 ・販売活動や趣味活動の発表などを通し、自然に交流できる機会を創る ・利用者との関わりを通し精神障がいへの理解、事業所理解につなげる ② 人が集う拠点と動機づくり ・地域向け行事の充実、ボランティアの活用 ・事業所の空きスペースの開放 ③ 精神障がいへの理解や啓発における情報発信 ・ニュース親愛の活用、ホームページにプログラムや行事の情報を発信していく ・行事のときには、精神障がいへのパネルやグッズを利用して啓発を進めていく	・もちつき大会を一般開放し、学生ボランティアや地域の人たちの参加を積極的にすすめる障がい理解・啓発に努めた。 ・火曜市などのバザーでは、季節ごとに中部リサイクルの商品のラインナップをかえるなどの工夫をし、常連客も増えてきている。 ・不特定多数の方に向けて頂く機会としてイオン熱田や名古屋学院大学でのアート展を開催。開催時には、こころの健康についてのパネル展示なども併せて行い精神障がいへの理解と啓発を促す機会とした。地域のイベントではバザーを積極的に出店した。 ・月2回基幹センターと合同で「かよういちサロン」を開催。学生ボランティアや地域の方とプログラムを通して自然な形で交流が図れる場を意識し障がい理解や啓発を促していく機会にしている。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

安定した経営と事業運営：

- ① 地域特性に応じた柔軟なプログラムの発案
 - ・ミーティングや人気投票を通して利用者のニーズを確認しながらプログラムを組む
- ② 地活において誰もが過ごしやすい環境を考えていく
 - ・利用者には、それぞれの障がい特性や生きざらさがあることに付いて理解できる機会をつくり、誰もがその存在を認められる環境を提案していく
 - ・個々の体調を理解し、どう過ごすことが最良なのか一緒に考え提案していく

- ・プログラムで設けたミーティングだけではなく、日々の雑談の中などでの利用者の発言から求めているものを拾い上げ、プログラムに反映した（楽器・タブレットを使用したプログラム等）
- ・昨年に引き続き、利用者発案企画プログラムを行い利用者自身で考えてプログラムを作り上げていくことで、ニーズの中で実現可能なものの区別が出来た。
- ・プログラム人気投票を行う予定だったが、年度内にできなかった。
- ・新規の利用者など希望があれば、プログラム参加を主目的とせずに職員との定期的な面談を目的として利用することが可能であることを伝え、面談目的での利用者が増加した。

B

(2) 中長期展望の進捗状況

目標		評価
目	標	
地域とのつながりを大切に。当事者だけではなく家族、支援者、関係機関など多くの人たちが集い、学び、活動する場とし誰もが役割をもって主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実に努める。	具体的な取り組み・課題等 親愛の里学習会を実施したり、家族会の活動支援、基幹センターと合同で行っているサロンを通して様々な方が来所し集う機会が定着している。また、バザーのチラシのポスティングや果物販売等も積極的に行ない、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組んだ。今後も地活の場だけにとどまらず、情報発信や外部との連携をより活発に行い、地域での役割を深め、主体的に活動することを支援できるようにしていく必要がある。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 利用者の不安・相談に適切に対応するため、利用者の障がい特性に応じた支援をするにあたって、外部の関係機関や職員間での情報共有を図り、支援の方向性の統一をすることができた。
- ② ウェルカム day を毎月行っていたが、見学者が来ない月もあった。前から行っているからという情性のようなどころもあり、今後、ウェルカム day をどうしていくか検討が必要。
- ③ 一日の平均利用者数が増えたこともあり、椅子やロッカーの数が足りないなどの問題が起きていた。ロッカーは増やせないが、窓際に椅子を並べるなど利用者が過ごしやすいよう工夫を行った。

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
4/11	個人ボランティア 1名	お菓子作り
4/16	おひさまくらぶ 6名	ポッチャ
5/20	個人ボランティア 1名	お菓子作り
5/21	おひさまくらぶ 5名	ポッチャ
6/18	おひさまくらぶ 4名	ポッチャ
6/20	個人ボランティア 1名	お菓子作り
7/8	同朋大学 1名	精神保健福祉士実習
7/16	おひさまくらぶ 3名	ポッチャ
7/18	個人ボランティア 1名	暑気払い(BBQ)
7/22	たちばな学園 1名	精神保健福祉士実習
8/1	おひさまくらぶ 社協ボランティア 20名	第8回ミニミニポッチャ大会
8/2~5 8/19,20,24	あいち福祉医療専門学校 1名	精神保健福祉士実習
8/5~8 8/27,28	日本福祉大学 1名	精神保健福祉士実習
8/30	たちばな学園 1名	精神保健福祉士実習
9/17	おひさまくらぶ 4名	ポッチャ
10/1~4 10/18,21,23	日本福祉大学 1名	精神保健福祉士実習
10/15	おひさまくらぶ 5名	ポッチャ
10/28	個人ボランティア 1名	お菓子作り
11/15	個人ボランティア 1名	ランチ会
11/11,12,13 11/22,25,26 12/9	愛知淑徳大学 3名	精神保健福祉士実習
11/19	おひさまくらぶ 7名	ポッチャ
12/3	おひさまくらぶ 3名	ポッチャ
12/20	個人ボランティア 1名	ランチ会
1/21	おひさまくらぶ 4名	ポッチャ

1/24	おひさまくらぶ、地域の方 名古屋学院大学 7 名	もちつき大会
2/13	おひさまくらぶ、 社協ボランティア 24 名	第 10 回地域交流ポッチャ大会

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/24	親愛の里学習会 「継続就労のために（社内 JC の設置） ～プラザ・リビングサービス（株）の取り組み～」	親愛の里	内野
5/22	親愛の里学習会 「障害年金について」	親愛の里	内野
5/31	地域活動支援センターⅠ型交流会 第1回	ハートランド森	内野
6/26	親愛の里学習会 「ホームロイヤー制度の活用と福祉信託について」	親愛の里	内野、加藤
7/24	親愛の里学習会 「ひきこもりの現状と支援」	親愛の里	内野、加藤
8/28	親愛の里学習会 「第三者評価について」	親愛の里	内野、加藤
9/25	親愛の里学習会 「インシデント方式による事例検討」	親愛の里	内野、加藤
10/29	親愛の里学習会 「コミュニケーション研修」	親愛の里	内野
11/27	親愛の里学習会 「触法障がい者の現状と支援について」	親愛の里	内野、加藤 後藤
12/25	親愛の里学習会 「チームビルディング」と「懇親会」	親愛の里	内野
1/22	親愛の里学習会 「あたかも事例検討」	親愛の里	内野
2/21	地域活動支援センターⅠ型交流会 第2回	ハートランド森	内野

令和元年度苦情受付一覧表

別紙 4-1

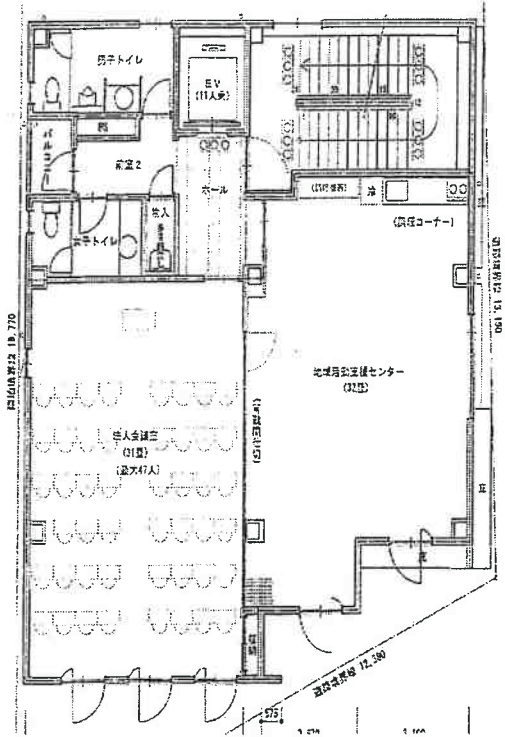
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 成立かい
1	苦情受付 なし	記載なし	記載なし					

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- ※苦情の発生原因
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 0件
- 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件
- ※苦情の発生原因
- 1 説明・情報不足 ... 0件
- 2 職員の態度・言動 ... 0件
- 3 サービス内容 ... 0件
- 4 その他 ... 0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図



別紙 4-2

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：地域活動支援センター クオーレ

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 地域活動支援事業Ⅰ型：定員 20 名 契約者数 27 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 令和元年度の月平均利用者数は、6.9 人と昨年度に比べてあまり変化はない。(平成 30 年度は 7.1 人)。利用率が上がらない原因として、利用者同士のトラブルによる来所頻度の減少、体調不良による自宅療養の利用者数が若干増えたことなどが挙げられる。昨年と比べてプログラムのみに参加して帰る利用者が多い。利用者同士の交流もあるが、距離が近すぎて利用者同士のトラブルに発展し、職員の介入が必要になる場面も多くあった。
- ② プログラム活動としては、今年度より「【趣味・創作】アトリエ・クオーレ♪」の定期開催など、職員の特技と利用者のニーズを合わせたプログラムを新たに取り組むことで定例プログラムとなった。また、地域の行事には積極的に参加し、南区社協主催のさわやかウォーク、南障会主催のパチンコ感謝デー景品準備や納品も継続して実施。その他、地域の作品展にはプログラムの時間に皆で一緒に作成した絵や置物を展示した。
- ③ 長野県からの加工食品、果物販売等の売り上げの還元方法として、調理系プログラムの参加費を一律 50 円に設定し継続している。本年度も利用者全体に売り上げを還元するため、格安でプログラムに参加できることとし、季節ごとに目玉となるイベントを企画した。GW には「クオーレ BBQ!」を参加費 200 円とし、「クリスマスパーティー」「年越しそば」を参加費 100 円以下で実施。その他、10 月頃から利用者からの希望をとり、1 月に日帰り旅行(西尾)を利用者主体で実施。こちらも一人往復の電車賃 1760 円だけで、山水亭はなれ(鰻屋)、一色さかな広場に行く旅行を企画し、大好評であった。

(2) 課題と対応策等

① 利用者間トラブルの多発について

体調不良時の利用者同士の関わりは、トラブルがおきやすい傾向にあった。必要に応じてその都度利用者と面談を行い、話を聞いている。毎朝、基幹職員も含めて前日の出来事を共有し職員全員が把握した上で、支援方法を統一していくことを徹底した。引き続き利用者の個別に応じた声掛けを、職員が連携して行っていく。

② プログラムのマニュアル化

令和元年度は地活職員が全員入れ替わったこともあり、以前のプログラムがどのような方法で行っていたか分からなかった部分も多く、利用者を混乱させてしまうこともあった。そのため、プログラムの目的、事前準備や注意点、配慮する点等を記したマニュアルを作成した。変更点があった際はその都度修正・加筆していく。

③ 利用者新規開拓

基幹の職員にも協力してもらい、毎月のプログラム予定表を各関係機関に配布している。南基幹本部やサテライトからの見学・体験が多い。しかし、体験利用者がいる際にクオーレ利用者間のトラブルが起こることも多々あり、契約まで至らなかったケースも多かった。その為、同じ空間で離れて座ることも出来るスペースが広い2階に活動拠点を移し、トラブルが起こりにくい環境を整えた。また、新規利用者でも入りやすい新しいプログラム「【趣味・創作】アトリエ・クオーレ♪」を6月に取り入れた。好評であったため、定番のプログラムとなっている。

3. 利用実績

・登録、利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	22	22	24	24	24	24	24	25	26	27	27	27
平均利用人数	7.5	7.1	6.4	6.5	6.4	7.4	6.5	7.2	7.6	7.3	6.8	6.6

・年齢（延べ人数）

	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
男	0	0	1	2	6	2	2	6	19
女	1	3	0	1	0	1	0	2	8
計	1	3	1	3	6	3	2	8	27

・居住区

	中村区	中川区	千種区	昭和区	西区	北区	緑区	港区	南区	天白区
人数	1	0	0	0	0	0	1	0	23	1
	東区	瑞穂区	大府市	合計						
人数	0	1	0	27						

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)					社会福祉士 精神保健福祉士
サービス管理責任者						
生活支援員		2	1			精神保健福祉士1 社会福祉士1 作業療法士1
合 計	1	2	1			

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 9月7日(土) 防災訓練① ～防災の知識を深めよう～

午前、大同大学滝春キャンパスで行われた防災のイベント「伊勢湾台風 60 年市民防災つどいのイベント」に参加。伊勢湾台風の写真展、耐震学習（ストローハウスづくり）、防災グッズ作り、防災クイズ大会等に参加。

午後、2 階調理場からの火災を想定し、避難訓練を実施。水消火器を使い、的に向けて的確に消火器を噴射する練習を行う。

(2) 9月25日(水) 災害における身の守り方～台風編～

9月7日の防災イベントや、9月9日頃に千葉県に上陸した巨大台風による被害もあったため、当初の予定を変更し実施した。台風による被災について、具体的なイメージを持ってもらう。台風の映像や、実際に台風が来た際の対応を検討した。

(3) 2月11日(火) 避難所体験訓練

南区自立支援連絡協議会主催、南区役所共催のイベント「障がいのある人もない人も みんなで防災 避難所体験訓練！！」に参加。要配慮者の受付体験、トイレ凝固体験、防災グッズ見学、非常食の試食、健康管理体操等を行う。

(4) 3月11日(水) 防災訓練② ～防災の日～

午前、地震が起きた際の映像を見ながらどのような被害があるか、どのような対策ができるのかを皆で話しあった。

午後、緊急避難場所の春日野小学校、春日野コミュニティーセンターまで徒歩で向かう。道中の危険な箇所、注意すべきことの確認をした。

6. 公益的取り組みの状況

(1) 併設するリユースショップ『Re☆創庫さくら』での物品販売

認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会が運営している『Re☆創庫さくら』にて法人本部の長野県の野菜や果物、小池農産のジャムやジュースを定点販売した。利用者も一緒に値札付けや商品の袋詰めを行った。特に売れ行きの良い商品は、多めに発注をかけ在庫が常

に置いてあるようにした。果物は Re☆倉庫さくらの顧客からも好評であった。また、関係機関への果物の配達も今年度も行った。ただ年末にかけ、Re☆倉庫さくら内にて商品の盗難に遭うことも多くなったため、一時商品を店頭から撤退したこともあった。レジからお客さんが見えるような鏡の設置、注意喚起の貼り紙を掲示する等の対策をとった。

(2) 地域のバザーへの出店、景品提供

11月3日(日)に南区社協主催の「第38回さわやかウォーク」(大江川緑地公園)に参加(参加利用者3名)。ウォーキングの景品を事前に準備し、当日納品した。ウォーキングとバザーの出店(長野県からの果物・野菜、小池商品の販売)を一日のプログラムとし、売り上げは11万円を超えた。11月10日(日)には「南区区民まつり」にてバザー出店を行った。販売員として利用者5名が参加。売上は10万を超えた。11月15日(金)には南区障害者関係団体連絡会より受注したパチンコ遊戯場組合の景品756個を利用者とともに指定の場所に納品した。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第2期3か年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) 職員研修参加状況 … 別紙 2

(3) 苦情等の状況 … 別紙 3 (苦情受付一覧表)

(4) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 4-1

(5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実： ① 見学から活動の意義など、担当職員が対応できるようなマニュアルの作成 ・ どの職員でもマニュアルを見ることと同じ説明が出来るようになる ・ 作成することで手続き等については業務を簡素化でき、事務時間の軽減を図る ② 幅広い利用者に対応できる力をつけていく ・ 障がい特性にとどまらず、生きていく力についても学習していく機会を持つ ・ 合同プログラムを通し、利用者支援を考える(抱え込まない体制作り) 地域貢献・地域づくり： ① 自然な形で地域と交流できる機会の促進 ・ 販売活動や趣味活動の発表などを通し、自然に交流できる機会を創る ・ 利用者との関わりを通し精神障がいの理解、事業所理解につなげる ② 人が集う拠点と動機づくり ・ 地域向け行事の充実、ボランティアの活用 ・ 事業所の空きスペースの開放 ③ 精神障がいの理解や啓発における情報発信 ・ ニュース親愛の活用、ホームページにプログラムや行事の情報を発信していく ・ 行事のときには、精神障がいのパネルやグッズを利用して啓発を進めていく	具体的な取り組み・課題等 ・ 毎月1～2回「社会生活力プログラム」を実施。病氣との付き合い方、外出時のマナー、休みの過ごし方、コミュニケーションについて、災害における身の守り方など、利用者ニーズに合わせたテーマで行った。 ・ プログラムの締め切りを可能な限り当日・途中参加も可能にした結果、「参加しやすい」「今後も続けてほしい」などの声が上がリ、継続している。 ・ プログラムのマニュアル作成を行った。マニュアルにはプログラムの目的も含め、当日の流れ、準備、注意点などを記した。地活の見学、体験、契約の流れのマニュアルはまだ作成できていない。 ・ 親愛の里学習会に参加するとともに、学習会担当として機能。外部研修にも積極的に参加した。	B
① 自然な形で地域と交流できる機会の促進 ・ 販売活動や趣味活動の発表などを通し、自然に交流できる機会を創る ・ 利用者との関わりを通し精神障がいの理解、事業所理解につなげる ② 人が集う拠点と動機づくり ・ 地域向け行事の充実、ボランティアの活用 ・ 事業所の空きスペースの開放 ③ 精神障がいの理解や啓発における情報発信 ・ ニュース親愛の活用、ホームページにプログラムや行事の情報を発信していく ・ 行事のときには、精神障がいのパネルやグッズを利用して啓発を進めていく	・ さわやかウォーク、区民祭りにバザーの出店、地域のイベント等の参加。 ・ Re☆創庫さくらに、クオールの役割や作業の紹介のパネルを作成・掲示。 ・ あつたつながるフェア・ステージ発表に3地活合同として参加。 ・ 地域の方の自宅へ随時エコキャップの受け取りに伺った。 ・ 平和美術展、春日野学区文化祭に個人作品、共同作品の展示を行った。 ・ Re☆創庫さくらでの物品販売に加え、8月以降に果物を関係機関に配達。 ・ 春日野学区文化祭や、和太鼓演奏会、地域ぐるみの防災イベントなど、地域のイベントに積極的に出向き、交流した。 ・ 南区ささえあい事業のイベントのポスティング・ピラ配りを利用者とともに行った。 ・ ホームページに毎月のプログラム予定表を掲載した。	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

安定した経営と事業運営： ① 地域特性に応じた柔軟なプログラムの発案 ・ミーティングや人気投票を通し利用者のニーズを確認しながらプログラムを組む ② 地活において誰もが過ごしやすい環境を考えていく ・利用者には、それぞれの障がい特性や生きざらがあることについて理解できる機会をつくり、誰もがその存在を認められる環境を提案していく ・個々の体調を理解し、どう過ごすことが最良なのか一緒に考え提案していく	・ 毎月来所日数の少ない利用者に予定表とニュースレターの送付を継続。大きなイベント（暑気払い、GW企画など）の際には、電話で参加できないか誘いつつ、最近の様子を聞いた。 ・ 月1回の部会議題開催。情報共有や意見交換を行い、利用者の最近の様子や支援についてのポイント、気になる言動について検討した。 ・ クォーレ日帰り旅行（西尾市）を企画。3ヶ月程かけて利用者と一緒に準備を行い、旅行を行った。 ・ 空間が狭いための利用者間トラブルも多かったが、地活の活動拠点を広いスペースが確保できる2階に移動したため、苦手な利用者がある際は、離れたところでのプログラム参加が可能となった。 ・ プログラムの人気投票を行うことはできなかった。 B
--	---

(2) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
当事者だけでなく家族、支援者、関係機関など多くの人達が集い、学び、活動する場とし、誰もが役割を持って主体的に活動することを支援し、地域福祉の拠点としての機能の充実を図る。	「地域福祉の拠点」として2階フリースペースを家族会、基幹学習会や中部リサイクル運動市民の会のイベント等で活用してもらったことができた。次年度は、名古屋市地活1型交流会の担当となるため、交流会の拠点としても活動していく。南区自立支援協議会から依頼されたピア配りや果物販売等も積極的に行ない、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組んだ。しかしまだ地域との繋がりが限定的であることは否めない。今後は情報発信や外部との連携をより活発に行い、地域の中での役割を強化することに努めていきたい。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 利用者間のトラブル・苦情があった際には利用者への不安・相談に適切に対応するため、職員間で情報共有を強化した。地活職員だけで対応が難しい場合においては、基幹職員やマネージャーに利用者の相談に乗っていただくなど、連携しながら統一した支援を行った。
- ② バザーや地区の多種多様なイベントをプログラムに取り入れ、利用者が地域の中で役割を持てるよう取り組めた。また、利用者の希望をもとに新たなプログラムを企画・実施することができた。プログラムのマニュアル作成については一部の文章化されているものを活用し、来年度形にしていこう。

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/24	親愛の里学習会（就労継続について）	親愛の里	今井
5/31	地活研修会		今井
5/31	地域活動支援センターⅠ型交流会		今井
6/26	親愛の里学習会（ホームロイヤー制度）	親愛の里	今井
7/24	親愛の里学習会（ひきこもり）	親愛の里	岡部 今井
8/2	名古屋新人職員研修	親愛の里	三輪
8/28	親愛の里学習会（第三者評価）	親愛の里	岡部 今井
9/25	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	岡部 今井
10/28	スーパービジョン入門研修	名古屋市社会福祉協議会	岡部
10/29	親愛の里学習会（コミュニケーション）	親愛の里	今井
11/27	親愛の里学習会（触法障がい者）	親愛の里	今井
12/25	親愛の里学習会（チームビルディング）	親愛の里	岡部 今井
R 2.1/22	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	岡部 今井
2/19	権利擁護研修	名古屋市社会福祉協議会	今井
2/21	地域活動支援センターⅠ型交流会		岡部

令和元年度苦情受付一覧表

別紙 3

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のしべル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 員立会い
1	苦情受付無し	記載無し	記載無し					

※苦情の種類

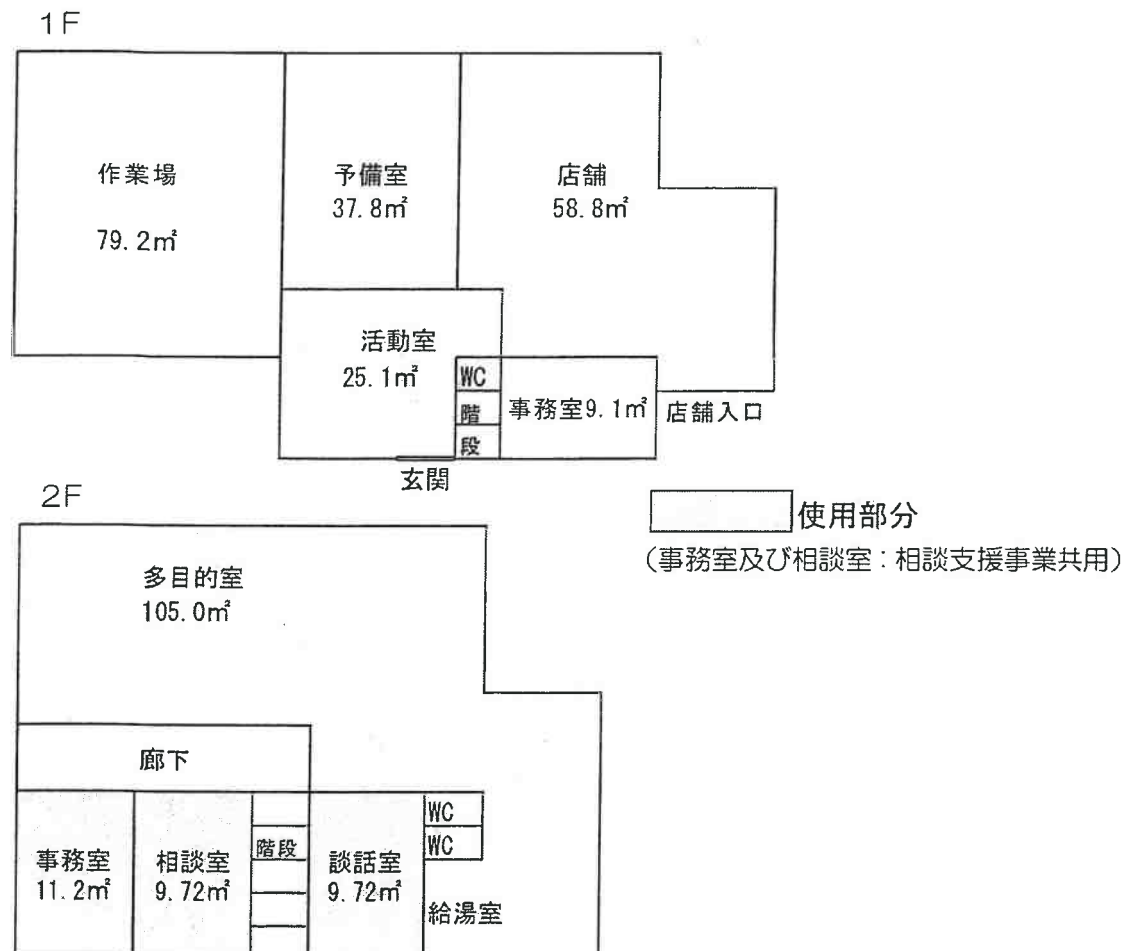
- | | | | | | | | |
|---|---------------|------|---------|----------|-------------------------|----------|------|
| 1 | サービス内容(職員の接遇) | … 0件 | ※苦情のしべル | 1 | 要望(本人の意向、意見、主張など) | … 0件 | |
| 2 | サービス内容(質・量) | … 0件 | | 2 | 請求(法的責任に基づく権利の主張など) | … 0件 | |
| 3 | 事故、被害、損害 | … 0件 | | 3 | 責任追及しべル(契約不履行に伴う責任追及など) | … 0件 | |
| 4 | 事業所運営 | … 0件 | | 4 | その他 | … 0件 | |
| 5 | 契約内容 | … 0件 | | | | | |
| 6 | 建物の構造 | … 0件 | | ※苦情の発生原因 | 1 | 説明・情報不足 | … 0件 |
| 7 | その他 | … 0件 | | | 2 | 職員の態度・言動 | … 0件 |
| | | | | | 3 | サービス内容 | … 0件 |
| | | | | | 4 | その他 | … 0件 |

実績総数	0件
苦情受付	0件

実習・ボランティア等の受入状況

日程 および 日時	氏名 もしくは 人数	内 容
5/11 (土)	田中さん	将棋クラブ利用者対応
6/8 (土)	田中さん	将棋クラブ利用者対応
6/12 (水)	同朋大学 (1 名)	精神保健福祉士現場実習
7/9.23	橘学園 (2 名)	精神保健福祉士現場実習
8/16 (金)	日本福祉大学 (1 名)	精神保健福祉士現場実習
9/17.18	あいち医療福祉大学 (1 名)	精神保健福祉士現場実習
9/28 (土)	橘学園 (1 名)	精神保健福祉士現場実習
10/8.9	日本福祉大学 (1 名)	精神保健福祉士現場実習
11/3 (木)	社協ボランティア (2 名)	さわやかウォーク販売手伝い
11/15 (金)	淑徳大学 (1 名)	精神保健福祉士現場実習
12/11 (水)	淑徳大学 (1 名)	精神保健福祉士現場実習

平面図



令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：多機能型事業所 ジョブサポートフォルテ

(1) 事業区分及び定員・契約者（登録者）数

- ① 就労移行支援事業 定員 8 名・契約者 8 名
- ② 就労継続支援事業 B 型 定員 32 名・契約者 63 名
- ③ 就労定着支援事業 定員なし・契約者 9 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 移転・統合からの 2 年弱の利用実績や地域のニーズから、就労移行支援と就労継続支援 B 型の定員変更と、自立訓練の廃止を行った。定員の減少による、報酬単価の見直しと、収支の改善へつなげた。
- ② 就職活動は積極的に行い、見学や実習を行った。就労移行支援は、5 名の一般企業への就職があった。
- ③ 関係機関からの紹介が多く、新規利用者の確保に努めた。また就労移行支援への移行も併せて行い、利用者の確保に努めた。休日開所も段階的にを行い、祝日を開所して、延べ利用者数の増加に努めた。
- ④ 就職者が増える中で、順次就労定着支援への新規契約を行っている。利用者が増える中で、月 1 回以上の訪問支援を継続している。

(2) 課題と対応策等

- ① 福祉サービス等事業収入の確保がさらに求められる。新規登録者の確保による利用者の増加を目指す。また、報酬単価や加算は、就職者や実績等が求められるため、積極的な就労支援による就職者の増加と工賃の向上を目指す。
- ② 職員配置の見直しが必要で、総務課の職員の配置を検討する。
- ③ 就職者の一般就労が継続していることが基本報酬に大きく影響する。そのためには、就職者の実績と新規登録者の確保を目指す。事業所内外の作業活動では就労のための準備として限界があるため、事業見学や企業実習を積極的に行う。
- ④ 新規利用者の確保が必要であり、特定相談支援事業所等の中間ユーザーへの働きかけを積極的に行う。平均工賃を少しでも上げていく取り組みが必要で、作業内容の見直しや企業開拓、施設外就労先の開拓や物品販売等、工賃向上の新たな取り組みが必要になる。
- ⑤ 一般就労が継続する中で、順次利用登録を進める。援者の企業や関係機関への調整や支援のスキルが今後さらに必要になる。

3. 利用実績

・利用者の状況：年齢（延べ人数）

		～ 19	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～	計
就労移行支援事業	男	1		1	1	1	2				6
	女					1	1				2
就労継続支援事業B型	男	1	2	3	6	6	8	8	5	2	41
	女			2	4	3	4	5	3	2	22
就労定着支援事業	男				2	1	2	2	1		8
	女			2							2
	計	2	2	10	13	12	14	12	9	4	80

・利用者の状況：居住区

	中村区	中川区	熱田区	昭和区	南区	北名古屋市	大治町
人数	51	10	2	1	6	1	1
	清須市	大治町	あま市	西区	港区	春日井市	計
人数	1	2	2	1	1	1	80

4. 職員配置状況

（R2.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規	パート	計	国家資格等
施設長（管理者）	1(1)		1(1)	精神保健福祉士 1
サービス管理責任者	1		1	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
職業指導員	1		1	社会福祉士 1
就労定着支援員				作業療法士 1
就労支援員	1			
職業指導員	1		1	社会福祉士 1
生活支援員	5		5	社会福祉士 2 精神保健福祉士 1
目標工賃達成指導員	1	1	2	社会福祉士 1
事務員	1	1	1	社会福祉士 1 精神保健福祉士 1
合 計	12(1) 4	2	14(1)	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 消防計画関連の訓練：年に2回実施

- ・9月：火災を中心に < 避難訓練（誘導）、消火訓練 >
- ・3月：地震、津波を中心に < 避難訓練（誘導）、DVDでの学習 >

6. 公益的取り組みの状況

(1) 事業計画の中での「地域貢献（地域づくり）」の取り組みとして

- ・実施できず、来年度に向けての課題とする。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等：

事業名等	事業費総額	内補助金等	備考 (竣工月)
エレベーター改修工事	11,880,000 円	(補助団体 円)	6月

*6月に、エレベーターの老朽化に伴う入れ替え工事を実施。(株)サイタ工業が施工。

(2) 固定資産物品：特になし。

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び評価 … 別紙 1-1
- (2) R2.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 1-2
- (3) 利用者数等実績一覧表 … 別紙 2-1
- (4) 工賃支給状況 … 別紙 2-2
- (5) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 3
- (6) 職員研修参加状況 … 別紙 4
- (7) 苦情等の状況 … 別紙 5-1
- (8) 平面図 … 別紙 5-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①就労移行支援：職業準備プログラムの充実と積極的な就労支援 ・年間の一般企業への就職者 5 名。 ・月 1 回以上の企業見学、企業実習の実施。 ・学習会等の職業準備プログラムの固定化と充実。 ②就労定着支援：就職者と企業への継続した支援と就職者向けの行事の開催 ・年 2 回以上の就職者向けの交流会や行事の開催。 ・月 1 回以上の就職者への訪問や面談での支援。 ・就職者の企業への定着率 9 割以上。 ③就労継続支援 B 型：幅広いニーズに対応し、就労支援および生活支援を行う ・平均工賃 10,000 円以上。 ・相談支援事業所、医療機関等と他機関と連携した就労支援、生活支援。	①年間の就職者は 6 名であった。ハローワークとチーム支援として連携を取り、積極的に見学や実習を行った。学習会も固定化して、継続的に職業生活に必要な知識等を身に付けられる機会を設けた。新規利用者の確保が課題となり、就労継続 B 型の利用者からの移行を見越しての個別支援を行う必要がある。 ②就職者は、順次登録の手続きを進めている。月 1 回以上の訪問支援を継続しているが、体調不良等で離職する方もいた。企業との相談や調整に、職員の支援のスキルが求められている。定着率 9 割が達成できなかった。新型コロナウイルスの影響で、年度末に予定していた交流会等も延期となった。 ③関係機関からの紹介も多く、多くの新規利用者が契約につながった。利用者が増加する中で、平均工賃は、10,000 円以上は確保することができた。様々な関係機関と連携して、必要であれば関係者会議を行い、必要な支援を行ってきた。	B
地域における公益的な活動の推進 ①事業所の開放 ・主に 2 階のフリースペースや、料理室の地域への開放。地域と連携したイベントの開催。地域の状況やニーズを確認しながら、年 1 回以上開催する。	①内容案を検討したが、実施には至っていない。地域交流のようなプログラムではなく、事業所の特性の活かした公的な活動の検討が必要である。	C
安定した経営と事業運営 ①就労支援と生活支援の総合的な支援ができる職員の育成 ・職場適応援助者養成研修に年 1 名以上の受講。 ・地域障害者職業センターと連携したケースを年 2 名以上行い、就労支援の専門性やノウハウを学ぶ機会とする。 ・地域障害者職業センターの研修等、就労支援に特化した研修の受講。	①職場適応援助者養成研修への参加、地域職業センター等の専門機関の就労支援研修等に積極的に参加して学ぶ機会を作った。また利用者支援を通して、就労の安定のための生活支援の視点を常に持ちながら、関係機関との連携や調整を積極的に行った。 ②福祉サービス第三者評価を受審して、3 月に受審結果が確定した。受審のための準備に併せて、職員間で業務について検討することができた。来年度以降、目標数値を決めて、積極的に改善の取り組みを行っていく。就労継続支援 B 型は、95.8%の平均利用率であったが、就労移行支援は	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

・ICF等の就労支援だけでなく、生活支援や環境を併せた視点を学ぶ機会を設ける。 ②利用者確保と利用率の向上に向けた取り組み ・平成31年6月に第三者評価の受審。受審後の改善の取り組みと併せて、事業運営と支援の質の向上を目指す。 ・就労移行支援、就労継続支援B型の年間平均利用率90%を目指す。	68.0%の利用率であった。目標数値利用率だけでなく、延べ利用者数も踏まえて、検討する必要がある。
---	---

(2) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的取り組み・課題等	評価
平成31年度…安定した事業運営による収支の改善の収益の確保。第三者評価の受審による、事業運営や支援の質の改善と向上。新規事業所の準備と立ち上げの検討。企業と連携した施設外就労先の新規開拓。工賃の向上のための様々な取り組み。 平成32年度以降…新規事業所の利用者確保と安定した事業運営。就労支援の事業開始から、3年を過ぎる就労定着支援の利用者の支援の充実。新規事業所の多機能型への移行等。	定員変更や事業廃止を行い、現状に合った事業運営のために見直しを行ったが、収支の大きな改善には至っていない。また将来の新規事業所のための、収益の確保までも至っていない。支援の質の向上や人材育成だけでなく、収益の確保も来年度に向けて具体的な取り組みを行っていく必要がある。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 福祉サービス第三者評価の受審により、事業所の支援の質の向上のために、様々な取り組みを職員間で検討した。自身の業務を見直す機会にもなり、受審結果を踏まえて、今後の改善の取り組みを計画的に行っていきたい。
- ② 利用者への就労支援という一面だけでなく、生活支援、両親や兄弟等の家族支援等の多面的な視点から、支援ができるように、関係機関との連携を特にはかってきた。

介護給付費等の算定に係る体制等の状況

(1) 訓練等給付：就労移行支援

① 定員規模：40 人以下(定員 8 人) ② その他該当する体制等

地域区分：三級地	施設区分：一般型	定員超過：なし	職員欠如：なし	標準期間超過：なし	就労移行・定書実績区分：なし
福祉専門職員配置等：Ⅰ	就労支援関係研修修了：あり	視覚・聴覚等支援体制：なし	就労定着率区分：1.就職後 6 月以上定着率が 5 割以上		
精神障害者退院支援施設：なし	食事提供体制：なし	移行準備支援体制(Ⅰ)：あり	送迎体制：なし	福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり	福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし
キャリアパス区分：Ⅱ					

(2) 訓練等給付：就労継続支援 B 型

① 定員規模：40 人以下(定員 32 人) ② 人員配置区分Ⅰ型(7.5：1) ③ その他該当する体制等

地域区分：三級地	施設区分：B 型	定員超過：なし	職員欠如：なし	福祉専門職員配置等：Ⅰ	視覚・聴覚等支援体制：なし
重度支援体制：なし	就労移行支援体制：あり	平均工賃月額区分：5.平均工賃月額が 1 万円以上 2 万円未満	目標工賃達成指導員配置：あり	送迎体制：なし	食事提供体制：なし
福祉・介護職員処遇改善加算対象：あり	福祉・介護職員処遇改善特別加算対象：なし	キャリアパス区分：Ⅱ			

(3) 訓練等給付：就労定着支援

① 定員規模：なし ② その他該当する体制等

地域区分：三等級	就労定着支援利用者数：1.利用者数が 20 人以下	就労定着率区分：1.就労定着率が 9 割以上	職員欠如：なし	サービス管理責任者欠如：なし	就労定着実績：なし
職場適応援助者養成研修了者配置体制：あり	地域生活支援拠点：なし				

利用者数実績一覧表

【令和元年度】

事業名	就労継続B				定員				39				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	19	23	20	20	22	21	21	20	18	21	246
述べ利用者数	718	696	690	761	675	748	793	743	722	687	627	699	8559
利用率(%)	87.7	89.2	93.1	84.8	86.5	95.9	92.4	90.7	107.4	107.3	108.9	104.0	95.7
3ヶ月平均(%)				89.1	88.2	89.1	91.6	93.0	96.9	101.8	107.9	106.7	96.0

事業名	就労移行				定員				10				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	19	23	20	20	22	21	21	20	18	21	246
述べ利用者数	141	115	116	219	116	123	132	120	135	108	114	119	1558
利用率(%)	67.1	57.5	61.1	95.2	58.0	61.5	60.0	57.1	80.4	67.5	79.2	70.8	68.0
3ヶ月平均(%)				71.3	71.4	71.6	59.8	59.5	65.8	68.3	75.7	72.5	68.4

事業名	自立訓練				定員				6				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	20	19	23	20	20	22	21					166
述べ利用者数	9	20	12	10	9	10	18	9					97
利用率(%)	7.1	16.7	10.5	7.2	7.5	8.3	13.6	7.1					9.8
3ヶ月平均(%)				11.5	8.4	7.7	9.8	9.7					9.4

事業名	就労定着				定員				なし				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	6	6	6	4	4	7	7	6	6	7	10	10	

【コメント】

- ① 平成30年度と比較すると、就労継続支援B型は延べ利用者数が増加したが、就労移行支援は大きく減少した。就労移行支援の新規利用者の確保が課題である。
- ② 就労定着支援は、契約者が徐々に増加して、必要な支援を行っている。

工賃支給状況 (授産収入)

ジョブサポートフォルテ(就労移行支援) H31(R1)年度(H31.4~R2.3)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設内作業	グインズ	34,508	28,534	9,409	30,140	16,300	33,233	27,729	23,321	26,737	18,380	16,436	20,553	285,280
	名古屋メッ	25,390	19,904	14,322	44,456	25,209	35,798	49,985	61,711	67,173	53,140	38,700	56,873	492,661
	三国電気	7,249	5,015	4,589	6,808	6,582	14,369	5,384	1,383	2,296	2,971	5,500	6,358	68,504
	井高	0	266	0	204	740	0	2,828	1,091	3,386	4,409	8,218	1,404	22,546
	TIY	0	0	595	0	329	1,679	1,114	65	601	364	0	0	4,747
	サンクスト	400	91	13	1,199	702	0	0		1,030				3,435
	タンゲ													0
	ゴトウ容器	270	295	518	775	566	594	911	192	1,911	2,113	1,927	88	10,160
施設外作業	TOKUICH	507	0	42	0	1,087	1,704	0	0	18				3,358
	中部リサイ	22,800	14,250	8,550	14,250	5,700	2,850	5,700	2,850	5,700	2,850	2,850	5,700	94,050
	Re☆創庫塾	52,300	63,700	64,700	60,850	60,850	0	0	0	0	0	7,050	41,250	350,700
	駐輪場	11,160	8,370	5,580	7,440	0	5,580	13,020	13,950	11,160	11,160	7,440	9,300	104,160
	物品販売	0	0	0	0	0	72	1,089	570	0	82	0	0	1,813
	中村区民まつり							10,077						10,077
	地域福祉講演会バザー										1,800			1,800
	看護学生へ	0	0	0	0	0	0	2,000	0	0	4,000	6,000		12,000
	水道光熱費	2,455	2,183	1,982	2,412	1,909	2,105	2,105	2,455	2,501	2,400	2,400	2,019	26,926
	燃料費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
	収入合計	159,039	144,608	112,300	170,534	121,974	99,987	30,942	109,588	124,513	105,669	98,521	145,545	1,516,217

支給人数	9	8	7	9	7	8	8	9	9	8	8	7	97
最高支給額	53,192	64,651	64,700	61,368	61,385	21,545	25,202	16,488	21,565	25,201	27,874	44,277	487,448
最低支給額	370	1,231	71	2,547	4,948	4,672	5,221	1,187	4,889	1,602	688	1,070	28,496
平均工費	17,176	17,553	15,474	18,458	14,866	11,985	14,980	11,681	13,335	12,659	11,765	20,218	180,150

※最低支給額 0円は除外

ジョブサポートフォルテ（就労継続支援） H31（R1）年度（H31.4～R2.3）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
施設内作業	ゲインズ	54,711	79,962	37,795	60,640	63,860	100,645	86,421	86,972	104,594	72,302	42,774	52,925	843,601
	名古屋メッ	131,440	172,415	107,205	188,926	149,341	171,291	231,359	295,930	245,331	244,026	154,137	287,533	2,378,934
	三国電気	25,455	19,998	12,424	16,239	19,774	39,399	21,347	5,910	8,385	11,966	25,728	43,209	249,834
	井高	32,621	25,314	28,461	35,330	20,931	20,617	17,531	24,896	66,379	57,448	43,233	60,727	433,488
	TIY	15,364	15,424	14,634	15,080	14,992	19,629	22,178	15,499	16,926	15,166	18,799	23,368	207,059
	サンクスト	11,580	8,401	5,797	16,610	6,394	0	0		1,522				50,304
	タンゲ													0
	ゴトウ容器	7,912	15,328	18,723	7,464	4,950	9,053	11,403	10,231	9,477	13,047	7,144	1,708	116,440
TOKUICHI	14,838	10,868	13,186	10,919	6,595	13,859	14,977	7,880	5,866				98,988	
施設外作業	中部リサイ	22,800	25,650	31,350	31,350	39,900	34,200	34,200	39,900	39,900	31,350	42,750	39,900	413,250
	Re☆創庫塾	6,750	5,400	5,400	0	0	58,000	61,850	65,850	56,150	34,200	0	0	293,600
	Re☆創庫塾	20,250	18,375	19,625	23,500	15,250	19,000	27,000	21,500	22,125	18,250	21,250	25,375	251,500
	駐橋場	46,500	49,290	49,290	52,080	12,090	57,660	57,660	58,590	49,290	50,220	48,360	46,500	577,530
	物品販売	1,240	1,210	1,655	1,620	4,057	2,849	5,401	7,030	7,528	2,550	1,735	570	37,445
	謝礼													0
	中村区民まつり・体験塾							26,706						26,706
	熱田教会バザー													0
	地域福祉講演会バザー										2,400			2,400
	看護学生へ	12,000	0	8,000	4,000	27,700	8,000	29,550	25,550	11,700	12,000	34,000	0	172,500
	水道光熱費	12,545	12,817	13,018	12,588	13,091	12,895	12,895	12,545	12,499	12,600	12,600	12,981	153,074
	燃料費													0
	収入合計	416,006	460,452	366,563	476,346	398,925	567,097	660,478	678,283	657,672	577,525	452,510	594,796	6,306,653
	利用費・工具費・出張費	403,461	447,635	353,545	463,758	385,834	554,202	647,583	665,738	645,173	564,925	439,910	581,815	512,798
支給人数	51	52	50	48	51	53	53	50	48	46	47	49	598	
最高支給額	37,995	38,135	34,453	34,778	34,369	58,478	62,284	66,353	57,765	39,244	41,938	42,471	548,263	
最低支給額	116	497	522	921	97	207	79	93	542	569	54	287	3,984	
平均工費	7,911	8,608	7,071	9,662	7,565	10,457	12,219	13,315	13,441	12,281	9,360	11,874	123,764	

※最低支給額 0円は除外

就労移行・継続合計工賃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労移行	154,584	140,425	108,318	166,122	118,065	95,879	119,837	105,133	120,012	101,269	94,121	141,526	1,465,291
就労継続	403,461	447,635	353,545	463,758	385,834	554,202	647,583	665,738	645,173	564,925	439,910	581,815	6,153,579
合 計	558,045	588,060	461,863	629,880	503,899	650,081	767,420	770,871	765,185	666,194	534,031	723,341	7,618,870

実習・ボランティア等の受入状況

日程 および 日時	氏名 もしくは 人数	内 容
4/12 16 17	11 名	中央看護専門学校 精神科実習
6/4 5	7 名	名古屋市医師会看護専門学校 精神科実習
7/1~	1 名	同朋大学 精神保健福祉士実習
7/19	1 名	保育・介護・ビジネス名古屋専門学校 精神保健福祉士実習
8/19~23	1 名	日本福祉大学 精神保健福祉士実習
8/20~	5 名	岩手県立大学 福祉コミュニティ実習
8/26	1 名	愛知淑徳大学 福祉実習
8/27 28 29	11 名	名古屋市中央看護専門学校 精神科実習
9/6	1 名	あいち福祉医療専門学校 精神保健福祉士実習
9/27~	1 名	保育・介護・ビジネス名古屋専門学校 精神保健福祉士実習
10/1 3 23 25	16 名	名古屋市医師会看護専門学校 精神科実習
10/11~	1 名	日本福祉大学 精神保健福祉士実習
11/21~	1 名	愛知淑徳大学 精神保健福祉士実習
12/2~	1 名	愛知淑徳大学 精神保健福祉士実習
1/21 22 23 24	14 名	名古屋市医師会看護専門学校 精神科実習
2/4~	1 名	あいち福祉医療専門学校 精神保健福祉士実習
2/4 5 6 13 14 18 19	40 名	中京病院附属看護専門学校 精神科実習

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
5/22	親愛の里学習会	親愛の里	久田
6/21 7/1・8	就業支援基礎研修	愛知障害者職業 センター	久田
6/26	親愛の里学習会	親愛の里	武藤・山口・松本・久田 西村
7/8	対人援助技術研修	名古屋市社協	西村
8/8	スーパービジョン入門研修	名古屋市社協	山口
8/27	知的障害者の就労支援説明会	名古屋市	石川・赤井
8/28	親愛の里学習会	親愛の里	石川・西村・片桐
9/25	親愛の里学習会	親愛の里	武藤・川崎・山口・松本・ 久田・西村・片桐
10/17	就労移行支援事業所事例検討会	就労移行支援事 業所	赤井
10/25 他	職場適応援助者養成研修	障害者職業セン ター	山口
10/28	精神疾患等研修	中村区自立支援 連絡協議会	久田
10/29	親愛の里学習会	親愛の里	西村
11/27	親愛の里学習会	親愛の里	石川・武藤・川崎・赤井 山口・松本・久田・西村
12/25	親愛の里学習会	親愛の里	石川・武藤・川崎・山口 松本・久田・西村・片桐
1/10	精神障害研修	名古屋市社協	西村
1/10	サービス管理責任者更新研修	愛知県	片桐
1/14	相談支援技術研修	名古屋市社協	川崎
1/16	就労移行支援事業所事例検討会	就労移行支援事 業所	赤井
1/20	働き方セミナー	名古屋商工会議 所	鬼頭
1/22	親愛の里学習会	親愛の里	石川・武藤・川崎・山口 松本・久田・西村・片桐

令和元年度苦情受付一覧表

別紙 5-1

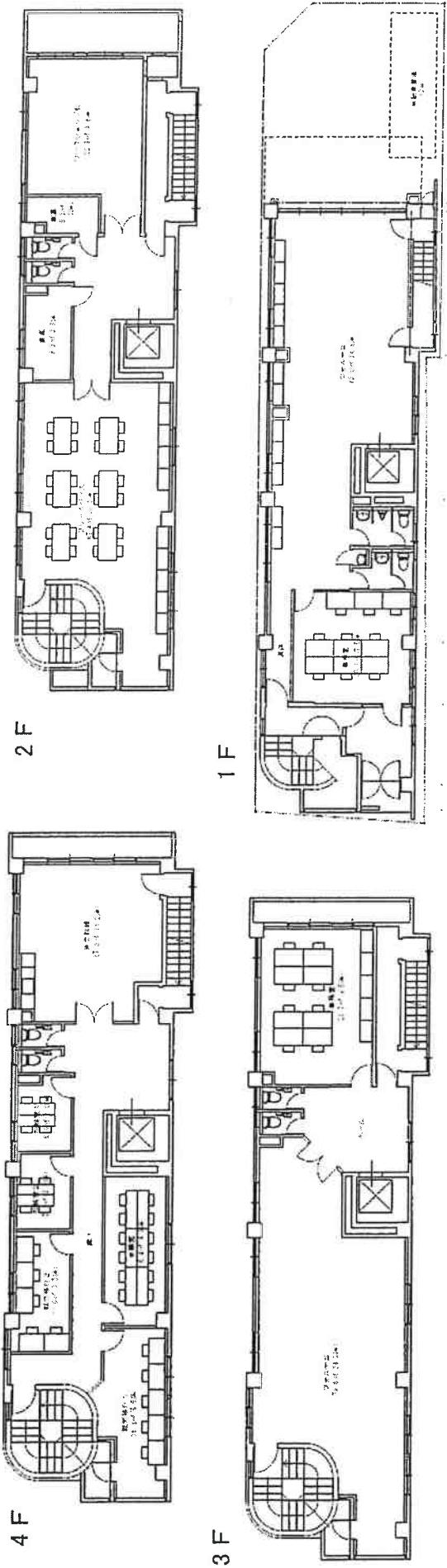
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 立会い
1	苦情受付 なし	記載なし	記載なし					

- ※苦情の種類
- | | | | |
|---|---------------|---|----|
| 1 | サービス内容(職員の接遇) | … | 0件 |
| 2 | サービス内容(質・量) | … | 0件 |
| 3 | 事故、被害、損害 | … | 0件 |
| 4 | 事業所運営 | … | 0件 |
| 5 | 契約内容 | … | 0件 |
| 6 | 建物の構造 | … | 0件 |
| 7 | その他 | … | 0件 |
- ※苦情の発生原因
- | | | | |
|---|--------------------------|---|----|
| 1 | 要望(本人の意向、意見、主張など) | … | 0件 |
| 2 | 請求(法的責任に基づく権利の主張など) | … | 0件 |
| 3 | 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) | … | 0件 |
| 4 | その他 | … | 0件 |
- ※苦情の発生原因
- | | | | |
|---|----------|---|----|
| 1 | 説明・情報不足 | … | 0件 |
| 2 | 職員の態度・言動 | … | 0件 |
| 3 | サービス内容 | … | 0件 |
| 4 | その他 | … | 0件 |

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図

別紙 5-2



令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：共同生活援助 ぱれっとハウス

(1) 事業区分及び定員・契約者(登録者)数

- ① 共同生活援助事業：定員 14 名 利用者数 14 名

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 今年度は 2 名の退所があった。1 名は内部疾患のため日中活動に参加することが難しくなり緊急時に看護師による処置が可能な施設に移行した。移行先では精神的にも身体的にも悪化することなく過ごすことができています。1 名は急逝により退所となった。
- ② 退所に伴い新規利用者の獲得ができなかった。体験に至ったケースはあるが同居者との折り合いがつかないということや、タバコなど嗜好の違いなどもあった。株式会社の運営する新規のグループホームが増加する中、精神科病院、相談支援事業所等に広報したが以前と比べて見学が少なかった。利用者一人ひとりがその人らしい生活を実現していくためのニーズに合致した支援をおこない選ばれる施設づくりをしていかなければならない。年度末には 1 名体験が終わり翌年度初めに入居が決まった人、見学を経て現在体験利用の待機中の人が 1 名いる。

(2) 課題と対応策等

- ① 40～50 代の利用者が多くなり高血圧、脂肪肝、無呼吸症候群などの生活習慣病を抱えている利用者が多い。受診同行して本人の自覚が持てるよう支援しているが生活習慣を変えていくことは難しく課題が残る。
- ② ホームスタッフが 1 名欠員になっており募集を続けている。2 名採用となったが試用期間満了で自己都合により退職している（1 名は翌年度初め）。来年度は就労と生活が一体となった体制に変え職員も柔軟に動けるようにしていく。

3. 利用実績

・障がいの程度

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計
ぱれっとハウス		2	2	2			6
アウェエテ	1	4		1			6
コーポ本陣		2					2
計	1	8	2	3			14

・年齢（延べ人数）

年齢	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～60	60～64	計
男性	1		1	2	2	2	2		10
女性		1			1	1	1		4
計	1	1	1	2	3	3	3		14

・利用率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	30.5
利用者延べ数	392	421	395	403	402	390	401	371	377	397	377	383	392.4
利用率	93.3	97.0	94.0	92.8	92.6	92.8	92.4	88.3	86.8	91.4	92.8	88.2	91.8

・退所者

退所日	氏名	年齢・性別	退所者の状況およびサービス利用等
2019.6.6	MTさん	50代・男性	看護師の常駐する施設へ移行
2020.3.31	IRさん	50代・男性	急逝

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
管理者兼サービス管理責任者	1				1	精神保健福祉士 1
生活支援員		1			1	精神保健福祉士 1
世話人			4 (2.1)		4 (2.1)	
合 計	1	1	4	0	6	

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

- (1) 避難訓練実施 火事・地震が起きたことを想定して行った。利用者を屋外に誘導し避難場所である近隣の小学校まで実際に移動して説明をした。今年度は初めて NTT 災害用伝言ダイヤル (171) を体験した。今後も引き続き行い、災害時に活用できるようにしていきたい。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 自立支援連絡協議会にて防災の取り組みについて意見交換を行った。地域で活動している NPO の話を伺う予定だったがコロナウィルスの影響により延期となった。

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等 : 記載事項 特になし
- (2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び評価 … 別紙 1
- (2) R2.3 介護給付費等の算定に係る体制等の状況 … 別紙 2
- (3) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 3
- (4) 職員研修参加状況 … 別紙 4
- (5) 苦情等の状況 … 別紙 5
- (6) 平面図 … 別紙 6

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
(1) 支援の充実 ①個別支援の充実 ②健康管理 ③職員の研修	① 個々の課題に合わせて取り組んだ。冬用、夏用の布団を持っていない利用者が数名おり一晩中エアコンを使用していたため光熱費が高額になっていた。季節にあわせ、服装だけでなく寝具も変えていく必要があることを伝え買い物支援を行った。エアコン温度を30度にして薄着をしているので下着やルームウェアの買い物支援をして適温で過ごす、一人でDVDを購入する、バランスの取れた食事をするよう買い物支援、など取り組んだ。余暇の充実のため食事も行った。 ②精神科受診にて不穏時が多い利用者に対して毎回受診同行を行い病状をDrに伝え服薬の調整を行った。結果として比較的安定して過ごせるようになった。また慢性肝炎、無呼吸症候群の利用者に対して毎週バイタルチェックに加え体重、腹囲を計り健康管理の意識付けを行った。体重減少には至らなかったが増加することなく維持することができた。総合病院等で4つの科にかかり薬が重複して処方されていた利用者には地域のクリニックで一元的に見てもらえるように改善し服薬調整を行った。 ③毎月1回の会議にて利用者の対応について意見を申し出しながら対応について学んできた。自立支援連絡協議会の世話人研修が中止となったが外部機関の研修の機会を見つけ障がい者に対する防災などを学んだ。	B
(2) 地域における公益的な活動の推進 ①地域における防災を考える。	①自立支援連絡協議会のグループホーム部会にて各事業所の防災の取り組みについて意見交換をした。しかしながらグループホームが被災した時の具体的な対応策までは検討できていない。地域で活動するNPOを招いて防災の講習会を行う予定であったがコロナウィルス感染防止のため中止となった。	C
(3) 安定した経営と事業運営 ①利用率の低下を防ぐ	①障害支援区分更新時に本人のみの調査では障がいの実態が捉えられないことが多いため認定調査や受診時に同席をした。調査員や主治医に生活状況を伝え区分が上がった者がいる。退所後に新規の利用者を早期に獲得することができなかった。	C

(2) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
自立生活援助事業などを活用し、地域移行に積極的に取り組む。そのための検討をする。またグループホームの利用率向上のためスムーズな新規入居者確保のためのシステムづくりを図る。	以前より一人暮らしを希望していた利用者がいたが関係機関と話し合いを重ね就職を機に一人暮らしに向けて動き出すこととなった。内部疾患のため他施設に移行した利用者がいたため空室となった。空室情報を作成し、各医療機関、相談支援事業所などに訪問、電話やFAXなどをするシステムを作り広報に努めたが早期の新規利用者獲得には至らなかった。しかし年度末には体験利用や見学をした人があり翌年度初めに入所の予定が1名、入所待機希望が1名いる。	C

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3)コメント

- ・名古屋では株式会社によるグループホームが増加しており利用者確保が難しくなってきた。利用者一人一人がその人らしい生活ができるようニーズに合った支援を行う必要がある。そしてその情報が地域に伝わるよう広報していくことが求められる。
- ・生活習慣病を抱える利用者の受診同行をして健康状態を把握することに努めた。利用者の健康に対する意識を変えていくことが難しくどう健康を保っていくのか課題が残るが受診を促し治療が中断しないよう取り組んだ。

介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表（共同生活援助）

事業所名称：ばれっとハウス

* この一覧表は対象サービス分のみ添付可

新規・変更・廃止となる加算の「適用開始日」欄には、その年月日を記入すること。

提供サービス		定員数	定員規模	多機能型等 定員区分	人員配置区分 (※2)	地域区分	その他該当する体制等 ★：前年度実績に基づいて算定される加算		適用開始日
各サービス共通						地域区分	1. 一級地 2. 二級地 ③ 三級地 4. 四級地 5. 五級地 6. 六級地 7. 七級地 20. その他		
						施設区分	①. 介護サービス包括型 2. 外部サービス利用型 3. 日中サービス支援型		
						職員欠如	①. なし 2. あり		
						サービス管理責任者欠如	①. なし 2. あり		
						福祉専門職員配置等 (別紙7)	②. I 3. II 4. III		
					①. I 型 (4:1)	視覚・聴覚等支援体制 (別紙10)★	①. なし 2. あり		
					2. II 型 (5:1)	看護職員配置 (別紙21)	①. なし 2. あり		
					3. III 型 (6:1)	重度障害者支援職員配置 (※11)	①. なし 2. あり	← 重複算定不可	
					4. IV 型 (10:1)	地域生活移行個別支援 (別紙43)	①. なし 2. あり	← 重複算定不可	
					11. 日中支援 I 型(3:1)	精神障害者地域移行体制 (別紙42)	①. なし 2. あり	← 重複算定不可	
					12. 日中支援 II 型(4:1)	強度行動障害者地域移行体制 (別紙43)	①. なし 2. あり	← 重複算定不可	
					13. 日中支援 III 型(5:1)	医療連携体制 (別紙17)	1. 加算 (V) なし ②. 加算 (V) あり		
						通勤者生活支援 (別紙19)★	①. なし 2. あり		
						福祉・介護職員処遇改善加算対象	1. なし ②. あり		
						福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	①. なし 2. あり		
						キャリアパス区分 (※3)	1. I (キャリアパス要件 (要件 I ~ III のすべて) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) ②. II (キャリアパス要件 (要件 I・要件 II の両方) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 3. III (キャリアパス要件 (要件 I・要件 II のいずれか) 及び職場環境等要件のいずれも満たす) 4. IV (キャリアパス要件を満たさない) 5. V (職場環境等要件を満たさない) 6. V (キャリアパス要件及び職場環境等要件のいずれも満たさない)		
						指定管理者制度適用区分	①. 非該当 2. 該当		
						地域生活支援拠点等	①. 非該当 2. 該当		
						(※10)	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	(別紙16)★
共同生活住居の名称		住居の定員 (サテライト除く)	サテライト の定員数	大規模住居等 (該当のいずれかに○)	大規模住居等 (該当のいずれかに○)	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
ばれっとハウス	6			大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
アウェイテ	6			大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
コーポ本陣	2			大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)
				大規模住居 定員8人以上の住居 非該当	大規模住居 定員21人以上の住居 非該当	夜勤職員加配体制 (別紙50)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)	夜間支援等体制 (※12)

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
4/12 (金)	中央看護 学生 4 名	アウェイテ見学
4/16 (火)	中央看護 学生 4 名	アウェイテ見学
4/17 (水)	中央看護 学生 3 名	アウェイテ見学
10/1 (火)	名古屋市医師会看護学生 4 名	アウェイテ見学
10/3 (木)	名古屋市医師会看護学生 4 名	アウェイテ見学
10/5 (土)	日本福祉大学実習生 1 名	アウェイテ見学
10/23 (水)	名古屋市医師会看護学生 4 名	アウェイテ見学
10/25 (金)	名古屋市医師会看護学生 3 名	アウェイテ見学
11/14 (木)	愛知淑徳大学実習生 1 名	アウェイテ見学
12/10 (火)	愛知淑徳大学実習生 1 名	アウェイテ見学
1/21~24	名古屋市医師会看護学生 4 名	アウェイテ見学
2/4~7	名古屋市医師会看護学生 4 名	アウェイテ見学
2/7 (金)	実習生	アウェイテ見学
2/12~14	名古屋市医師会看護学生 8 名	アウェイテ見学
2/18・19	名古屋市医師会看護学生 7 名	アウェイテ見学

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/25 (木)	親愛の里学習会 就労継続のために（社内 JC の設置） ～プラザリビングサービス（株）の取 り組み～	親愛の里	佐藤
5/23 (木)	中村地域支援事業所事例検討	親愛の里	佐藤、佐々
6/26 (水)	親愛の里学習会 ホームロイヤル制度の活用と福祉信託に ついて	親愛の里	佐藤、佐々
7/11 (木)	中村地域支援事業所事例検討	親愛の里	佐藤、佐々
7/24 (水)	親愛の里学習会 ひきこもりの現状と支援	親愛の里	佐藤
8/28 (水)	親愛の里学習会 第三者評価について	親愛の里	佐藤
9/12 (木)	中村地域支援事業所事例検討	親愛の里	佐藤、佐々
9/25 (水)	親愛の里学習会 インシデントによる事例検討	親愛の里	佐藤、佐々
10/29 (火)	親愛の里学習会 コミュニケーション研修	親愛の里	佐藤
11/14 (木)	中村地域支援事業所事例検討	親愛の里	佐藤、佐々
11/27 (水)	親愛の里学習会 触法障がい者の現状と支援について	親愛の里	佐藤、佐々
1/17 (金)	防災研修 防災体制と災害対応について	名古屋市社会福 祉協議会	佐々
1/22 (水)	親愛の里学習会 あたかも事例検討	親愛の里	佐々
2/26 (水)	親愛の里学習会	親愛の里	佐々

令和元年度苦情受付一覧表

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会 設立あり
1	令和1年6月11日	訪問先の地域住民	1	サービス内容(接 遇)	1	2	訪問先の地域住民より家の前に路上駐車しており車 が出せない、警察にも通報したと立腹した口調で、 事務所に電話があった。駐車した時は車がなかった ので気づかなかったが車を止めた反対側の家の門扉 の横に車の出入りできるスペースがあり奥から出て きたバンタイプの車が出られない状態だった。クラ クションを鳴らしたとことだが離れていたため気 づかなかった。	すぐに謝罪し離れたところに車を移動し戻ってきた 時には言いなかった。警察の方には状況説明し訪問先 の利用者にも謝罪した。	無
			2	サービス内容 (質・量)	1	1	ケース会議にて本人より急に予定を入れたり変更す ることはやめてほしいと指摘があった。また叔母よ り提出されたケース会議資料に「そういう障がいだ から…(仕方がない)」「(OOだから…)」と言うメッ (融通が利かない)」「(OOだから…)」と言うメッ セージを多々受け取ります。無意識に言っている言 葉が利用者本人・親を深く傷つけることを知ってほ しいです。と書かれてあった。	本人とは緊急時を除いて余裕をもって予定を入れる ことを約束した。叔母、母親と面談を行い障がいた から仕方がないと思っているのではなく、特性に順 じた支援を心がけていくことを説明し理解を得た。	
1	令和2年2月13日	本人・家族	2	サービス内容 (質・量)	1	1			無

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) … 1件
2 サービス内容(質・量) … 1件
3 事故、被害、損害 … 0件
4 事業所運営 … 0件
5 契約内容 … 0件
6 建物の構造 … 0件
7 その他 … 0件

※苦情のレベル

- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) … 2件
2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) … 0件
3 責任追及レベル(契約不履行に伴う責任追及など)
4 その他 … 0件

※苦情の発生原因

- 1 説明・情報不足 … 1件
2 職員の態度・言動 … 1件
3 サービス内容 … 0件
4 その他 … 0件

実績総数	2件
苦情受付	2件

平面図

(1) ぱれっとハウス (第1共同住居)

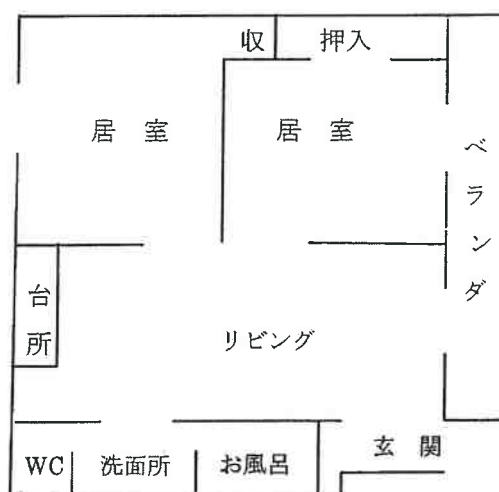
① 建物

建物	構造	鉄筋コンクリート3階建て (うち1階及2階各1室)
	延べ床面積	91 m ²
	利用定員	4名 (各部屋2名ずつ)
敷地面積		552 m ²

② 主な設備

設備の種類	室数	1ヵ所面積	一人当り面積	備品
居室	2	8.2 m ²	8.2 m ²	クローゼットもしくは衣装ケース、エアコン、扇風機、照明器具
	1	8.3 m ²	8.3 m ²	
	1	9.8 m ²	9.8 m ²	
ダイニング 食堂	2	18.6 m ² 17.5 m ²	9.3 m ² 8.7 m ²	冷蔵庫、クーラー、食卓セット、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、扇風機
便所	2	1.08 m ²	—	掃除用具一式
洗面所	2	2.4 m ²	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式
風呂	1	1.76 m ²	—	
自転車置場	1			

③ 施設平面図



2) アウエエテ (第2共同住居)

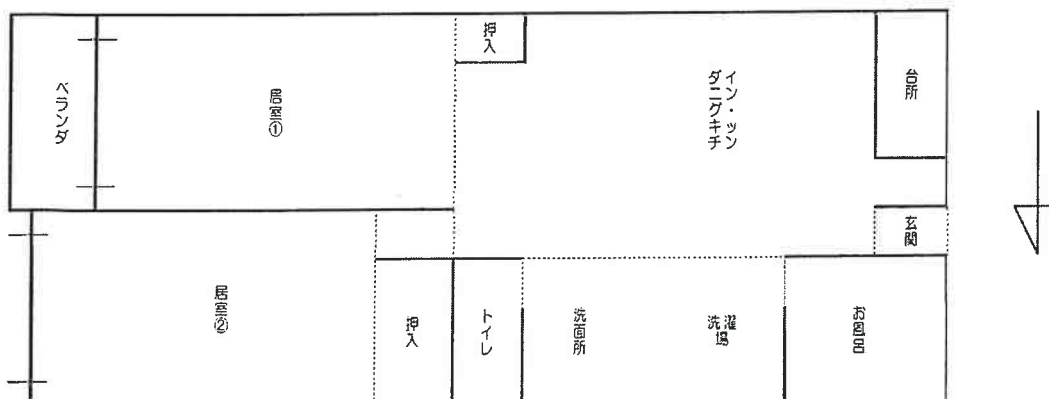
①施設

建物	構造	鉄筋コンクリート2階建て (うち2階)
	延べ床面積	150.66 m ² (50.22 m ² × 3)
	利用定員	6名 (各戸2名ずつ)
敷地面積		235.44 m ²

②主な設備

設備の種類	室数	1ヶ所面積	1人当り面積	備品
居室	6	9.72 m ²	9.72 m ²	エアコン、扇風機、ベッド、カーペット、タンス、照明器具
ダイニング 食堂	3	15.75 m ²	7.88 m ²	石油ファンヒーター、扇風機、冷蔵庫、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、炊飯器、ガスレンジ、照明器具、食器棚
便所	3	1.62 m ²	—	掃除用具一式
洗面所、風呂	3	6.66 m ²	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式

③ 施設平面図



3) コーポ本陣

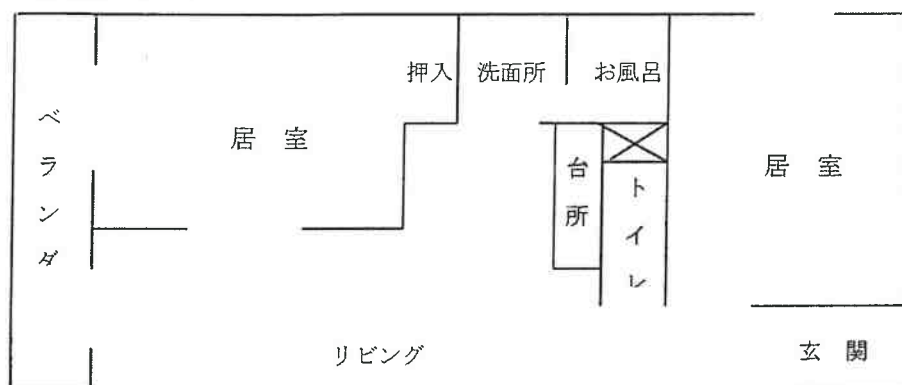
①施設

建物	構造	鉄筋コンクリート7階建て (うち5階)
	延べ床面積	51 m ²
	利用定員	2名
敷地面積		51 m ²

②主な設備

設備の種類	室数	1カ所面積	一人当り面積	備品
居室	1	8.0 m ²	8.0 m ²	クローゼットもしくは衣装ケース、エアコン、扇風機、照明器具
	1	8.5 m ²	8.5 m ²	
ダイニング 食堂	1	19.73 m ²	9.86 m ²	冷蔵庫、クーラー、食卓セット、厨房設備一式、給湯器、電気ポット、扇風機
便所	1	1.08 m ²	—	掃除用具一式
洗面所	1	2.72 m ²	—	全自動洗濯機、整理棚、掃除機、掃除用具一式
風呂	1	1.92 m ²	—	
自転車置場	1			

③施設平面図



令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：中村区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 地域移行支援について「名古屋市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて」の取り組みと協力しながら進めた。措置入院の方の退院支援として実際に地域移行支援を行った。また高齢者分野との連携の強化のため、定期的に会議を開催し、相互の特性を理解し合い連携できる関係づくりと仕組みづくりをした。
- ② 地域の企業や事業所や大学などの協力を得て、障がいの理解や支援センターの啓発等を目的としたイベントや交流の機会の開催や参加、講演等を行った。

(2) 課題と対応策等

- ① プロポーザルの際に掲げている取り組みの一つである社会で支える仕組みづくりとしてこどもに関わる支援者とのつながりを強化する必要がある。家庭環境や経済状況など複合的な要因から支援を必要とする方とのつながりを持つ（子ども食堂やひとり親世帯、児童養護施設等）区内にある支援の仕組みとのつながりを作り、地域で支える仕組みを検討できる場を設けていく。
- ② 複合的な課題を抱える方の支援に適切に対応できるように支援状況の共有や意見交換をして、チームで支援を継続していく。必要に応じて学習の機会を設ける。また、支援を通して困難と感じる事例については課題を整理し、地域課題として取り組む必要性を検討していく。

3. 利用実績（添付資料内にて：詳細記載）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	368	398	367	400	306	324	350	319	300	281	351	435	4199
認定調査数	45	28	35	36	27	36	32	48	30	41	32	41	431

4. 職員配置状況

（R2.3.31 現在）

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1				1	精神保健福祉士 1
副センター長	1(1)				1	社会福祉士 1
相談支援専門員	4 (2)		1		5	社会福祉士 2 精神保健福祉士 2
合 計	6		1		7	常勤換算 7.0

5. 安全防災対策

- ・3月16日 利用者と共に避難訓練を行う。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 「そよフェス」(そよかぜふくしフェスタ) の開催 地域に開放したイベント。
地域活動支援センター、グループホームと合同で実施

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等 : 記載事項 特になし
- (2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び評価 … 別紙 1
- (2) 職員研修参加状況 … 別紙 2
- (3) 苦情等の状況 … 別紙 3-1
- (4) 平面図 … 別紙 3-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ①OJT の活用によりそれぞれの相談員のスキルアップを目指す ②支援知識・支援技術の向上 ③社会資源の把握と開拓	①事業所内での朝や月 1 回のミーティングにおいて事例共有を行い、対応のポイントを整理する機会を設けた。また、新規のケースは 2 名体制にし、両法人がペアを組んで対応することで相互に学び支援力を高める機会とした。 ②親愛の里学習会を活用し、幅広い対象者に対する知識向上に努めた。精神障がいの方の生活のしづらさ、またパーソナリティ障がいの方や電話相談の支援についての研修等を開催した。 ③いきいき支援センターや保健センター、仕事くらし自立サポートセンターと事業所の業務内容やケースについて検討する機会を定期的に持ち、支援の視点などの違いや各機関の連携先等お互いを知る機会を作りより適切に連携できる関係づくりを行った。	B
地域における公益的な活動の推進 ①地活と協働して障がい理解や啓発事業を行う ②地域づくりに取り組む	①地域の企業、大学、ボランティアなどの協力を得ながらそよフェスを開催し、障がい啓発の機会を設けた。民生委員の方に対し地活の見学、基幹センターの役割や障がいについての説明を行った ②同朋大学と中村区社会福祉協議会の開催しているオレンジカレッジに参画、大学生に対して法人事業所の紹介や専門職としての役割について伝えた。中村区自立支援連絡協議会の活動を通して企業の協力を得て、障がいのある方だけでなく地域の方、学生、子どもなど幅広い方の参加を呼び掛けたボッチャ大会（地域福祉講演会）を開催した	B
健全な運営と安定した経営の確立 ①ニーズの掘り起こしを行い、潜在化している相談を顕在化する	①毎月開催される家族会へ職員が同席したり、近隣精神科病院で開催する家族会へ参加する機会を設けた。家族の困りごとを知り、時にはサービス等の説明など必要な情報提供を行った。 また地域の会議へ参加する際には「ニュース親愛」を持参配布することで、相談できる窓口を広く知ってもらえるよう取り組んだ。	B

(2) 中長期展望の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。 ※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない (3) コメント	いきいき支援センターなど高齢分野との連携については定期的に集まる機会を作るなかで、地域の会議で障がい特性や基幹の役割を伝える等の取り組みを実施した。来年度は子どもへの支援について取り組んでいるところとの情報共有の場を設けていく等幅を広げていく。	B

・精神科病院から退院をするにあたり地域移行支援サービスを利用する方が増加し地域の一般相談支援事業所と協力し取り組み進めることができた。
 一方で福祉事業所の方に対する精神障がいの理解啓発の必要性があることが再確認された。

利用実績

(第3号様式)
事業内容報告書
中村区障害者基盤相談支援センター (計)

【令和元年度】

令和元年度

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	441	87	1	81	226	7	6
障害児	14	2	0	9	3	0	0
計	455	89	1	90	229	7	6
内、新規	163	30	0	18	90	1	3

難病患者 (その他の再掲)	1
	0
	1
	0

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	441	87	1	81	226	7	6
障害児	14	2	0	9	3	0	0
計	455	89	1	90	229	7	6

難病患者 (その他の再掲)	1
	0
	1
	0

支援内容・方法

	福祉サービス の利用等に関する 支援	障害や症状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援	教育・保育・ 就労に関する 支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	危険回避に関 する支援	その他	計	差別に関 する相談 (権利擁護 の再掲)	虐待相談 (権利擁護 の再掲)
訪問	133	10	10	1	0	8	4	8	2	0	0	1	13	190	0
同行	26	0	0	0	0	1	2	2	7	1	1	4	6	49	0
個別支援会議	41	2	0	1	1	6	4	2	0	0	0	1	10	68	0
関係機関調整	115	3	13	0	0	12	3	8	3	1	1	19	178	0	0
その他	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	18	0
小計	323	16	23	2	1	27	13	21	12	2	2	9	54	503	0
来所	136	8	11	33	0	45	12	43	16	4	4	12	17	337	0
電話	862	59	189	920	6	394	148	323	68	55	55	14	321	3359	0
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	998	67	200	953	6	439	160	366	84	59	59	26	338	3696	0
計	1321	83	223	955	7	466	173	387	96	61	61	35	392	4199	0
ピアカウンセリング (再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	社会 (法人等)	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	3	18	10	33	64

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画 (案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
431 件	10 件	10 件	19 件	0 件

【コメント】

- (1) 前年と比べて件数や人数に大きな変化はない。(障害種別の内、発達障害及び高次脳機能障害は精神障害の区分に含まれています)
相談内容の打ち明けとして不安の解消が減り、家族関係・人間関係、家計・経済、生活技術が増加している。支援の目的を改めて振り返り分類することとした
結果と考える。

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/24	親愛の里学習会(障害者雇用)	親愛の里	河村、水野
5/22	親愛の里学習会(障害年金)	親愛の里	関戸C長、河村、水野
5/23	中村区地域支援課 事例検討会	中村地域支援課	関戸C長、河村、水野 小部
6/4	虐待相談職員研修会	名古屋市	小部、水野
6/26	親愛の里学習会(ホームロイヤー)	親愛の里	河村、水野、小部
7/24	ピアサポーター養成講座	名古屋市	水野
8/2	苦情相談研修	名古屋市	水野
8/20.21	相談支援専門員初任者研修	名古屋市	小部
8/27	四区相談支援事業所合同学習会 (思春期の性)	西ブロック協議 会	関戸C長、河村
8/30	相談支援専門員初任者研修	愛知県	小部
9/4	中村区自立支援連絡協議会事例検討	中村区自立支援 連絡協議会	河村、小部、水野
9/12	中村区地域支援課 事例検討会	中村地域支援課	関戸C長、河村、水野 小部
10/24.25	相談支援専門員初任者研修	愛知県	小部
10/28	精神疾患研修 (精神障害者の症状と接し方)	中村区自立支援 連絡協議会	水野
10/29	親愛の里学習会(コミュニケーション)	親愛の里	水野、小部
10/31	自殺ハイリスク者研修	名古屋市	水野
11/6	中村区自立支援連絡協議会事例検討	中村区自立支援 連絡協議会	関戸C長、河村、小部
1/17	相談支援従事者中堅クラス研修	名古屋市	水野
1/22	親愛の里学習会(事例検討)	親愛の里	水野
2/5	中村区地域支援課 事例検討会	中村地域支援課	河村、小部、水野
2/5	中村区自立支援連絡協議会事例検討	中村区自立支援 連絡協議会	河村、小部、水野
2/7	精神障がいの研修(精神障がい者の 疾病・障がい・生活のしづらさの理 解)	中村区障害者基 幹相談支援セン ター	関戸C長、河村、小部、 水野

期 日	研修名	主催	参加者
2/10	四区合同相談支援従事者学習会 (8050 問題)	西ブロック協議 会	河村、水野
2/17	精神疾患等研修会	中村区自立支援 連絡協議会	関戸C長

令和元年度苦情受付一覧表

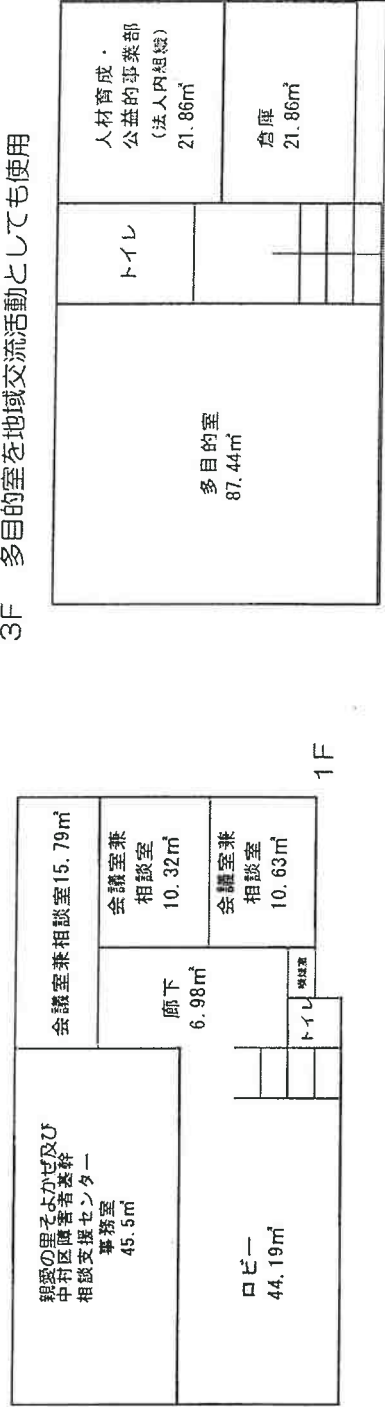
別紙 3-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員 員立会い
1	令和1年8月	家族	2 サービスの内容 (質・量)	1	1	本人よりピアサポーター養成講座参加希望として基幹へ申し込みの電話があった。 電話に出た職員が対応できる職員がいる時間になかなかお話しがなかった。 また、結果として参加できなかった(各基幹あたり2名までの推薦と決まっていたが市へ家族が問い合わせたところ全体の定員40名と聞いていた) 職員の電話ですでに定員いっぱいというなら言うてほしかった。代案として当事者クラブの発表について紹介されたが娘は不調になった。 障害特性に配慮した対応をしてほしかった。	職員間の共有が不十分であったことを謝罪。 募集に当たっての仕組みを職員間で共有した。	無

※苦情の種類			
1	サービス内容(職員の接遇)	… 0件	※苦情のレベル
2	サービス内容(質・量)	… 1件	1 要望(本人の意向、意見、主張など)
3	事故、被害、損害	… 0件	2 請求(法的責任に基づく権利の主張など)
4	事業所運営	… 0件	3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など)
5	契約内容	… 0件	4 その他
6	建物の構造	… 0件	… 0件
7	その他	… 0件	
※苦情の発生原因			
1	説明・情報不足	… 1件	
2	職員の態度・言動	… 0件	
3	サービス内容	… 0件	
4	その他	… 0件	
実績総数			1件
苦情受付			0件

平面図

3F 多目的室を地域交流活動としても使用



3F

1F

階段

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：熱田区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 名古屋市からの継続受託し新たな 5 年が始まった。新たな提案として地域で支える「子育てシステム」の検討や、障がいの特性と理解について地域包括支援センター（いきいき）との協力体制の強化を挙げている。障がいの手帳など所持していない、医療にもつながっていない、自宅に長年引きこもっている子供がいるなどの相談が増えている。
- ② 相談件数は記録システムの入力方法の統一や 1 日に数回または毎日相談のある方からの電話が減っていることにより年間で 560 件ほど減少。訪問や同行支援の数は大幅な変化はない。認定調査に関しては他区の調査を行っているため今年度も約 55 件増加している。
- ③ 基幹支援センターとして地域に根差すための活動として行っている「かよういちサロン」や行事を継続して取り組み、幅広い世代が交流できる機会を作ることができた。また、学生ボランティアや地域のボランティアなどを活用し、人材育成や障がい福祉の理解・啓発が進むよう取り組んだ。

(2) 課題と対応策等

- ① 地域包括支援センターや暮らしサポートセンター、子ども応援委員会など他機関からのケースの相談が増えている。他機関の役割を知り、適切な支援ができるようスキルアップの向上が求められる。
- ② 3 月から実施しているが、週 1 回新規相談や動いているケースを共有し支援の方向性を基幹センター全体で検討しケースを通した学びにつなげていく。必要に応じて学習会も開催していく。

3. 利用実績（添付資料内にて：詳細記載）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	171	213	198	197	176	198	233	198	196	184	125	166	2255
認定調査数	30	23	28	22	26	22	29	24	19	28	28	32	311

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	1(1)				1	社会福祉士 介護福祉士
副センター長	1				1	精神保健福祉士

相談支援専門員	4 (3)				4	社会福祉士 3 精神保健福祉士 1 介護福祉士 2
合 計	6				6	常勤換算 5.5

5. 安全防災対策

- (1) 9/10 名身連本部会館全体と名身連第 1 ワークス・第 1 デイサービスと合同で地震を想定した防災訓練、3/13 に漏電による火災を想定した避難訓練を実施。
- (2) 発災時や防犯の取り組みとして、名身連本部会館全体と名身連第 1 ワークス・第 1 デイサービス合同でさすまた講習会や車いすの方の階段での避難方法・介助方法について講習を行う。

6. 公益的取り組みの状況

- (1) 「熱田区障害者基幹相談支援センターかよういちサロン」の開催。(月 2 回)
誰でも参加できるサロンを実施。講師として学生に活動の場を提供。また地域支え合い事業によりサロン参加者の人数が学区にポイントとして付与され還元されている。
- (2) 「あつたつながるフェア(イオンモール熱田)」の開催(年 1 回)
- (3) 「こころの講座」の開催(年 1 回)～発達障がいの理解～
心の健康、精神障がいについて知ってもらう機会として地域一般の方向けの講座を開催。
- (4) クッキング講座の開催(年 5 回)

7. 主な施設整備等

- (1) 改修等 : 記載事項 特になし
- (2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

- (1) 重点目標及び評価 … 別紙 1
- (2) 実習、ボランティア等の受け入れ状況 … 別紙 2
- (3) 職員研修参加状況 … 別紙 3
- (4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1
- (5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ① OJT の活用によりそれぞれの相談員のスキルアップを目指す ② 支援知識・支援技術の向上 ③ 社会資源の把握と開拓	・ 共同事業体の特性を生かし、初回面談は二人体制で行う。それぞれの得意分野の職員と組んで相談にあたり、個々の支援力を高めた。精神分野だけでなく他障がいにおいても、認定調査を行いケースに触れる機会とした。 ・ 名身連・親愛の里連絡会として両法人基幹センター職員が集まる会議を開催。また、基幹センター内の事例共有の場を週に1回設け、ケース共有とケーススタディを行った。愛知淑徳大学の瀧先生に来ていただき職員研修の機会を設けた。 ・ 協議会では、新たに南養護学校の進路説明会に参加。名古屋市中央療育センターの見学会を開催。 ・ 2 か月に1回ヘルパー事業所のサービス提供可能状況について調査し相談し相談事業所と中区基幹と情報共有を行っている。 ・ 協議会を通じて各事業所の情報交換を行いネットワークの構築に努めた。	B
地域貢献 ① 地活と共同して障がい理解や啓発事業を行う ② 地域づくりに取り組み	・ 火曜市サロンの継続。栄養士だけでなく、障がい当事者や地域住民のボランティアや名古屋学院大学の学生などを呼んでサロン運営を行い、障がいのある人との交流の場や理解促進に努めた。こころの講座では、ドロップスキャラバン隊を講師として呼び、発達障がいの啓発を行った。 ・ あつたつながるフェアの継続。今年度は当事者ステージだけでなく、地域の方の出演を依頼。熱田かるた大会や抽選会、はち丸、アンケートなども新たに開催。基幹のティッシュも配布し啓発に努めた。 ・ 今年度も協議会で開催されるイベントに関して、イベントごとに実行委員制を取り運営を行った。 ・ 児童連絡会において『あつたはらべこ展覧会』を継続して開催。 ・ エンジョイフェアでは福祉と地域が交流する場としてポッチャ大会を行い、当日は老若男女問わずポッチャボランティアも含め多くの参加があった。 ・ 2月以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントや活動を自粛している。	B

安定した経営と事業運営	① ニーズの掘り起こしを行い、潜在化している相談を顕在化する。 B ・いきいき支援センターや保健師などからつながることが多く、多機関との連携において今まで福祉サービスに繋がっていなかったケースが顕在化してきている。 ・かよいうちサロンやあつたつながる等の行事を通して基幹センターの存在を知ってもらえる機会に努めた。 ・家族会である熱田しろとり会に参加することで、家族の抱えている課題を知りサービスの提案など行ってきた。11月に家族会にて日帰り旅行を実施し同行している。
-------------	--

目 標	具体的取り組み・課題等	評価
(2) 中長期展望の進捗状況 地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	共生サロンの運営や地域でのイベントの継続開催を通して基幹センターの存在の周知を図ってきた。学習会や行事開催においては、ボランティアを積極的に活用。特に熱田区内で文化的活動をされている方、熱田区にゆかりのある方、区内の大学に声をかけボランティアや講師として参加を促し新たなつながりの構築を目指している。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ・かよいうちサロンを継続して開催。地域で活躍するボランティアや名古屋学院大学の学生に講師として参加してもらうことで様々な世代が集まる機会にもなっている。障がい当事者を招いてのサロンや当事者家族で結成されたドロップスキャラバン隊を招き「こころの講座」も開催し障がい理解や啓発に取り組みことができた。図書館や役所以外にも区内の心療内科にもパンフレット等を持っていき幅広く参加者を募った。また、あつたつながるフェアの継続実施により基幹センターの存在を地域の方へ伝え、気軽に立ち寄れる地域に根差したセンターを目指して進めることができた。
- ・名古屋市内16区すべてに地域活動支援センターが基幹に併設されたことを受け、愛知淑徳大学の瀧先生に歴史的背景から地活について学ぶ機会を設けた。2月には熱田と中村基幹だけではなく南基幹にも声をかけ、精神障がい者からの相談における視点・相談の幅について疾病・障がい・生活のしずらさの理解についての研修を開催した。

利用実績 【平成31年度】

(第3号様式)
事業内容報告書
熱田区障害者基幹相談支援センター (計)

平成31年4月分

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	317	57	0	87	143	6	1	10
障害児	10	0	0	5	2	0	0	1
計	327	57	0	92	145	8	1	11
内、新規	105	21	0	25	46	1	0	2

難病患者(その他の再掲)	1
	0
	1
	0

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	317	57	0	87	143	6	1	10
障害児	10	0	0	5	2	0	0	1
計	327	57	0	92	145	8	1	11

難病患者(その他の再掲)	1
	0
	1
	0

支援内容・方法

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	差別に因する相談(権利擁護の再掲)	虐待相談(権利擁護の再掲)
訪問	90	9	16	3	0	5	8	9	2	1	1	36	180	0	1
同行	48	2	5	1	0	0	3	3	5	0	0	17	84	0	0
個別支援会議	14	3	0	0	2	1	1	1	1	0	0	1	23	0	0
関係機関調整	9	4	5	0	1	1	1	1	0	2	0	7	30	0	0
その他	10	1	2	2	0	1	2	1	3	106	2	7	137	0	0
小計	171	19	28	6	3	8	15	14	12	107	3	68	454	0	1
来所	105	49	41	49	2	22	156	10	28	17	1	20	500	0	0
電話	518	127	109	172	10	67	57	42	65	16	2	125	1310	0	1
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	623	176	150	221	12	89	213	52	93	33	3	145	1810	0	1
計	794	195	178	227	15	97	228	66	105	140	6	213	2264	0	2
ピアサポリング(再掲)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0

地域自立支援協議会	総会(全体会)	部会	研修会	その他	計
	1	32	4	13	50

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
315 件	39 件	33 件	85 件	0 件

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る
しあわせ

【コメント】

- (1) 昨年度までは不安の解消が 1125 件と飛びぬけていたが、内容によって分類分けをすることで今年度は大幅に減少。医療、家計・経済、就労に関する相談が増加している。(正しく分類分けが進んでいないかと思われる。)
- (2) 訪問や同行支援などは前年度と大きな差はないが、電話での相談が昨年度に比べ 600 件ほど減少している。認定調査、特定相談としての業務は、大幅に増加している。
- (3) 他区からの認定調査を行っているため昨年度も 60 件、今年度も 53 件ほどさらに増加している。

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
7/30	名古屋学院大学 2 名	行事ボランティア
8/29	名古屋学院大学 6 名	行事ボランティア
9/10	名古屋学院大学 6 名	防災ボランティア
11/26	ドロップスキャラバン隊 3 名	サロンボランティア
2/15	名古屋学院大学 4 名	行事ボランティア

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
4/24	親愛の里学習会（障害者雇用について）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
5/31	地域活動支援センターについて 講師:愛知淑徳大学 瀧先生	基幹	小野原副 C 長・中村
5/22	親愛の里学習会（障害年金について）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
5/28	労働局研修「働き方改革説明会」	労働局	小野原副 C 長
6/25	ケアマネサロン	熱田区いきいき 支援センター	中村
6/26	親愛の里学習会 （親亡き後の問題～ホームロイヤー制度 の利用と成年後見制度と福祉信託～）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
6/26	障害者差別解消法と名古屋市障害者差別 相談センターについて	熱田区自立支援 連絡協議会	小野原副 C 長
7/18	名古屋市中央療育センター見学会	熱田区自立支援 連絡協議会	小野原副 C 長
7/24	親愛の里学習会 （ひきこもりの現状と支援）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
8/22	コミュニティ福祉サービス研修	岩手県立大学	中村
8/27	四区合同相談支援事業所学習会	西ブロック	小野原副 C 長・中村
8/28	親愛の里学習会（事例検討）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
9/12	どんなハンディがありますか？どんなこ とに配慮してほしいですか？ ～障がい当事者からの声～	熱田区自立支援 連絡協議会	小野原副 C 長

期 日	研修名	主催	参加者
9/25	親愛の里学習会（触法障がい者と支援）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
9/26	地域移行事例検討会	西ブロック	小野原副 C 長
10/29	親愛の里学習会 （コミュニケーションカード研修）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
11/8	名古屋市中堅者クラス研修会（地域づくり事例を基にしたグループワーク）	名古屋市	中村
11/27	親愛の里学習会 （触法障がい者現状と支援について）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
12/12	コミュニケーションカード活用アドバイザー認定講座	親愛の里	小野原副 C 長
12/25	親愛の里学習会 （チームビルディングと親睦会）	親愛の里	小野原副 C 長・中村
1/22	親愛の里学習会（あたかも事例検討）	親愛の里	小野原副 C 長
2/7	中村・南・熱田基幹学習会 講師:愛知淑徳大学 瀧先生	3区基幹	小野原副 C 長・中村
2/13	地域生活支援研修	社会福祉協議会	小野原副 C 長

令和元年度苦情受付一覧表

別紙 4-1

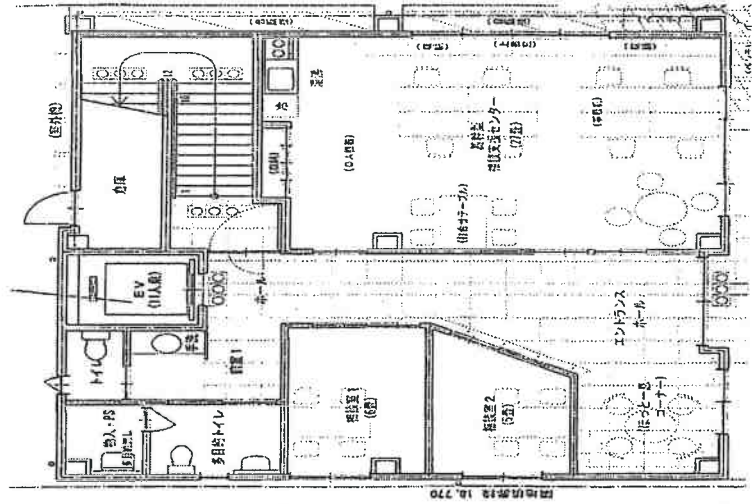
No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類		苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	7月29日	匿名	7	その他	1	4	熱田区役所の付近で右折車線のスピードが遅すぎると法人本部に電話がはいる。	今後も道路交通法を遵守し交通安全に気を付けながら運転に心がける。	

※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 1件
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 1件
- 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件
- 1 説明・情報不足 ... 0件
- 2 職員の態度・言動 ... 0件
- 3 サービス内容 ... 0件
- 4 その他 ... 1件

※苦情の発生原因

実績総数	1件
苦情受付	1件



平面図

別紙 4-2

令和元年度事業報告書

1. 種別・名称：南区障害者基幹相談支援センター

2. 概要

(1) 運営の概要

- ① 相談においては、8050 問題に直結するケースが多く、チームを組んでの支援体制が必要となった。HC、HP、区保護係、暮らしサポ、弁護士など、多くの専門機関と関わり、継続して支援を行ってきた。
- ② 自立支援連絡協議会内の 6WG については、新規立ち上げの WG を含め、6WG が活動している。各 WG が研修会や地域啓発活動など、それぞれ実践の中から必要に応じて行ってきた。サテライトでは地域福祉力 WG を担当し、今年度は「中学生向けピアサポーター養成講座」を開催した。今まで未開拓だった学校関係へのアプローチをこども応援委員会に協力依頼し、名古屋市いのちの支援課には講師を紹介してもらうなど、多方面に協力依頼し、無事に開催となった。

(2) 課題と対応策等

- ① 基幹として、他機関とチーム体制を組み訪問に同行するなど、アウトリーチが必要なケースが多くなっている。ニーズや支援方法を構築する上で、相談員自体が他職の理解やコーディネート能力が必要とされるため、今後も幅広い分野との合同研修に参加し、顔つなぎをする事で連携の取りやすい関係性を構築していく。
- ② 地域福祉力 WG で今年度初めての取り組んだ講座において、今まで関わる事の無かった学校関係、こども応援委員会との連携する事が出来たが、参加人数 12 名と周知の難しさがあった。また、各学校の「こころの健康」への取り組み方、捉え方にかなりの差がある事で周知方法に温度差がある事も表面化した。今後も継続して行っていく事で、学校関係者への更なる理解を深め、「こころの健康」への関心や必要性の理解につなげていく必要がある。

3. 利用実績 (添付資料内にて：詳細記載)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ相談者数	261	267	292	298	236	286	309	241	264	269	278	292	3293
認定調査数	29	27	35	55	40	28	30	31	47	31	45	22	420

4. 職員配置状況

(R2.3.31 現在)

職種\雇用形態等	正規総合	正規一般	パート	嘱託職員	計	国家資格等
センター長	(1)				(1)	社会福祉士 1、介護福祉士 1
副センター長	(1)				(1)	社会福祉士 1 介護支援専門員 1
相談支援専門員	(3)	1			1 (3)	社会福祉士 2 精神保健福祉士 1 介護福祉士 4
相談員	(1)				(1)	介護福祉士 1
合 計	6 (5)	1			7(6)	

※ () はコンソーシアムを組む他法人の職員。

5. 安全防災対策 … 避難訓練等の実施状況と内容

(1) 令和元年 2 月 11 日(土)

南区自立支援連絡協議会主催、南区役所共催イベント

「障害のある人もない人も みんなで防災 避難所体験訓練！！」

要配慮者の受付体験、トイレ凝固体験、非常食試食など、地域参加者、障がい者が 12 グループに分かれ、実践さながらの体験訓練を行った。

6. 公益的取り組みの状況

(1) みなみ家族会主催行事へ必要に応じて参加。

(2) 併設するリユースショップ『Re☆創庫さくら』に来店のお客様より、知り合いに困っている家庭があるなど相談があり、基幹・地活パンフレットなど説明する事があった。

(2) R 元年 11 月 3 日(日) 「さわやかウォーク」に高齢分野と共同ブースを設け、パンフレットなどの配布を行った。

7. 主な施設整備等

(1) 改修等 : 記載事項 特になし

(2) 固定資産物品 : 記載事項 特になし

8. その他(添付資料)

(1) 重点目標及び第 2 期 3 年計画の評価及び達成状況 … 別紙 1

(2) 実習、ボランティア等の受入状況 … 別紙 2

(3) 職員研修参加状況 … 別紙 3

(4) 苦情等の状況 … 別紙 4-1

(5) 平面図 … 別紙 4-2

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
支援の充実 ① OJT の活用によりそれぞれの相談員のスキルアップを目指す ② 支援知識・支援技術の向上 ③ 社会資源の把握と開拓	・南区基幹学習会を毎月第3木曜に開催。実際に担当しているケースで、困難ケースや支援員自体の行き詰まりなど事例検討を通して振り返りを行っている。 ・いざいぎ支援センター、相談支援事業所などの抱える困難ケースの検討の機会を設け、必要に応じてスーパーバイザーにも同席してもらい、支援体制、支援方法等の助言を受けた。 ・南区基幹職員会議を毎週木曜に開催。本部・サテライトそれぞれに入った相談内容を情報共有し、複数名での対応を心がけた。また、第2週の会議では、担当ケースを1事例ずつ検討し行き詰まりを整頓し今後の方針などの意見交換を行った。 ・いざいぎ支援センター交流会を実施。北・南両センターが参加し、今年度は「制度の狭間にあるケースについて」をテーマに、実際のケースで困った事例などを検討した。また、8050 会議を定期的にを行い、ケースの情報共有とともに、必要に応じた情報提供や関係者会議への同席などを行っている。 ・相談支援事業所 WG を月 1 回実施。支援に行き詰っているケースの事例検討を行い、相談員の行き詰まり感の軽減や支援の方向性などを話し合っている。また、ケースだけでなく対応についてのアドバイス、社会情勢、ヘルパーや GH など需要の多い事業所の空き状況などを集約し情報交換も行っている。 ・障がい福祉関係だけでなく、医師会、高齢、教育関係を始め、地域ボランティア、民生委員へ協議会への参加を呼びかけ、地域全体で考えていく体制作り、顔の見える関係作りや情報共有に努めている。	B
地域における公益的な活動の推進 ① 地活と共同して障がい理解や啓発事業を行う ② 地域づくりに取り組む	・南区自立支援協議会事務局会議を毎月第一金曜日に開催し、各 WG からの報告を始め、地域課題を抽出している。 ・南ブロック連絡会(南、瑞穂、天白、緑)に参加し、各区の取り組みなど情報共有する事で、南区での今後の取り組みや方向性についての検討する機会となっている。 ・サテライトでは地域福祉力 WG を担当し、精神障がいに対するの理解の機会となるよう地域啓発活動を行っている。メンバーは社協、HC、基幹職員、家族会、ボランティアグループと以前	B

しあわせ

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る

	からのメンバーに加え、今年度は学校関係へのアプローチの必要があり、窓口として「こども応援委員会」に協力を依頼し、初の取り組みとして「中学生向けピアサポーター養成講座」を開催した。	
健全な運営と安定した経営の確立		
① ニーズの掘り起こしを行い、潜在化している相談を顕在化する	・年4回運営会議にて運営状況について3法人が随時把握している。	B

(2) 第2期3か年計画（H30年度～R2年度）の進捗状況

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
地域福祉の取り組みを通して、人や制度などをコーディネートする役割を担い、新たなサービスの創設や仕組みづくりを行うマネジメント機能を持つ障害者基幹相談支援センターを目指す。	自立支援連絡協議会の事務局として、各WGの活動が円滑に行えるようサポートを継続している。事務局では、地域で活動している人たちの声を拾い上げ、反映させるとともに、常に地域課題と向き合えるような体制作りを行っている。	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

(3) コメント

- ① 地域福祉力を伸ばそうWGの代表を務め、保健所、社協、南基幹、南家族会、ボランティアグループがメンバーとなり啓発活動を行っている。各WGの研修内容が似た傾向になりつつあることや、WGメンバーの偏りなどを課題としてきたが、今年度は目標を変え、12/14（土）「中学生向けピアサポーター養成講座」を開催した。今まで関わることの無かった「こども応援委員会」へ協力を依頼し、学校への周知方法や講義内容など、未成年を対象に行う初の取り組みで必要不可欠な子供の心理面に対する配慮や、参加後のアフターフォローなど、専門分野から貴重な意見も伺う事が出来た。また、開催にあたり、名古屋市いのちの支援課から紹介を受け、中京大学准教授 川島先生に講師を依頼し、講義と地域資源を知ってもらえるようなマッピングゲームを研修内容に加え、より年齢の近いゼミ生にチームリーダーとして参加して頂いた。また、南区内6校のカウンセラーも参観され、参加者への振り返りなどアフターフォローの体制も整える事が出来た。
- ② 8050 会議に参加し、ケアマネからの相談に対し、各専門分野の意見交換を行った。また、必要に応じて、他業種と地域に潜在するケースへの支援体制を組む、チーム支援を継続して行った。

利用実績

【令和元年度】

(第3号様式)
事業内容報告書
南区障害者支援相談センター センター (計)

平成31年4月～令和2年3月分

(当月分・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	426	79	2	138	215	9	4	6
障害児	33	8	1	21	4	1	0	0
計	459	87	3	159	219	10	4	6
内、新規	166	29	0	38	97	2	0	2
								0

送迎患者 (その他の市県)	3
	0
	3
	0

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	426	79	2	138	215	9	4	6
障害児	33	8	1	21	4	1	0	0
計	459	87	3	159	219	10	4	6

送迎患者 (その他の市県)	3
	0
	3
	0

支援内容・方法

	福祉サービス の活用等に関する 支援	障害や能力の 開発に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に 関する支援	家計・経済に 関する支援	生活技術に 関する支援	就労に 関する支援	社会参加・余 暇活動に 関する支援	特別支援に 関する支援	その他	計	差別に 関する相談 (虐待等 の被害の 被害の再 発)	虐待相談 (虐待等 の被害の 被害の再 発)
訪問	88	7	22	15	2	18	14	26	12	4	15	23	246	0	7
同行	41	0	28	9	4	4	14	12	18	3	1	4	128	0	1
個別支援会議	8	3	6	3	0	16	5	9	1	0	18	2	71	0	4
関係機関調整	11	1	1	5	1	15	10	10	2	0	19	2	67	0	17
その他	23	3	10	3	0	3	12	5	6	2	0	5	72	0	0
小計	171	14	67	35	7	56	35	62	39	9	53	36	584	0	29
来所	71	5	14	36	1	29	97	28	45	8	4	12	350	0	0
電話	580	34	262	234	36	293	157	344	159	58	99	115	2371	3	23
電子メール	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0
小計	653	39	278	270	37	322	254	372	204	66	103	128	2726	3	23
計	824	53	345	305	44	378	289	434	243	75	156	164	3310	3	52
その他(市県)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地域自立支援協議会	総合(市県)	部会	研修会	その他	計
	2	38	11	20	71

事業運営費外	障害支援区分認定調査サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
402件	28件	24件	54件	0件

【コメント】

- (1) 相談の傾向として、関係機関や行政、HP からの相談に加え、8050 会議でケース検討後の協力要請依頼が増えている。
- (2) コンソーシアムの強みを生かし、相談者のニーズに幅広く対応が出来るよう、複数体制、それぞれの得意分野を活かした支援体制で心掛けた。
- (3) 前年度に比べ、精神障害の方からの相談の割合が増加している。

基本理念：人権の保障と幸福を共に創る
しあわせ

実習・ボランティア等の受入状況

日 程 および 日 時	氏 名 もしくは 人 数	内 容
記載なし	記載なし	記載なし

職員研修参加状況

期 日	研修名	主催	参加者
5/14	相談支援連絡会 「地域生活拠点事業所見学および説明会」 キリスト教社会館 ぴぽっと西館	南区自立支援 協議会	加納
6/11	相談支援連絡会 「意思決定支援」 講師：桜花学園大学大学院人間文化研究科 柏倉秀克先生	南区自立支援 協議会	加納
7/9	相談支援連絡会 「制度の狭間や複合的な課題に関する意見交換会」 南区社会福祉協議会 馬場氏	南区自立支援 協議会	加納
7/18	基幹職員研修 「南部いきいき支援センターケースの事例検討」 スーパーバイザー：日本福祉大学 木全先生	南基幹	加納
8/8	相談支援連絡会 「条件反射制御法」 講師：共和病院	南区自立支援 協議会	加納
8/8	基幹職員研修 「精神の障害特性について」 講師：親愛の里 青木 邦子氏	南基幹	加納
9/18	相談支援連絡会・地域拠点 WG 合同研修 「南区地域生活支援拠点事業の面的整備に関する 研修会」	南区自立支援 協議会	加納
10/4	いきいき支援センター・基幹交流会 「制度の狭間のケースについての討論会」	南基幹	加納
10/8	相談支援連絡会 「祖父母に養育されている児童の将来を見据えた 支援について」 スーパーバイザー：日本福祉大学 木全先生	南区自立支援 協議会	加納

11/8	令和元年度 名古屋市相談支援従事者研修 「中堅者クラス研修Ⅰ」 地域づくり（協議会等）事例を基にした グループスーパービジョン	名古屋市 障害者支援課	加納
11/12	相談支援連絡会 「地域課題について」 相談支援連絡会 相談支援事業所どうとく 丸山氏	南区自立支援 協議会	加納
11/14	福祉関係事業所連絡会 「強度行動障害について」 ゆたか福祉会 強度行動障害	南区自立支援 協議会	加納
12/6	名古屋市相談支援従事者研修（共通全体研修） 「多職種連携(チームアプローチ)の考え方と展開方」 講師：株式会社 RETICE 東美奈子 氏	名古屋市	加納
12/10	相談支援連絡会 「ケースメソッド研修」 （ケースメソッド授業法を用いた演習） 講師：宇佐美千鶴氏	南区自立支援 協議会	加納
12/14	地域福祉力を伸ばそう WG 「中学生向けピアサポーター養成講座」 講師：中京大学 准教授 川島大輔氏	南区自立支援 協議会	加納
1/14	相談支援連絡会 「困難事例検討会」 スーパーバイザー：日本福祉大学 木全先生	南区自立支援 協議会	加納
1/17	名古屋市相談支援従事者研修（中堅者クラスⅡ） 「困難事例について」	名古屋市	加納
1/18	南区ささえあい街づくり事業 「障がい者スポーツ」 名古屋市障害者スポーツセンター	南区自立支援 協議会	加納
2/7	基幹職員研修 「相談支援とは」 講師：愛知淑徳大学 瀧先生	親愛の里	加納

2/10	地域移行南ブロック 「いきいき支援センター合同研修会」 ～ケアマネと協働したケース検討～	名古屋市 障害企画課	加納
2/13	相談支援連絡会 「南区における障害者虐待・差別相談の取り組み、福祉課再編について」 「相談支援連絡会の今年度取り組みと来年度に向けて」	南区自立支援 協議会	加納

令和元年度苦情受付一覧表

別紙 4-1

No.	期 日	苦情申出者氏名	苦情の種類	苦情のレベル	原因	内 容	対 応	第三者委員会
1	苦情受付なし	記載なし	記載なし					

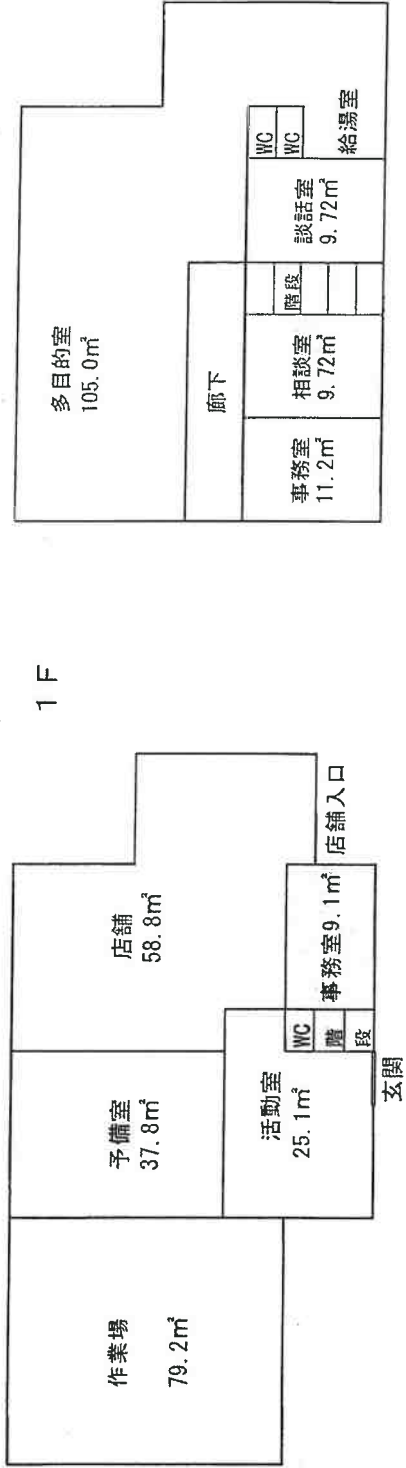
※苦情の種類

- 1 サービス内容(職員の接遇) ... 0件
- 2 サービス内容(質・量) ... 0件
- 3 事故、被害、損害 ... 0件
- 4 事業所運営 ... 0件
- 5 契約内容 ... 0件
- 6 建物の構造 ... 0件
- 7 その他 ... 0件
- ※苦情の発生原因
- 1 要望(本人の意向、意見、主張など) ... 0件
- 2 請求(法的責任に基づく権利の主張など) ... 0件
- 3 責任追及しレベル(契約不履行に伴う責任追及など) ... 0件
- 4 その他 ... 0件

実績総数	0件
苦情受付	0件

平面図

別紙 4-2



運営改善委員会：令和元年度事業報告書

1 目的・趣旨

運営改善委員会は、社会福祉法人親愛の里名古屋支援事業所において全事業所利用者対象の「サービス満足度調査」(アンケート)を行い、調査結果をもとに私たちが提供する福祉サービス業務の内容や日々の関わり方などを振り返る機会とする。なお、調査結果をふまえ、今後のサービス内容の向上を目的とする職員研修などの取り組みも行う。

2 構成員

5名：各事業所にて委員を募り、1名～2名選出。(職員代表も兼ねる)

【活動報告】

・毎月一回の開催(基本)の「運営改善委員会」において、下記の内容にて取り組んだ。

	日にち	内容
第1回	6/14(金)	昨年度の取り組み確認、今後の取り組み内容・実践方法の確認
第2回	7/3(金)	各事業所でのアンケート内容の精査を踏まえた検討
第3回	9/11(水)	運営改善委員会のあり方や現状の課題について検討
第4回	10/4(金)	ジョブサポートフォルテのアンケートの追加項目について精査 現状の課題についての改善策の検討
第5回	11/21(木)	アンケート結果の確認、精査
第6回	12/6(金)	アンケート結果の掲示方法の確認、研修内容検討
第7回	1/15(水)	アンケート結果掲示後の改善報告の共有、 中堅者研修検討
第8回	2/14(金)	各事業所の取り組み、今年度の振り返り、来年度に向けて共有、確認、中堅研修検討

・アンケート項目の追加

ジョブサポートフォルテが第三者評価を受審するにあたり「社会福祉法人親愛の里の基本理念や指針等について、職員から説明を受けて、知っていますか。」と「毎年のフォルテの事業計画について、職員から説明を受けて、知っていますか。」の項目を追加している。

【アンケート実施状況】

○中村、熱田、南区障害者基幹相談支援センターサテライト(相談支援事業)

アンケート実施期間：令和元年7月31日～令和元年9月30日

アンケート掲示期間：令和2年1月16日から6か月間(南区基幹相談支援センターサテライトを除く)

○親愛の里そよかぜ、ハートランド森、クオーレ(地域活動支援事業)

ぱれっとハウス(共同生活援助事業)

アンケート実施期間：令和元年8月20日～令和元年9月19日

アンケート揭示期間：令和 2 年 1 月 16 日から 6 か月間

○ジョブサポートフォルテ(就労移行支援事業、就労継続支援 B 型事業、就労定着支援事業)

アンケート実施期間：令和元年 1 月 13 日（水）～令和元年 11 月 29 日

アンケート揭示期間：アンケート結果集計が遅れたため今年度は揭示できていない。

【アンケート回収状況】：令和元年度（第 4 回）サービス満足度調査

配布数：307 部 回収数：200 部 回収率：65.1%

（※参考：平成 30 年度（第 3 回） 配布数：285 部 回収数：183 部 回収率：64.2%）

【調査結果に対しての考察および対応】

運営改善委員会のあり方を改めて共有。本来、運営改善委員会とは、アンケート委員ではなく法人や各事業所の運営を改善していくものである。改善していくべき対象とは何かを当初に共有していくべきであったという点から、アンケートを用いて仮説（課題）の検証をし、ビジョンに向けて現状をどう行動すればよいのかを指し示すものではないかと考察。

例年のアンケート結果から「職員のゆとりを感じますか」の項目結果において「いいえ」「どちらともいえない」の項目割合が多い事や現状の課題として、職員の定着率やキャリアパス（業務の標準化、職務責任の明確化）などの課題が挙がっていた。

今年度のアンケート結果からも「職員のゆとりが感じられますか」の項目に対し「いいえ」「どちらともいえない」の回答が昨年度と変わらない数となった。

それらの課題を踏まえ、法人の理念を知らないとな表面的な理解になってしまうことがあるため、観念的に理解するのではなく事例を通して学んでいく研修の実施を検討。全職員に向けた理念研修と中堅職員向けの研修を行うこととした。理念研修は各ブロックで実施。中堅職員研修は、対象者を 2 等級以上の職員とし、後輩からの相談にどう返したらよいかを実際の事例をもとに増田マネージャーにスーパービジョンしてもらおう形式をとることとした。実施日を決めたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から研修は延期となった。

【課題および今後の取組みなど】

今後（令和 2 年度）に向けた取組み：

- ・ジョブサポートフォルテが第三者評価を受けて追加した項目を他の事業所で反映させるか検討が必要。
- ・南区障害者基幹相談支援センターサテライトにてアンケート調査を行ったが、十分な回答数が得られず結果を報告することができなかった。職員が 1 名であったり通所の施設と違い不特定の方を支援する事業所にてアンケート調査を行っていく方法を、今後検討していく必要がある。
- ・アンケートの自由筆記について、今まで個人名・固有名詞・個人が特定される内容は削除していた。自由筆記の内容は意見として受け止めていく。

防災委員会：令和元年度事業報告書

1 目的・趣旨

名古屋支援事業所において各事業所で防火管理者を選任、消防計画を作成し消防署に届け出を行うなかで、職員の異動や退職等に併せて、防火管理者を変更していなかったり、消防計画自体も現状と合っていなかったことがあり昨年度の防災委員会において改善を行う。なお、消防計画を名古屋支援事業所全体で見直すことと、各事業所の防災対策の検討、合わせて国から策定があがっている「非常災害対策計画」の作成することを、主な目的として取り組んだ。

今年度は、改めて『災害時の対応（防災への取り組み）』を重視する中で、各事業所にて防火管理責任が中心になって対処していくことを目的とした。

2 構成員

委員長：ジョブサポートフォルテ：片桐所長

各事業所：防火管理責任者（4名）

【取り組み内容】

- ・年2回の各事業所での防災訓練についての共有、相談、報告
- ・各事業所での消防計画の作成および届け出等
職員の異動等のより、防火管理責任者の受講状況や届け出の確認を行い対応
- ・非常持ち出し用具と備蓄品について
各事業所に整備している備蓄関係（賞味期限の確認）や不足品の購入状況の確認
今後、計画的な購入予定の共有など
- ・職員の緊急連絡網のシステムについては
「連絡手段のシステム（オクレンジャー）」を導入。試験的（定期的）に『テスト配信』の運用をしている

【課題および今後の取り組みに関して】

<課題として:>

委員長の業務の都合や各委員との日程調整がうまくいかず、委員会自体が開催できなかった。各委員がそれぞれの事業所で進める形となった。災害時の具体的な職員の動きや事業所の運営について、引き続き検討する必要がある。オクレンジャーの具体的な運用方法について、検討が必要である。

<今後の取り組みとして:>

職員への「防災に関する意識改善」につながる取り組み（災害時：対応、対処の徹底）
利用者（地域住民）への働きかけ（福祉事業所としての役割などの見直し）

令和元年度事業報告

1 種別・名称 親愛の里保育園

2 概況

(1) 重点目標 別表 1

(2) 現状

- ① 園児の定員は、135 名である。今年度も、月によって入所・退所する園児がおり、月々に園児数は異なった。
- ② 毎年、特別支援を必要とする園児(今年度 16 名)が、他園より多く在籍しており、加配・臨時保育士含め 36名の職員で保育を行った。中途退職者(2 名)もいたため、職員配置に苦慮した。
- ③ 年度末で、結婚・家庭の事情などを理由に、3名の保育士が退職。来年度の職員構成が難しいところである。
- ④ 給食に関しては、幼児の保育料無償化に伴い、保育料に含まれていた給食費を、10月より園が保護者から徴収することになった。(一人5、200円)
- ⑤ アレルギー児(14名)の対応に細心の注意をはらい、給食・おやつの誤飲誤食のないよう、担任・調理員が連携をとり対応した事で、ほぼ誤りなく過ごす事が出来た。
- ⑥ ここ数年、行事毎に保護者にアンケートを取り、改善できる点は取り入れ実施してきた。徐々に保護者からの意見も、好意的な意見が多くなり、職員のやる気に繋がっている。
- ⑦ 一時保育、子育て支援、病児保育の三事業で、保育支援を行っているが、年明けコロナウイルスの流行が問題になり、その対策として、利用を自粛してもらった。年明けから利用者がかなり減少した。(別紙3)
- ⑧ 働き方改革を踏まえ、職員の勤務体制を見直し、土曜日代替保育士の採用で、振休が取り易くなった。また、出来るだけ書類の持ち帰りを無くすため、勤務時間内に書類の作成が出来る様な態勢をとる等、徐々にだが働き方が改善されてきている。
- ⑨ 職員の資質向上のため、外部より講師を招き研修を行なった。また、希望者には、研修・講演会に出向いてもらい年間19件の研修を受けることが出来た。園内でも自分たち(保育士)の日頃の言動に対し、グループ討議など行い自分の保育の見直しを行ってきたが、これに関しては思うように時間が取れず、今一つ成果がはっきり見えない。

(3) 課題と対応

- ① 年度途中の退職者(2名)に加え、年度末で退職した職員(3名)がいるため、安全確保のねらいからも、職員の採用を考えなければいけない。ハローワーク・人材紹介・求人広告など利用し、保育士の募集を行っているが、今のところ1名(調理員)の採用は出来たが、保育士の応募はなく、昨年度より少ない保育士で保育を行っている。(保育者減少のため5月より一時保育を休止している。)今後も職員募集に力を入れていく。
- ② 市からの献立自体が、卵、牛乳を除去した献立になった事で誤食は殆どない。しかし他のアレルギーの園児もいるため今後も職員の連携や献立に細心の注意をはらい対応していく。
- ③ 行事・園へのご意見については、保護者へのアンケートを続け、保護者のニーズに合わせ行事の内容、参加方法など考慮していく。

- ④ 3事業に関しても、コロナ防止策を考慮しながら再開できるよう進めていく。(4月時点で、子育て支援は、休止しており5月末まで延長)また、保育内容などの見直しを行い、気軽に利用しやすい施設にしていく。
- ⑤ 職員の仕事内容を軽減するため、書類整理や行事の準備等に時間を当てられるようにしていく。また有休についても出来るだけ計画的に消化出来るよう配慮する。
- ⑥ 保育者の資質向上を目指し、主任1名及び主任補佐1名の体制をとり、職員の指導や保育経験に合わせ、実技研修や園内研修を充実させる。またインシデント・プロセス法を取り入れ、自分の保育を客観視する機会を設けていく。今後も子どもの発達にあった保育に努め、話し合いの機会を持つことで、保育士の資質向上を図る。

3 利用実績

- (1) 月別保育実施 別表2
- (2) 3事業利用状況 別表3

4 職員の状況

(1) 職種及び職員数

令和2・3・31現在

職種	員数	常勤(正規)	非常勤	保有資格
園長	1	1		保育士29名 幼稚園教諭2級 29名
主任	2	2		
保育士	26	12	14	
保育補助	2	0	2	
調理員	2	1	1	
看護師	2		2	看護師・準看護師
事務員	1		1	
計	36	16	20	

(2) 職員の勤務体制

早番・遅番を含め数パターンの勤務時間帯になって入る。

別紙4

(3) 組・職員編成

○園長 1名 ○主任 2名

○臨時(早朝 6・延長 5名) ○調理員 3名 ○嘱託医(内科1名・歯科1名)

令和2・3・31現在

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
組名	ひよこ	うさぎ	こあら	たんぽぽ すみれ	なのはな	ひまわり	
男	4	9	10	12	12	11	58
女	5	10	12	16	13	16	72
計	9	19	22	28	25	27	130
担当職員	3	4	4	2(加1)	1(加1)	1(加1)	15(臨3)

5 主な施設整備など

園庭 築山の修繕

6 活動内容

- (1) 主な行事 年間 約33の行事を行っている。 別紙5
- (2) 保育者の記録(年間計画・月指導計画・個人別指導計画・日誌など計画及び記録を記入している。)
- (3) 職員研修は、年間に(園外19件 園内 3件)の研修に参加。 別紙6

7 安全・防災対策

- (1)避難訓練実施状況 年間に13回の訓練を行った。 別紙7
- (2)防犯訓練実施状況 年間に3回の防犯訓練を行っている。 別紙8

8 健康管理

- (1)子どもの集団検診 全園児対象
 - ・内科健康診断年2回(4月・10月)
 - ・歯科検診年2回 (6月・3月)
 - ・検尿検査(10月)
 - ・身長 体重 胸囲 測定(未満児毎月・幼児3か月毎)
- (2)職員の健康 全職員対象
 - ・年1回 健康診断 一般検診と任意のがん検診他
 - ・毎月 検便 と 隔月の 0-157検査

9 園地・園舎・教具等

別紙9

10 苦情(要望)などの状況

- ・子供への対応が厳しすぎる保育者がいる。虐待を疑われる言動がみられたなどの通報があった。
 - ※ 当事者(園児)の保護者に経緯を説明。謝罪・保育者の思いなど伝える機会を設け、保護者に了解を得ることが出来た。
 - ※ ある特定の保育士への苦情ではあったが、本人には勿論、職員会でも保護者への言動には、十分に気をつけ保育を行って貰いたいことを再度周知する。

重点目標及び評価

(1) 重点目標

目 標	具体的な取り組み・課題等	評価
1 子どもの発達に応じた援助を行い、安全で情緒の安定した生活が送れるようにする。	・年間計画、クラス月案、個別指導計画、処遇、日誌 ディリープログラムなど一人ひとりに適した指導計画を作成し5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)が満遍なく発達出来るよう保育者は援助を考え保育にあたる。保育者はゆったりと子ども達に関わる。	B
2 子どもたちが安全で意欲的に遊ぶことが出来る環境づくりをする。	・クラス担任は、室内外の安全点検を週に1度は行う。 ・園外保育の場合は、事前に下見をおこなう。また計画書の提出をする。 ・子ども達の興味関心を把握し環境の構成を考え援助する。 ・安全会議を設け、職員間で話し合い園内マニュアルの周知をする。 ・ヒヤリハットの報告をもとに、安全確認を行っていく。 ・業者による砂場や遊具の点検整備を委託。	B
3 幼児に運動や音楽又造形遊びを通し表現する楽しさを知らせるため基礎的な指導を計画的に行う。	・外部(カワイ体操教室・造形教室)より指導員を招き定期的に機会を設け運動や音楽又造形遊びを通し表現する楽しさを知らせる。	B
4 地域、家庭と連携を持ち保育園との相互理解を深め信頼関係を築いていく。	・園だより、クラス便りを毎月家庭に配布し、園の様子を知らせる。 ・園の行事ごとにアンケートを行い、保護者の方々の要望、ご意見など頂き今後の保育に生かしていく。大きな行事には、地域の方々にも参加や協力を頂くなど地域との交流をはかる。 ・地域の行事への参加を行っていく。	B

(2) 第3期5か年計画 H30 年度～R4 年度)

目 標	具体的な取り組み	
職員構成の見直し及び働きやすい職場を目指す。	1)主任2人体制にし、仕事量の軽減と保育士の指導の充実をはかる。 2)一人ひとりの役割を明確にし、やりがいを感じられるようにする。 3)保育士の仕事量の軽減を図る。(勤務時間内での書類作成時間の確保など)	B

	4)専門的な資格(社会福祉士、介護福祉士、児童指導員等)を有した職員の配置(障がい児加配) 5)土曜出勤の振休・休憩時間の確保・研修や有給消化のための代替要員の確保。	
職員の資質向上を目指し、幅広い教養と専門的知識を深める。	1)経験年数に応じた研修計画を立て実施。 ①初任研修・中堅研修 ・講師による研修(園に講師を招き幅広い知識を得る) 主任が計画 ② 園外研修 ・保育士協会による研修・私保連による研修・その他(研修案内より)個人が選択して参加。	B
保護者支援、地域子育て、家庭支援に努める。	1)保育園行事の見直しを行っていく。(保護者アンケートや意見箱より) ・行事ごとに保護者にアンケートを実施し要望など、保育者間で話し合い参加しやすい行事にして行く。 2)三事業の充実を図る。 ①保育内容を充実させる。(親子で楽しめる遊びの提供・地域の方に参加して頂き遊びを楽しむ等)	B
選ばれる園になるための独自性を図る。	1)障がい児を受け入れ子ども達が共に育ち合う保育を目指す。(専門的な資格を有した職員の配置) 2)三事業(子育て支援、一時保育、病児保育)を併設し地域や家庭支援に努める 3)地域の方々との交流を図る。(地域清掃、廃品回収、運動会参加、老人クラブへの呼びかけなど)	B

※1 評価：A：目標以上 B：目標をほぼ達成 C：達成していない

3 利用実績

別紙2

(1) 月別保育実施

H 31.4.1~R2.3.31

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月保育日数	25日	22日	25日	26日	26日	23日
初日在籍児童数	119人	124人	128人	128人	127人	130人
月給食実施日数	23日	24日	26日	25日	26日	22日
延在籍児童数	2975人	2728人	3200人	3328人	3302人	2990人
延出席児童数	2131人	2253人	2490人	2659人	2001人	2396人
延給食日数	2975日	2728日	3200日	3328日	3302日	2990日
延給食実施数	2131回	2253回	2490回	2659回	2001回	2396回
出席率	71.6%	82.6%	77.8%	77.9%	60.6%	80.1%
給食率	71.6%	82.6%	77.8%	77.9%	60.6%	80.1%

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月保育日数	26日	24日	24日	23日	23日	25日
初日在籍児童数	133人	133人	134人	131人	131人	130人
月給食実施日数	26日	24日	23日	23日	23日	25日
延在籍児童数	3458人	3192人	3216人	3013人	3013人	3250人
延出席児童数	2747人	2564人	2564人	2221人	2247人	2451人
延給食日数	3458日	3192日	3216日	3013日	3013日	3250日
延給食実施数	2747回	2564回	2564回	2221回	2247回	2451回
出席率	79.4%	80.3%	79.7%	73.7%	74.6%	75.4%
給食率	79.4%	80.3%	79.7%	73.7%	74.6%	75.4%

(2)3 事業利用状況

平成 31 年度 3 事業利用状況

別紙 3

子育て支援センター くまっこルーム 利用数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子ども	210	230	261	298	194	297	281	296	248	264	267	0	2,846
保護者	190	215	227	249	159	241	232	252	207	226	225	0	2,423
育児相談	10	10	10	10	7	9	6	7	5	5	2	0	81
健康相談	12	2	9	9	5	1	5	0	3	36	47	0	129

一時保育 さくらそう 利用数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子ども	107	120	134	165	139	157	158	163	151	143	129	47	1,613

病児・病後児 こすもす 利用数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子ども	4	4	3	15	0	21	5	1	15	15	5	5	93

(2) 職員の勤務体制

別紙 4

職 種	勤務体制
園 長	正規の勤務時間帯(8:30~17:15)常勤で勤務
保育士	早番 ①(7:30~16:15) 早番 ②(7:30~16:45) 日勤 (8:30~17:15) 遅番 ①(10:00~19:00)

	遅番 ②(9:45～18:30) 遅番 ③(9:00～18:00) 土曜 早番 (7:30～16:15) 土曜遅番 (9:45～18:45)
調理員	日勤(8:30～17:15) 早番(8:00～13:15)
臨時保育士	早番(7:30～9:00)・(7:30～9:30)・(7:30～10:00) (8:00～9:00)・(8:00～16:15) (9:00～16:15)・(9:30～16:15) 遅出(9:00～17:15)・(16:00～19:00) (14:30～18:30) 土曜遅番(16:00～19:00)
嘱託医師	年 2 回受診有

6 活動内容

別紙 5

(1)主な行事

H31、4. 1～R2、3、31

日時	行事名	内容等
4月 3日	入園式	親子で参加(リズム室・保育室)
4月 17日～	家庭訪問(～5月)	在園児は個別懇談をする。
5月15日	春の遠足	未満児は園周辺。3歳児は熊野公園 4、5歳児は、刈谷市歴史博物館と亀城公園
6月15日	保育参加(幼児)	クラス別保育。親子で楽しめる内容。
6月11日	交通安全教室(5歳児)	生活安全課より交通安全指導を受ける。 (信号の見方。横断歩道の渡り方など)
6月 21日	むすび座	人形劇をみる。
7月 5日	七夕会	七夕の人形劇を見たり、幼児が楽器あそびや歌の発表をしたり、他年齢の発表を見たりする。
7月12日	カレー作り	園の畑で収穫した野菜を使って、5歳児が野菜を切ったり炒めて料理する。
8月 2日	夏祭り(幼児のみ)	保育者と一緒に幼児が、手作り(幼児)の屋台をまわりお買物やゲームを楽しむ。
9月 3日	防災訓練、引渡し訓練	地震・火災の総合訓練や市へ通報をする。 子ども達を保護者に安全・確実に引き渡す。
9月 13日	祖父母を祝う会(幼児のみ)	祖父母を招待し子どもの歌や遊びを見て頂いたり、一緒にふれ合いあそびを楽しむ。
9月 19日～	親子給食(3 歳児、4、5 歳児新入園児)	食事の様子・食事の内容・味をみて頂き、食事に関心を持ってもらう。

10月2日 ～4日	5歳児知能検査	就学に向け園内で実施。
10月19日	親子運動会	雨天につき遊戯室で実施。5歳児リレーのみ、熊野公園で実施。
10月29日	秋の遠足	未満児は園周辺、3歳児は宝公園、4・5歳児は親子で交通児童遊園に行く予定だったが、雨天の為中止。未満児、3歳児は保育室内で体を動かす遊びをする。4歳児は親子でリース作り、5歳児は、親子で甲冑作りをする。
11月6日 ～	未満児個別懇談会 (0歳児)	保護者と担任が懇談し今後の保育の参考にする。要望等も聞く。
11月8日	5歳児プラネタリウム	刈谷科学館にてプラネタリウムや科学の不思議を体験。
11月14日	年中児交通安全教室	生活安全課より、歩道の渡り方、信号の見方など分かり易く指導を受ける。(4歳児)
11月18日 ～	未満児個別懇談会 (1歳児)	保護者と担任が懇談し今後の保育の参考にする。要望等も聞く。
12月7日	生活発表会	お客様をお招きしクラス毎に日頃の保育の一場面を見ていただく。(楽器・歌・表現・劇他)
12月9日 ～	個別懇談(5歳児)	保護者と担任が懇談し今後の保育の参考にする。要望等も聞く。
12月20日	クリスマス会	サンタさん(保護者の父2名)からプレゼントを頂いたり、お話を聞いて楽しむ。
12月25日	餅つき	保護者(数名)にもお手伝いして頂き餅つきをする。つき立てのお餅を食べたり、鏡餅を作ったりした。
1月23日	保育参加及び講演会	保育参加と父母の会の講演会を行なう。 一緒に過ごす中で、子ども達の成長を感じて頂く。
2月3日	豆まき	手作りのお面をつけて、自分の心の中の鬼(苦手なところや直したい所)を追い出すよう豆まきをする。病気や災いを追い払い、福を呼び込む。
2月18日	就学児交通安全教室	小学校へ行くための交通ルールを学ぶ。
2月21日～ 22日	作品展	一年間の生活や経験した中で、描いたり製作した物等を作品として展示し観て頂く。
2月21日～	未満児個別懇談会 (2歳児)	保護者と担任が懇談し今後の保育の参考にする。要望等も聞く。
2月5日	記念撮影	クラス単位で撮影する。
3月2日	移動動物園 (アクティブ)	コロナウイルス感染拡大防止の為中止。

3月 3日	ひなまつり会	雛祭りの由来を聞いたり、保育者によるダンスをみる。 抹茶をお運びしたり戴いたりして、日本の文化に触れる。
3月10日	お別れ会食会(5歳児)	親子でお赤飯を戴き元気に育ったことや、思いやりのある子に育っていくことを祝う。(コロナウイルス感染拡大防止の為短縮して行う。)
3月28日	卒園式・修了式 進級説明会	5歳児保護者参加、卒園証書を授与する。 (コロナウイルス感染拡大防止の為短縮して行う。) 進級説明会(4歳児以下クラス)は、コロナウイルス感染拡大防止の為中止。

※毎月 25 日前後に誕生会を行う。

(2)保育者の記録状況(子どもの生活の記録)

年齢ごとに保育過程に基づき、園のこどもの発達に合った指導計画を作成し実践し評価反省をする。

○指導計画として

- ・デイリープログラム(クラス年齢毎に一日の生活のリズム表)
- ・年間計画表(年齢別に領域毎に一年間の計画を立てる)
- ・月、週指導計画(子どもの姿・養護と教育のねらいと内容・活動・配慮・援助等記載する。)
- ・保育日記(毎日)
- ・未満児は、個別指導記録を作成する。また、一日の生活の記録を保護者に知らせる。
- ・全園児、保育の処遇を作成(発達の段階・援助・配慮すべき事項等を記載する。)

(3)職員研修

別紙 6

園外研修 年間 19 件

H31、4、1～R2、3、31

日時・場所	研修名・講師名	内容・(参加者)
4月4日(木) 亀城小学校	アナフィラキシーショック対応研修	・食物アレルギー緊急児の対応を知る。 (鈴木、橘、田村、小笠原)
4月20日(土) 刈谷市中央図書館	保育協会講演会 ワクワク人間関係プロデューサー 三森啓文氏	・言葉の力で心のエクササイズ～ペップトークで 笑顔の毎日 (石川園長、岩本、橘、葛野、小笠原、田村、谷口、近藤、織田、原田、清水あ)
5月25日(土) さくら保育園	保育協会実技研修(第1回) 愛知学泉短期大学 本田峰和氏	・身近な素材(石)を楽器にして遊ぶ (原田、竹尾)
6月6日(木) 高浜市体育センター	運動会実技研修 ふたばランド保育園園長 都築淳氏	・「うんとこどっこい運動会」に基づき、体操、歌、 手遊びを学ぶ (織田、原田)

6月15日(土) 東別院会館	令和元年主任・リーダー会議 岡崎女子大学教授 矢頭誠慈朗氏	・保育の質を高めるチーム作り (葛野)
6月21日(金) 熱田文化小劇場	保育スクール2019in 名古屋 汐見稔幸氏	・本当の生きる力って何だろうー遊びを通じて育まれる生きる力ー (橘、小笠原、岡部)
6月21日(金) 蒲郡市 勤労福祉会館	蒲郡市子どもサポート研究会 中京大学現代社会学部研究員 香取みずほ氏	・自閉症スペクトラム症の早期支援手法 JASPER について (岩本、葛野、清水あ、石飛、清水き)
6月29日(土) 中央生涯 学習センター	保育協会実技研修(第2回) 刈谷市めばえ図書館 神谷浩美氏	・絵本や紙芝居で子どもとコミュニケーション (小笠原、清水あ)
7月17日(木) 日高保育園	日高保育園園内研修 子育て・子育て NPO スコップ 赤松妙子氏	・実践を通して乳児とのふれ合い遊びの意義とかわり方を知る (竹尾)
7月24日(水) 日本特殊陶業 市民会館	第37回幼児保育夏季大学 非営利団体コードモミカタ代表理事 井桁容子氏 元公立幼稚園園長米谷美和子氏 ミュージックユニット ケロポンズ	・子どもの心を育む保育の視点 ・楽しみながら保育のレベルアップを～日々の保育を見直そう～ ・エブリデイ！あそぼう！ケロポンズ！ (近藤)
7月25日(木) ウインク愛知	愛知県私立保育園連盟 令和元年保育者一般研修会 千葉大学総合安全衛生管理機構 カウンセラー 大竹直子氏	・楽しく仕事をする為に～「モチベーションの維持」と「自分軸の確認」～ (谷口)
8月4日(日) 東別院会館	アートセラピーを学ぼう 佛教大学教授 松瀬喜治氏	・なぐり描きからはじまる臨床イメージ (石川園長、鈴木、岡本あ、岩本、橘、葛野、田村、田澤、織田、原田、清水あ、竹尾、石飛)
8月6日(火) 愛知県共済生活 協同組合	第90回子どものための遊び方研究会 画家・造形作家 水野政雄氏 遊戯研究家 三宅邦夫氏 皇學館大学教授 深草正博氏 うた遊び実践研究家山崎治美氏	・誰もが感動する、紙の芸術遊び ・遊んで笑って夢中になる、友達遊び ・やってみよう、楽しいマジック遊び ・遊びうた・わらべうたで、なかまゲーム (清水あ)
8月27日(火) ウインク愛知	服育発表会 明治大学名誉教授 向殿政男氏	・子ども達の”安全“のために～学校と家庭で共に育てる”守る力“～ (佐口、織田)
8月31日(土) 刈谷市総合 文化センター	刈谷市保育士研修会 カワイ音楽教室 日比野氏 西三河エリアワン 谷崎氏	・合奏指導 (小笠原、谷口、竹尾)

	名古屋短大准教授 山下直樹氏 桜花学園大准教授 田畑智美氏 愛知教育大准教授 鈴木裕子氏	・乳児の運動遊び (鈴木、橘、葛野、田村) ・障害児保育 (岡本、近藤、清水あ) ・手作り玩具 (佐口、田澤) ・幼児の表現あそび (石川園長、織田)
9月21日(土) 名古屋芸術大学	名古屋芸大人間発達学部 「特別公開講座」 特定非営利活動法人つばさ吃音相談室理事長 羽佐田竜二氏	・吃音のある子の理解と支援 (岡本わ)
10月24日(木) 日高保育園	日高保育園園内研修 名古屋短期大学教授 神谷妃登美氏	・保護者対応・支援について学ぶ (田澤)
11月16日(土) 小垣江公民館	保育協会実技研修(第3回) 日本独楽博物館こまのるばん 講師 市川昌吾氏	・伝承遊びのワークショップ～いろいろなこまを使って遊ぼう～ (岩本、小笠原)
11月30日(土) 刈谷市 産業振興センター	乳幼児期の感覚統合遊びセミナー 白鳳短大リハビリテーション学専攻 講師 高畑脩平氏	・子ども理解からはじめる感覚統合遊び (鈴木、葛野、清水あ、岡部、神谷み)

園内研修 年間 3 件

H31、4、1～R2、3、31

日時・場所	研修名・講師名	内容・(参加者)
8月9日 事務所	中堅保育士研修～保育士の資質向上を図り 保育に生かしていく～ 園児の年齢別事例検討会 「給食中に嘔吐する子どもへの対応について」 事例提供者 3歳児担任 谷口佳奈(経験年数5年) 司会 岡本主任 書記 鈴木主任	・インシデント・プロセス法により事例検討をする。 ・事例提供者は、子どもとの関わりの中で迷っている事、困っている事を発表する事により、自分の保育の中の問題点を明確にする。 ・参加者は問題点を自分の問題として捉え、解決策を見出していく。 ・発表者、参加者が共に話し合いの共有者になる事で各々の保育の向上に結びつく事を目指す。 (鈴木、岡本、岩本、橘、小笠原、谷口)
8月29日 遊戯室	リラックスヨガ 木原由香里氏 鈴木ゆうこ氏	・遊戯室内にマットを敷き詰め、ゆったりとした音楽の流れる中、講師の先生の柔らかな声かけによるヨガのポーズを行い心身共にリラックスする。 (石川園長、鈴木、岡本あ、岩本、橘、葛野、佐)

		口、小笠原、田村、田澤、谷口、近藤、織田、清水あ、竹尾、岡部、石飛、神谷み)
12月10日 遊戯室	再認識 私の働き方 オフィスサミ代表 水藤麻美氏	・ライフ・ラインチャートを記入し、これまでの自分の経歴を振り返り、自分自身の働き方を確認する。 ・自己承認、他者承認、自己有用感を組織内で生かしていく事を学ぶ。 (石川園長、鈴木、岡本あ、岩本、橘、葛野、佐口、小笠原、田村、田澤、谷口、近藤、織田、清水あ、竹尾、岡部、石飛、神谷み、宮田、岡本わ、清水き)

7 安全・防災対策

(1)避難訓練実施状況

別紙7

H31、4、1～R2、3、31

実施日	人員	目標	場所	想定及び状況
4月24日	142人	火災地震についての話 合図を知る。	保育室	年齢ごとに火災や地震の危険性や避難の仕方を分かりやすく話す。合図のベルや鐘の音を聞かせて知らせる。
5月22日	144人	避難経路・集合の仕方 避難場所を知る。	第一避難所	火災の合図の音を聞いて保育者のもとに集まる。速やかに避難する。保育者は初期消火をする。
6月13日	147人	地震時の避難の仕方	第一～ 第二避難場所	保育者の指示に従い机の下に入る。防災ズキンを被って避難させる。
7月17日	152人	午睡時の避難の仕方	遊戯室 (幼児) 保育室 (未満児)	布団をかけて頭部を守り、様子を見て保育室の安全な場所に集める。様子を見て遊戯室に避難させる。(幼児)保育士間の連携を密にする。
8月9日	124人	風水害時の避難の仕方	保育室	風水害時の注意や避難の仕方を話す。安全な場所に集合する。
9月3日	142人	防災訓練 引き渡し訓練	第一～ 第三避難所	防災ズキンを着用して、靴を持って避難する。交通に注意し誘導する。市へ状況報告の訓練をする。 子ども達を保護者に安全・確実に引き渡す。
10月5日	11人	土曜保育の火災時の避難の仕方	第一避難所	側にいる保育者の指示に従い避難する。
10月10日	16人	時間外保育時の避難の仕方	第一避難所	火災の合図を聞き、迎えの保護者の協力も得て避難する。 保育者は初期消火をする。

11月19日	154人	自由遊び中の避難の仕方	第一～ 第二避難所	近くにいる子どもを避難させる。室内に子どもが残っていないか確認する。 初期消火をする。
12月18日	165人	自由遊び時の地震の避難の仕方	第一避難所～ 第三避難所	合図を聞いて机の下に入る。又は安全な場所で揺れが収まるまで待つ。園庭に避難後人数確認次第第三避難所へ避難する。
1月15日	146人	地震、火災時の避難の仕方	第一～ 第二避難所	側にいる保育者の指示に従い避難する。第一避難所で人数確認の上第二避難所まで避難する。
2月25日	150人	食事時の避難の仕方	第二避難所	合図を聞いて直ちに第一避難所へ避難する。
3月11日	144人	地震、火災の避難の仕方	第一～ 第三避難所	合図を聞いて机の下に入る。又は安全な場所に揺れがおさまるまで待つ。 ズキンをかぶり一番近い出口から避難する。

別紙 8

(2)防犯訓練実施状況

H31、4、1～R2、3、31

実施日	人員	目標	場所	想定及び状況
5月23日	142人	不審者に対する話を聞く。	保育室	知らない人が近づいたり、声をかけられたとき、どうするかを話し、安全に遊べるようにする。警報ブザーの音を聞き安全な場所へ集合する。
6月 3日	142人	不審者からの避難の仕方(園の様子を伺っている場合)	保育室	子どもの安全を確保し避難誘導をする。不審者と判断した時子どもを入室させ鍵をかける。状況により警察へ通報する。
10月30日	133人	不審者が侵入した場合の避難の仕方	園庭から室内	子どもの安全を確保し避難誘導する。 不審者がいることを知らせる。侵入者より離れた場所に誘導する。警察へ通報の訓練をする。
1月 28日	144人	不審者から身を守る為、教材を使い理解を深める。		教材を活用し、安全に対する知識や理解を深めるようにする

9 園地・園舎・教具等

別紙9

(1) 園地・園舎の利用状況

○ 園地面積 1963.13㎡ ○ 建築面積 990.00㎡ ○ 床面積 1620.61㎡

(2) 保育室・調理室・事務室等の面積・便所の便器数等の状況

区分	室数	面積	区分	室数	面積
保育室	7	413.08	事務室	1	55.50
遊戯室	1	173.21	更衣室	2	6.60
乳児室・ほふく室	2	103.61	便所	11	97.86
給食室	1	89.39	多目的室	2	84.20
医務室	1	7.07	その他		590.09
便所の便器数 乳児(大3) 幼児(大15小14) 職員(大12小2)					

(3) 教具等の状況

机	紙芝居	玉入れ一式	こいのぼり一式
椅子	マット	プール	雛人形一式
ホワイトボード	時計	絵具用具	五月人形一式
楽器一式	テレビ	木工用具	乳母車
ピアノ	幻灯機	絵本	カラーベンチ
ベッド	カメラ	集合(物・形)	ひな壇
指人形	テープレコーダー	ストップウォッチ	人形・ぬいぐるみ
らくがきボード	ステレオ	ビデオテープ	ブロック類
スチール黒板	オーバーヘッド		積み木
	CDプレイヤー		

(4) 遊具等の状況

鉄棒	サッカーゴール	なわとび・	カラーベルト
滑り台	クライミング	ボール	砂遊び一式
跳び箱	ウォール	ネット付滑り台	
平均台	カラーボックス	砂場	
網	エス棒	室内鉄棒	
三輪車	玉入れ一式	総合遊具	